港区子ども・若者・子育て支援に関する
実態調査報告書

令和６年（2024 年）３月

港　　区

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つこどもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和６０年８月１５日

港　　区

目　次

第１章　調査概要

１．調査目的 1
２．調査設計 1
３．調査項目 1
４．回収結果 2
５．報告書を利用するにあたって 2

第２章　調査結果

１．小学校入学前の子どもの保護者 3
（１）居住地区について 3
（２）子どもと家族の状況について 3
（３）子どもの育ちをめぐる環境について 7
（４）就労・家計状況について 13
（５）平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について 20
（６）地域の子育て支援事業の利用状況について 35
（７）土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について 41
（８）病気の際の対応について（平日の教育・保育事業を利用している方のみ） 45
（９）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について 49
（10）小学校入学後の放課後の過ごし方について 56
（11）育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について 64
（12）子育ての環境や支援全般について 72
（13）保護者の状況について 75
２．小学生の保護者 80
（１）居住地区について 80
（２）子どもと家族の状況について 80
（３）子どもの育ちをめぐる環境について 84
（４）就労・家計状況について 90
（５）病気の際の対応について 98
（６）不定期に、または宿泊を伴って利用する事業について 102
（７）小学校での放課後の過ごし方について 108
（８）育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について 116
（９）子育ての環境や支援全般について 117
（10）保護者の状況について 119

３．中学生 124
（１）居住地区について 124
（２）自身と家族の状況について 124
（３）学校生活について 129
（４）放課後や休日の過ごし方について 132
（５）施設の利用状況について 134
（６）悩みごとや相談先について 136
（７）将来のイメージについて 139
４．高校生世代から 39 歳まで 142
（１）居住地区について 142
（２）自身と家族の状況について 142
（３）就労・家計状況について 148
（４）生活状況について 152
（５）人間関係・地域との関わりについて 154
（６）悩みごとや相談先について 157
（７）婚姻状況、子どもの有無について 160
（８）子ども・若者に対する取組や支援等について 168

第３章　調査結果の分析
１．小学校入学前の子どもの保護者 169
（１）基本属性 170
（２）子育て状況 173
（３）就労・家計状況 176
（４）平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 178
（５）地域の子育て支援事業の利用状況 183
（６）病気の際の対応 184
（７）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況 186
（８）小学校入学後の放課後の過ごし方 188
（９）職場の両立支援制度 190
（10）理想と持つつもりの子どもの数 192
（11）子育て環境 194
２．小学生の保護者 196
（１）基本属性 197
（２）子育て状況 200
（３）就労・家計状況 203
（４）病気の際の対応 206
（５）不定期に、または宿泊を伴って利用する事業の利用状況 208

（６）小学校での放課後の過ごし方 210
（７）理想と持つつもりの子どもの数 213
（８）子育て環境 215
３．中学生 216
（１）基本属性 217
（２）家族との関わり 219
（３）学校生活、友達との関わり 221
（４）放課後や休日の過ごし方 225
（５）施設の利用状況 226
（６）自分について感じていることや悩みごと 229
（７）将来のイメージ 232
４．高校生世代から 39 歳まで 235
（１）基本属性 236
（２）就労状況 238
（３）家族、友人、職場、地域との関わり 240
（４）悩みごとや相談先 242
（５）結婚 244
（６）子どもを持つこと 246
（７）子ども・若者支援施策 248

第４章　自由意見
１．小学校入学前の子どもの保護者 250
２．小学生の保護者 255
３．中学生 259
４．高校生世代から 39 歳まで 262

第５章　調査結果から示唆される課題と対応の方向性
１．調査結果から示唆される課題と対応の方向性 266

使用した調査票
１．小学校入学前の子どもの保護者 270
２．小学生の保護者 284
３．中学生 293
４．高校生世代から 39 歳まで 299

第１章　調査概要

１．調査目的

区では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく「港区子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和２年度～令和６年度）を策定し、計画的に教育・保育・地域の子育て支援事業の充実に取り組んでいます。

本調査は、「第三期港区子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和７年度～令和 11 年度）を含む子ども・若者・子育て支援に関する計画の策定に当たり、区民のニーズや生活実態等を把握し、今後の子ども・若者・子育て支援施策を着実に推進するために実施しました。

２．調査設計

【調査対象】区内在住の小学校入学前の子どもの保護者　2,000 人
区内在住の小学生の保護者　2,000 人
区内在住の中学生　2,000 人
区内在住の高校生世代から 39 歳まで　2,000 人
【抽出方法】令和５年９月 29 日現在の住民基本台帳から無作為抽出
【調査方法】郵送配布、郵送又はインターネットによる回収
区内在住の高校生世代から 39 歳までは郵送配布、インターネットによる回答
【調査期間】令和５年 10 月 13 日（金）～11 月９日（木）

３．調査項目

区　分	小学校入学前の子どもの保護者	小学生の保護者	中学生	高校生世代から 39 歳まで
①基本属性（居住地区・家族の状況）	○	○	○	○
②子どもの育ちをめぐる環境	○	○	－	－
③就労・家計状況	○	○	－	○
④平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	○	－	－	－
⑤地域の子育て支援事業の利用状況（地域の子育て支援策）	○	－	－	－
⑥土曜・休日、長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	○	－	－	－
⑦病気の際の対応	○	○	－	－
⑧不定期の教育・保育事業／宿泊を伴う一時預かり等	○	○	－	－
⑨小学校入学後の放課後の過ごし方（放課後の過ごし方）	○	○	－	－
⑩職場の両立支援制度	○	○	－	－
⑪子育て環境全般	○	○	－	－
⑫保護者の状況	○	○	－	－
⑬学校生活	－	－	○	－
⑭放課後や休日の過ごし方	－	－	○	－
⑮生活状況	－	－	－	○
⑯施設の利用状況	－	－	○	－
⑰人間関係・地域との関わり	－	－	－	○
⑱悩みごとや相談先	－	－	○	○
⑲将来のイメージ	－	－	○	－
⑳婚姻状況、子どもの有無	－	－	－	○
㉑子ども・若者に対する取組や支援等	－	－	－	○

４．回収結果

区　分	配布数	回収数			回収率
		郵送	インターネット	合計	
小学校入学前の子どもの保護者	2,000	311	444	755	37.8%
小学生の保護者	2,000	381	459	840	42.0%
中学生	2,000	353	243	596	29.8%
高校生世代から 39 歳まで	2,000	－	495	495	24.8%

５．報告書を利用するにあたって

○　図・表中の N、回答者数とは、基数となる実数のことである。

○　回答は N、回答者数を 100%として百分率で算出してある。小数点以下第２位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。

○　図・表中の 0.0 は回答者が皆無のものである。なお、図表の見易さを優先するため、0.0 の回答を表示しない場合がある。

○　複数回答ができる質問では、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。

○　図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

○　回答者数が少ないものについては、コメントを控えている場合がある。

○　回答者数が 50 未満の場合は、回答者些少のため参考値とする。

○　クロス集計は、１位（背景…濃い灰色、文字…白）、２位（背景…薄い灰色、文字…黒）に着色しているが、全体の回答者数が 10 人未満の場合は着色していない。

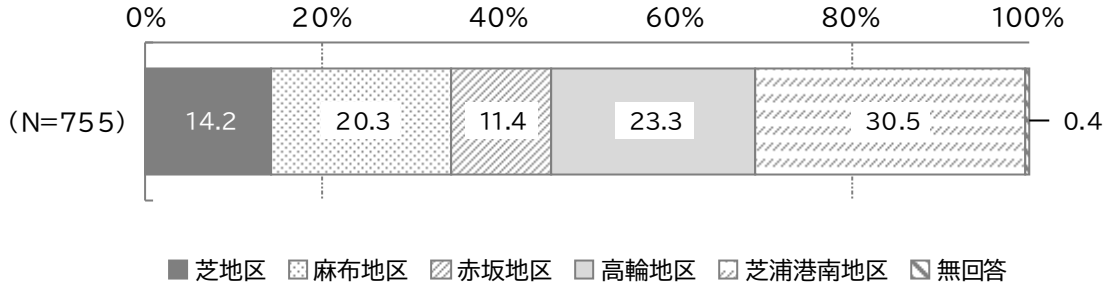
第２章　調査結果

１．小学校入学前の子どもの保護者

（１）居住地区について

問１　お住まいの地域はどこですか。（あてはまる番号ひとつに○）

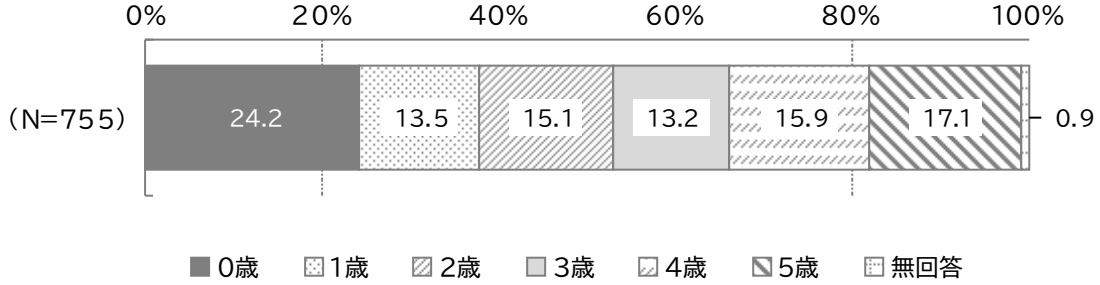
「芝浦港南地区」が 30.5％と最も多く、次いで「高輪地区」が 23.3％、「麻布地区」が 20.3％となっている。



（２）子どもと家族の状況について

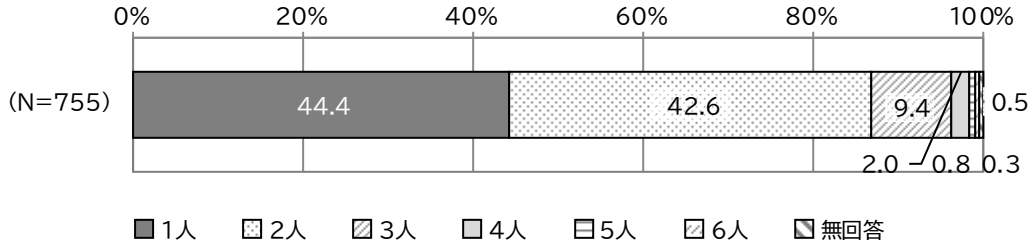
問２　宛名のお子さんの生まれた年と月を（　　）内に数字でご記入ください。

「０歳」が 24.2％と最も多く、次いで「５歳」が 17.1％、「４歳」が 15.9％となっている。



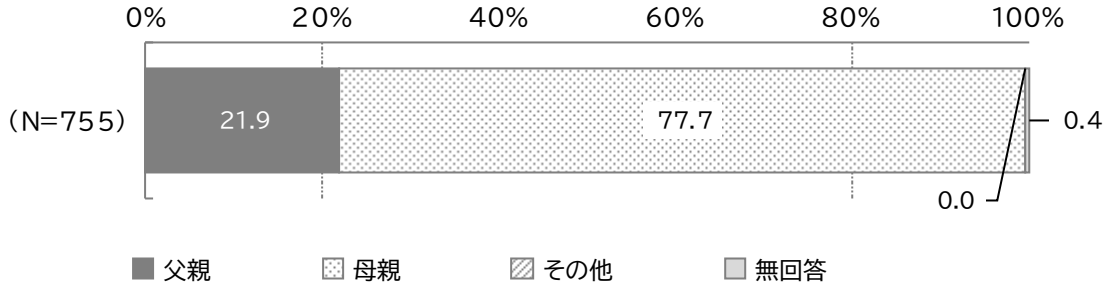
問３　宛名のお子さんのきょうだいは何人いますか。宛名のお子さんを含めた人数とそれぞれの生まれた年と月を（　　）内に数字でご記入ください。

「１人」が 44.4％と最も多く、次いで「２人」が 42.6％、「３人」が 9.4％となっている。



問４　この調査票に回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

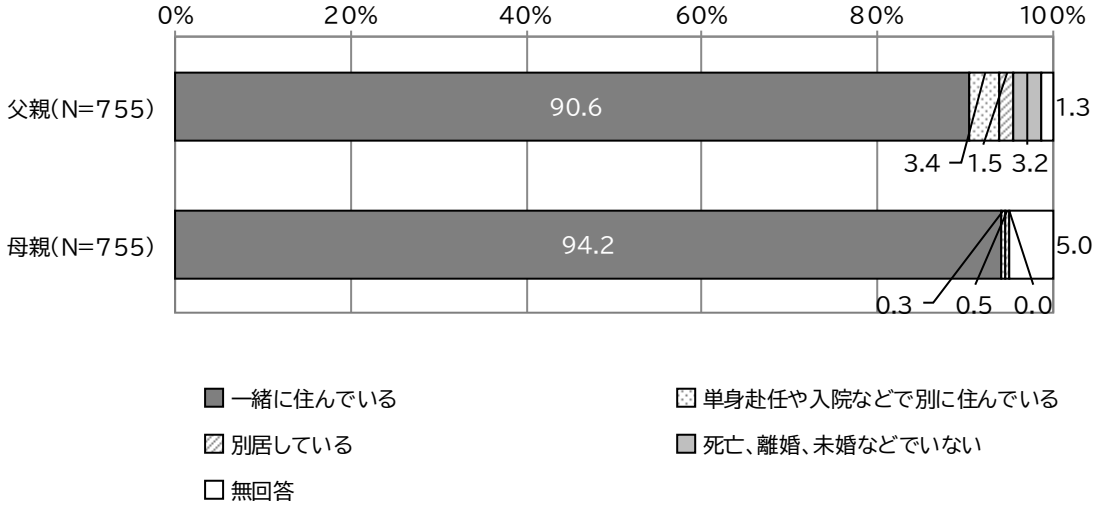
「母親」が 77.7%、「父親」が 21.9%となっている。



問５　宛名のお子さんとご両親の同別居状況についてうかがいます。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

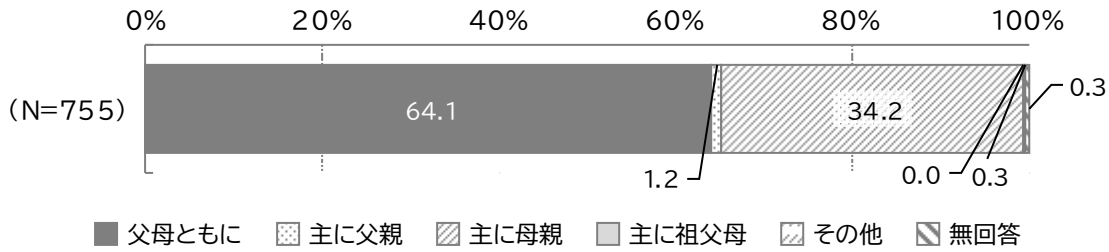
父親は「一緒に住んでいる」が 90.6%と最も多く、次いで「単身赴任や入院などで別に住んでいる」が 3.4%、「死亡、離婚、未婚などでいない」が 3.2%となっている。

母親は「一緒に住んでいる」が 94.2%と最も多く、次いで「別居している」が 0.5%、「単身赴任や入院などで別に住んでいる」が 0.3%となっている。



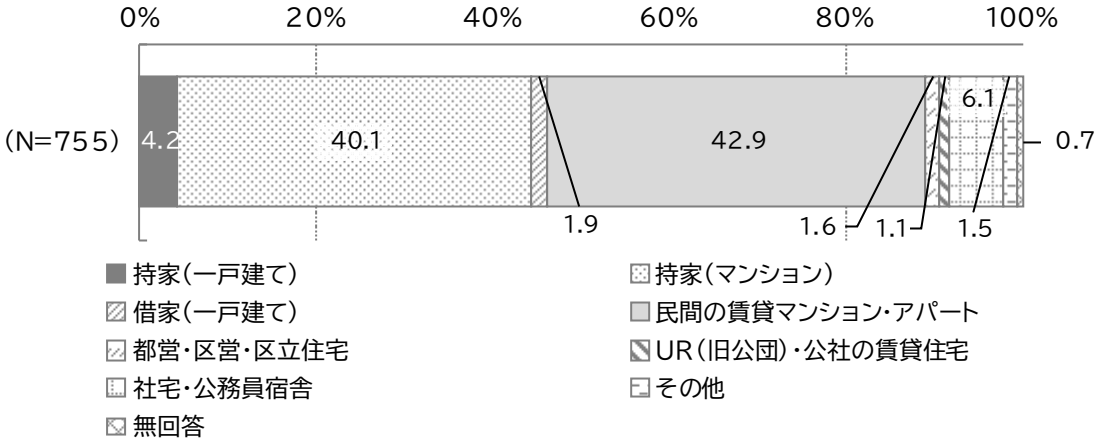
問６　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。なお、続柄はすべてお子さんからみた関係です。（あてはまる番号ひとつに○）

「父母ともに」が 64.1%と最も多く、次いで「主に母親」が 34.2%、「主に父親」が 1.2%となっている。



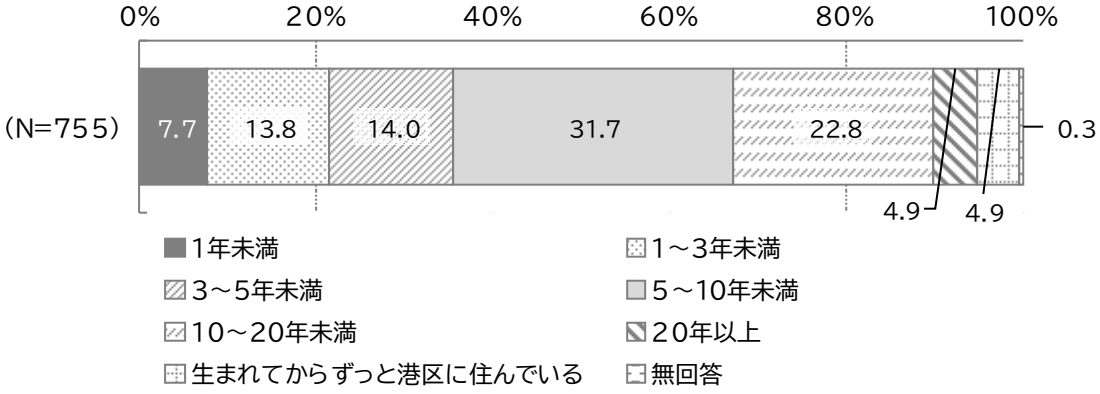
問７　あなた（宛名のお子さんの保護者）のお住まいをお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

「民間の賃貸マンション・アパート」が 42.9％と最も多く、次いで「持家（マンション）」が 40.1％、「社宅・公務員宿舎」が 6.1％となっている。



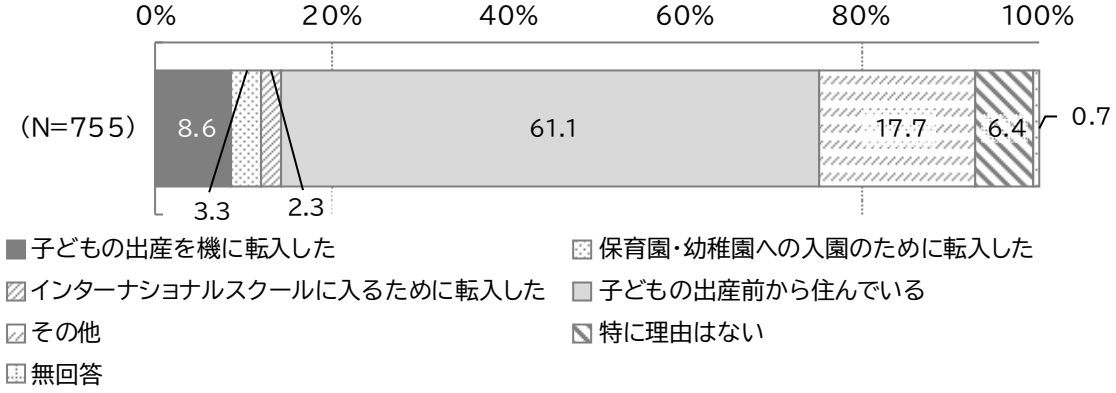
問８　あなた（宛名のお子さんの保護者）は、港区に住んで何年になりますか。宛名のお子さんの保護者のうち、港区での居住期間が長い方についてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

「５～10 年未満」が 31.7％と最も多く、次いで「10～20 年未満」が 22.8％、「３～５年未満」が 14.0％となっている。



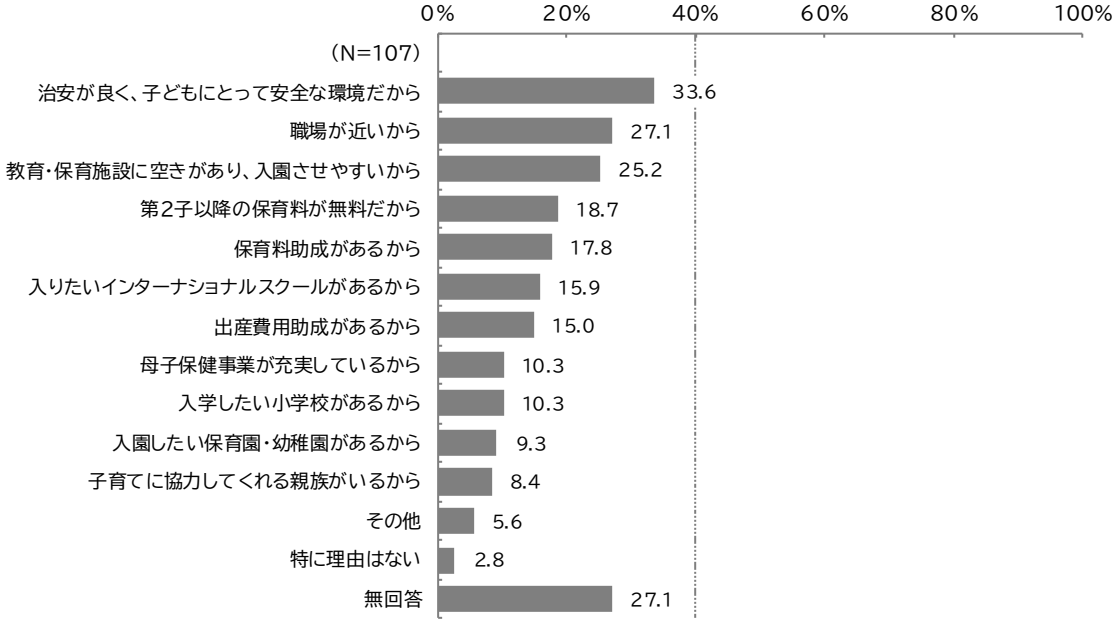
問８-１　あなた（宛名のお子さんの保護者）が、港区に住むことになったきっかけは何ですか。（あてはまる番号ひとつに○）

「子どもの出産前から住んでいる」が 61.1%と最も多く、次いで「その他」が 17.7%、「子どもの出産を機に転入した」が 8.6%となっている。



問８-２　問８-１で「１.子どもの出産を機に転入した」～「３.インターナショナルスクールに入るために転入した」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
次のうち、あてはまる理由があればお選びください。（あてはまる番号すべてに○）

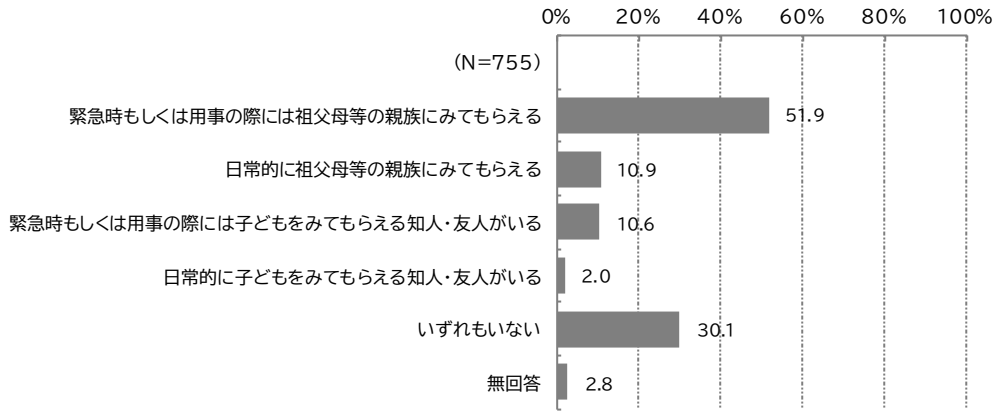
「治安が良く、子どもにとって安全な環境だから」が 33.6%と最も多く、次いで「職場が近いから」が 27.1%、「教育・保育施設に空きがあり、入園させやすいから」が 25.2%となっている。



（3）子どもの育ちをめぐる環境について

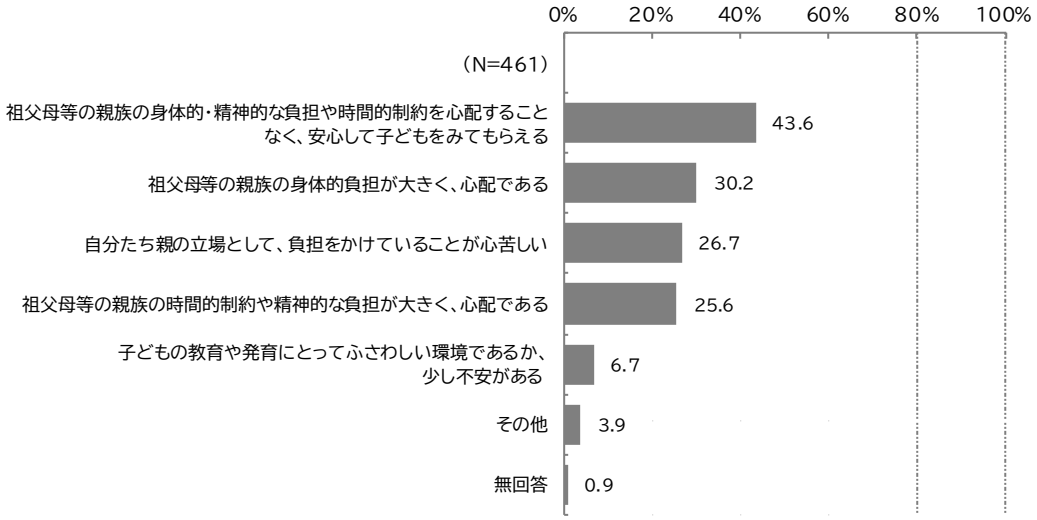
問９　日頃、保護者以外に宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 51.9％と最も多く、次いで「いずれもいない」が 30.1％、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 10.9％となっている。



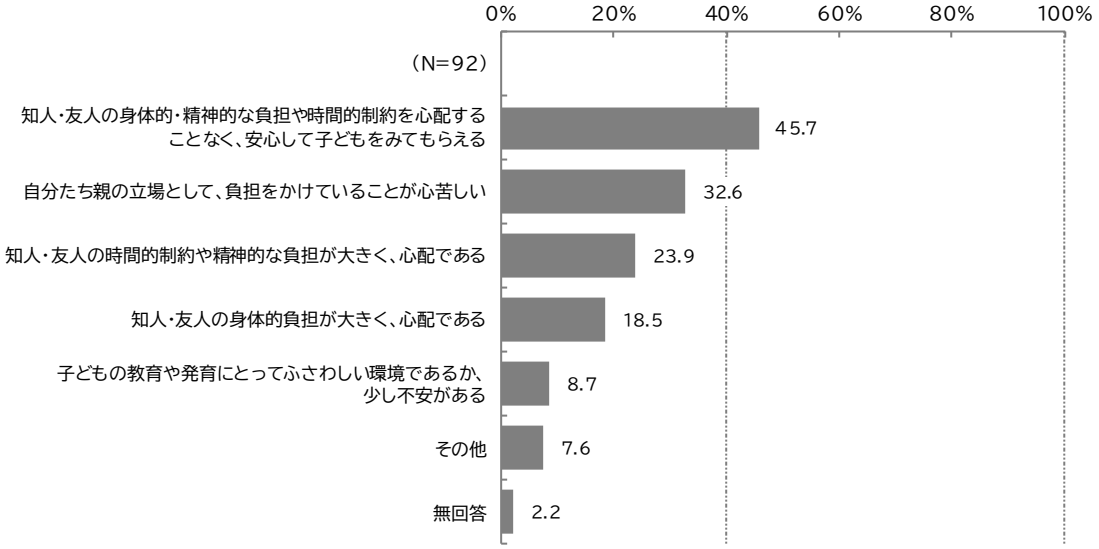
問９-１　問９で「１.日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「２.緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 43.6％と最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である」が 30.2％、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 26.7％となっている。



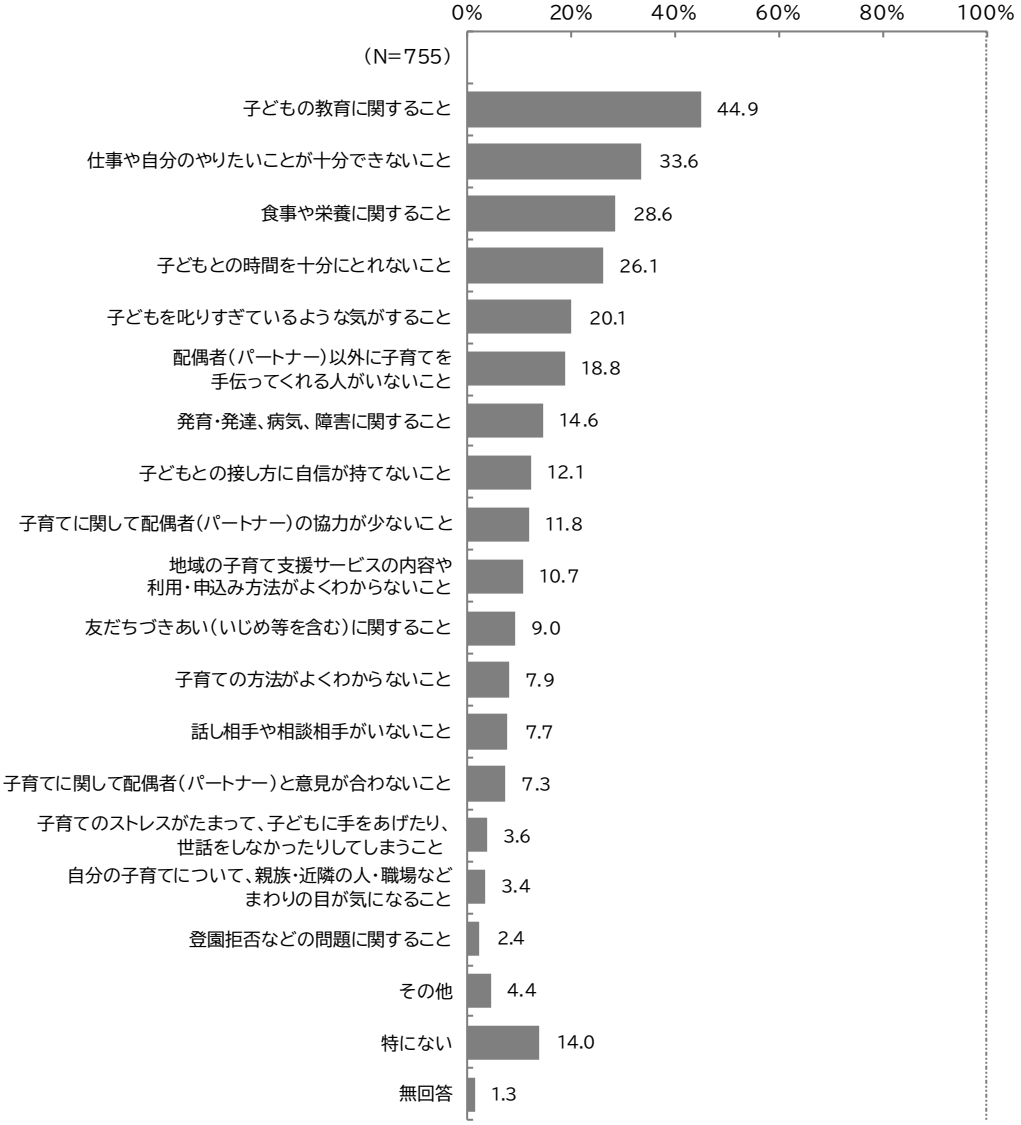
問９-２　問９で「３.日常的に子どもをみてもらえる知人・友人がいる」または「４.緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる知人・友人がいる」に○をつけた方にうかがいます。
知人・友人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

「知人・友人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 45.7%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 32.6%、「知人・友人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」が 23.9%となっている。



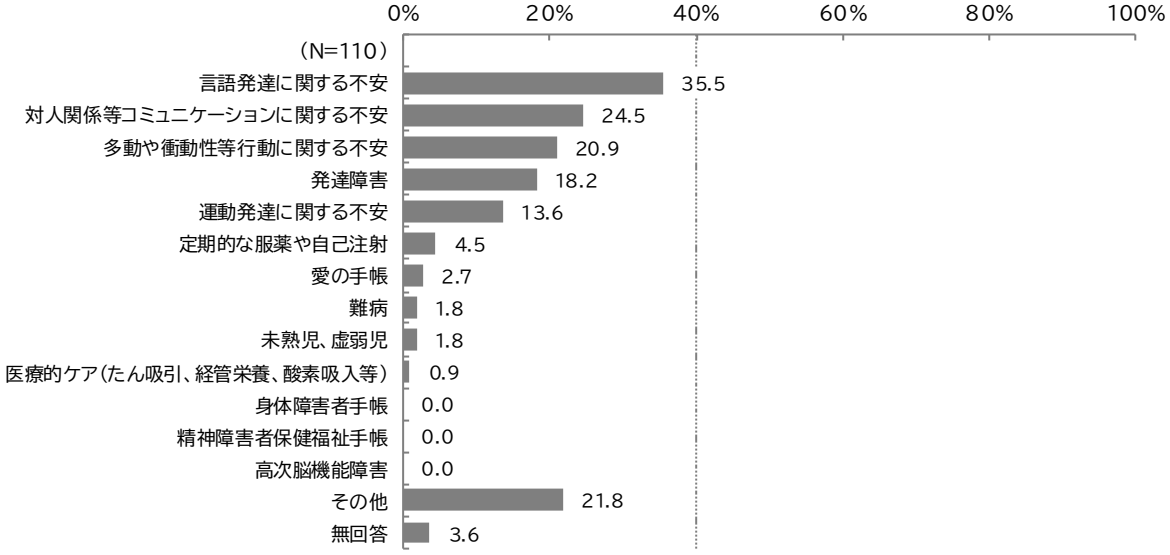
問 10　子育てに関して、日頃、悩んでいることや気になることはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「子どもの教育に関すること」が 44.9%と最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」が 33.6%、「食事や栄養に関すること」が 28.6%となっている。



問 10-1　問 10 で「1．発育・発達、病気、障害に関すること」に○をつけた方にうかがいます。あてはまるものをお答えください。（あてはまる番号すべてに○）また、「1.身体障害者手帳」～「3．精神障害者保健福祉手帳」に○をつけた方は、（　　）内に数字でご記入ください。

「言語発達に関する不安」が 35.5%と最も多く、次いで「対人関係等コミュニケーションに関する不安」が 24.5%、「その他」が 21.8%となっている。

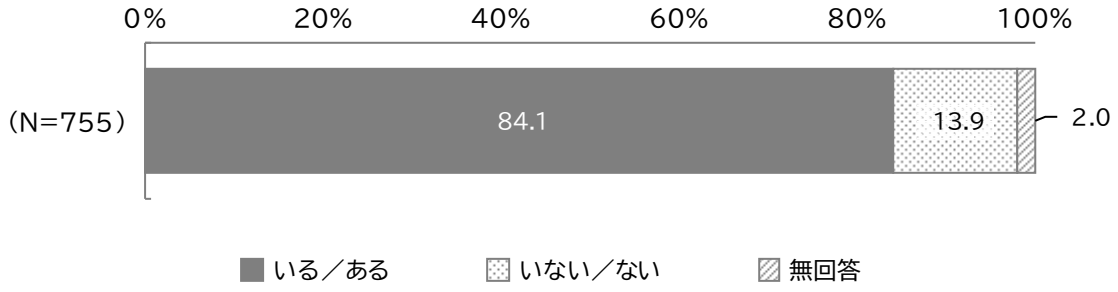


【等級】

	1級（度）	2級（度）	3級（度）	4級（度）	無回答
身体障害者手帳	－	－	－	－	－
愛の手帳	－	－	－	3件 （100.0%）	－
精神障害者保健福祉手帳	－	－	－	－	－

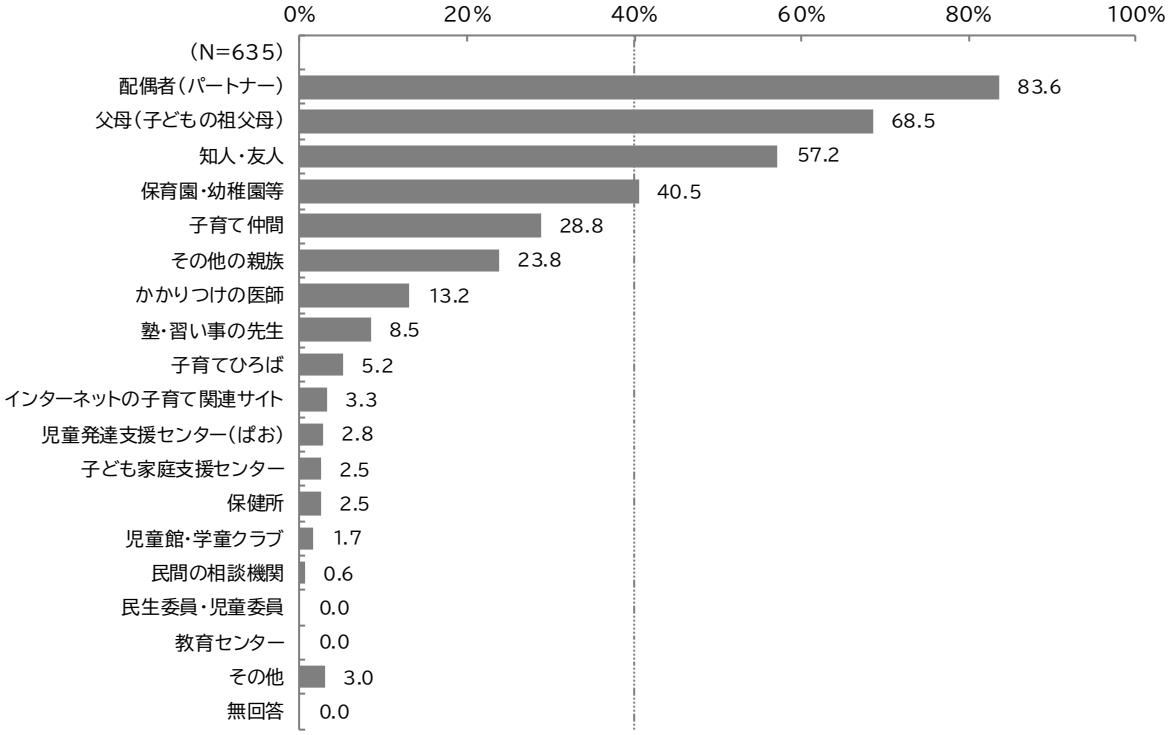
問 11　宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人（場所）はいますか（ありますか）。（あてはまる番号ひとつに○）

「いる／ある」が 84.1%、「いない／ない」が 13.9%となっている。



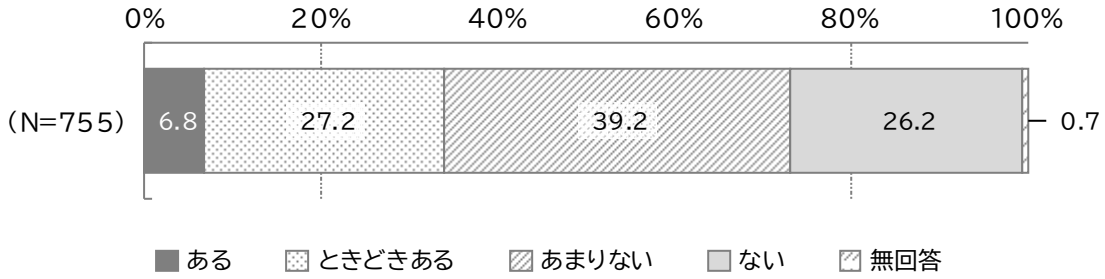
問 11-1　問 11 で「1．いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「配偶者（パートナー）」が 83.6%と最も多く、次いで「父母（子どもの祖父母）」が 68.5%、「知人・友人」が 57.2%となっている。



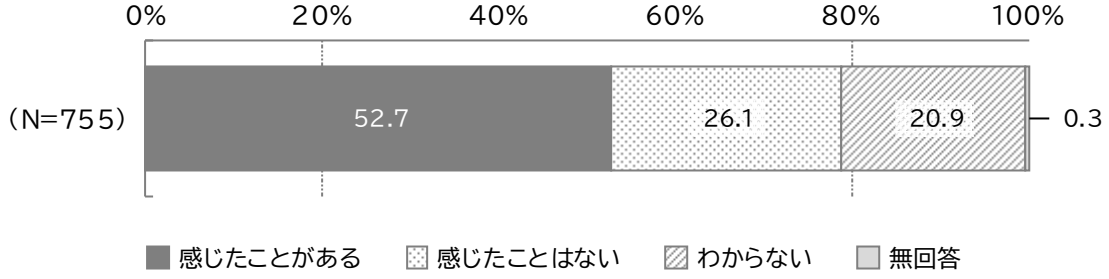
問 12　日頃、子育てを行うにあたり、孤立感を感じることはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

「あまりない」が 39.2%と最も多く、次いで「ときどきある」が 27.2%、「ない」が 26.2%となっている。



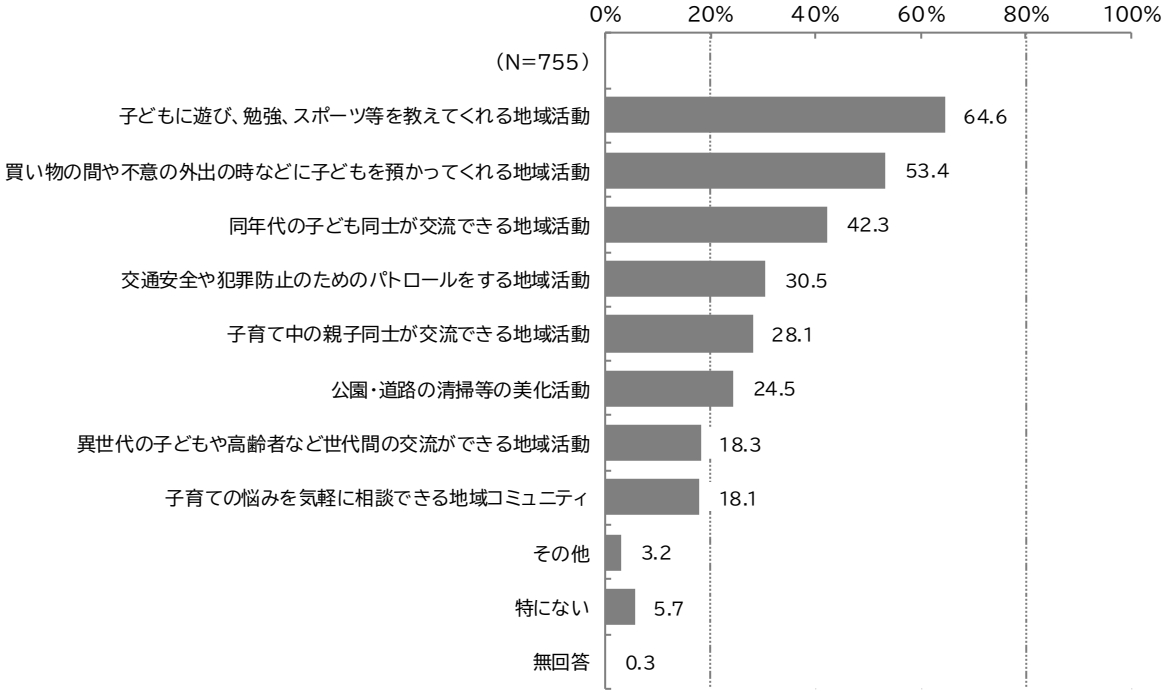
問 13　子育てについて、地域の人（近所の人、町内会などの知人、習い事での知人など）からのサポートがあればよいと感じたことはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

「感じたことがある」が 52.7%と最も多く、次いで「感じたことはない」が 26.1%、「わからない」が 20.9%となっている。



問 14　あなたは、地域の人からのサポートや地域活動について、どのようなものがあればよいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

「子どもに遊び、勉強、スポーツ等を教えてくれる地域活動」が 64.6%と最も多く、次いで「買い物の間や不意の外出の時などに子どもを預かってくれる地域活動」が 53.4%、「同年代の子ども同士が交流できる地域活動」が 42.3%となっている。



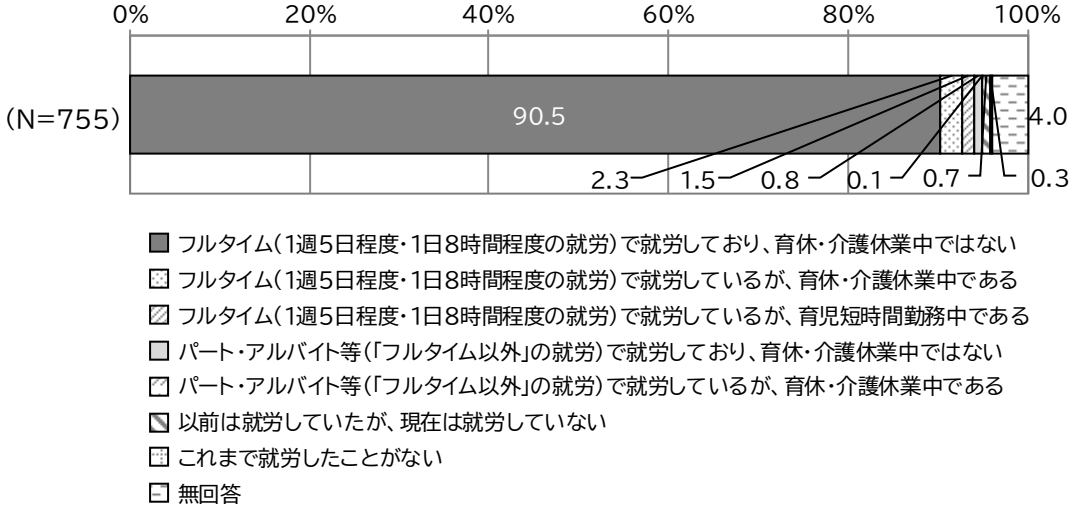
（４）就労・家計状況について

問 15　宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。（あてはまる番号ひとつに○）

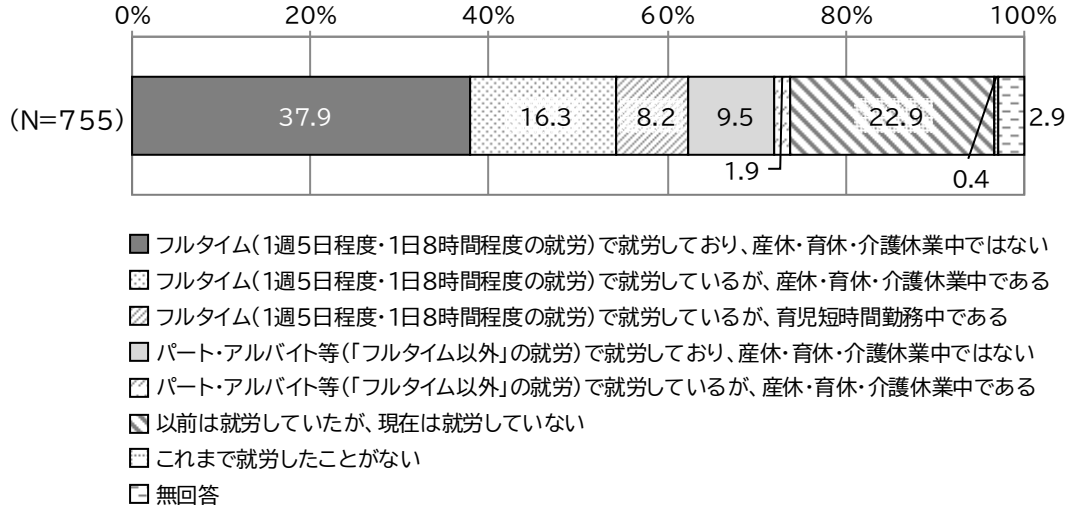
父親は「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 90.5%と最も多く、次いで「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」が 2.3%、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、育児短時間勤務中である」が 1.5%となっている。

母親は「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 37.9%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 22.9%、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 16.3%となっている。

【父親】



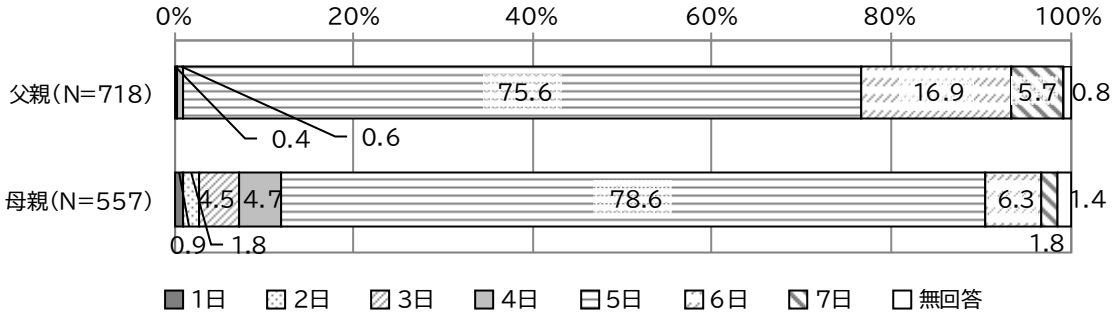
【母親】



①１週あたりの就労日数

父親は「５日」が 75.6%と最も多く、次いで「６日」が 16.9%、「７日」が 5.7%となっている。１週あたりの平均就労日数は 5.3 日となっている。

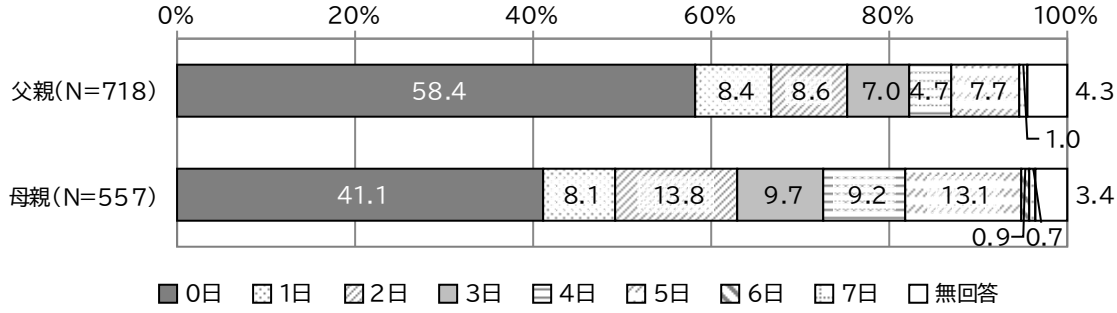
母親は「５日」が 78.6%と最も多く、次いで「６日」が 6.3%、「４日」が 4.7%となっている。１週あたりの平均就労日数は 2.9 日となっている。



②１週あたりの在宅勤務日数

父親は「０日」が 58.4%と最も多く、次いで「２日」が 8.6%、「１日」が 8.4%となっている。１週あたりの平均在宅勤務日数は 1.1 日となっている。

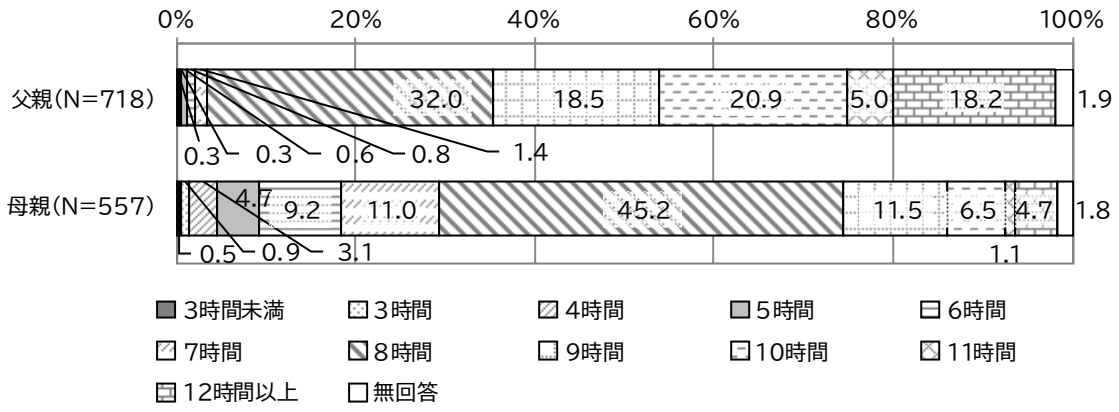
母親は「０日」が 41.1%と最も多く、次いで「２日」が 13.8%、「５日」が 13.1%となっている。１週あたりの平均在宅勤務日数は 1.8 日となっている。



③１日あたりの就労時間

父親は「８時間」が 32.0%と最も多く、次いで「10 時間」が 20.9%、「９時間」が 18.5%となっている。１日あたりの平均就労時間は 9.7 時間となっている。

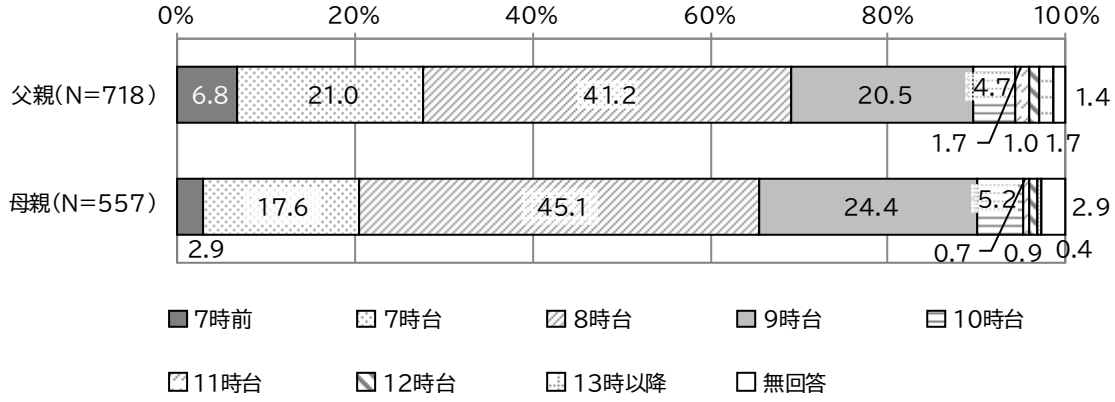
母親は「８時間」が 45.2%と最も多く、次いで「９時間」が 11.5%、「７時間」が 11.0%となっている。１日あたりの平均就労時間は 8.0 時間となっている。



④家を出る時刻

父親は「８時台」が 41.2%と最も多く、次いで「７時台」が 21.0%、「９時台」が 20.5%となっている。平均時刻は８時 21 分となっている。

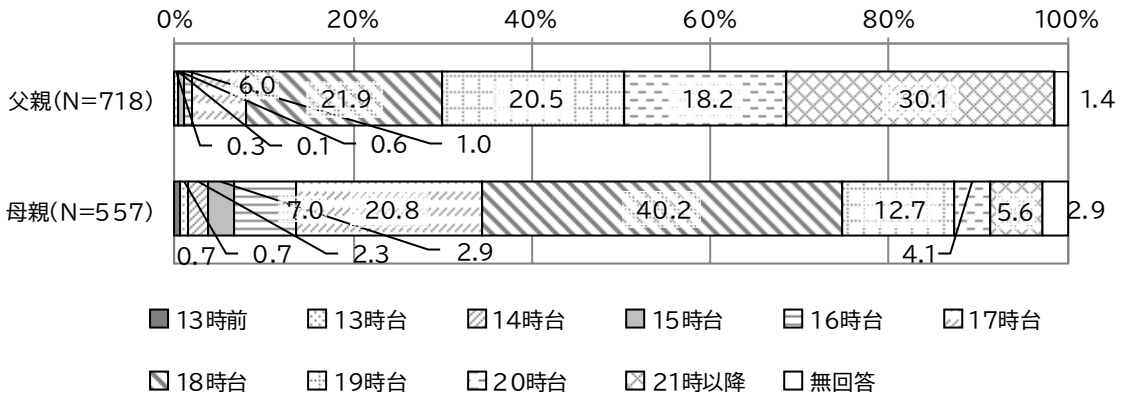
母親は「８時台」が 45.1%と最も多く、次いで「９時台」が 24.4%、「７時台」が 17.6%となっている。平均時刻は８時 24 分となっている。



⑤帰宅時刻

父親は「21 時以降」が 30.1%と最も多く、次いで「18 時台」が 21.9%、「19 時台」が 20.5%となっている。平均時刻は 19 時 56 分となっている。

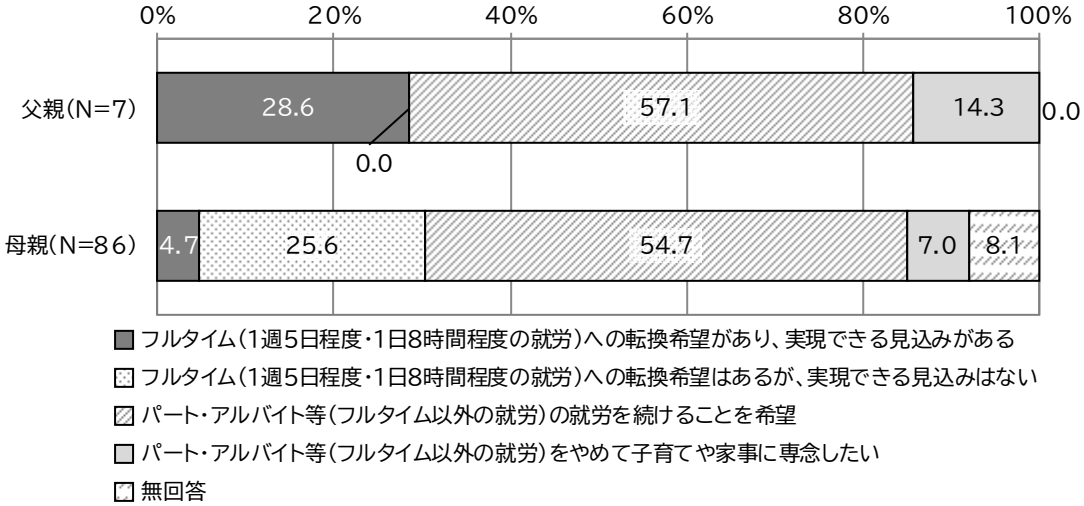
母親は「18 時台」が 40.2%と最も多く、次いで「17 時台」が 20.8%、「19 時台」が 12.7%となっている。平均時刻は 17 時 59 分となっている。



問 16　問 15 の（1）または（2）で、「4」または「5」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

父親は「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）の就労を続けることを希望」が 57.1%と最も多く、次いで「フルタイム（1週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が 28.6%、「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）をやめて子育てや家事に専念したい」が 14.3%となっている。

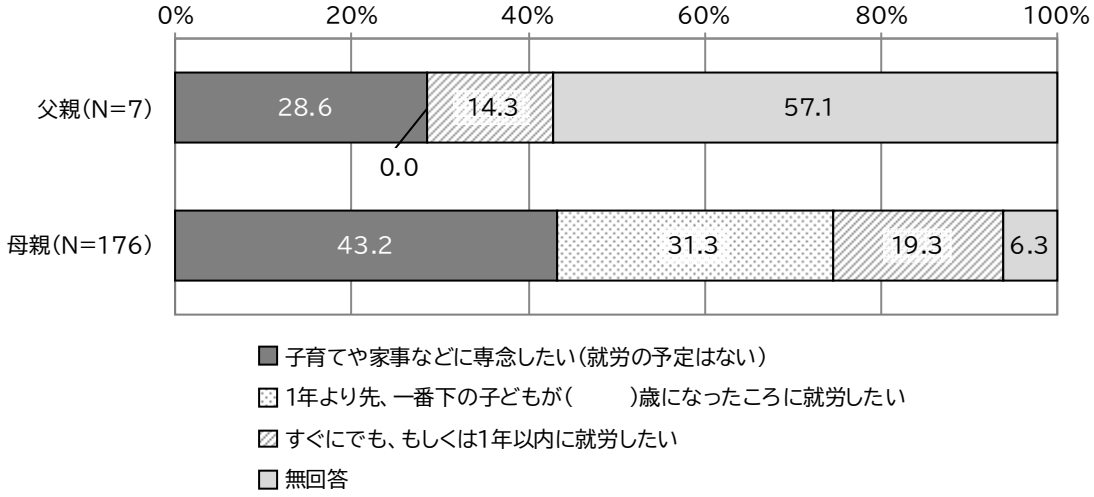
母親は「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）の就労を続けることを希望」が 54.7%と最も多く、次いで「フルタイム（1週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 25.6%、「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）をやめて子育てや家事に専念したい」が 7.0%となっている。



問 17　問 15 の（１）または（２）で、「６．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「７．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）また、「３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」に○をつけた方は、希望する就労形態（それぞれの欄に○はひとつだけ）と１週あたり日数、１日あたりの時間数をご記入ください。

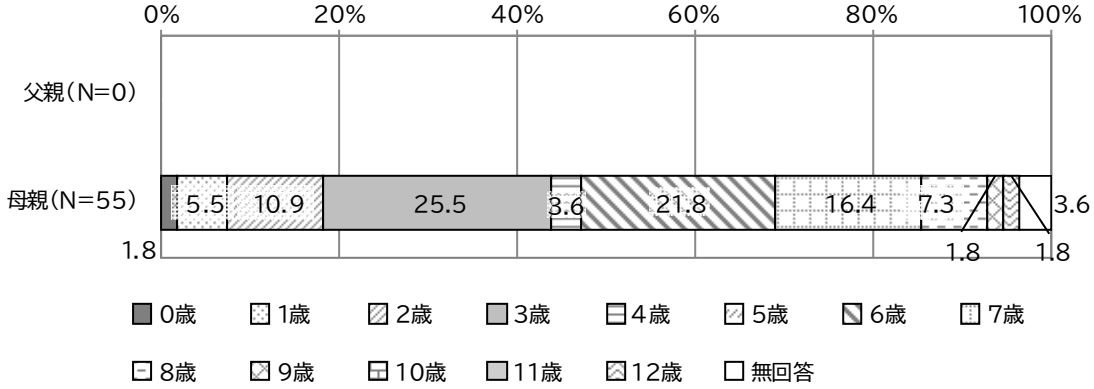
父親は「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 28.6％と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が 14.3％となっている。

母親は「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 43.2％と最も多く、次いで「1 年より先、一番下の子どもが（　）歳になったころに就労したい」が 31.3％、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が 19.3％となっている。



①子どもの年齢（１年より先、一番下の子どもが（　）歳になったころに就労したい）

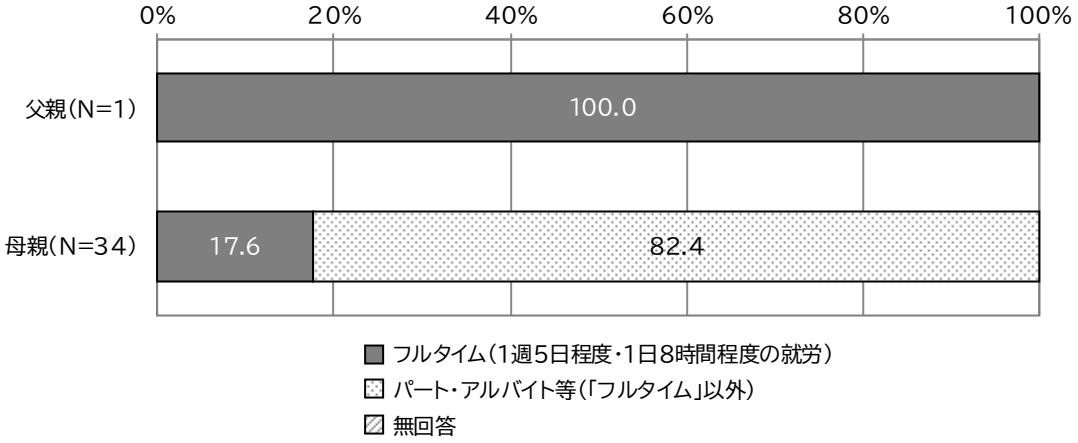
母親は「３歳」が 25.5％と最も多く、次いで「６歳」が 21.8％、「７歳」が 16.4％となっている。



②希望する就労形態（すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい）

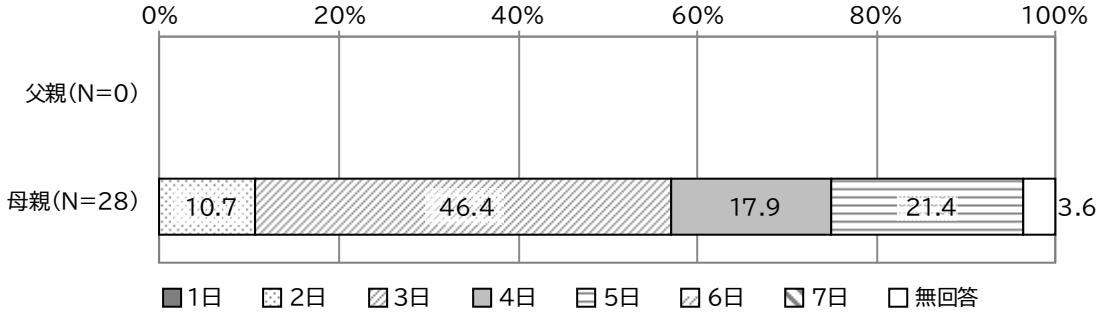
父親は「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」が１件となっている。

母親は「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）」が 82.4%、「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）」が 17.6%となっている。



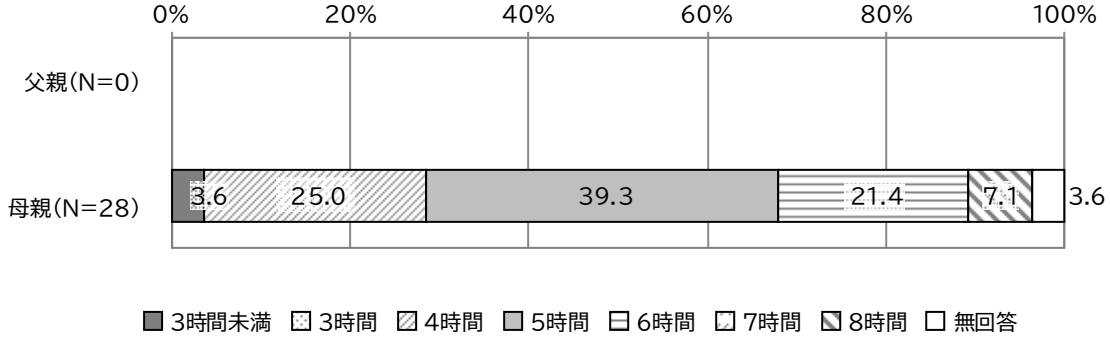
ア　１週あたりの就労日数

母親は「３日」が 46.4%と最も多く、次いで「５日」が 21.4%、「４日」が 17.9%となっている。



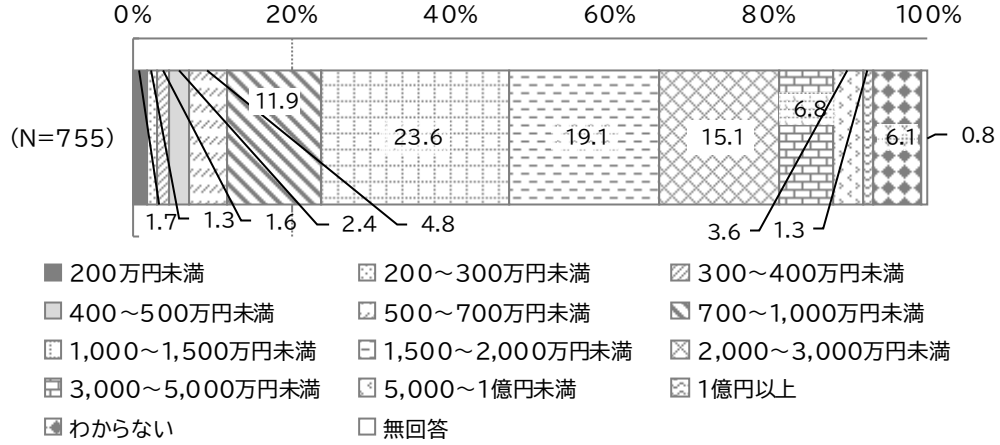
イ　１日あたりの就労時間

母親は「５時間」が 39.3%と最も多く、次いで「４時間」が 25.0%、「６時間」が 21.4%となっている。



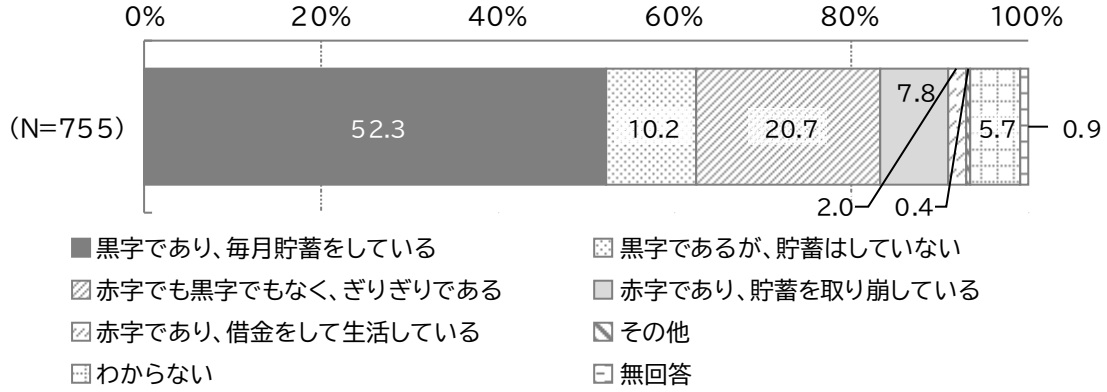
問 18　宛名のお子さんの世帯全体の年収（税込）は、おおよそどれくらいですか。仕事による収入と仕事外の収入を合わせてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

「1,000～1,500 万円未満」が 23.6%と最も多く、次いで「1,500～2,000 万円未満」が 19.1%、「2,000～3,000 万円未満」が 15.1%となっている。



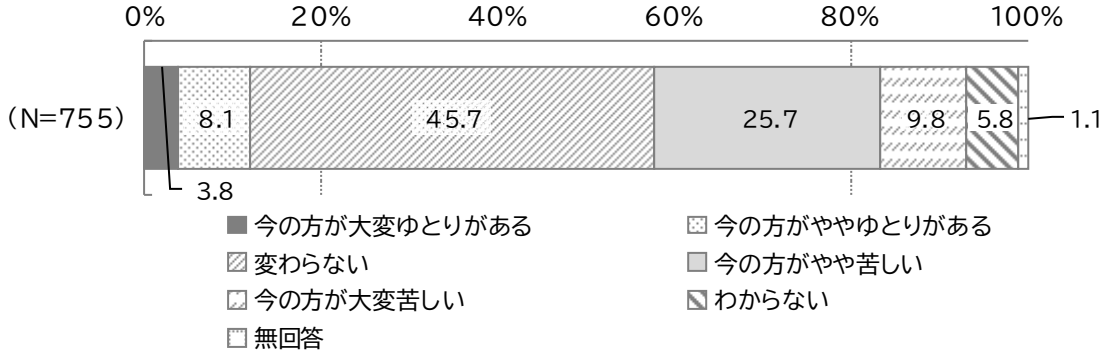
問 19　現在の家計について、最も近いものをお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が 52.3%と最も多く、次いで「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が 20.7%、「黒字であるが、貯蓄はしていない」が 10.2%となっている。



問 20　現在の家計について、新型コロナウイルス感染拡大前の 2020 年 1 月頃と比べて、どう感じていますか。（あてはまる番号ひとつに○）

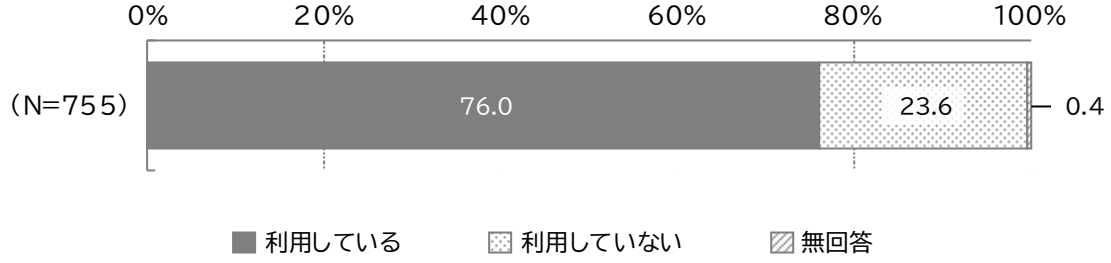
「変わらない」が 45.7%と最も多く、次いで「今の方がやや苦しい」が 25.7%、「今の方が大変苦しい」が 9.8%となっている。



（５）平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 21　宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。（あてはまる番号ひとつに○）

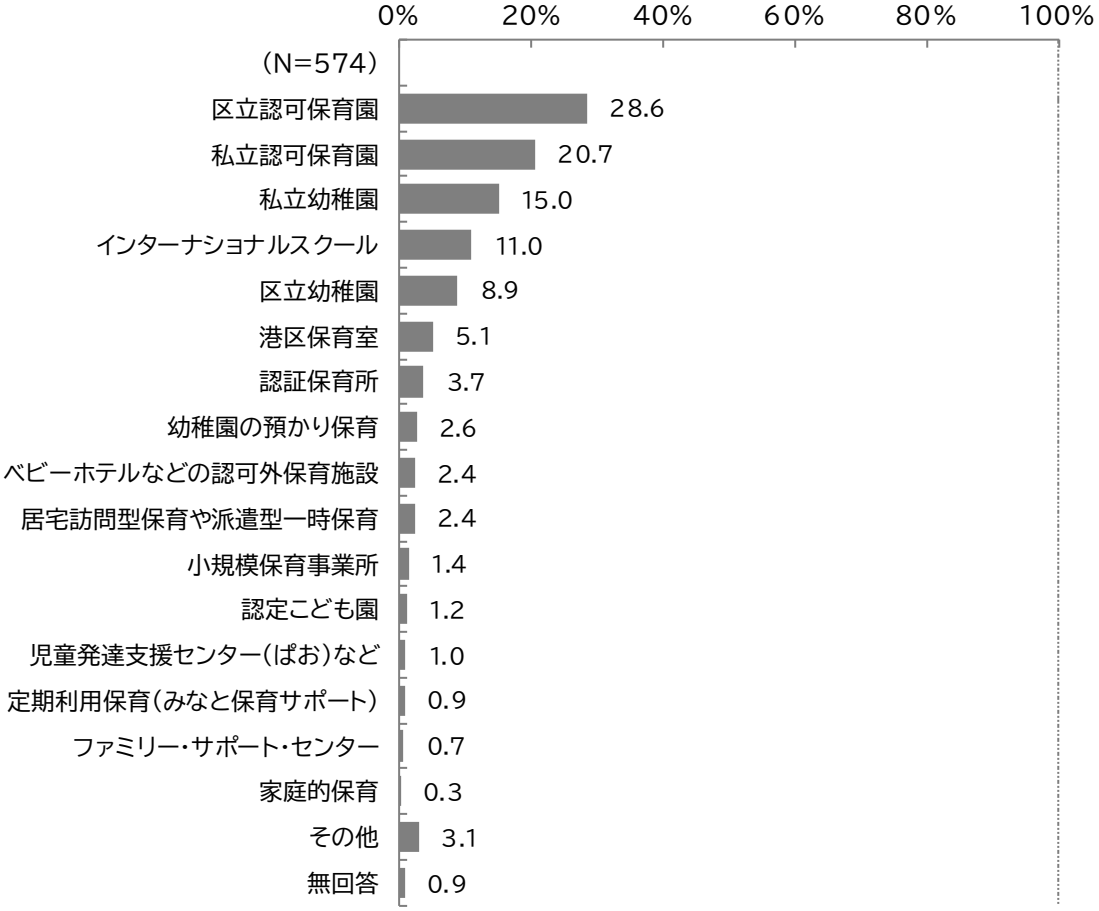
「利用している」が 76.0%、「利用していない」が 23.6%となっている。



問 21-1　問 21 で「１．利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような定期的な教育・保育を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業について、あてはまる番号すべてに○をつけ、「１.区立幼稚園」～「11.インターナショナルスクール」に○をつけた方は、施設名を（　　）内にご記入ください。また、○をつけた事業について、現在の利用状況と本来利用したい希望時間等を（　　）内に数字でご記入ください。（時間は 24 時間制でお答えください）

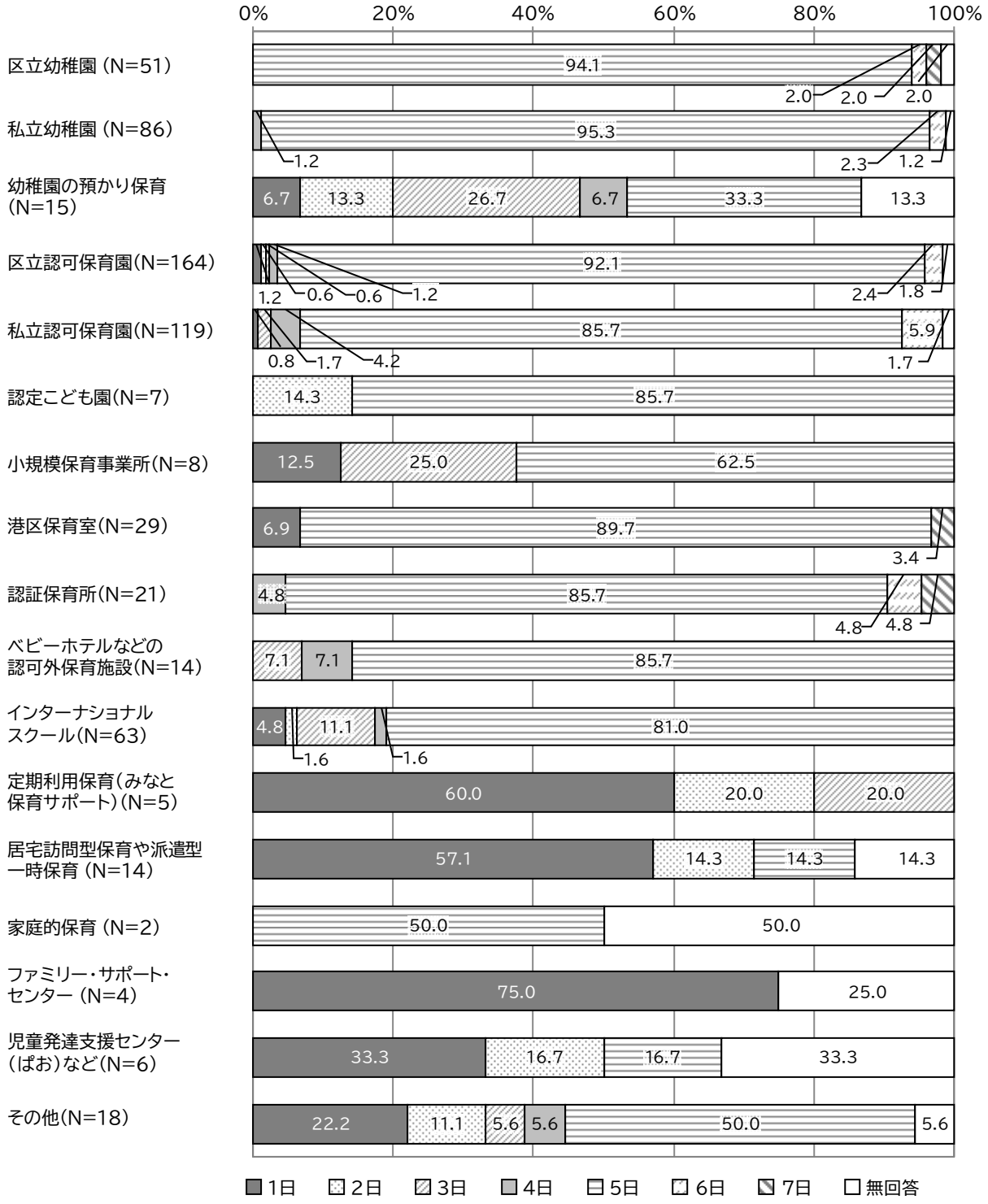
「区立認可保育園」が 28.6%と最も多く、次いで「私立認可保育園」が 20.7%、「私立幼稚園」が 15.0%となっている。



①現在

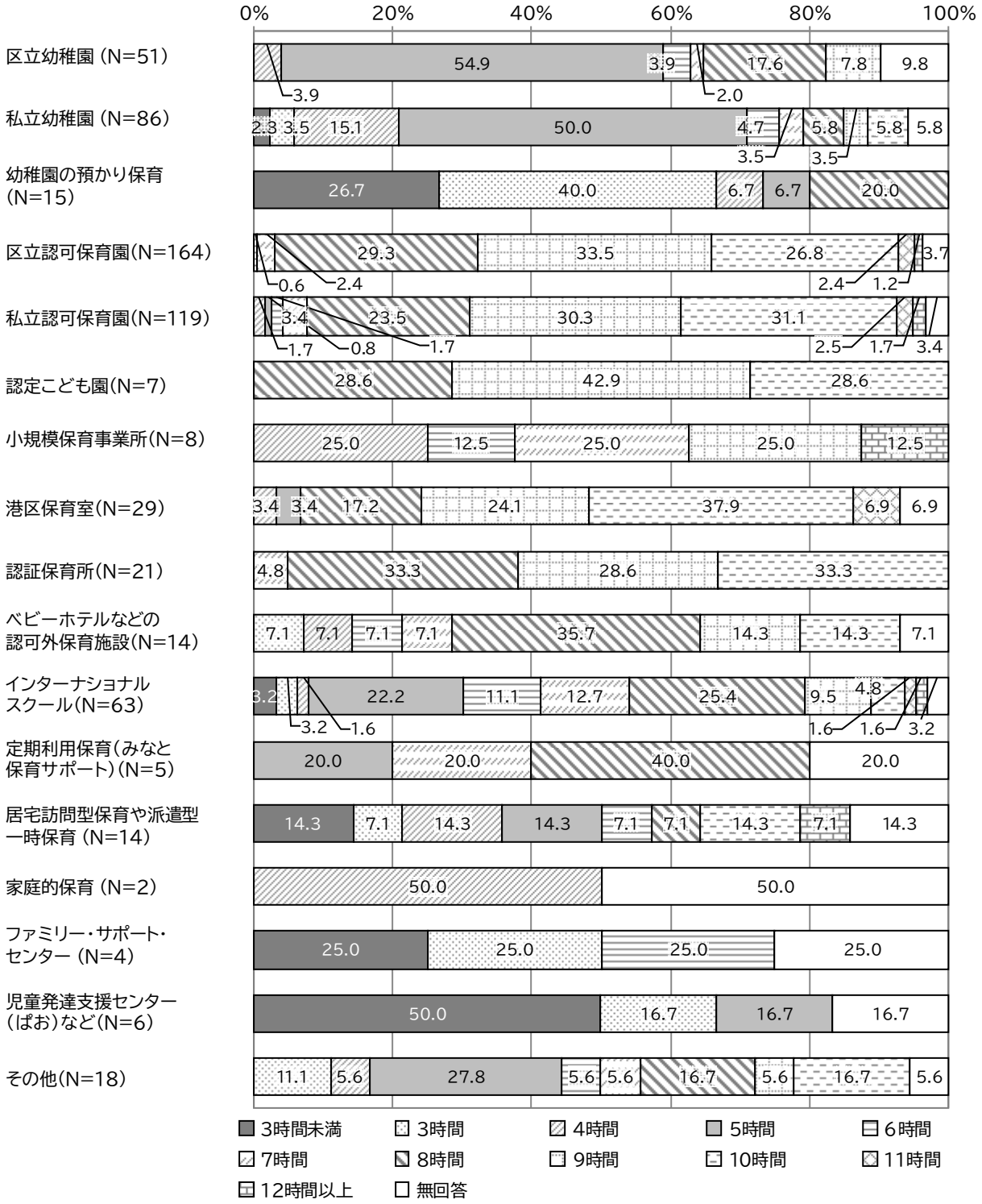
ア　１週あたりの利用日数

“区立幼稚園”“私立幼稚園”“幼稚園の預かり保育”“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“小規模保育事業所”“港区保育室”“認証保育所”“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”は「５日」、“定期利用保育（みなと保育サポート）”“居宅訪問型保育や派遣型一時保育”“ファミリー・サポート・センター”“児童発達支援センター（ぱお）など”は「１日」が最も多くなっている。



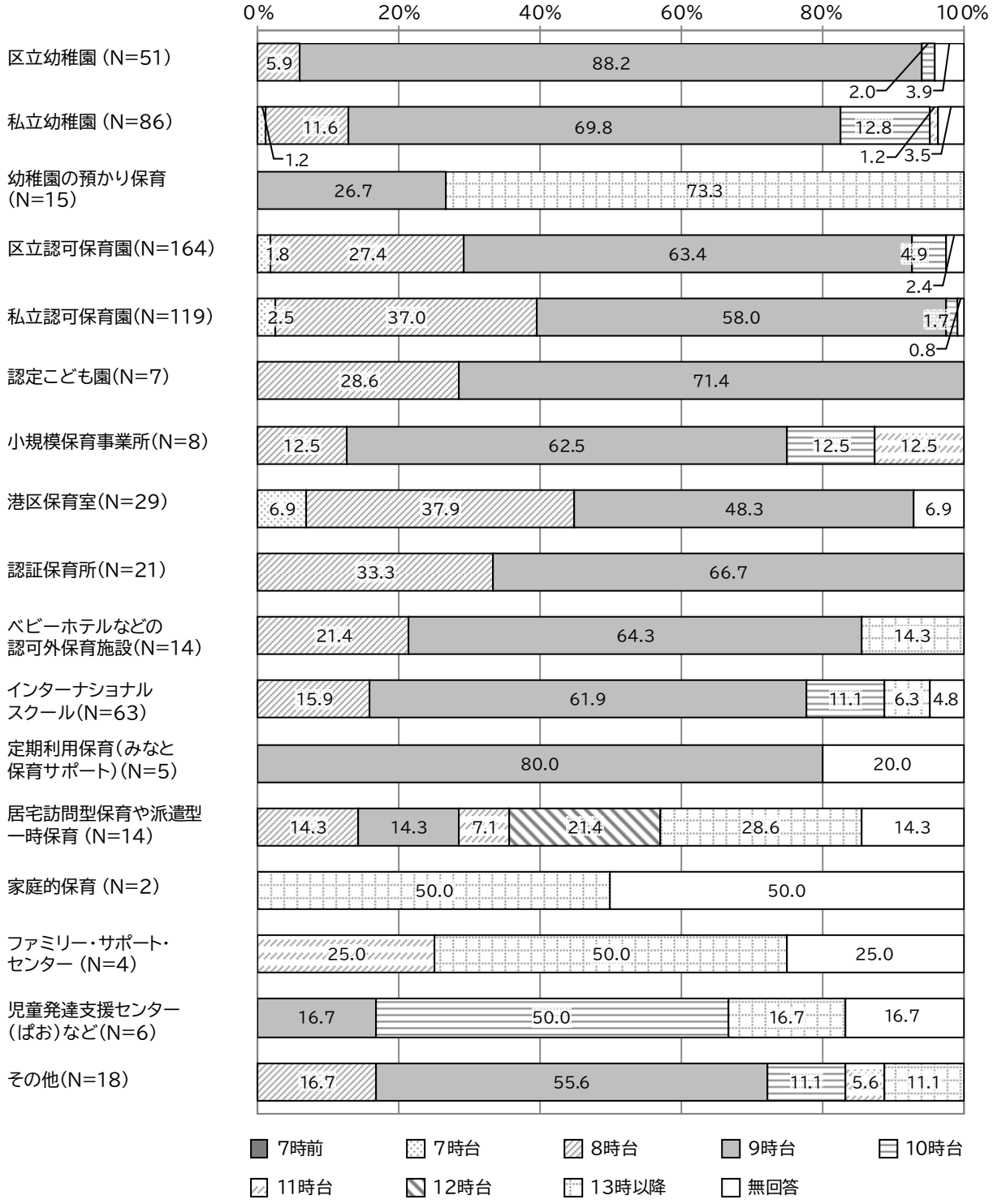
イ　１日あたりの利用時間

“区立幼稚園”“私立幼稚園”は「５時間」、“幼稚園の預かり保育”は「３時間」、“区立認可保育園”“認定こども園”は「９時間」、“私立認可保育園”“港区保育室”は「10 時間」、“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”“定期利用保育（みなと保育サポート）”は「８時間」、“児童発達支援センター（ぱお）など”は「３時間未満」が最も多くなっている。



ウ　開始時刻

“区立幼稚園”“私立幼稚園”“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“小規模保育事業所”“港区保育室”“認証保育所”“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”“定期利用保育（みなと保育サポート）”は「９時台」、“幼稚園の預かり保育”“居宅訪問型保育や派遣型一時保育”“ファミリー・サポート・センター”は「13 時以降」、“児童発達支援センター（ぱお）など”は「10 時台」が最も多くなっている。



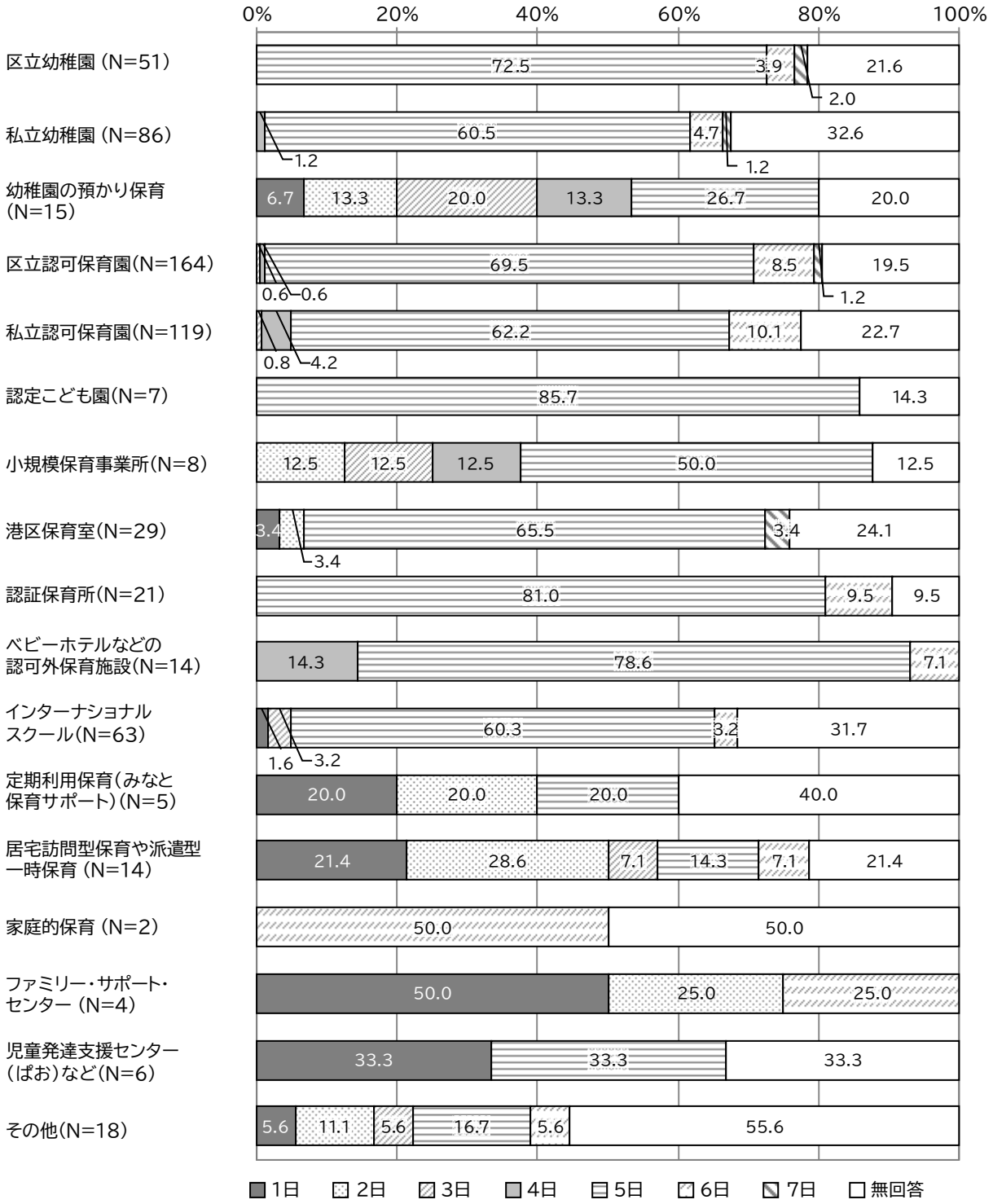
エ　終了時刻

“区立幼稚園”“私立幼稚園”は「14 時台」、“幼稚園の預かり保育”“定期利用保育（みなと保育サポート）”“居宅訪問型保育や派遣型一時保育”は「17 時台」、“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“港区保育室”“認証保育所”“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”は「18 時台」、“児童発達支援センター（ぱお）など”は「13 時前」が最も多くなっている。

②希望

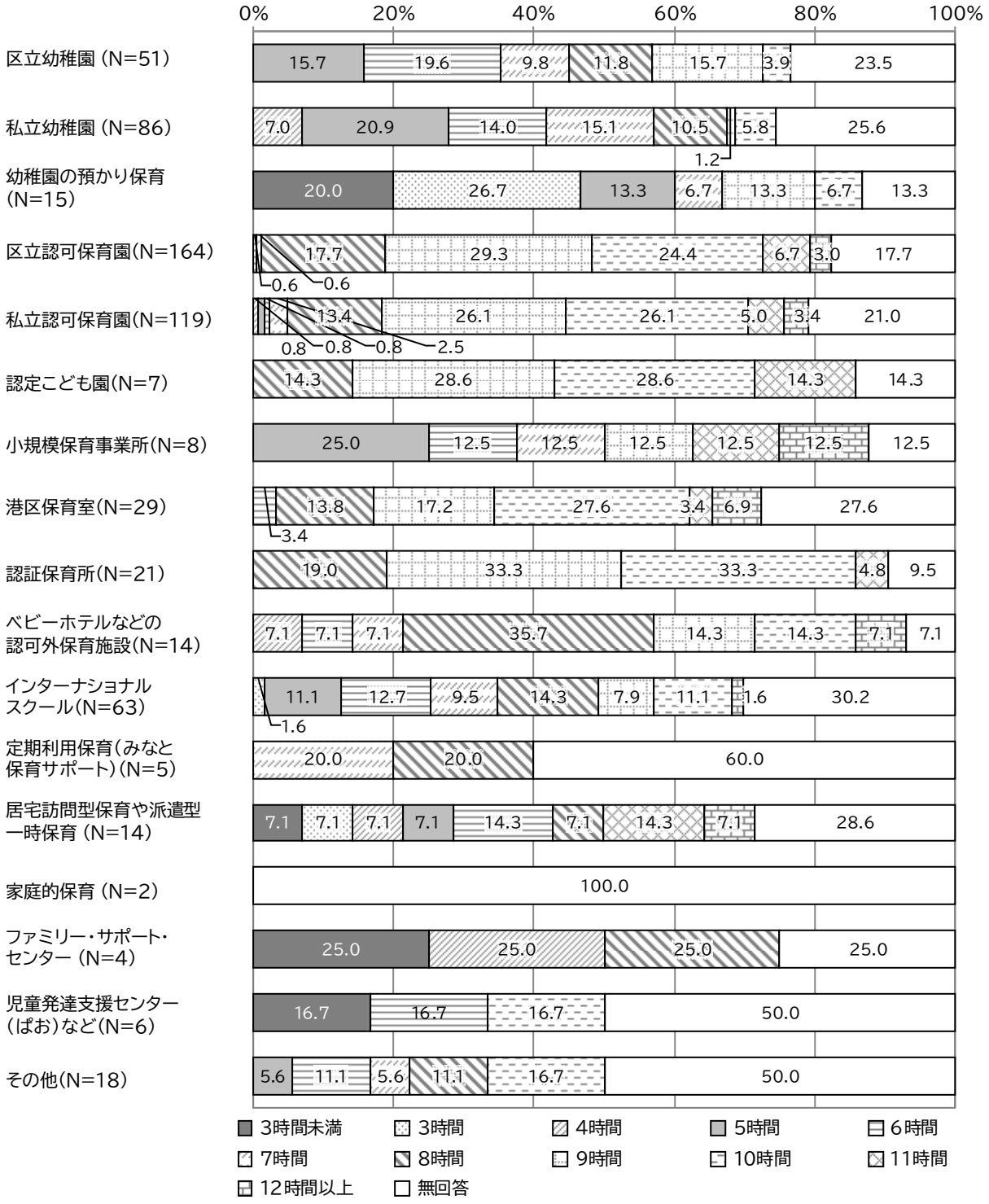
ア　１週あたりの利用日数

“区立幼稚園”“私立幼稚園”“幼稚園の預かり保育”“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“小規模保育事業所”“港区保育室”“認証保育所”“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”は「５日」、“居宅訪問型保育や派遣型一時保育”は「２日」、“ファミリー・サポート・センター”は「１日」が最も多くなっている。



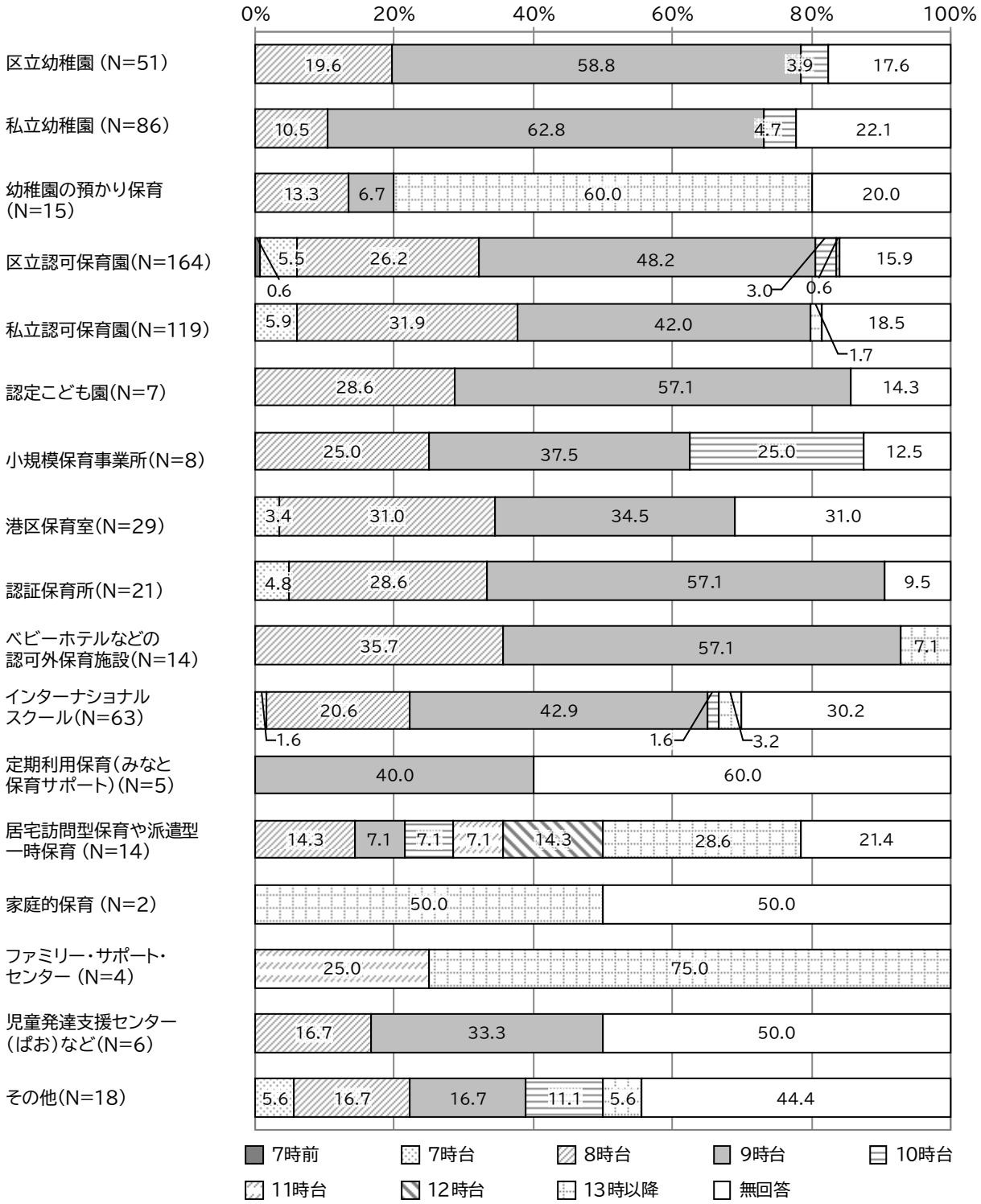
イ　１日あたりの利用時間

“区立幼稚園”は「６時間」、“私立幼稚園”“小規模保育事業所”は「５時間」、“幼稚園の預かり保育”は「３時間」、“区立認可保育園”は「９時間」、“私立認可保育園”“認定こども園”“認証保育所”は「９時間」「10 時間」、“港区保育室”は「10 時間」、“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”は「８時間」が最も多くなっている。



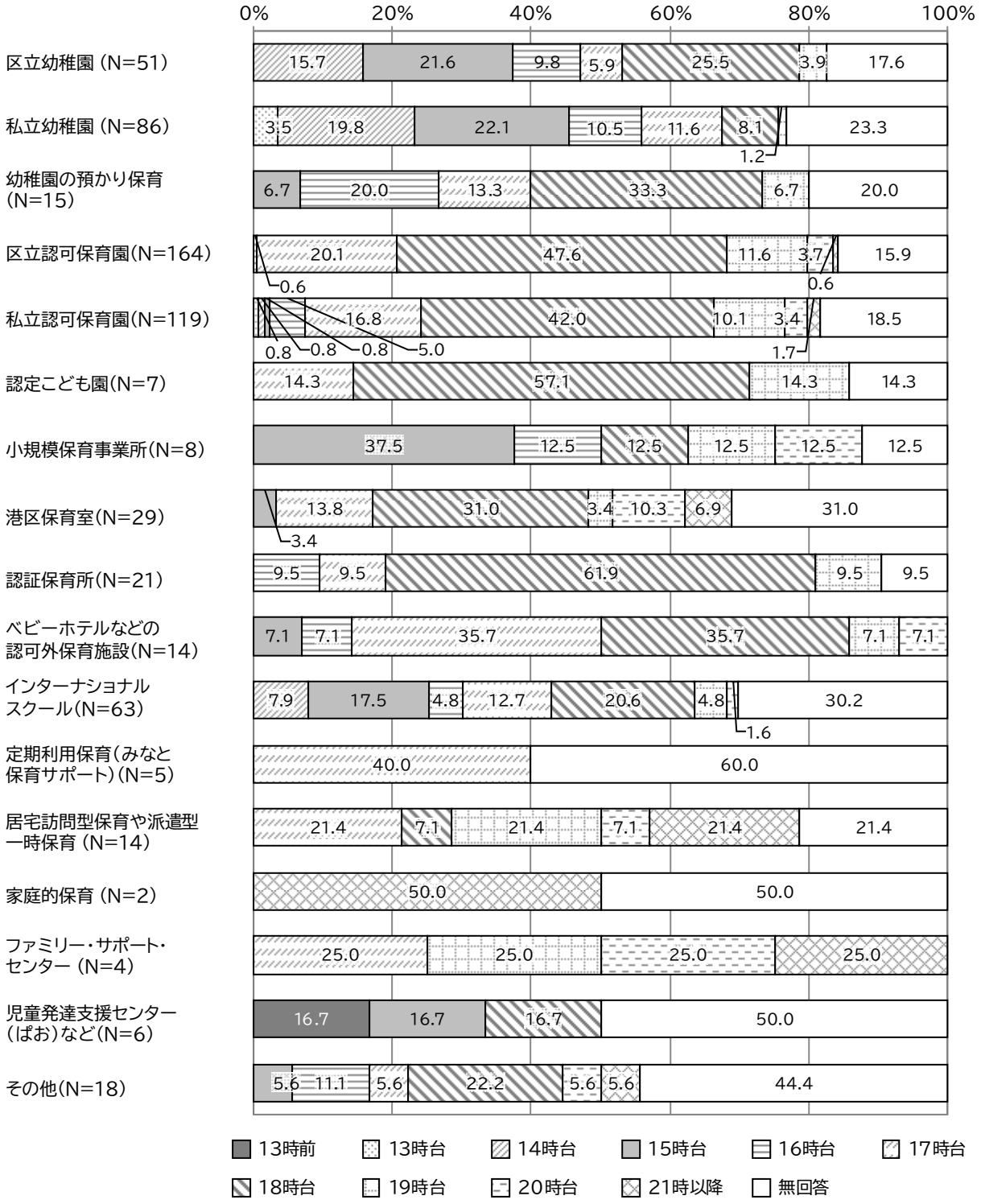
ウ　開始時刻

“区立幼稚園”“私立幼稚園”“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“小規模保育事業所”“港区保育室”“認証保育所”“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”“定期利用保育（みなと保育サポート）”“児童発達支援センター（ぱお）など”は「９時間」、“幼稚園の預かり保育”“居宅訪問型保育や派遣型一時保育”は「13 時以降」が最も多くなっている。



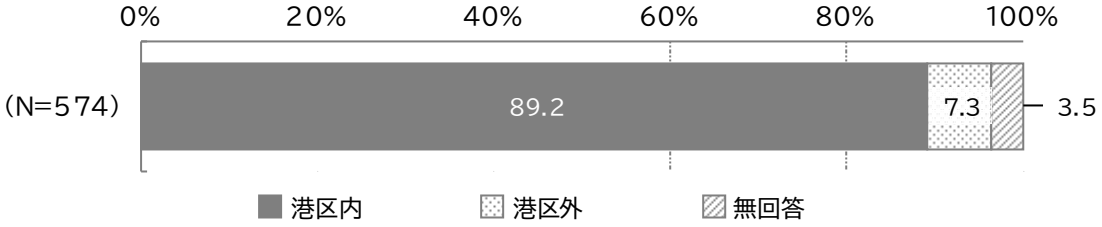
エ　終了時刻

“区立幼稚園”“幼稚園の預かり保育”“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“港区保育室”“認証保育所”“インターナショナルスクール”は「18 時台」、“私立幼稚園”“小規模保育事業所”は「15 時台」、“ベビーホテルなどの認可外保育施設”は「17 時台」「18 時台」、“定期利用保育（みなと保育サポート）”は「17 時台」が最も多くなっている。



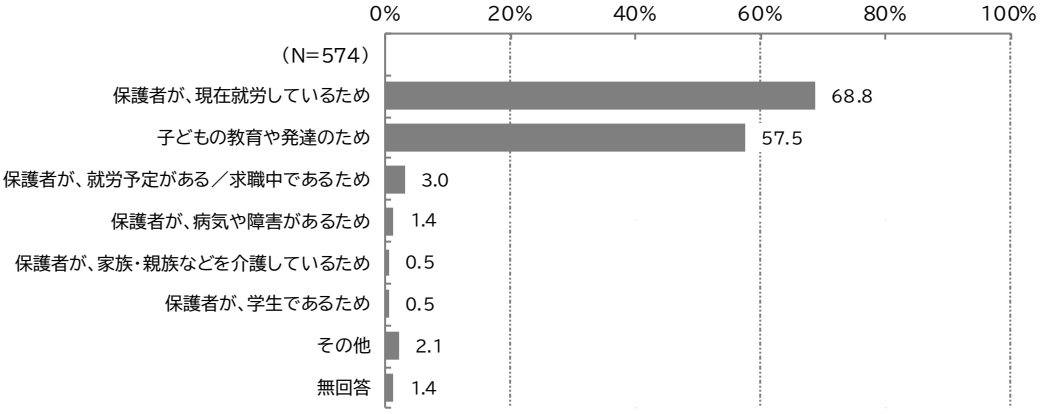
問 21-2　問 21 で「1．利用している」に○をつけた方にうかがいます。
現在利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。（あてはまる番号ひとつに○）

「港区内」が 89.2%、「港区外」が 7.3%となっている。



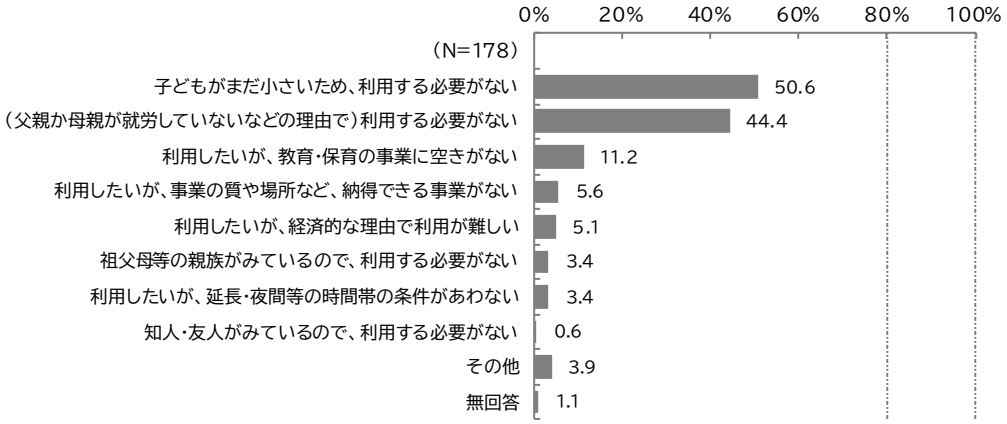
問 21-3　問 21 で「1．利用している」に○をつけた方にうかがいます。
定期的な教育・保育事業を利用されている主な理由はどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

「保護者が、現在就労しているため」が 68.8%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 57.5%、「保護者が、就労予定がある／求職中であるため」が 3.0%となっている。



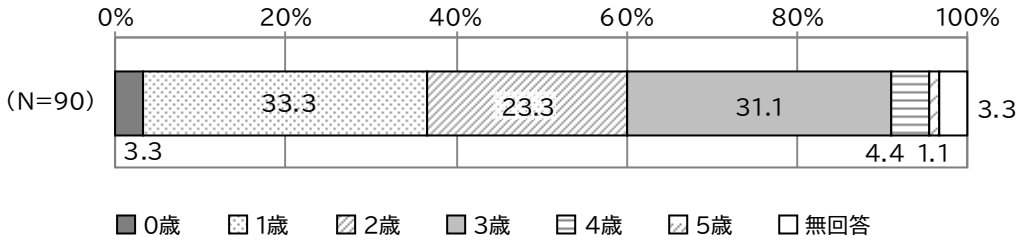
問 21-4　問 21 で「2．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「子どもがまだ小さいため、利用する必要がない」が 50.6%と最も多く、次いで「（父親か母親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない」が 44.4%、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」が 11.2%となっている。



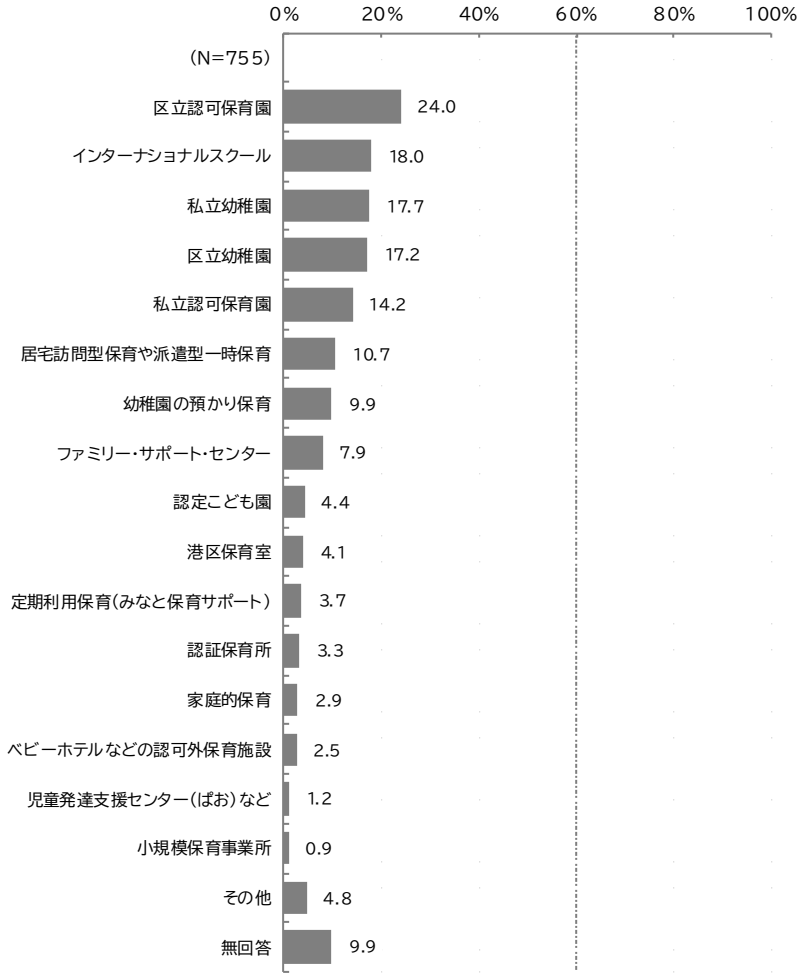
①子どもの年齢（(　）歳くらいになったら利用しようと考えている）

問 21-４で「子どもがまだ小さいため、利用する必要がない」と回答した人の利用希望年齢は「1歳」が 33.3%と最も多く、次いで「３歳」が 31.1%、「２歳」が 23.3%となっている。



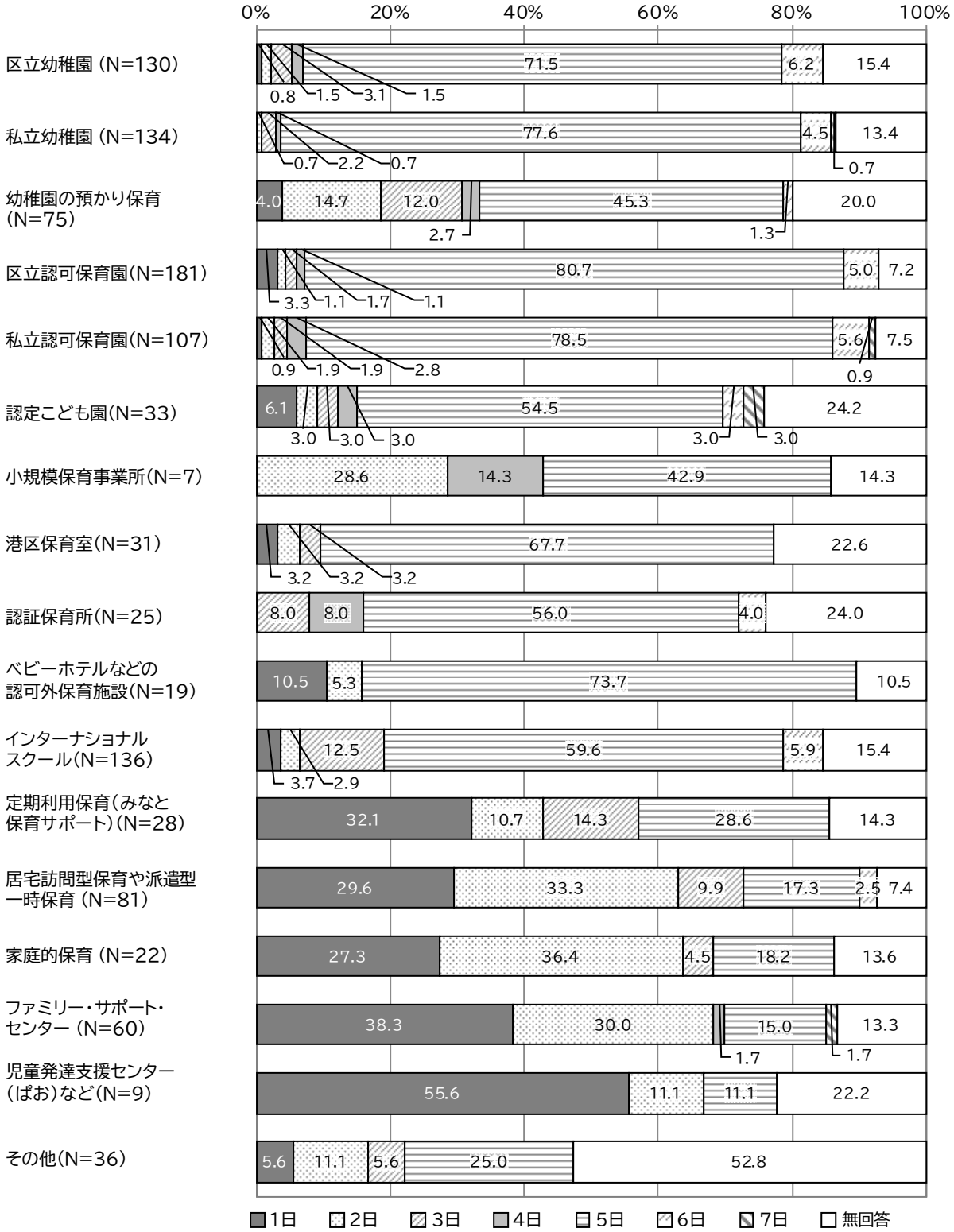
問 22　現在、利用している、利用していないに関わらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、あてはまる番号すべてに○をつけ、「１.区立幼稚園」～「11.インターナショナルスクール」に○をつけた方は、施設名を（　　）内にご記入ください。また、○をつけた事業について、希望時間等を（　　）内に数字でご記入ください。(時間は 24 時間制でお答えください)

「区立認可保育園」が 24.0%と最も多く、次いで「インターナショナルスクール」が 18.0%、「私立幼稚園」が 17.7%となっている。



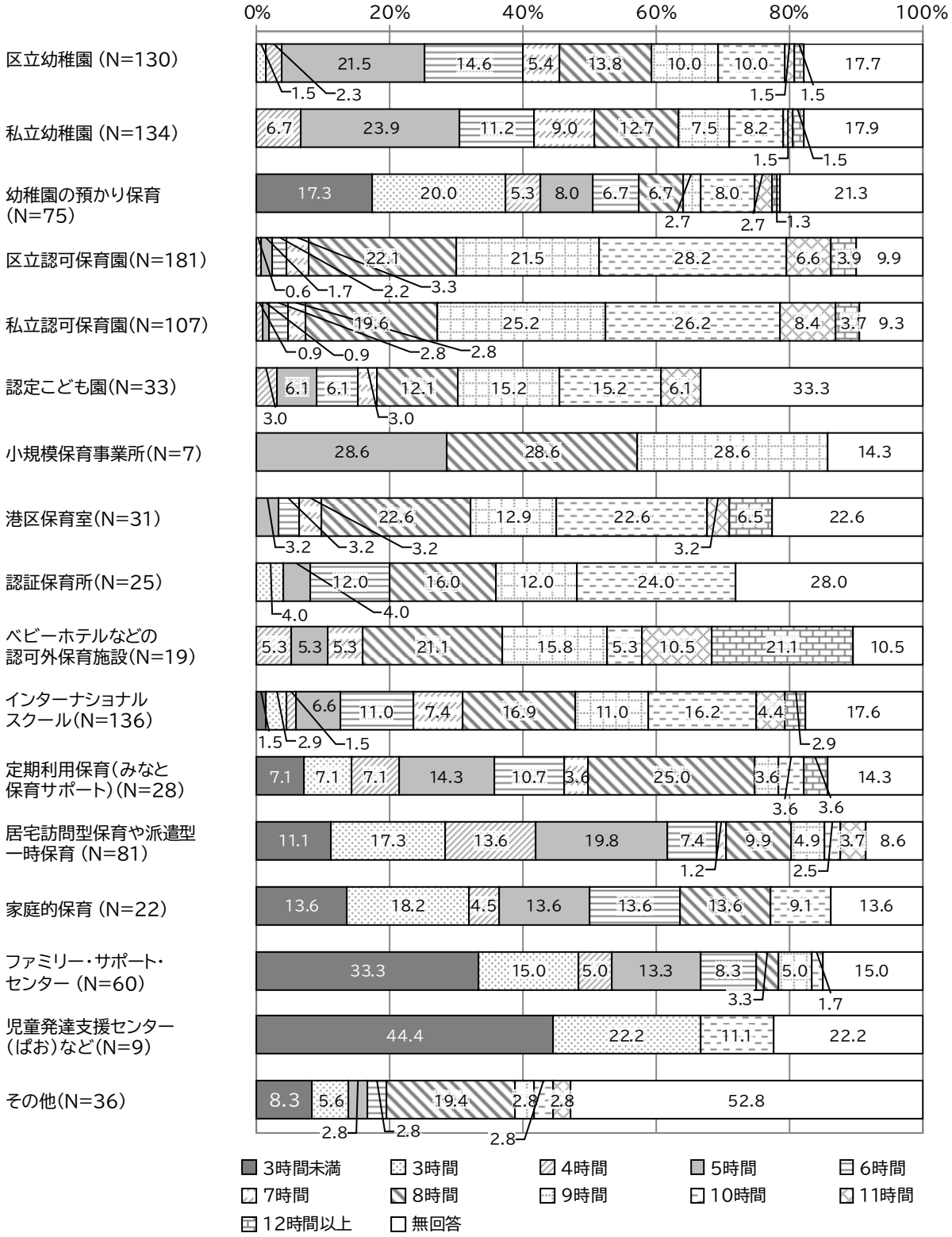
ア　１週あたりの利用希望日数

“区立幼稚園”“私立幼稚園”“幼稚園の預かり保育”“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“小規模保育事業所”“港区保育室”“認証保育所”“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”は「５日」、“定期利用保育（みなと保育サポート）”“ファミリー・サポート・センター”“児童発達支援センター（ぱお）など”は「１日」、“居宅訪問型保育や派遣型一時保育”“家庭的保育”は「２日」が最も多くなっている。



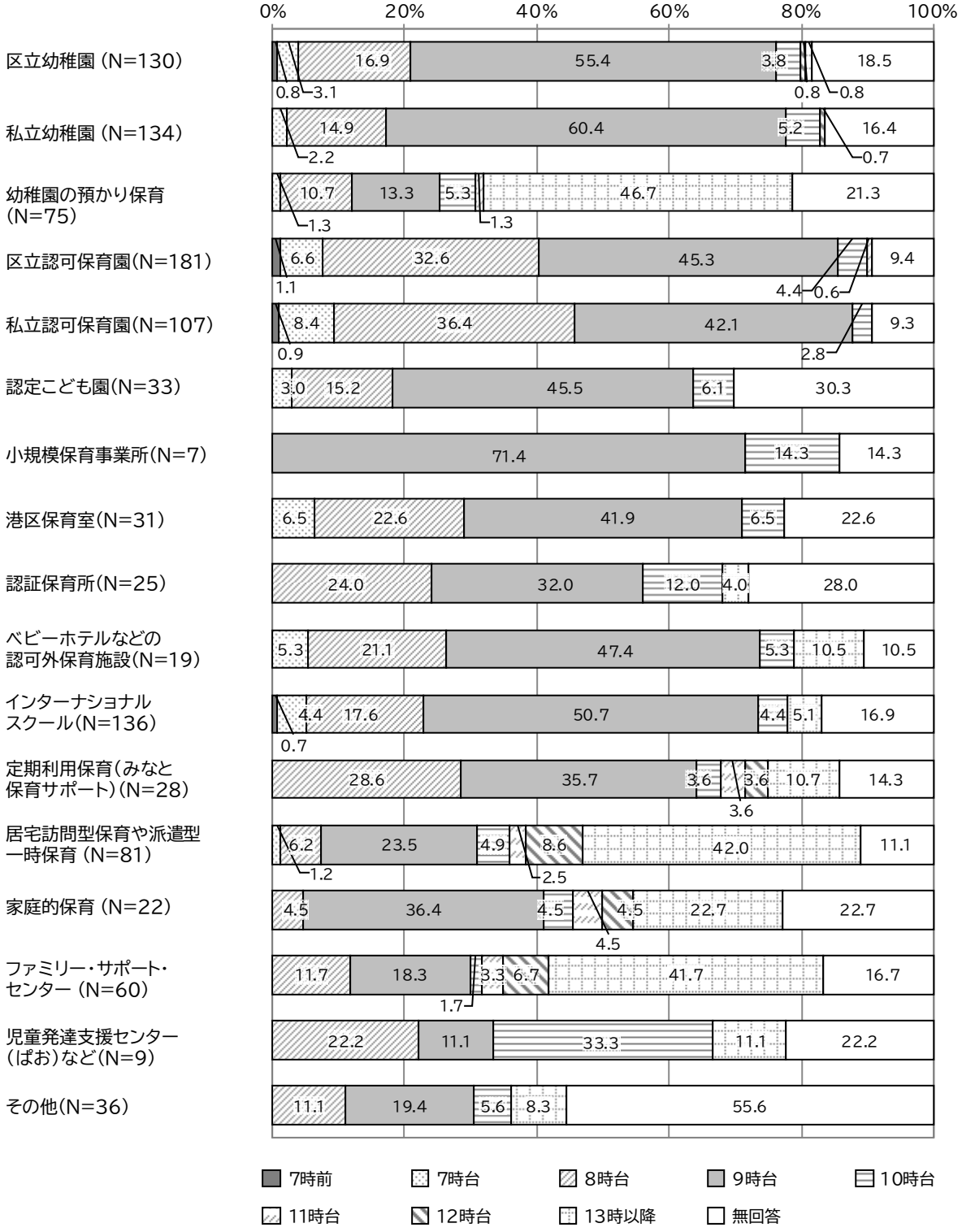
イ　１日あたりの利用希望時間

“区立幼稚園”“私立幼稚園”“居宅訪問型保育や派遣型一時保育”は「５時間」、“幼稚園の預かり保育”“家庭的保育”は「３時間」、“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認証保育所”は「10 時間」、“インターナショナルスクール”“定期利用保育（みなと保育サポート）”は「８時間」、“ファミリー・サポート・センター”“児童発達支援センター（ぱお）など”は「３時間未満」が最も多くなっている。



ウ　開始希望時刻

“区立幼稚園”“私立幼稚園”“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“小規模保育事業所”“港区保育室”“認証保育所”“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”“定期利用保育（みなと保育サポート）”“家庭的保育”は「９時台」、“幼稚園の預かり保育”“居宅訪問型保育や派遣型一時保育”“ファミリー・サポート・センター”は「13 時以降」、“児童発達支援センター（ぱお）など”は「10 時台」が最も多くなっている。

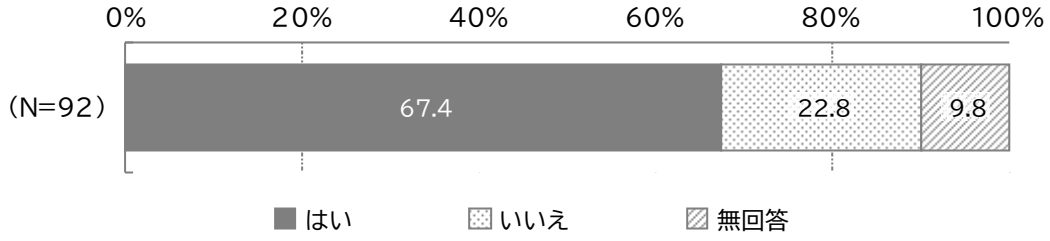


エ　終了希望時刻

“区立幼稚園”“私立幼稚園”は「14 時台」、“幼稚園の預かり保育”“定期利用保育（みなと保育サポート）”“居宅訪問型保育や派遣型一時保育”は「17 時台」、“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“港区保育室”“認証保育所”“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”は「18 時台」、“児童発達支援センター（ぱお）など”は「13 時前」が最も多くなっている。

問 22-1　問 22 で「1.区立幼稚園」～「3.幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「4.区立認可保育園」～「17.その他」 にも○をつけた方にうかがいます。
○をつけた事業のうち、もっとも利用を希望するのは幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）ですか。（あてはまる番号ひとつに○）

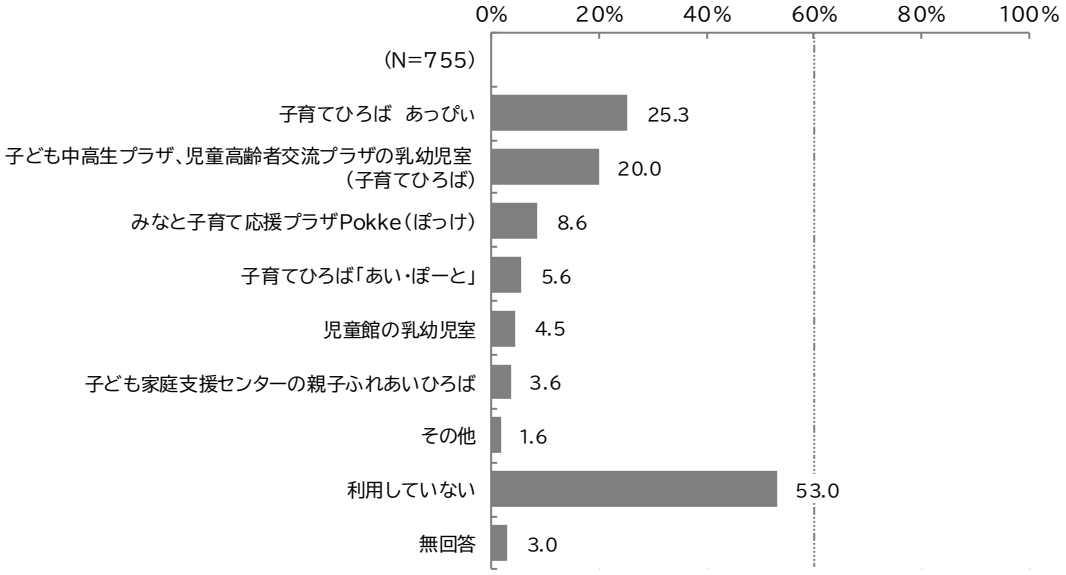
「はい」が 67.4%、「いいえ」が 22.8%となっている。



（6）地域の子育て支援事業の利用状況について

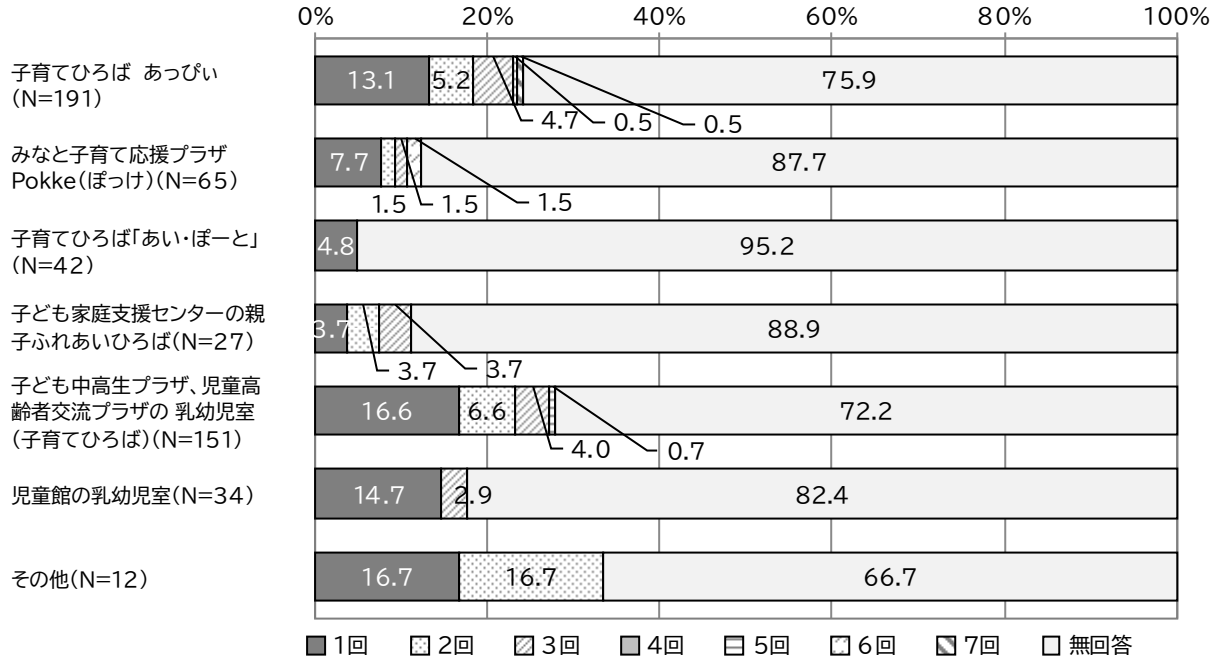
問 23　宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（子育てひろば：親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする以下のような事業）などを利用していますか。
利用している事業について、あてはまる番号すべてに○をつけ、「1.子育てひろば　あっぴぃ」または「5.子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザの乳幼児室（子育てひろば)」に○をつけた方は、施設名を（　　）内にご記入ください。また、○をつけた事業について、おおよその利用回数を（　　）内に数字でご記入ください。

「利用していない」が 53.0%と最も多く、次いで「子育てひろば　あっぴぃ」が 25.3%、「子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザの乳幼児室（子育てひろば)」が 20.0%となっている。



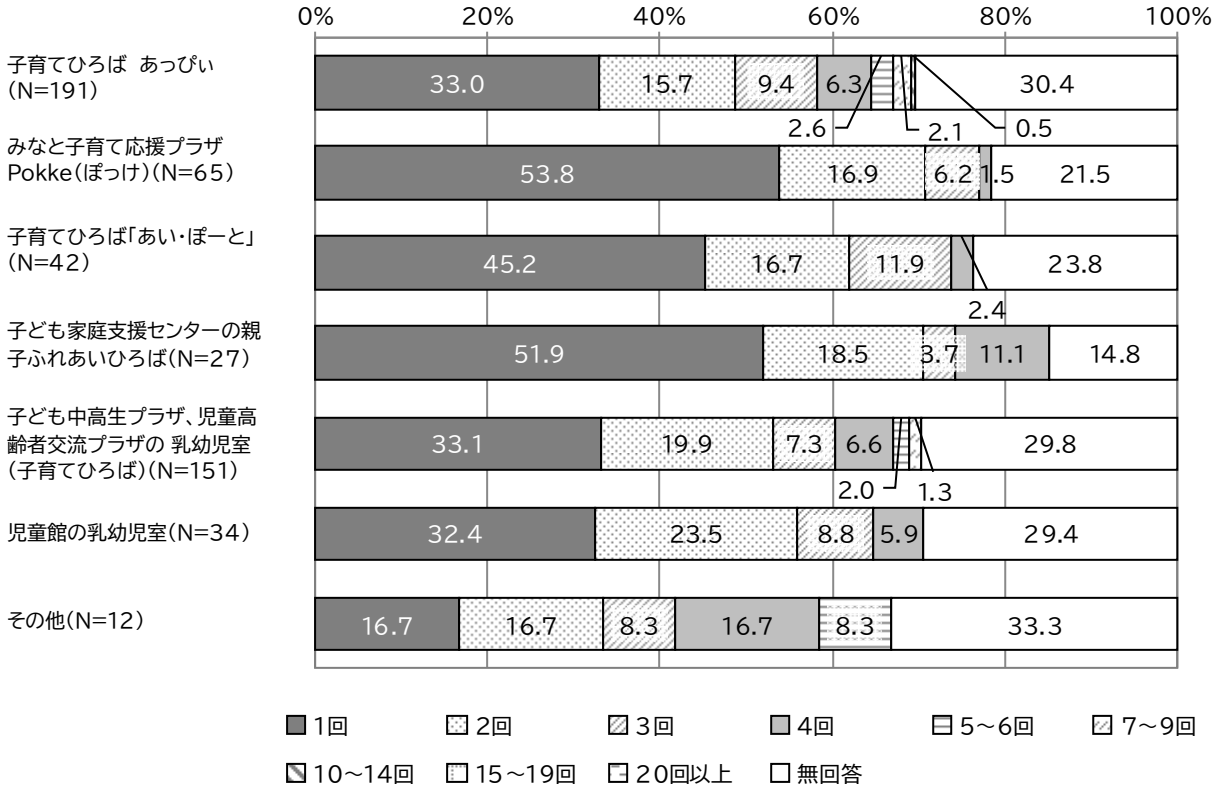
①１週あたりの利用回数

すべての事業で「１回」が最も多くなっている。“子ども家庭支援センターの親子ふれあいひろば”は「１回」「２回」「３回」がともに１件となっている。



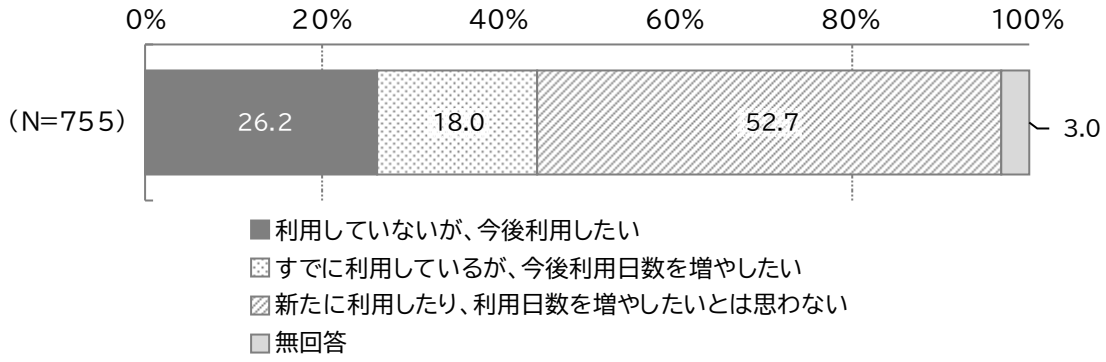
②１か月あたりの利用回数

すべての事業で「１回」が最も多くなっている。



問 24　問 23 のような地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向について、あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用希望回数を（　　）内に数字でご記入ください。

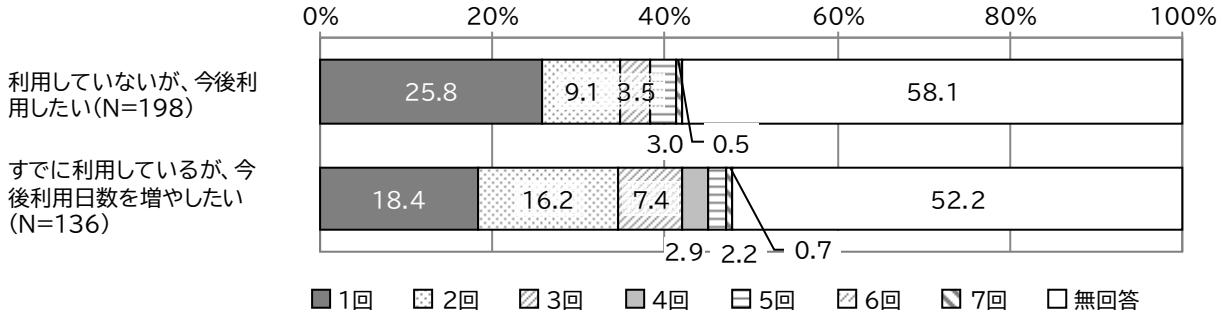
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 52.7%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 26.2%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 18.0%となっている。



①１週あたりの利用希望回数

“利用していないが、今後利用したい”は「１回」が 25.8%と最も多く、次いで「２回」が 9.1%、「３回」が 3.5%となっている。

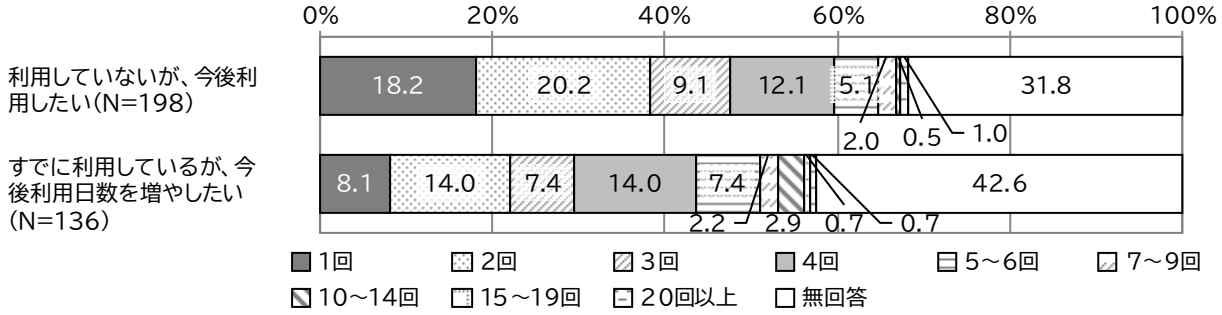
“すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい”は「１回」が 18.4%と最も多く、次いで「２回」が 16.2%、「３回」が 7.4%となっている。



②１か月あたりの利用希望回数

“利用していないが、今後利用したい”は「２回」が 20.2%と最も多く、次いで「１回」が 18.2%、「４回」が 12.1%となっている。

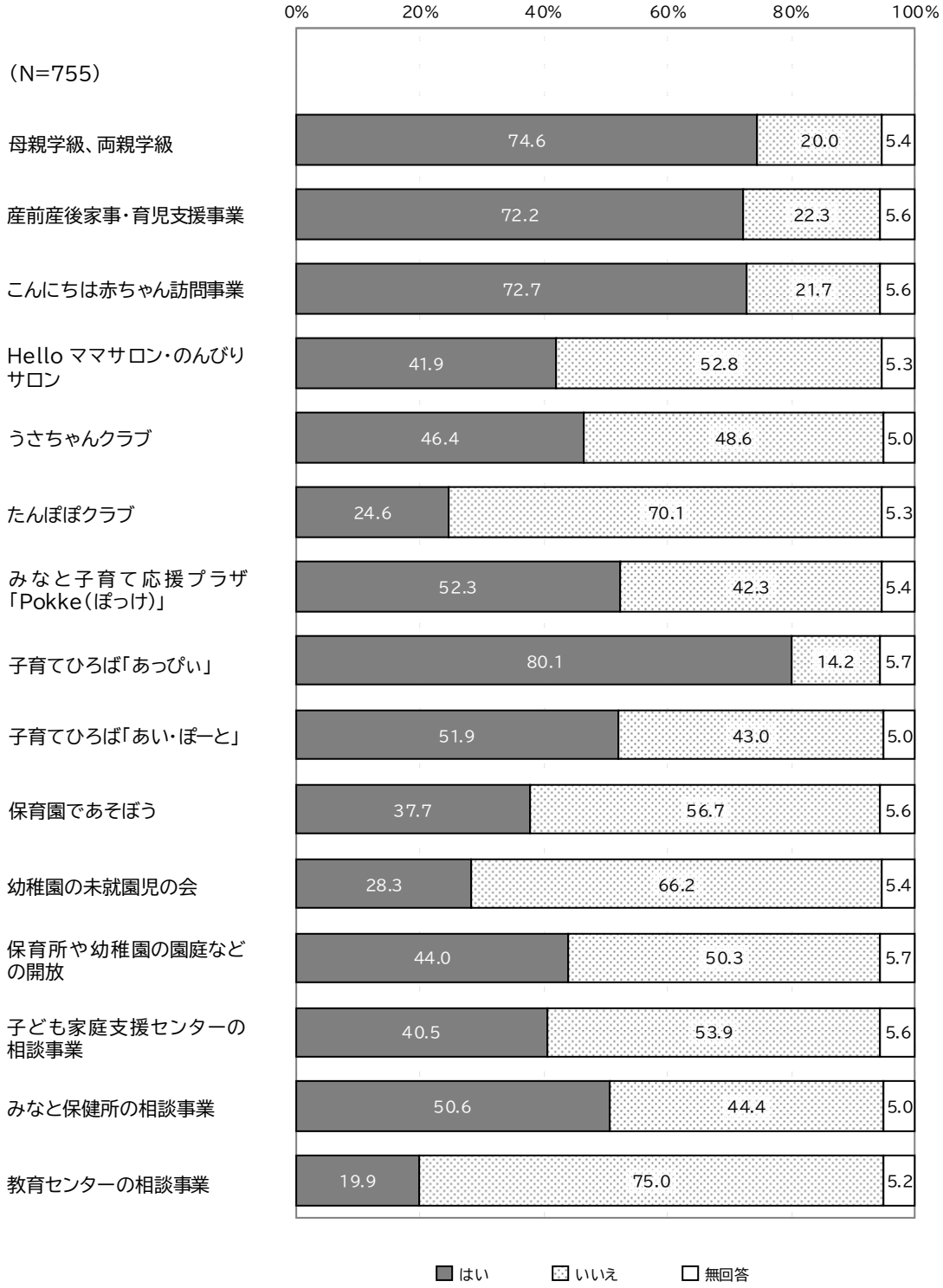
“すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい”は「２回」「４回」がともに 14.0%と最も多く、次いで「１回」が 8.1%となっている。



問 25　下の事業等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに、「知っている」「これまでに利用したことがある」「今後利用したい」のそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

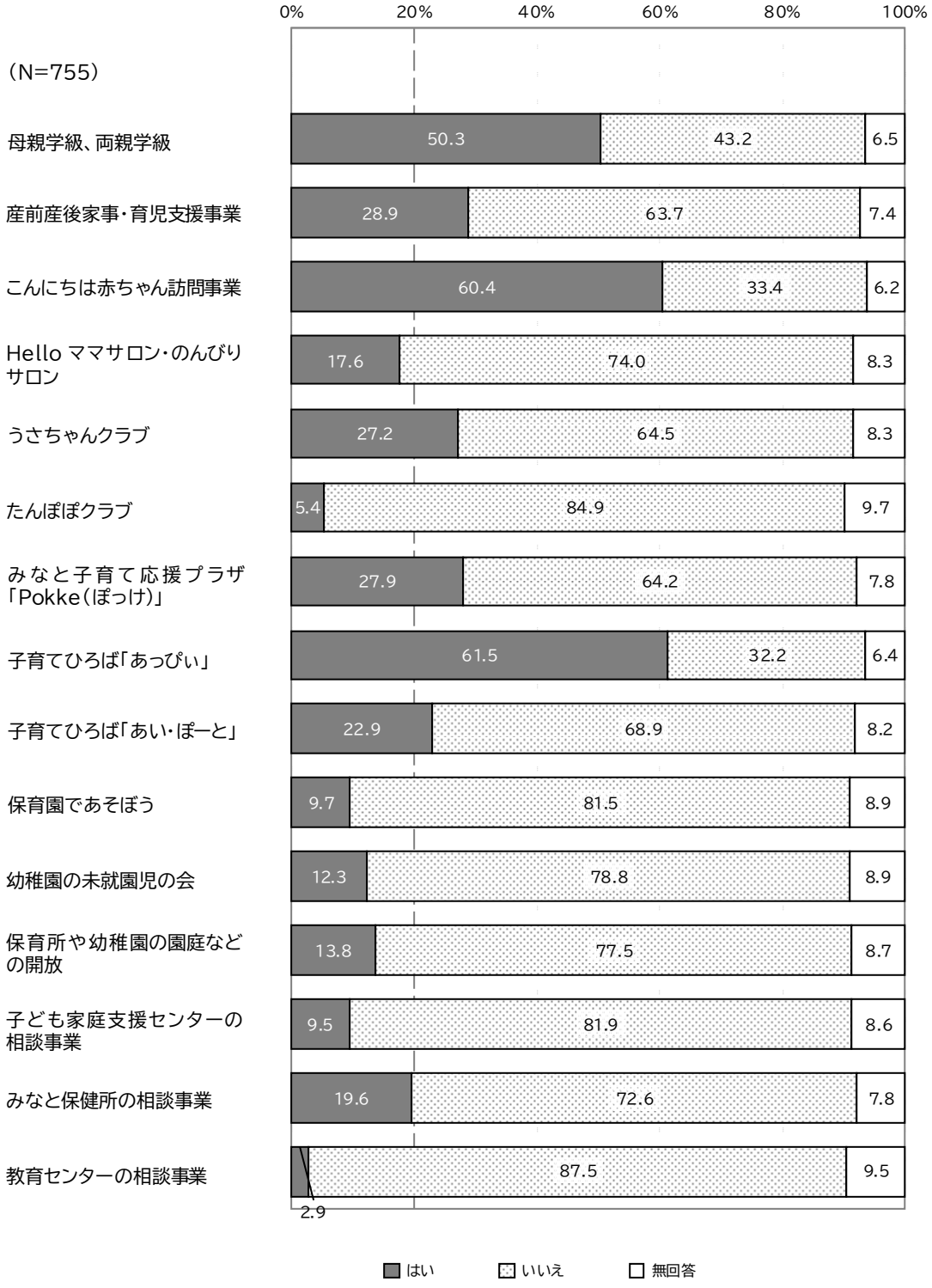
①知っている事業

「はい」と回答した割合は、“子育てひろば「あっぴぃ」”が 80.1%と最も多く、次いで“母親学級、両親学級”が 74.6%、“こんにちは赤ちゃん訪問事業”が 72.7%となっている。一方、“たんぽぽクラブ”“教育センターの相談事業”は認知度が約２割となっている。



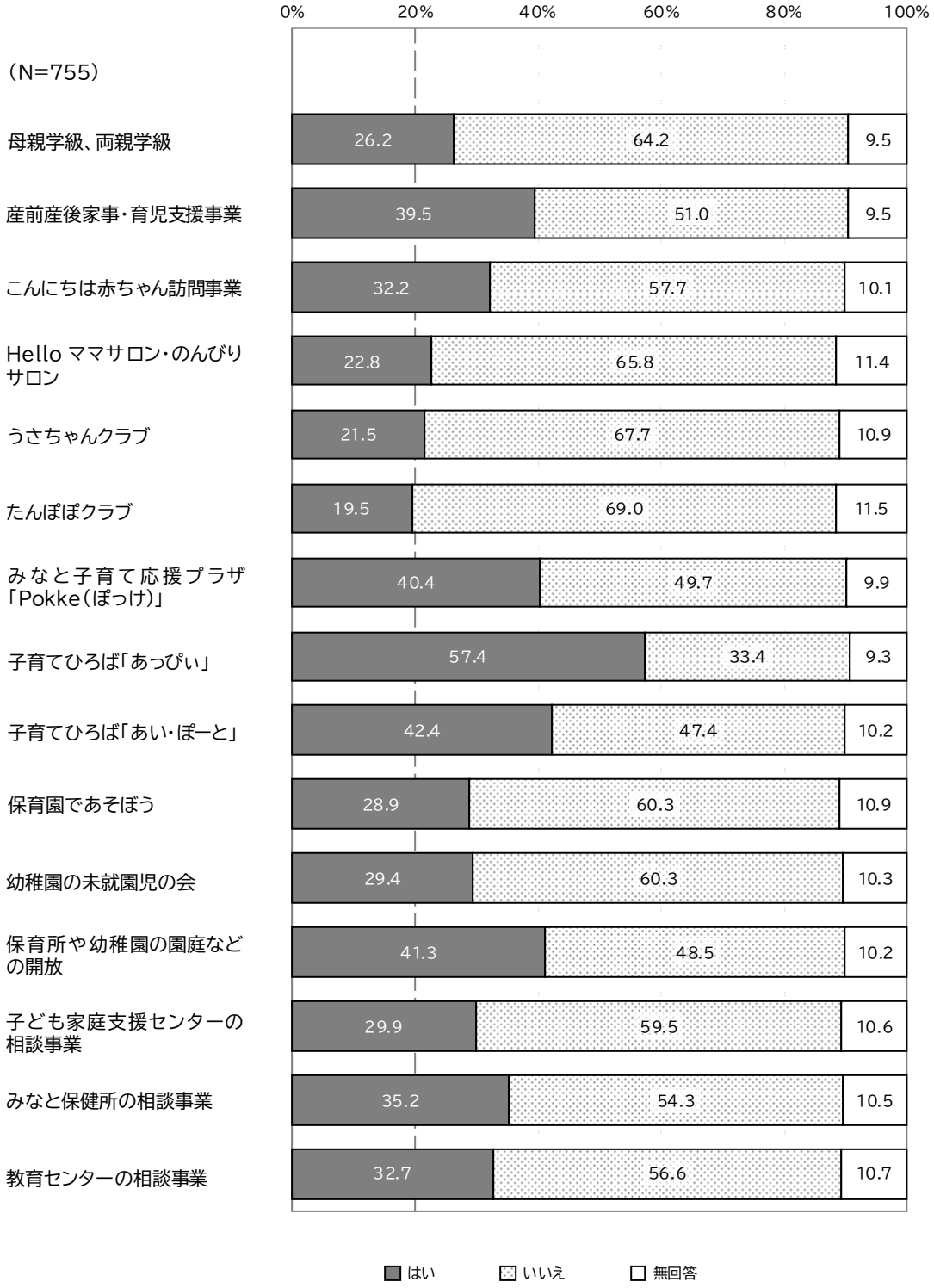
②これまでに利用したことがある事業

「はい」と回答した割合は、“子育てひろば「あっぴぃ」”が 61.5%と最も多く、次いで“こんにちは赤ちゃん訪問事業”が 60.4%、“母親学級、両親学級”が 50.3%となっている。一方、多くの事業で「いいえ」が多く、おおむね３割未満の利用となっている。



③今後利用したい事業

「はい」と回答した割合は、“子育てひろば「あっぴぃ」”が 57.4%と最も多く、次いで“子育てひろば「あい・ぽーと」”が 42.4%、“保育所や幼稚園の園庭などの開放”が 41.3%となっている。一方、“Hello ママサロン・のんびりサロン”“うさちゃんクラブ”“たんぽぽクラブ”は利用意向が約２割となっている。

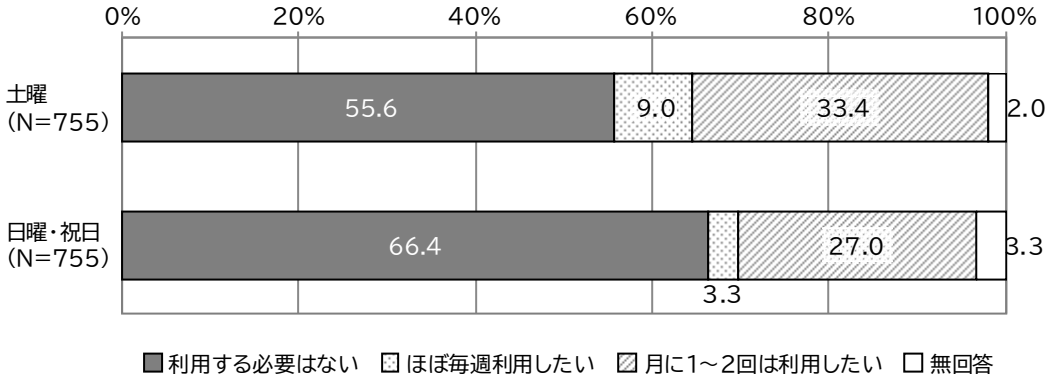


（７）土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について

問 26　宛名のお子さんについて、土曜と日曜・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）
希望がある場合は、利用したい時間帯を（　　）内に数字でご記入ください。

土曜は「利用する必要はない」が 55.6％と最も多く、次いで「月に１～２回は利用したい」が 33.4％、「ほぼ毎週利用したい」が 9.0％となっている。

日曜・祝日は「利用する必要はない」が 66.4％と最も多く、次いで「月に１～２回は利用したい」が 27.0％、「ほぼ毎週利用したい」が 3.3％となっている。

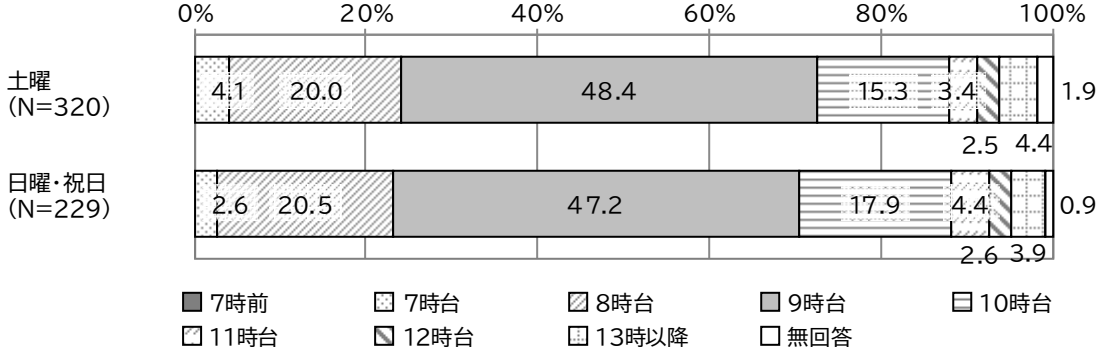


①利用したい時間帯

ア　開始時刻

土曜は「９時台」が 48.4％と最も多く、次いで「８時台」が 20.0％、「10 時台」が 15.3％となっている。

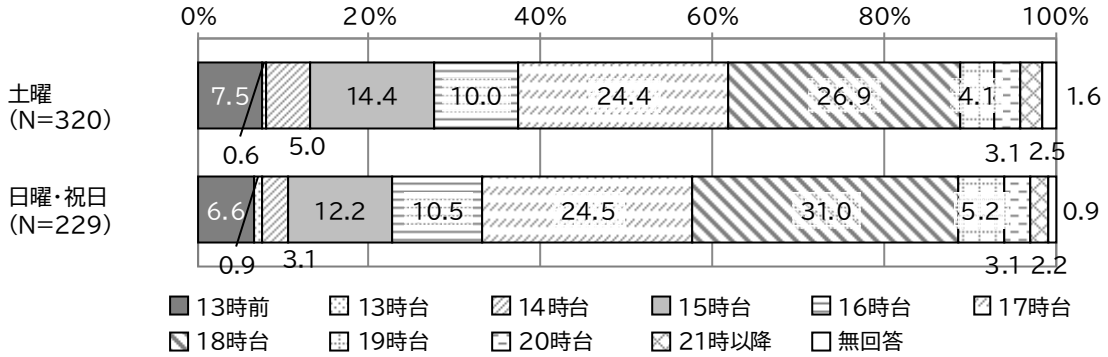
日曜・祝日は「９時台」が 47.2％と最も多く、次いで「８時台」が 20.5％、「10 時台」が 17.9％となっている。



イ　終了時刻

土曜は「18 時台」が 26.9%と最も多く、次いで「17 時台」が 24.4%、「15 時台」が 14.4%となっている。

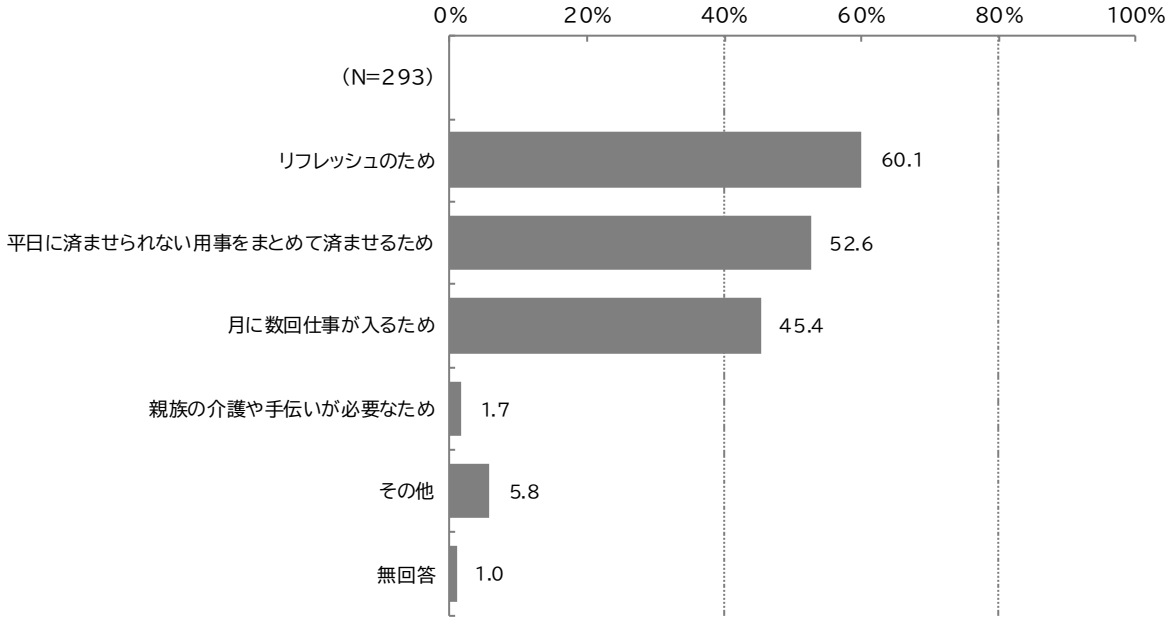
日曜・祝日は「18 時台」が 31.0%と最も多く、次いで「17 時台」が 24.5%、「15 時台」が 12.2%となっている。



問 26-1　問 26 の（1）または（2）で、「3．月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

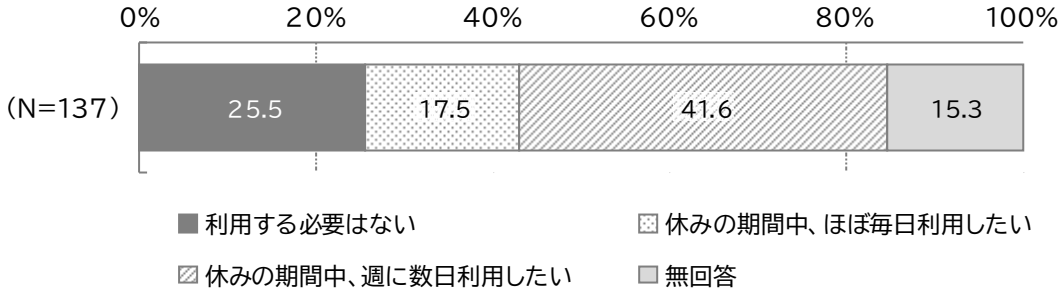
毎週ではなく、時々利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「リフレッシュのため」が 60.1%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 52.6%、「月に数回仕事が入るため」が 45.4%となっている。



問 27　「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望はありますか。（あてはまる番号ひとつに○）
希望がある場合は、利用したい時間帯を（　　）内に数字でご記入ください。

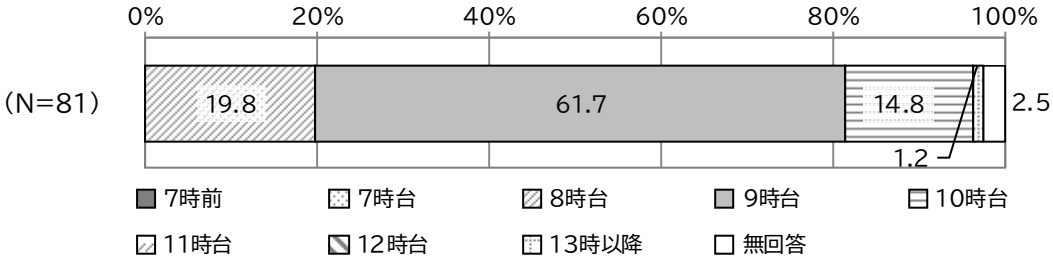
「休みの期間中、週に数日利用したい」が 41.6%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が 25.5%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 17.5%となっている。



①利用したい時間帯

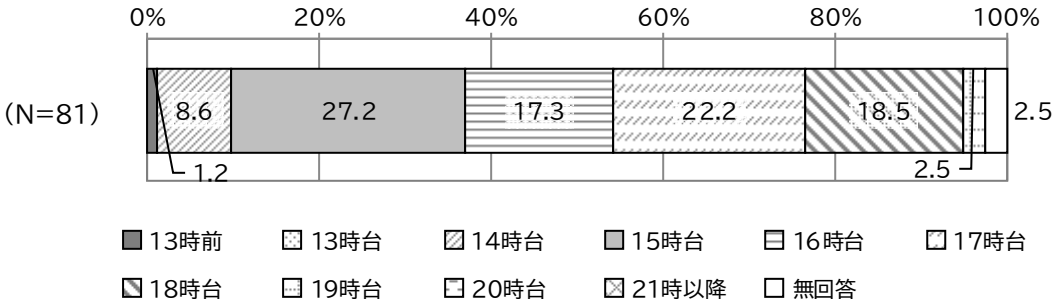
ア　開始時刻

「９時台」が 61.7%と最も多く、次いで「８時台」が 19.8%、「10 時台」が 14.8%となっている。



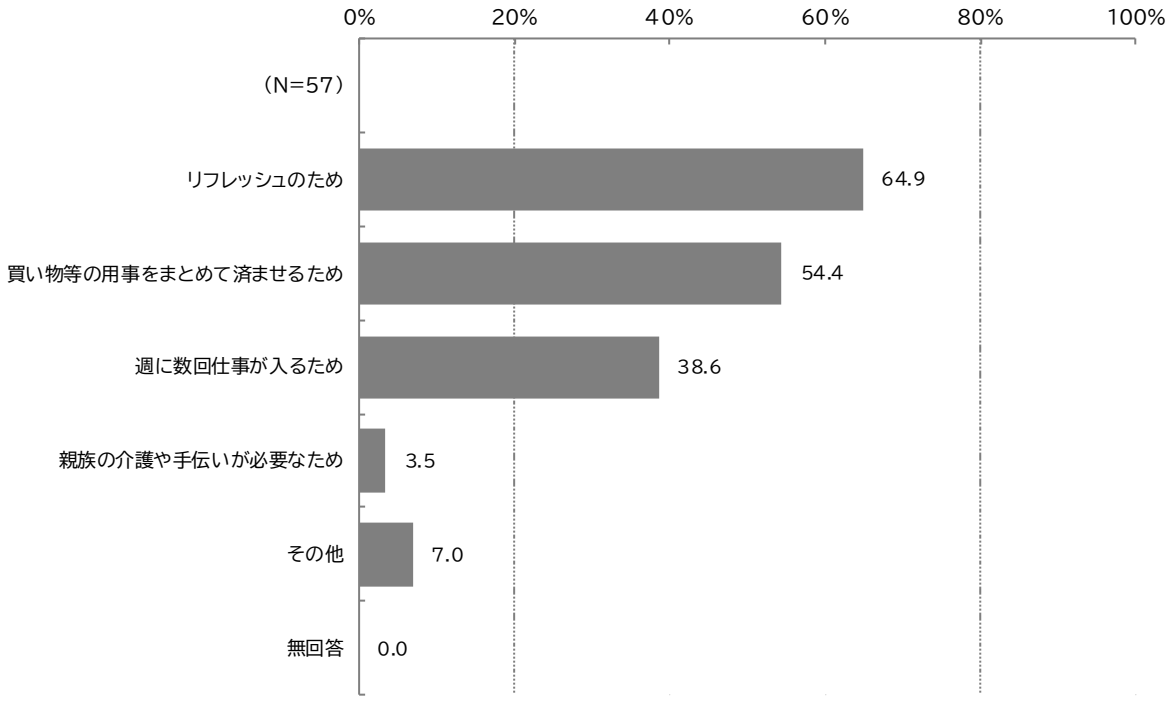
イ　終了時刻

「15 時台」が 27.2%と最も多く、次いで「17 時台」が 22.2%、「18 時台」が 18.5%となっている。



問 27-1　問27で「3．休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎日ではなく、時々利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

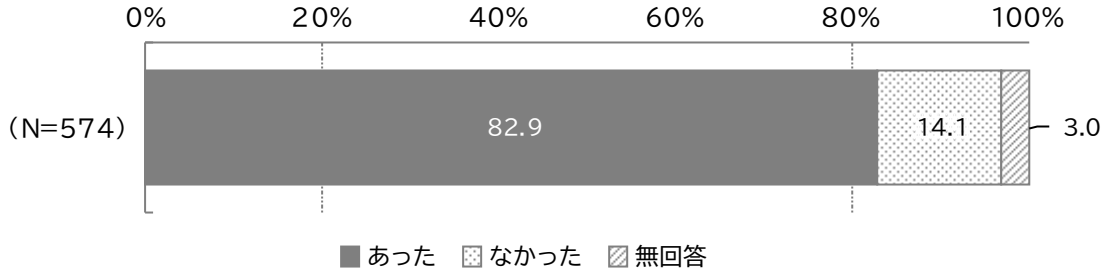
「リフレッシュのため」が 64.9%と最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 54.4%、「週に数回仕事が入るため」が 38.6%となっている。



（８）病気の際の対応について（平日の教育・保育事業を利用している方のみ）

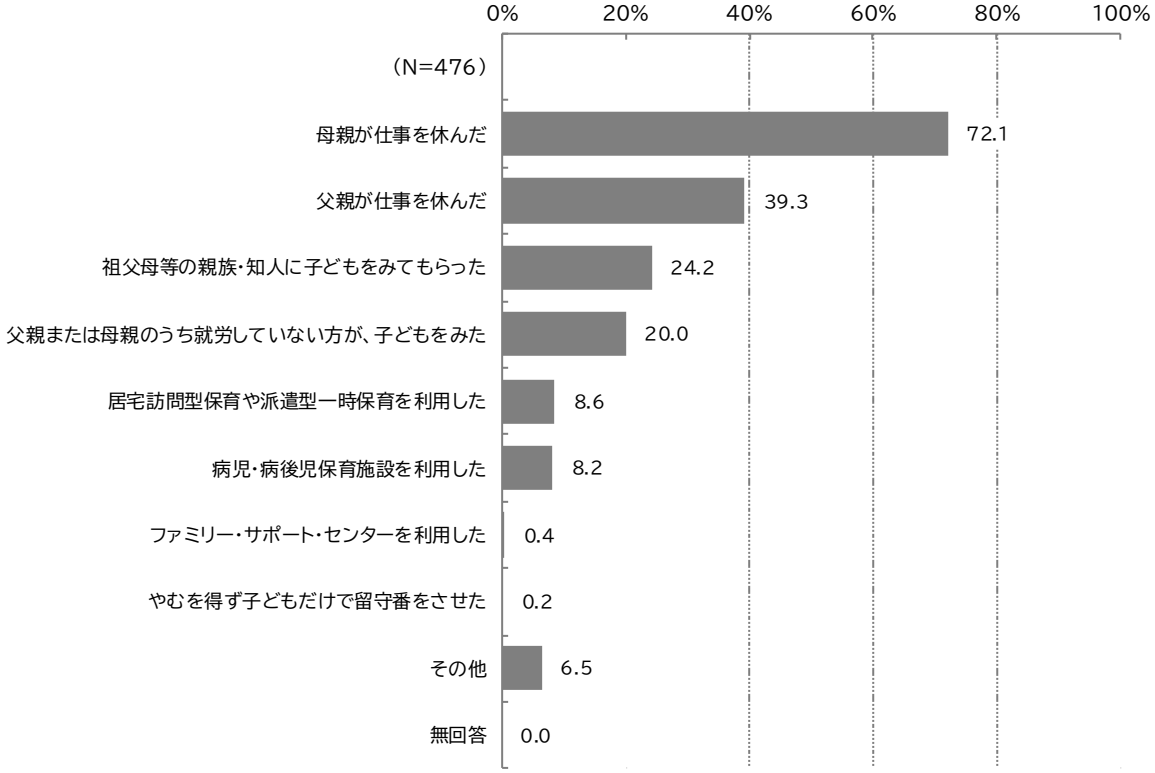
問 28　問 21 で、平日の定期的な教育・保育事業について「１．利用している」に○をつけた方にうかがいます。
この１年間に、宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園や保育園等を利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

「あった」が 82.9%、「なかった」が 14.1%となっている。



問 28-1　宛名のお子さんが病気やけがで、普段利用している幼稚園や保育園等が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、「５.病児・病後児保育施設を利用した」に○をつけた方は、施設名を（　　）内にご記入ください。また、○をつけたものについて、それぞれの日数も（　　）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください）

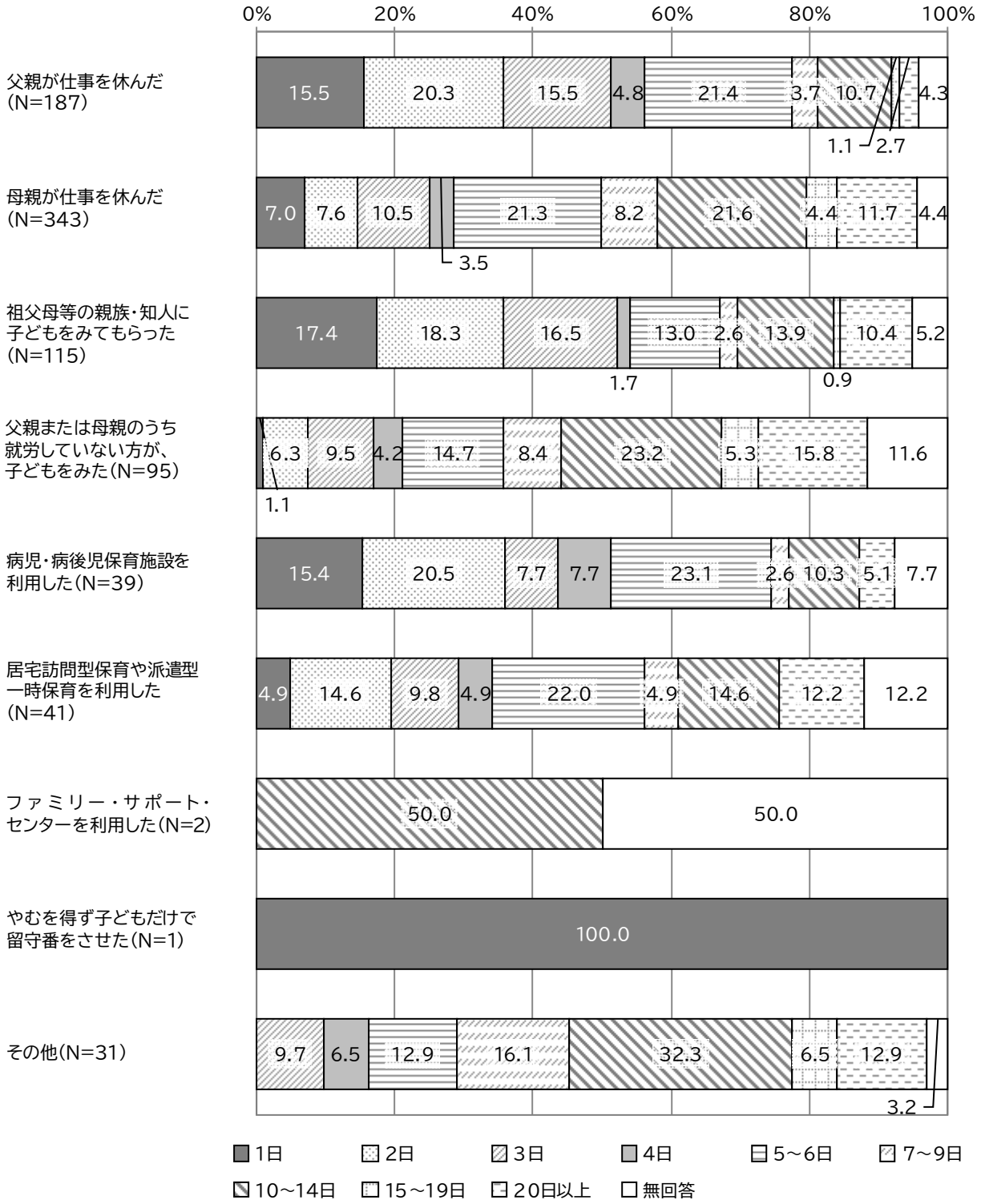
「母親が仕事を休んだ」が 72.1%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が 39.3%、「祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった」が 24.2%となっている。



①１年あたりの日数

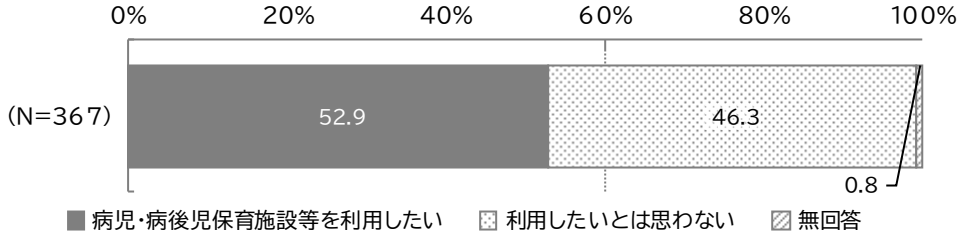
“父親が仕事を休んだ”は「５～６日」が 21.4%と最も多く、次いで「２日」が 20.3%、「１日」「３日」がともに 15.5%であり、平均 4.6 日となっている。

“母親が仕事を休んだ”は「10～14 日」が 21.6%と最も多く、次いで「５～６日」が 21.3%、「20 日以上」が 11.7%であり、平均 8.8 日となっている。



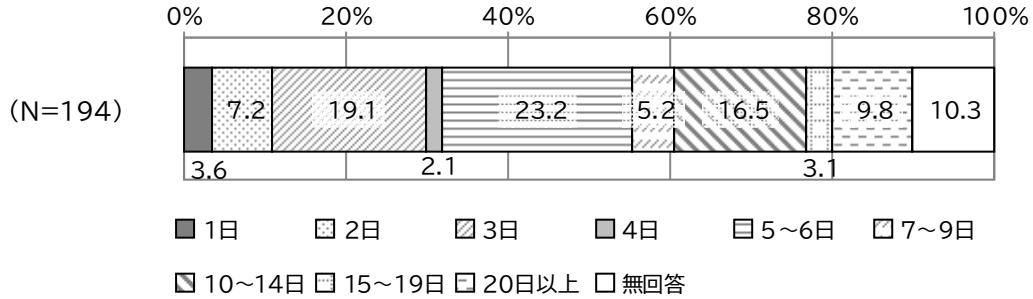
問 28-2　問 28-1 で「1.父親が仕事を休んだ」または「2.母親が仕事を休んだ」に○をつけた方にうかがいます。
その際、「病児・病後児のための保育サービスを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は日数について（　　）内に数字でご記入ください。

「病児・病後児保育施設等を利用したい」が 52.9%、「利用したいとは思わない」が 46.3%となっている。



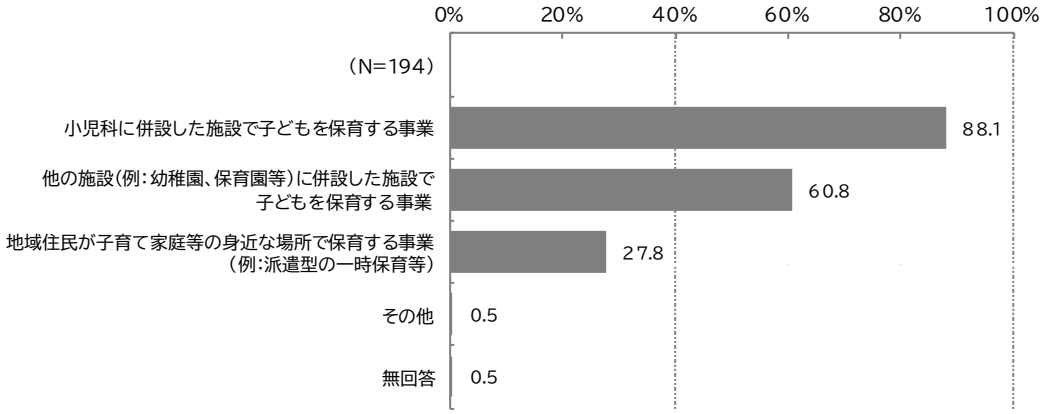
①1年あたりの利用希望日数

「5～6日」が 23.2%と最も多く、次いで「3日」が 19.1%、「10～14 日」が 16.5%となっている。



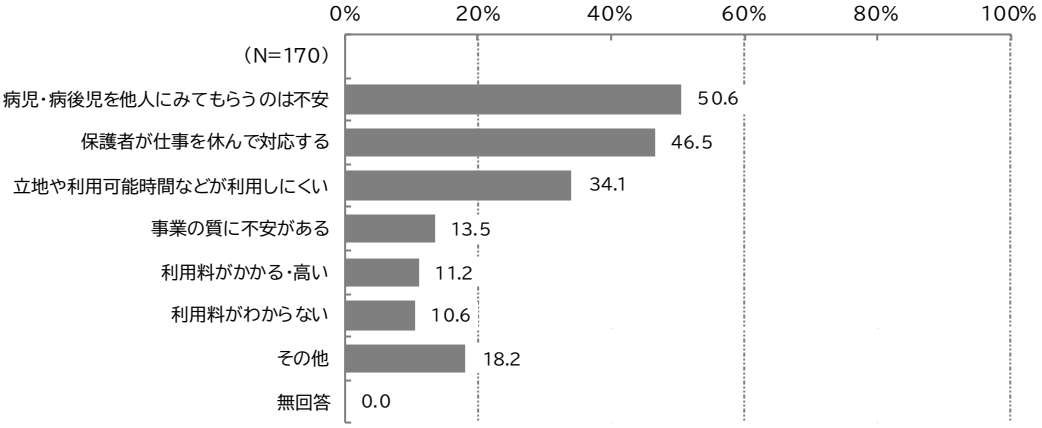
問 28-3　問 28-2 で「1. 病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまる番号すべてに○）

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 88.1%と最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園、保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 60.8%、「地域住民が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：派遣型の一時保育等）」が 27.8%となっている。



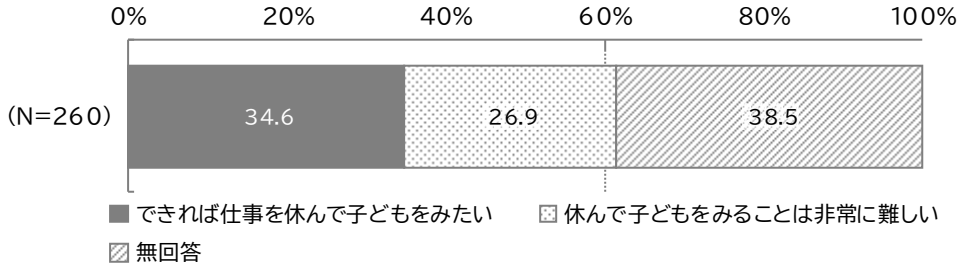
問 28-4　問 28-２で「２．利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 50.6%と最も多く、次いで「保護者が仕事を休んで対応する」が 46.5%、「立地や利用可能時間などが利用しにくい」が 34.1%となっている。



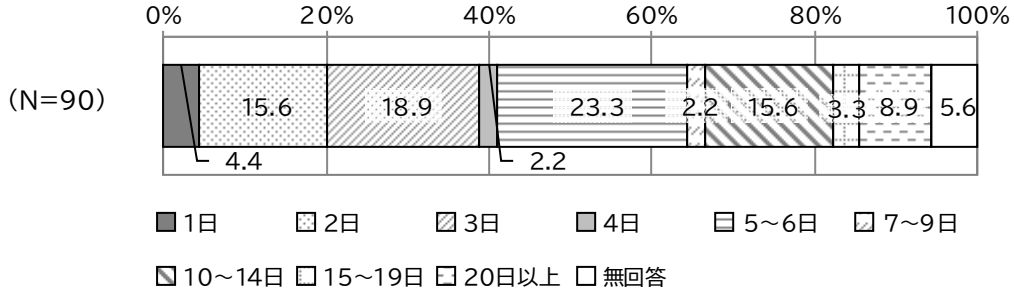
問 28-5　問 28-１で「３．祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった」～「９.その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、仕事を休んで子どもをみたかった日数について（　　）内に数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで子どもをみたい」が 34.6%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」が 26.9%となっている。



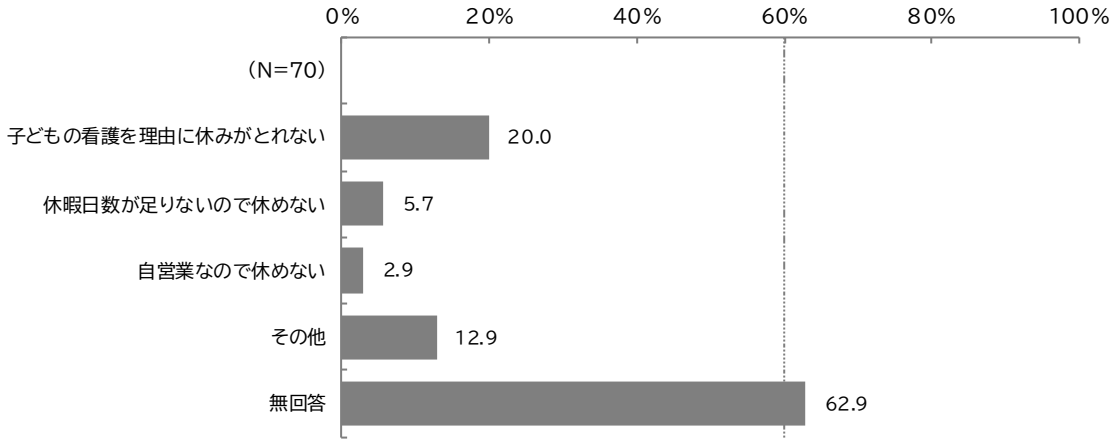
①１年あたりの希望日数

「５～６日」が 23.3%と最も多く、次いで「３日」が 18.9%、「２日」「10～14 日」がともに 15.6%となっている。



問 28-6　問 28-５で「２.休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

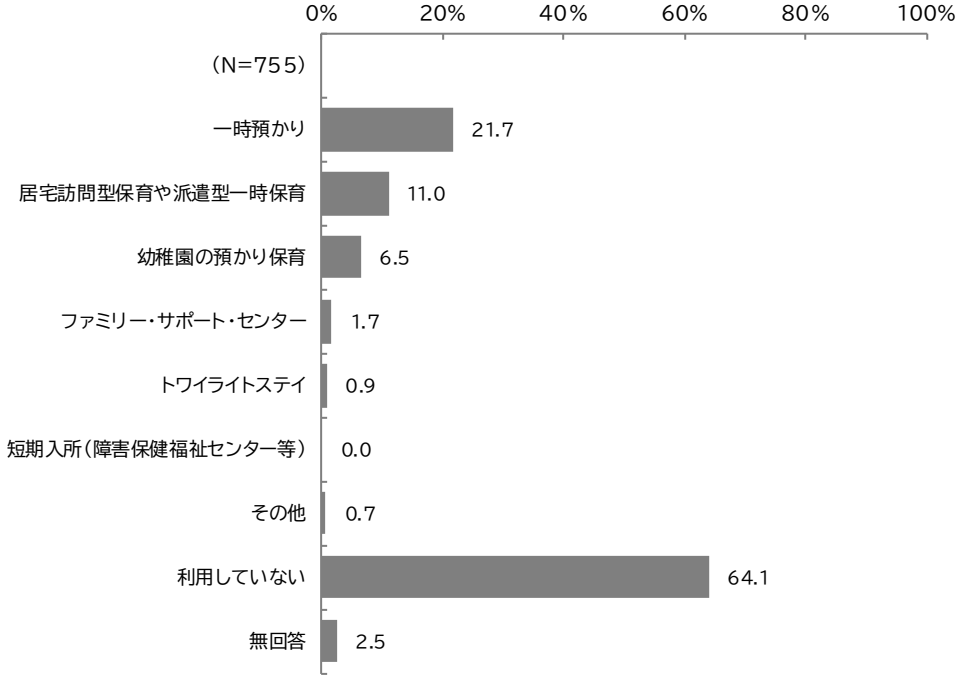
「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 20.0%と最も多く、次いで「その他」が 12.9%、「休暇日数が足りないので休めない」が 5.7%となっている。



（９）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

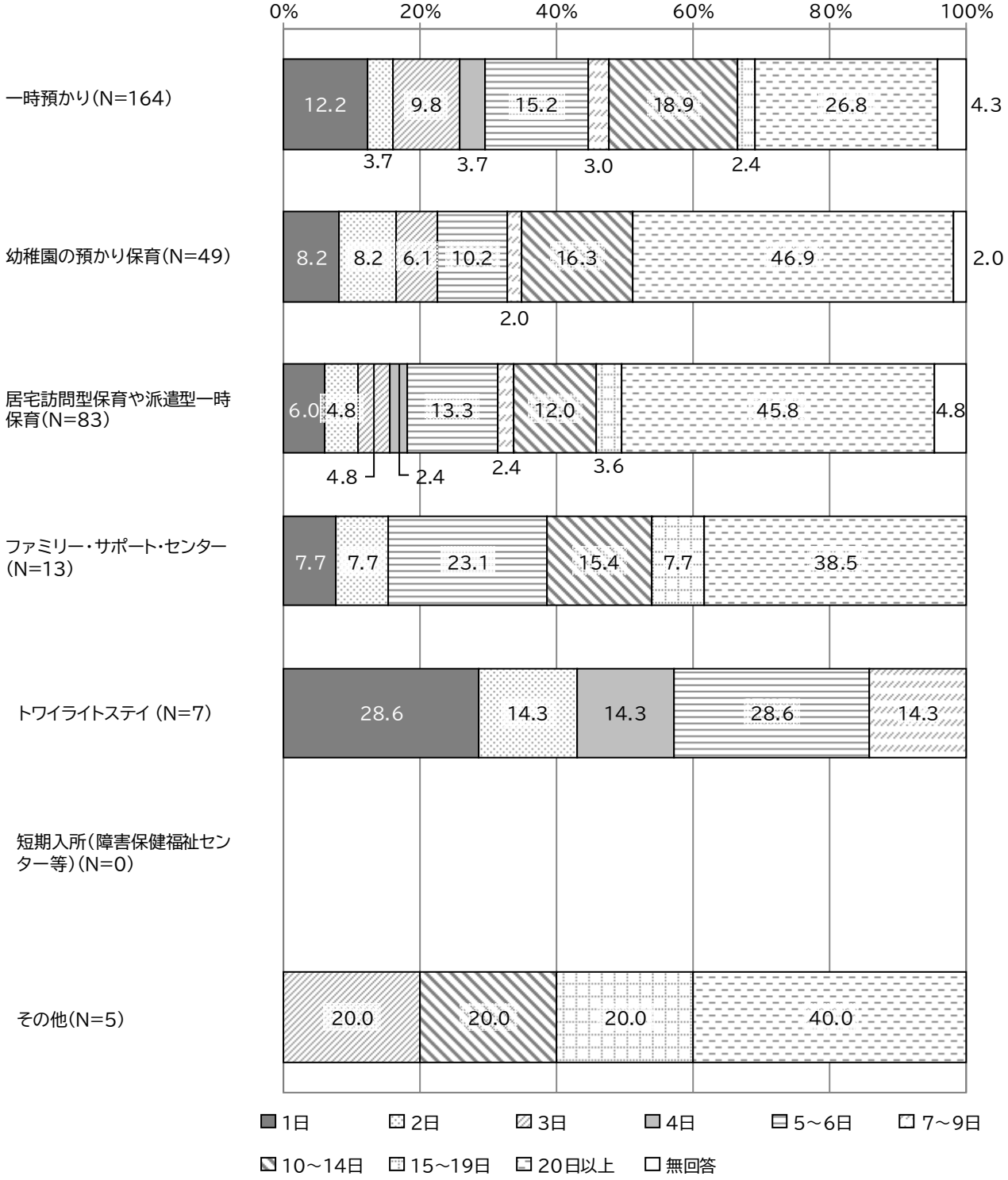
問 29　宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、１年間のおおよその利用日数を（　　）内に数字でご記入ください。

「利用していない」が 64.1%と最も多く、次いで「一時預かり」が 21.7%、「居宅訪問型保育や派遣型一時保育」が 11.0%となっている。



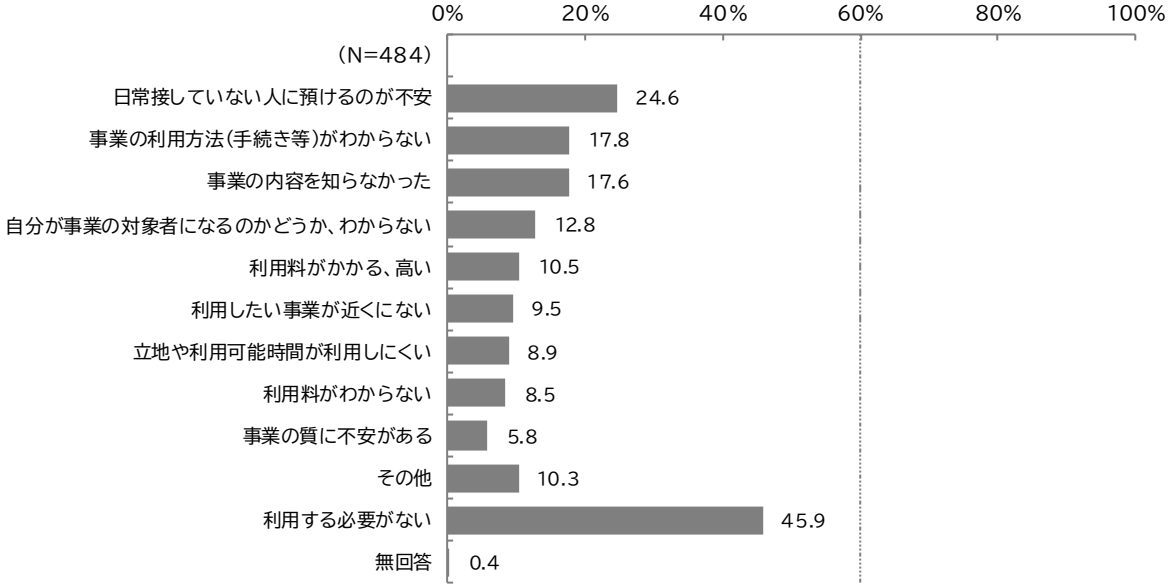
①１年あたりの利用日数

“一時預かり”“幼稚園の預かり保育”“居宅訪問型保育や派遣型一時保育”“ファミリー・サポート・センター”は「20 日以上」、“トワイライトステイ”は「１日」「５～６日」が最も多くなっている。



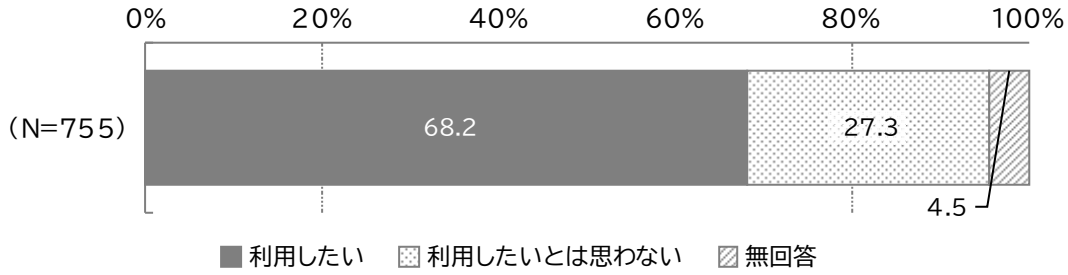
問 29-1　問 29 で「８．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「利用する必要がない」が 45.9%と最も多く、次いで「日常接していない人に預けるのが不安」が 24.6%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 17.8%となっている。



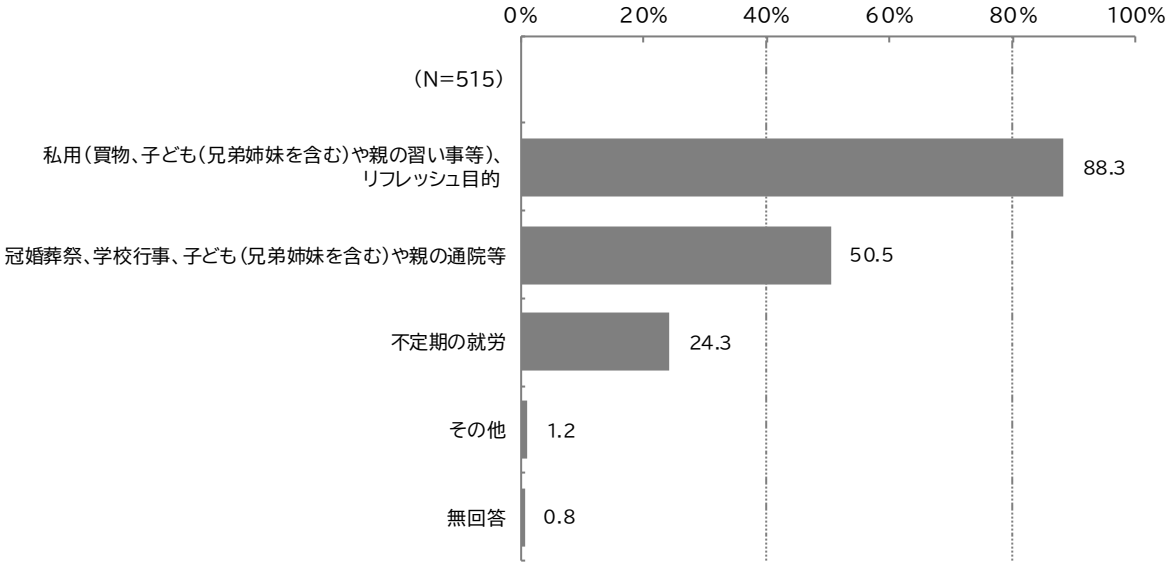
問 30　宛名のお子さんに関して、私用（買物、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用したいですか。（あてはまる番号ひとつに○）また利用したい場合は、あてはまる記号すべてに○をつけ、必要な日数を（　　）内に数字でご記入ください。

「利用したい」が 68.2%、「利用したいとは思わない」が 27.3%となっている。



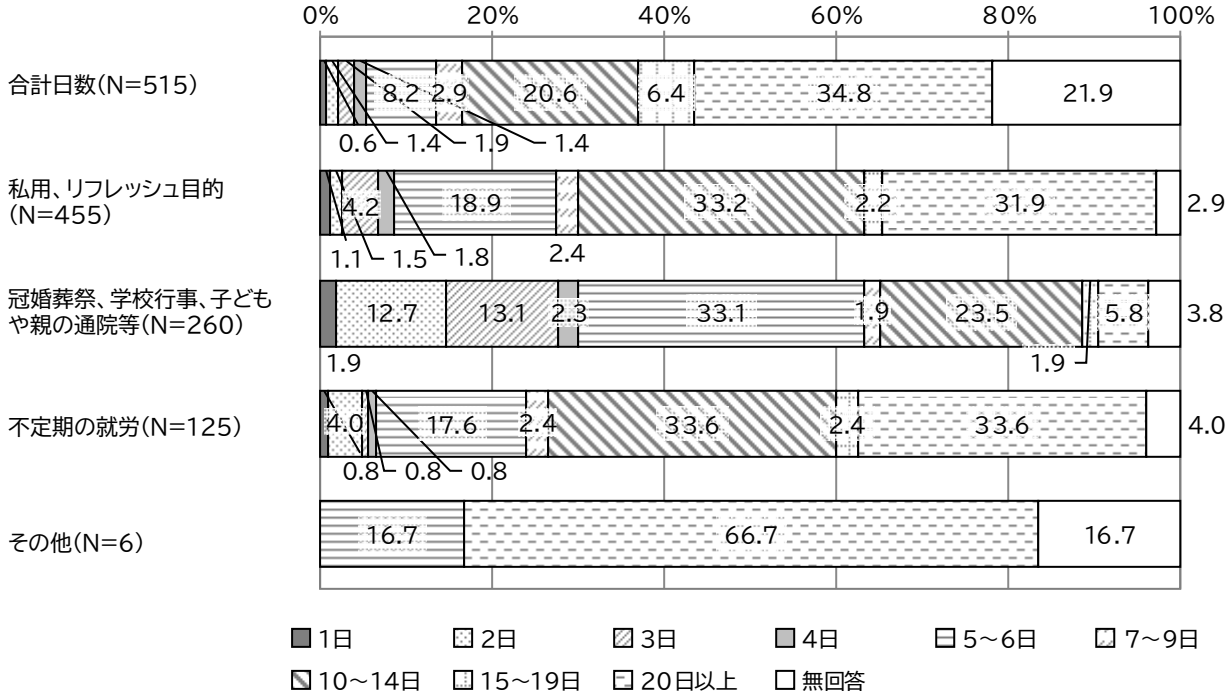
①利用目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が 88.3%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 50.5%、「不定期の就労」が 24.3%となっている。



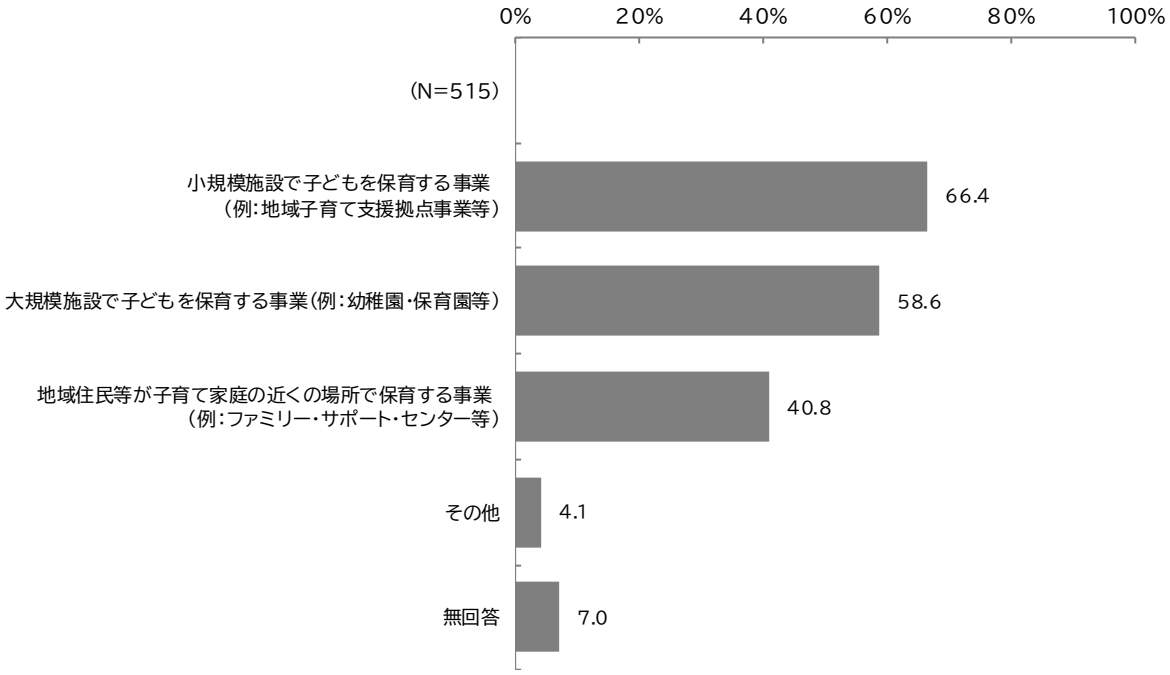
②１年あたりの利用希望日数

“私用、リフレッシュ目的”は「10～14 日」、“冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等”は「５～６日」、“不定期の就労”は「10～14 日」「20 日以上」が最も多くなっている。



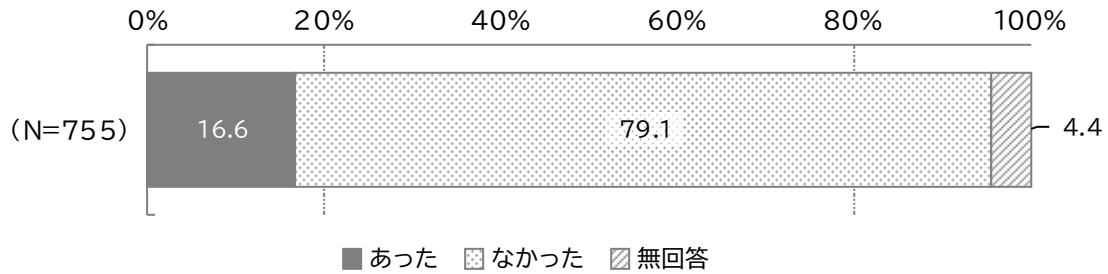
問 30-1　問 30 で「1．利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問 30 の目的でお子さんを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまる番号すべてに○）

「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点事業等）」が 66.4%と最も多く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等）」が 58.6%、「地域住民等が子育て家庭の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が 40.8%となっている。



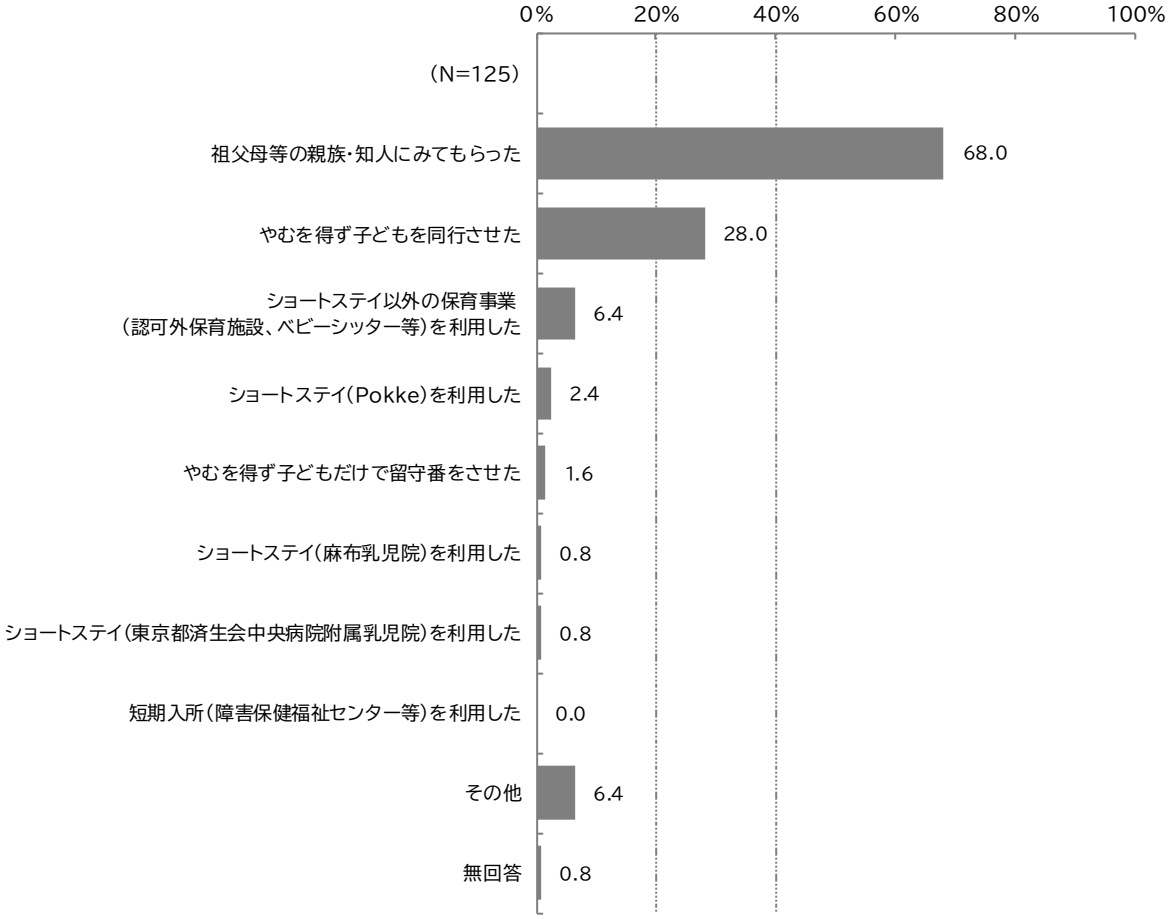
問 31　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことはありましたか。（預け先がみつからなかった場合を含みます。）（あてはまる番号ひとつに○）
あった場合は、この１年間の対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を（　　）内に数字でご記入ください。

「なかった」が 79.1%、「あった」が 16.6%となっている。



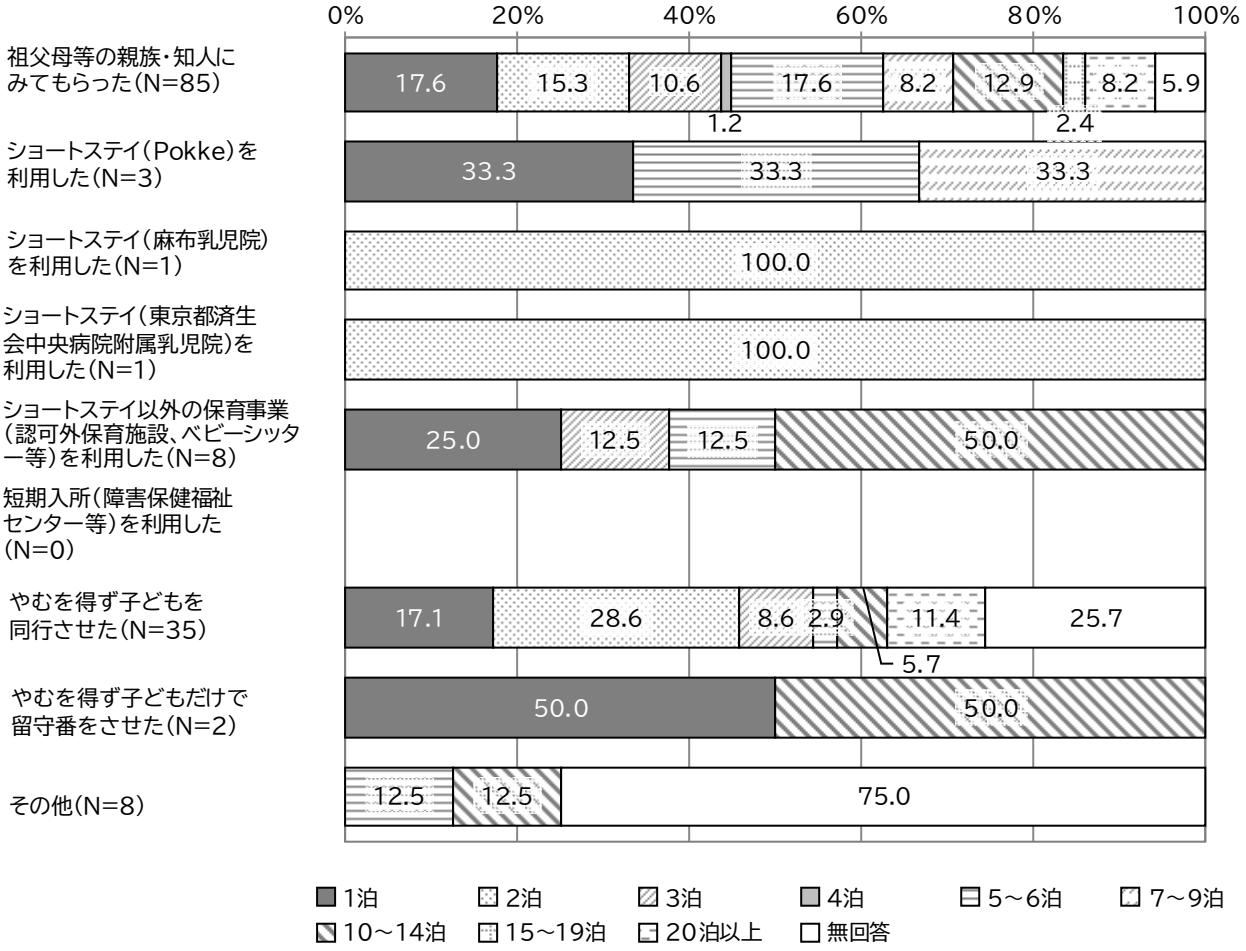
①1年間の対処方法

「祖父母等の親族・知人にみてもらった」が 68.0%と最も多く、次いで「やむを得ず子どもを同行させた」が 28.0%、「ショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した」「その他」がともに 6.4%となっている。



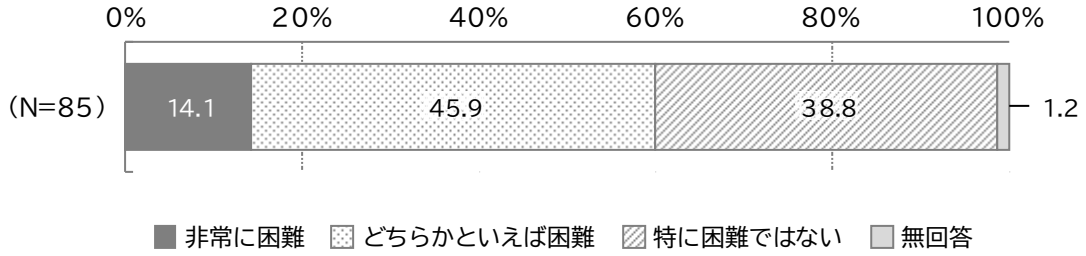
②１年あたりの日数（泊）

“祖父母等の親族・知人にみてもらった”は「１泊」「５～６泊」、“ショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した”は「10～14 泊」、“やむを得ず子どもを同行させた”は「２泊」が最も多くなっている。



問 31-1　問 31 で「1．あった　ア.祖父母等の親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族・知人にお願いすることは、どのくらいの困難度でしたか。（あてはまる番号ひとつに○）

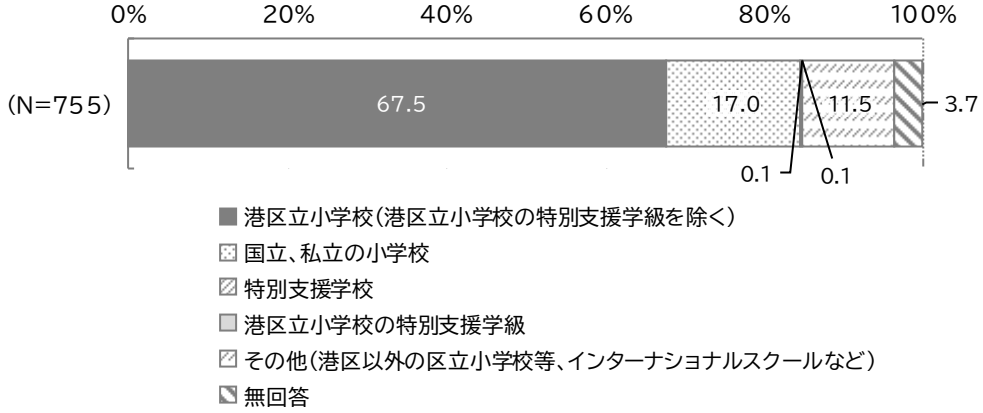
「どちらかといえば困難」が 45.9%と最も多く、次いで「特に困難ではない」が 38.8%、「非常に困難」が 14.1%となっている。



（10）小学校入学後の放課後の過ごし方について

問 32　宛名のお子さんについて、希望する小学校入学先はどれですか。（あてはまる番号ひとつに○）
また、学校名を（　　）内にご記入ください。

「港区立小学校（港区立小学校の特別支援学級を除く）」が 67.5％と最も多く、次いで「国立、私立の小学校」が 17.0％、「その他（港区以外の区立小学校等、インターナショナルスクールなど）」が 11.5％となっている。

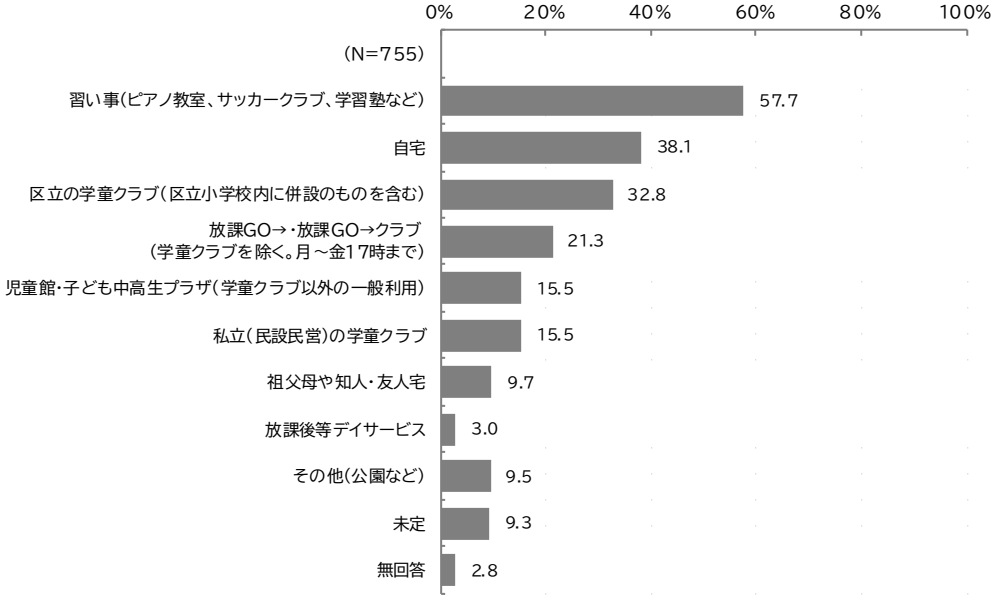


問 33　宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年（１～３年生）と高学年（４～６年生）について、あてはまる番号すべてに○をつけ、「４.児童館・子ども中高生プラザ（学童クラブ以外の一般利用）」～「７.私立（民設民営）の学童クラブ」に○をつけた方は、施設名を（　　）内にご記入ください。
また、○をつけたものについて、希望する週あたりの日数を（　　）内に数字でご記入ください。

①過ごさせたい場所

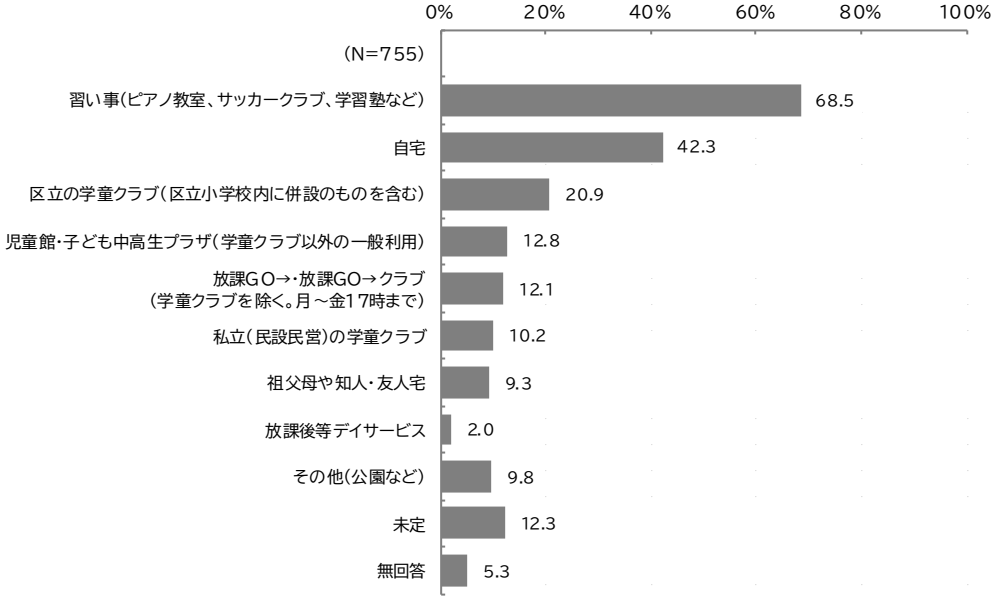
ア　低学年

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 57.7％と最も多く、次いで「自宅」が 38.1％、「区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）」が 32.8％となっている。



イ　高学年

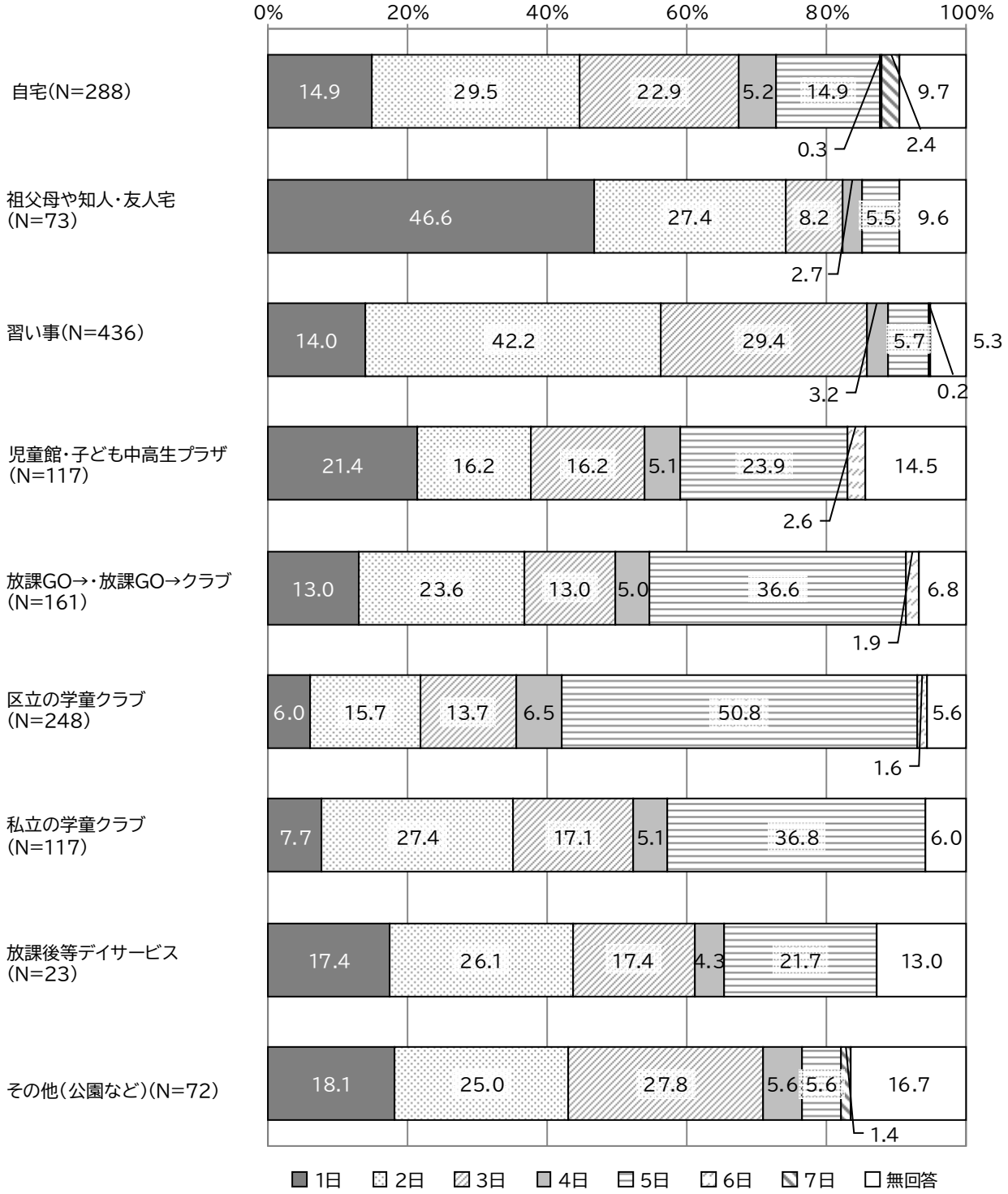
「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が 68.5%と最も多く、次いで「自宅」が 42.3%、「区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む)」が 20.9%となっている。



②１週あたりの日数

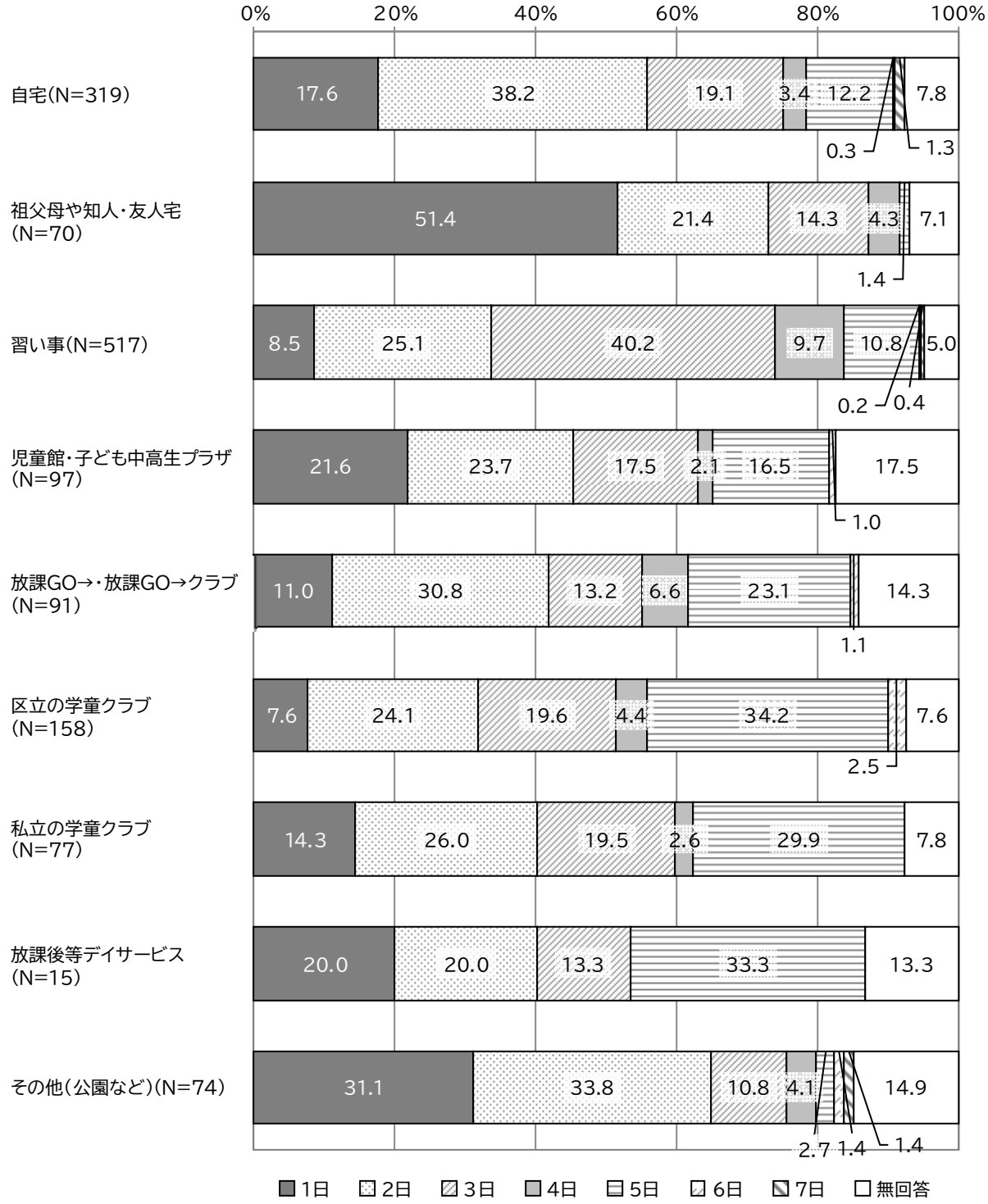
ア　低学年

“自宅”“習い事”“放課後等デイサービス”は「２日」、“祖父母や知人・友人宅”は「１日」、“児童館・子ども中高生プラザ”“放課ＧＯ→・放課ＧＯ→クラブ”“区立の学童クラブ”“私立の学童クラブ”は「５日」が最も多くなっている。



イ　高学年

“自宅”“児童館・子ども中高生プラザ”“放課ＧＯ→・放課ＧＯ→クラブ”は「２日」、“祖父母や知人・友人宅”は「１日」、“習い事”は「３日」、“区立の学童クラブ”“私立の学童クラブ”“放課後等デイサービス”は「５日」が最も多くなっている。

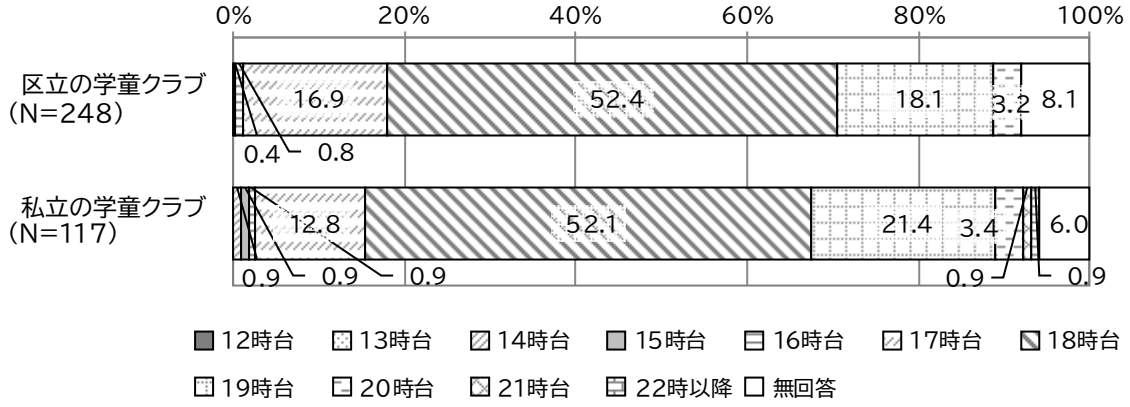


③学童クラブ（区立小学校に併設のものを含む）の終了希望時間

ア　低学年

“区立の学童クラブ”は「18 時台」が 52.4%と最も多く、次いで「19 時台」が 18.1%、「17 時台」が 16.9%となっている。

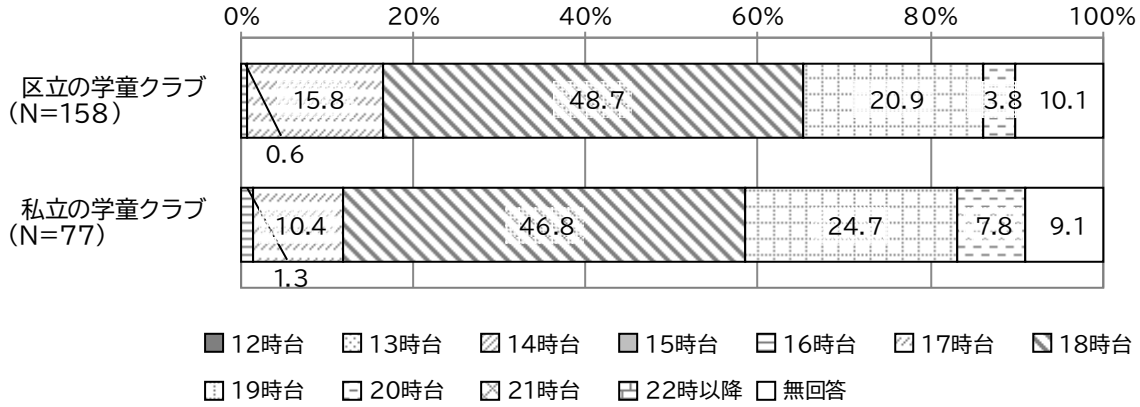
“私立の学童クラブ”は「18 時台」が 52.1%と最も多く、次いで「19 時台」が 21.4%、「17 時台」が 12.8%となっている。



イ　高学年

“区立の学童クラブ”は「18 時台」が 48.7%と最も多く、次いで「19 時台」が 20.9%、「17 時台」が 15.8%となっている。

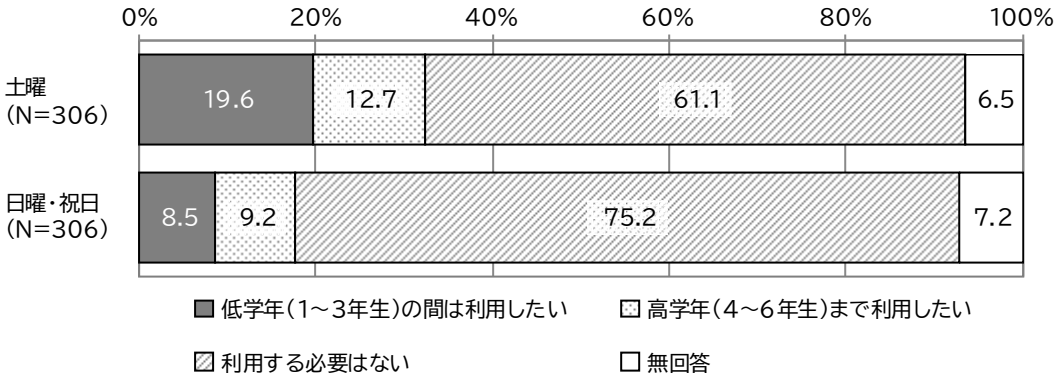
“私立の学童クラブ”は「18 時台」が 46.8%と最も多く、次いで「19 時台」が 24.7%、「17 時台」が 10.4%となっている。



問 34　問 33 で「６．区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）」または「７．私立（民設民営）の学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、土曜、日曜・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。
（１）（２）それぞれについて、あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は、利用したい日数と時間帯を（　　）内に数字でご記入ください。（時間は 24 時間制でお答えください）

土曜は「利用する必要はない」が 61.1%と最も多く、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 19.6%、「高学年（４～６年生）まで利用したい」が 12.7%となっている。

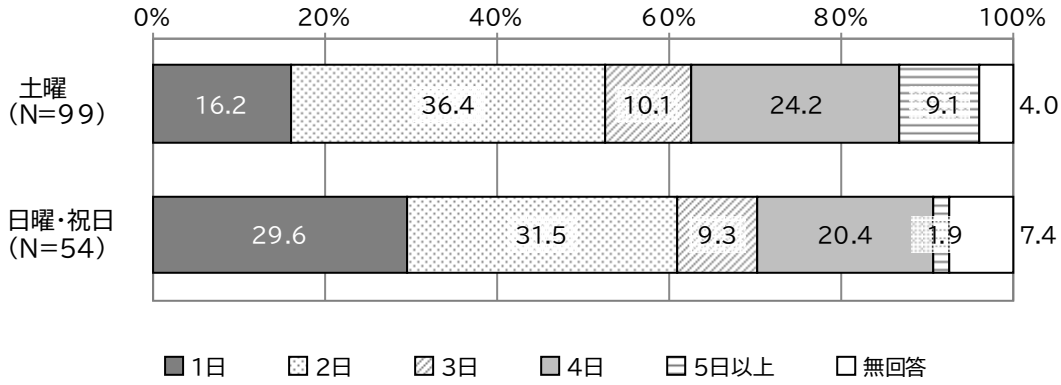
日曜・祝日は「利用する必要はない」が 75.2%と最も多く、次いで「高学年（４～６年生）まで利用したい」が 9.2%、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 8.5%となっている。



①１か月あたりの利用希望日数

土曜は「２日」が 36.4%と最も多く、次いで「４日」が 24.2%、「１日」が 16.2%となっている。

日曜・祝日は「２日」が 31.5%と最も多く、次いで「１日」が 29.6%、「４日」が 20.4%となっている。

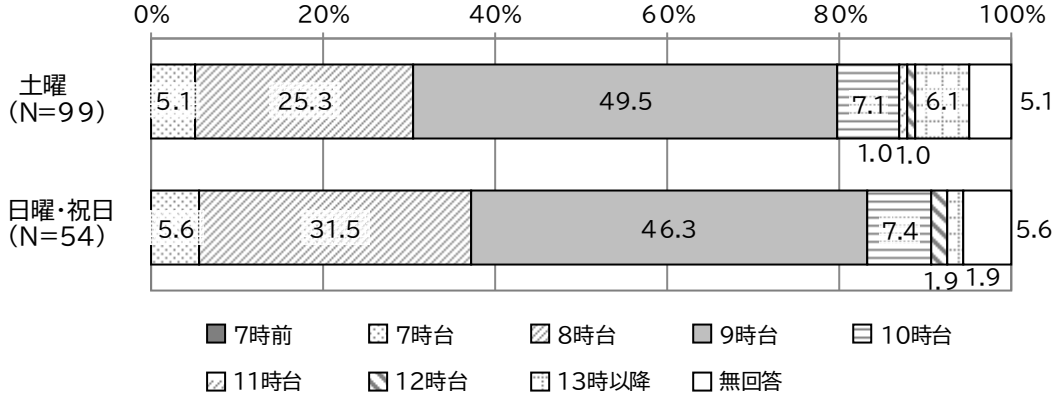


②利用したい時間帯

ア　開始時刻

土曜は「９時台」が 49.5%と最も多く、次いで「８時台」が 25.3%、「10 時台」が 7.1%となっている。

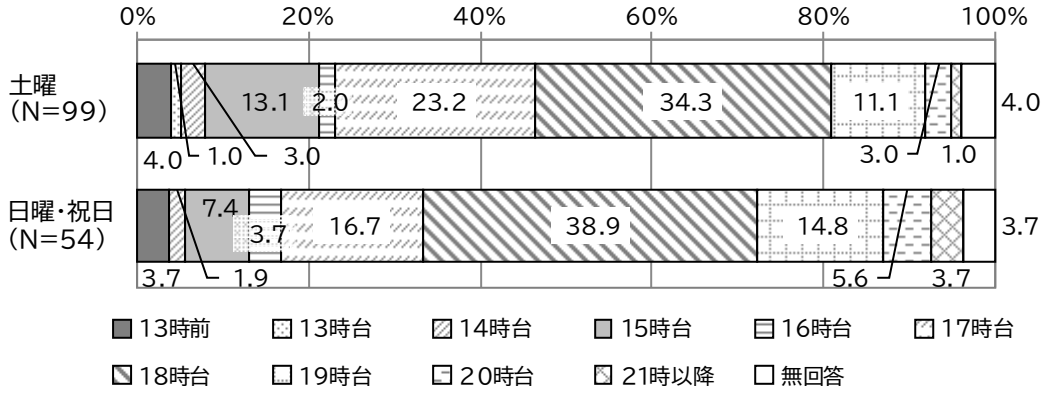
日曜・祝日は「９時台」が 46.3%と最も多く、次いで「８時台」が 31.5%、「10 時台」が 7.4%となっている。



イ　終了時刻

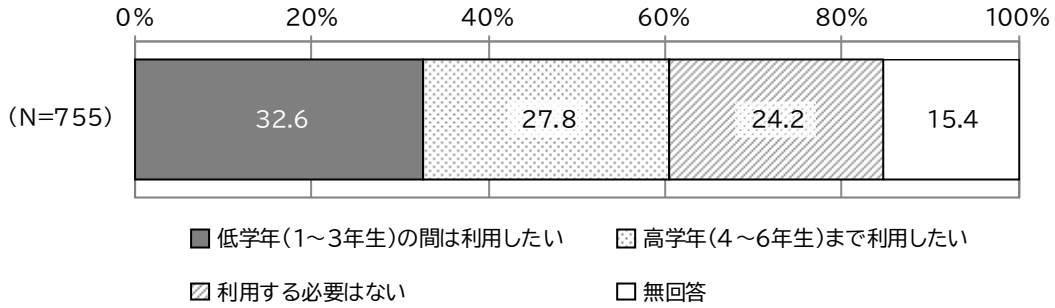
土曜は「18 時台」が 34.3%と最も多く、次いで「17 時台」が 23.2%、「15 時台」が 13.1%となっている。

日曜・祝日は「18 時台」が 38.9%と最も多く、次いで「17 時台」が 16.7%、「19 時台」が 14.8%となっている。



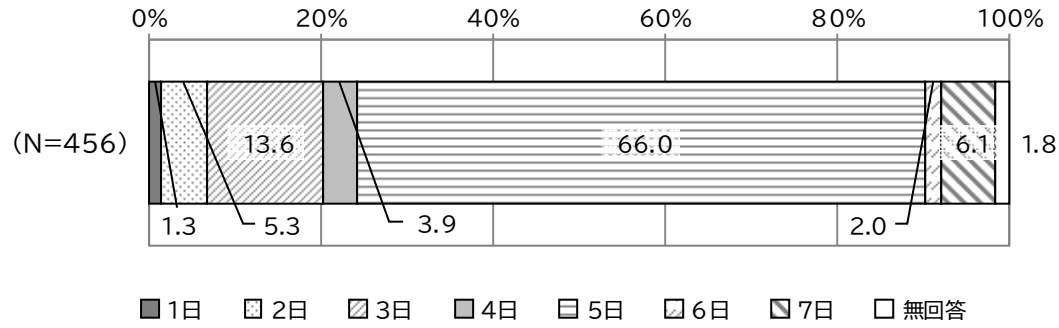
問 35　宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は、利用したい日数と時間帯を（　　）内に数字でご記入ください。（時間は 24 時間制でお答えください）

「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 32.6%と最も多く、次いで「高学年（４～６年生）まで利用したい」が 27.8%、「利用する必要はない」が 24.2%となっている。



①１週あたりの利用希望日数

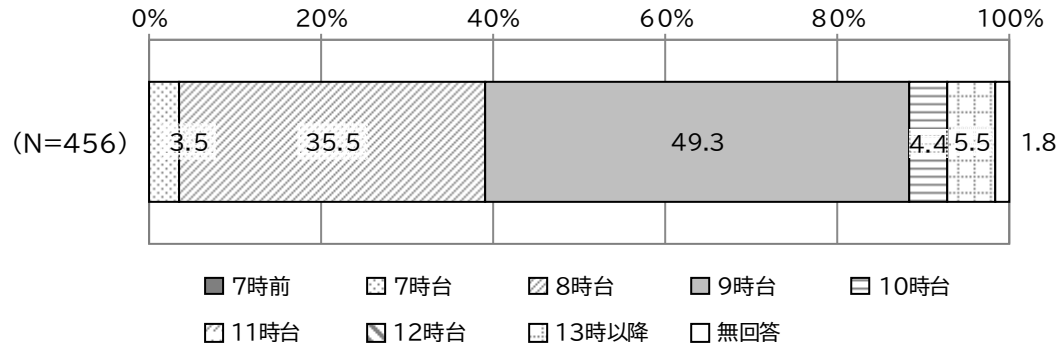
「５日」が 66.0%と最も多く、次いで「３日」が 13.6%、「７日」が 6.1%となっている。



②利用したい時間帯

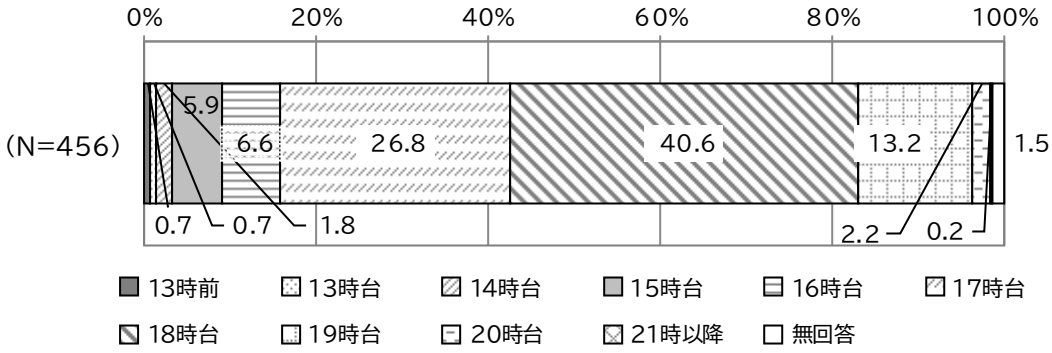
ア　開始時刻

「９時台」が 49.3%と最も多く、次いで「８時台」が 35.5%、「13 時以降」が 5.5%となっている。



イ　終了時刻

「18 時台」が 40.6%と最も多く、次いで「17 時台」が 26.8%、「19 時台」が 13.2%となっている。

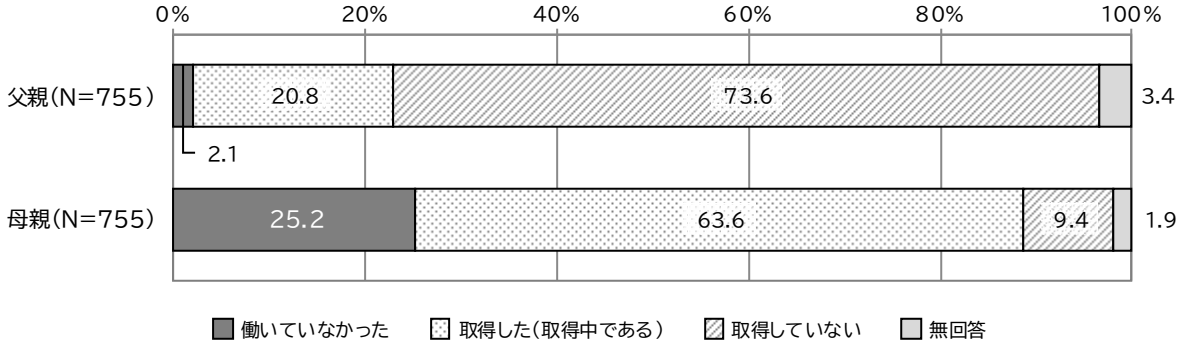


(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 36　宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかまたは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を選んでください。

父親は「取得していない」が 73.6%と最も多く、次いで「取得した（取得中である)」が 20.8%、「働いていなかった」が 2.1%となっている。

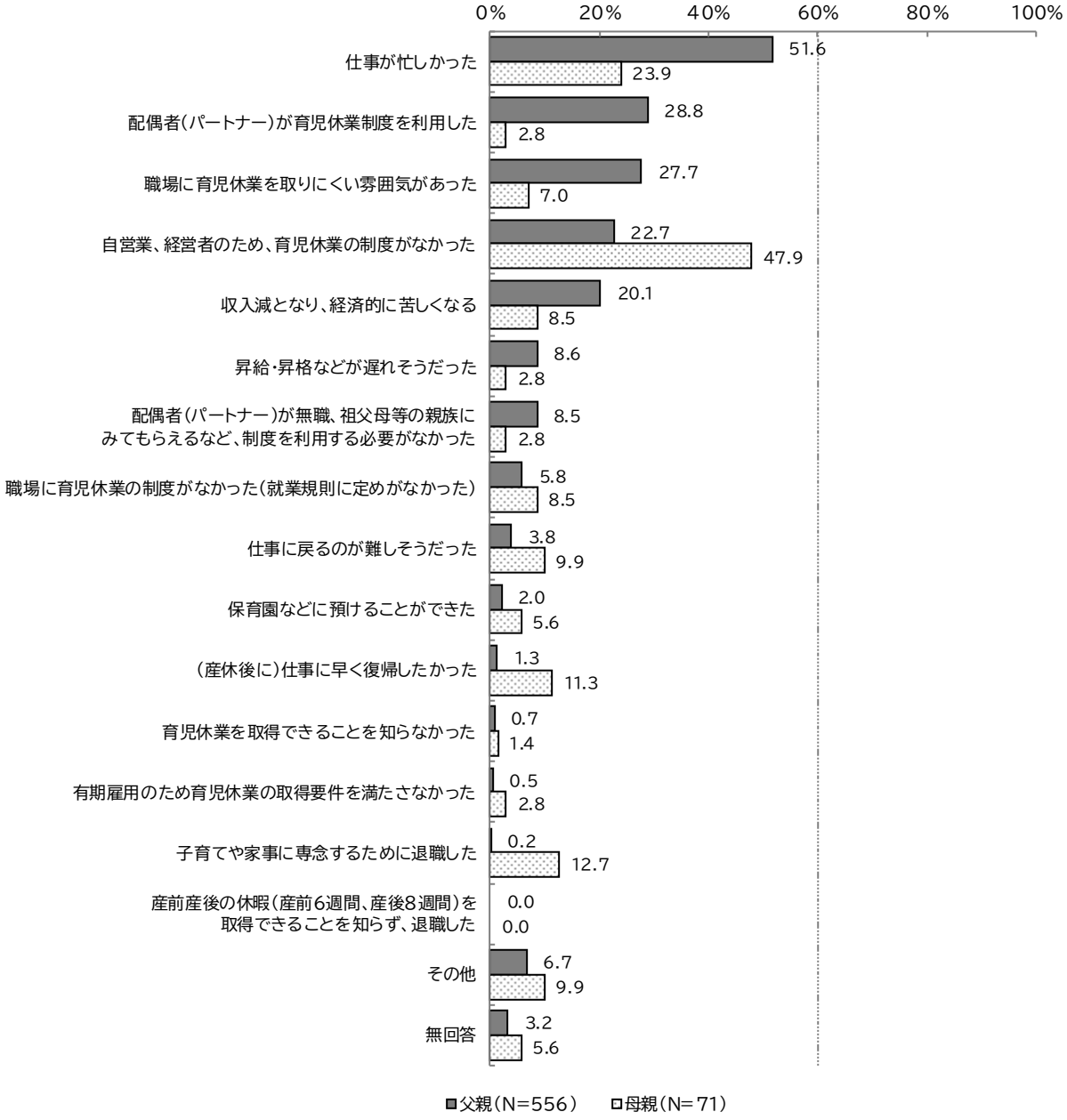
母親は「取得した（取得中である)」が 63.6%と最も多く、次いで「働いていなかった」が 25.2%、「取得していない」が 9.4%となっている。



①取得していない理由

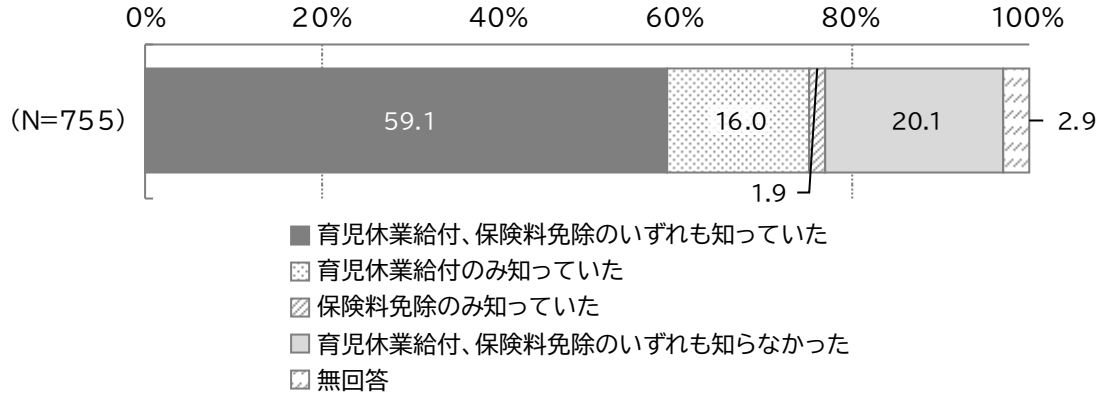
父親は「仕事が忙しかった」が 51.6%と最も多く、次いで「配偶者（パートナー）が育児休業制度を利用した」が 28.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 27.7%となっている。

母親は「自営業、経営者のため、育児休業の制度がなかった」が 47.9%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が 23.9%、「子育てや家事に専念するために退職した」が 12.7%となっている。



問 36-1　「子どもが原則１歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み」や「子どもが満３歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み」がありますが、そのことを知っていましたか。（あてはまる番号ひとつに○）

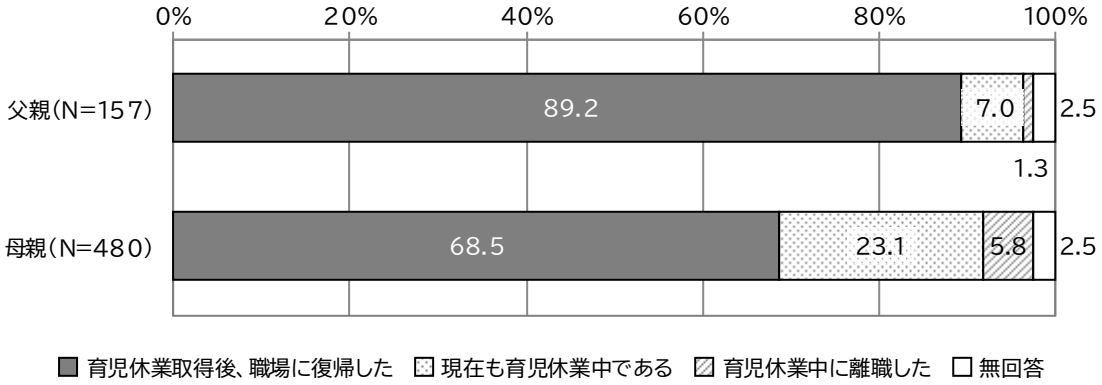
「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 59.1%と最も多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 20.1%、「育児休業給付のみ知っていた」が 16.0%となっている。



問 36-2　問 36 で「２．取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

父親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が 89.2%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 7.0%、「育児休業中に離職した」が 1.3%となっている。

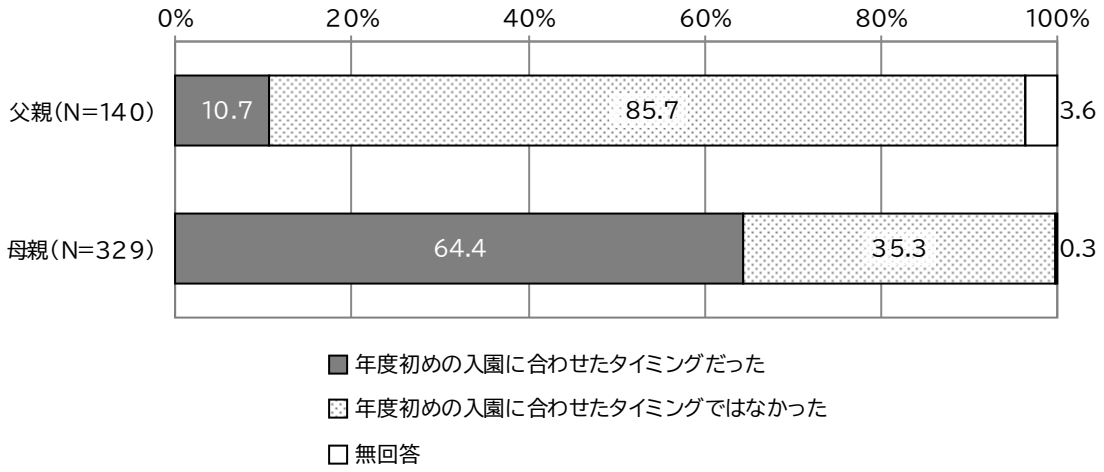
母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が 68.5%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 23.1%、「育児休業中に離職した」が 5.8%となっている。



問 36-3　問 36-２で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

父親は「年度初めの入園に合わせたタイミングではなかった」が 85.7%、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が 10.7%となっている。

母親は「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が 64.4%、「年度初めの入園に合わせたタイミングではなかった」が 35.3%となっている。

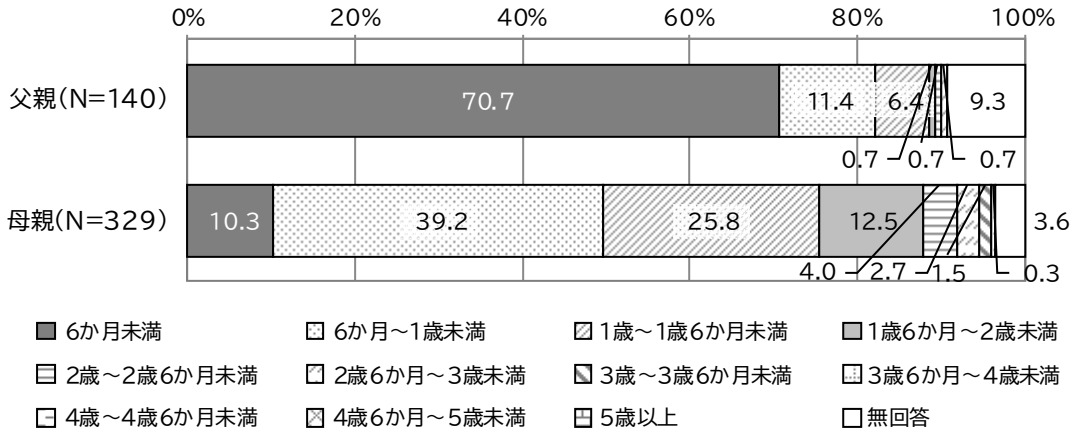


問 36-4　問 36-２で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
実際に職場復帰したのは、お子さんが何歳何か月のときでしたか。また、希望としては、お子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。お勤め先の育児休業の制度の期間内で（　　）内に数字でご記入ください。

①実際の取得期間

父親は「６か月未満」が 70.7%と最も多く、次いで「６か月～１歳未満」が 11.4%、「１歳～１歳６か月未満」が 6.4%となっている。

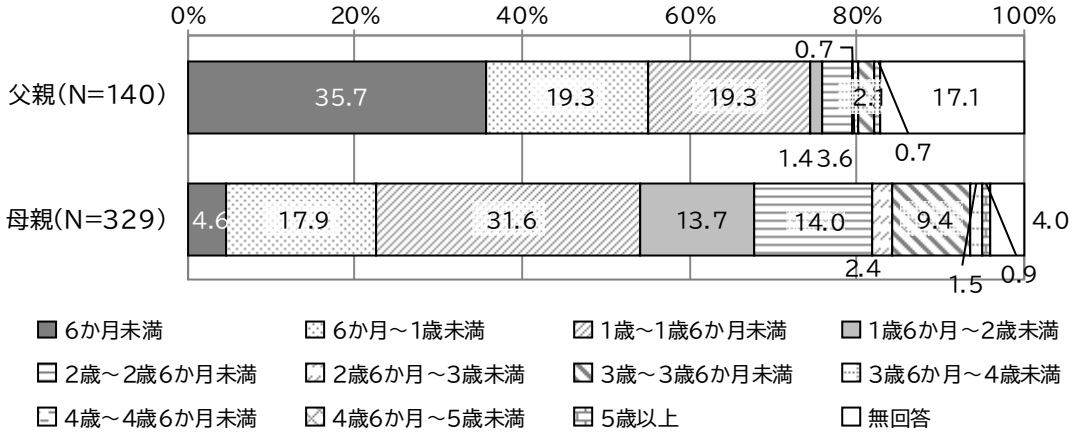
母親は「６か月～１歳未満」が 39.2%と最も多く、次いで「１歳～１歳６か月未満」が 25.8%、「１歳６か月～２歳未満」が 12.5%となっている。



②希望の取得期間

父親は「６か月未満」が 35.7%と最も多く、次いで「６か月～１歳未満」「１歳～１歳６か月未満」がともに 19.3%となっている。

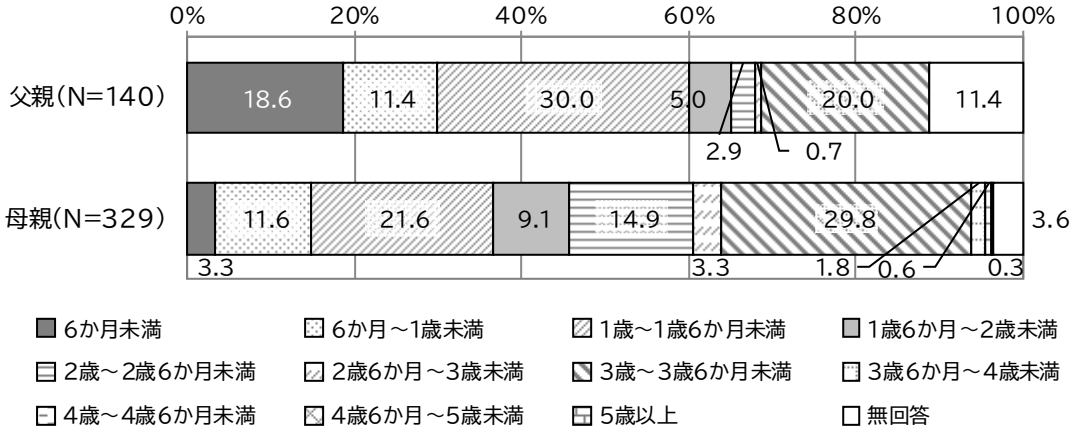
母親は「１歳～１歳６か月未満」が 31.6%と最も多く、次いで「６か月～１歳未満」が 17.9%、「２歳～２歳６か月未満」が 14.0%となっている。



問 36-５　問 36-２で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。(　　) 内に数字でご記入ください。

父親は「１歳～１歳６か月未満」が 30.0%と最も多く、次いで「３歳～３歳６か月未満」が 20.0%、「６か月未満」が 18.6%となっている。

母親は「３歳～３歳６か月未満」が 29.8%と最も多く、次いで「１歳～１歳６か月未満」が 21.6%、「２歳～２歳６か月未満」が 14.9%となっている。

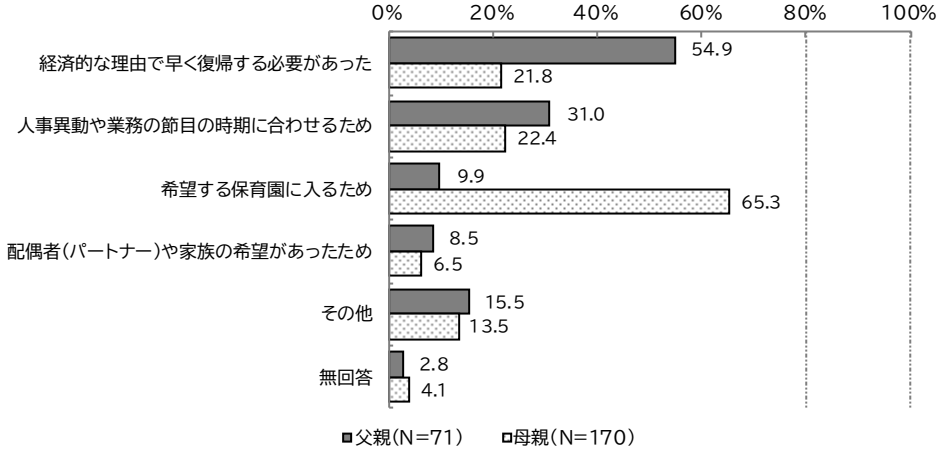


問 36-6　問 36-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。（それぞれあてはまる番号すべてに○）

①「希望」より早く復帰した方

父親は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 54.9%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 31.0%、「その他」が 15.5%となっている。

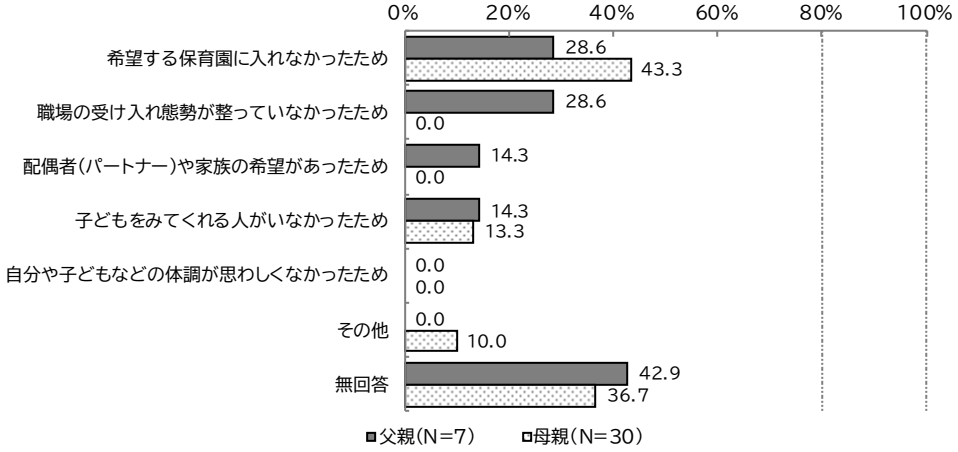
母親は「希望する保育園に入るため」が 65.3%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 22.4%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 21.8%となっている。



②「希望」より遅く復帰した方

父親は「希望する保育園に入れなかったため」「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」がともに 28.6%、「配偶者（パートナー）や家族の希望があったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」がともに 14.3%となっている。

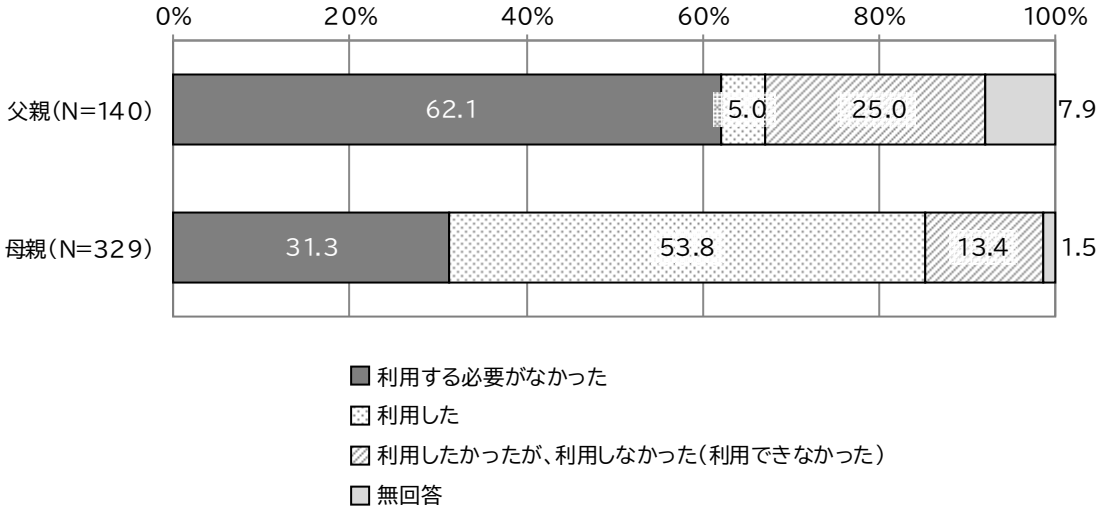
母親は「希望する保育園に入れなかったため」が 43.3%と最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 13.3%となっている。



問 36-7　問 36-２で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を利用しましたか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

父親は「利用する必要がなかった」が 62.1%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 25.0%、「利用した」が 5.0%となっている。

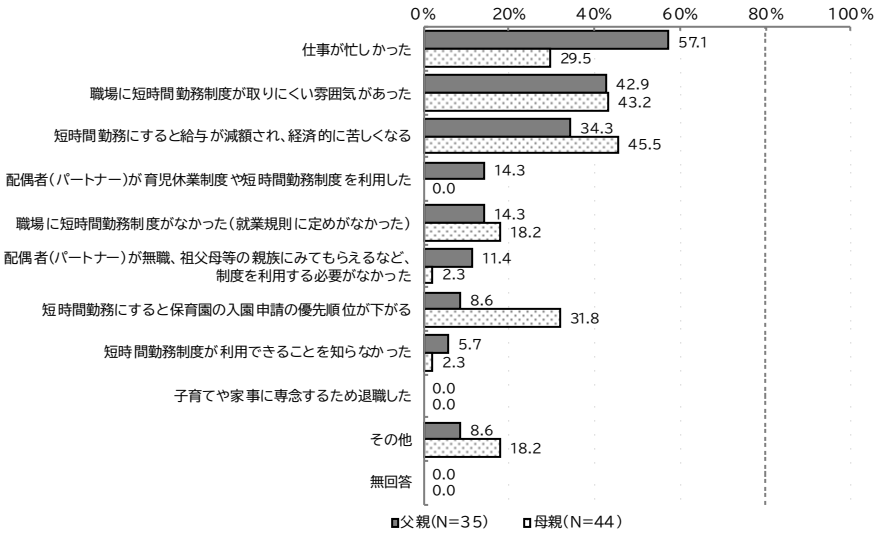
母親は「利用した」が 53.8%と最も多く、次いで「利用する必要がなかった」が 31.3%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 13.4%となっている。



問 36-8　問 36-７で「３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。
短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。（それぞれあてはまる番号すべてに○）

父親は「仕事が忙しかった」が 57.1%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度が取りにくい雰囲気があった」が 42.9%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 34.3%となっている。

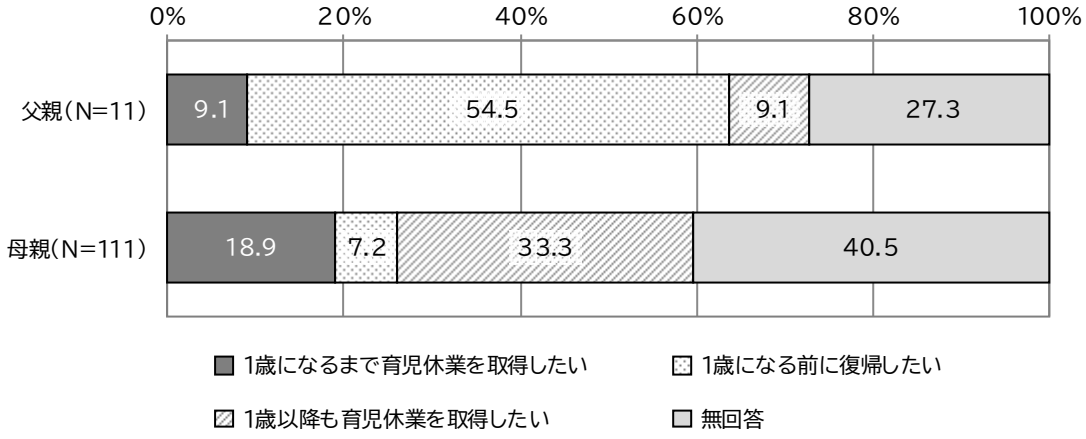
母親は「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 45.5%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度が取りにくい雰囲気があった」が 43.2%、「短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる」が 31.8%となっている。



問 36-9　問 36-２で「２．現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんが１歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

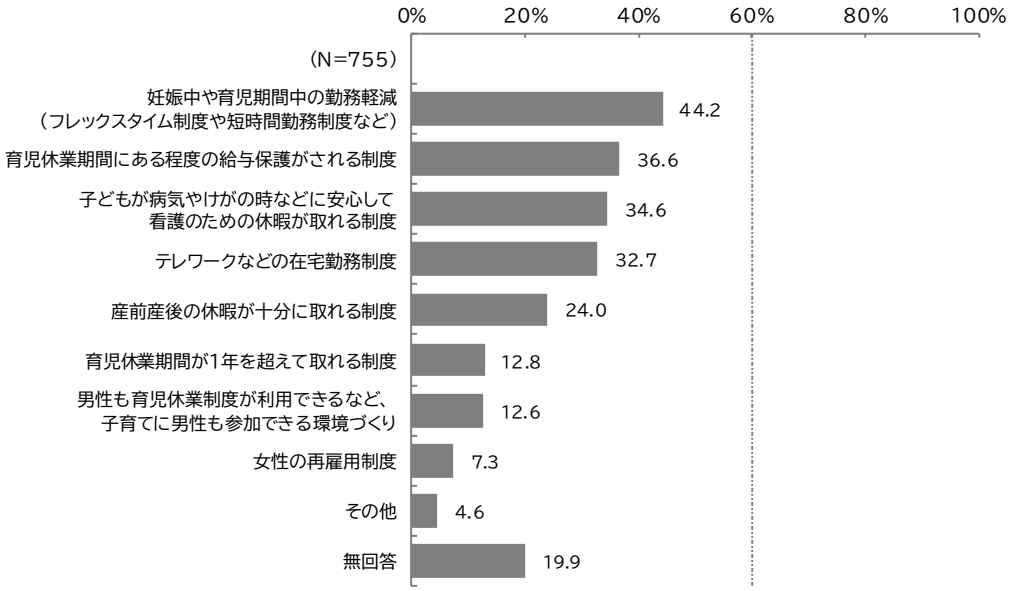
父親は「１歳になる前に復帰したい」が 54.5%と最も多く、次いで「１歳になるまで育児休業を取得したい」「１歳以降も育児休業を取得したい」がともに 9.1%となっている。

母親は「１歳以降も育児休業を取得したい」が 33.3%と最も多く、次いで「１歳になるまで育児休業を取得したい」が 18.9%、「１歳になる前に復帰したい」が 7.2%となっている。



問 37　子育てと仕事の両立のために、職場にどのようなことを望みますか。（あてはまる番号３つまで○）

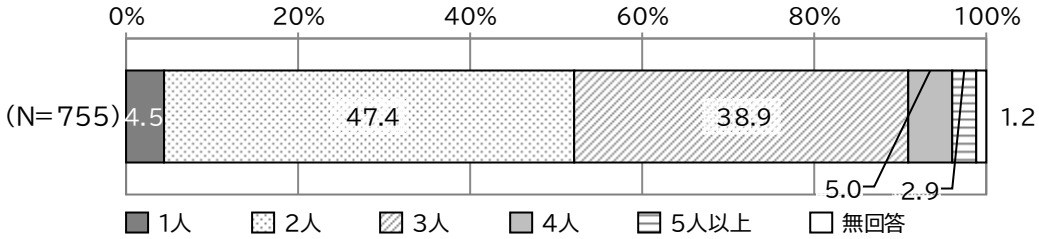
「妊娠中や育児期間中の勤務軽減（フレックスタイム制度や短時間勤務制度など）」が 44.2%と最も多く、次いで「育児休業期間にある程度の給与保護がされる制度」が 36.6%、「子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇が取れる制度」が 34.6%となっている。



（12）子育ての環境や支援全般について

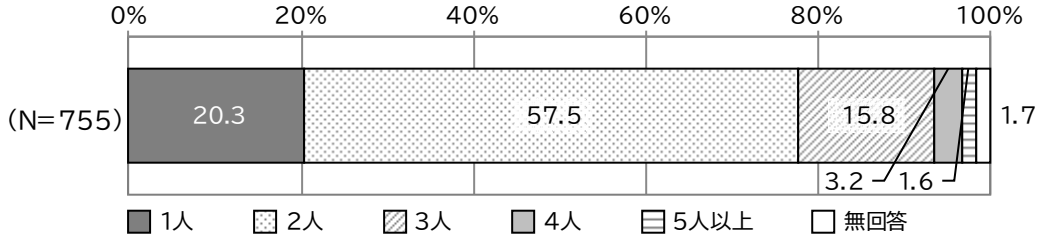
問 38　あなた（宛名のお子さんの保護者）にとって、理想的な子どもの数を（　　）内に数字でご記入ください。

「２人」が 47.4%と最も多く、次いで「３人」が 38.9%、「４人」が 5.0%となっている。平均の理想的な子どもの数は 2.5 人となっている。



問 38-1　現在いらっしゃるお子さんを含んだ、実際に持つつもりの子どもの数を（　　）内に数字でご記入ください。

「２人」が 57.5%と最も多く、次いで「１人」が 20.3%、「３人」が 15.8%となっている。平均の実際に持つつもりの子どもの数は 2.0 人となっている。

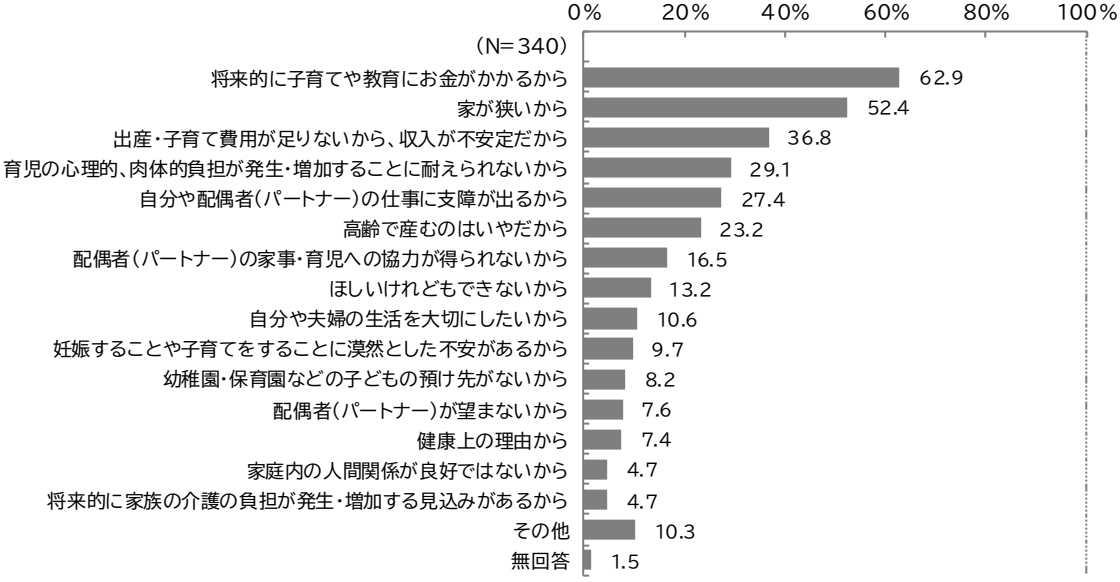


問 38-２　問 38-１の実際に持つつもりの子どもの数が、問 38 の理想的な子どもの数より少ない方にうかがいます。

実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはどうしてですか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由に◎）

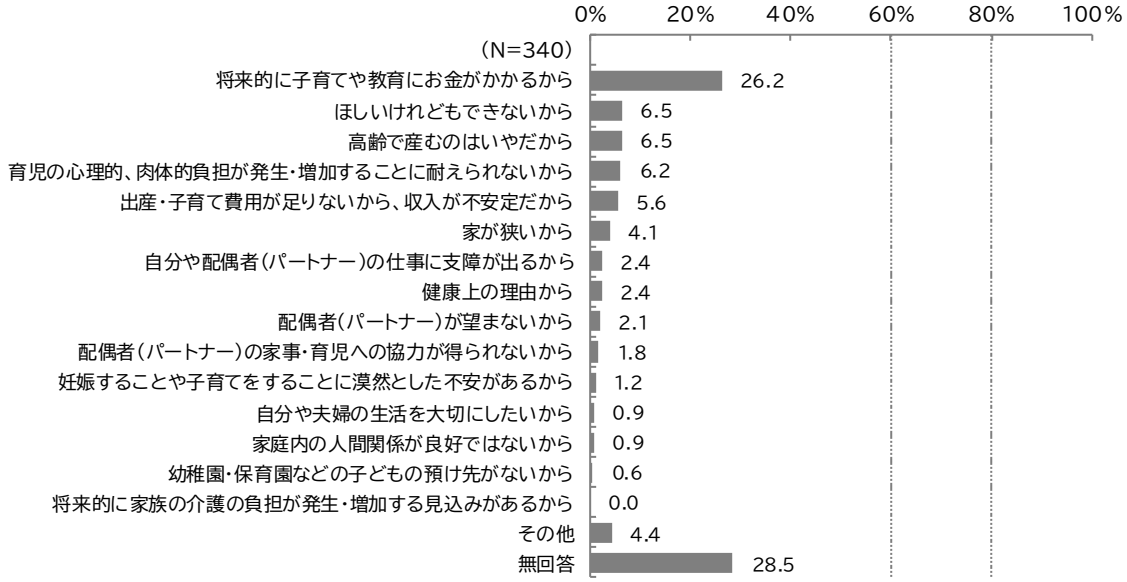
①理由

「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」が 62.9％と最も多く、次いで「家が狭いから」が 52.4％、「出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから」が 36.8％となっている。



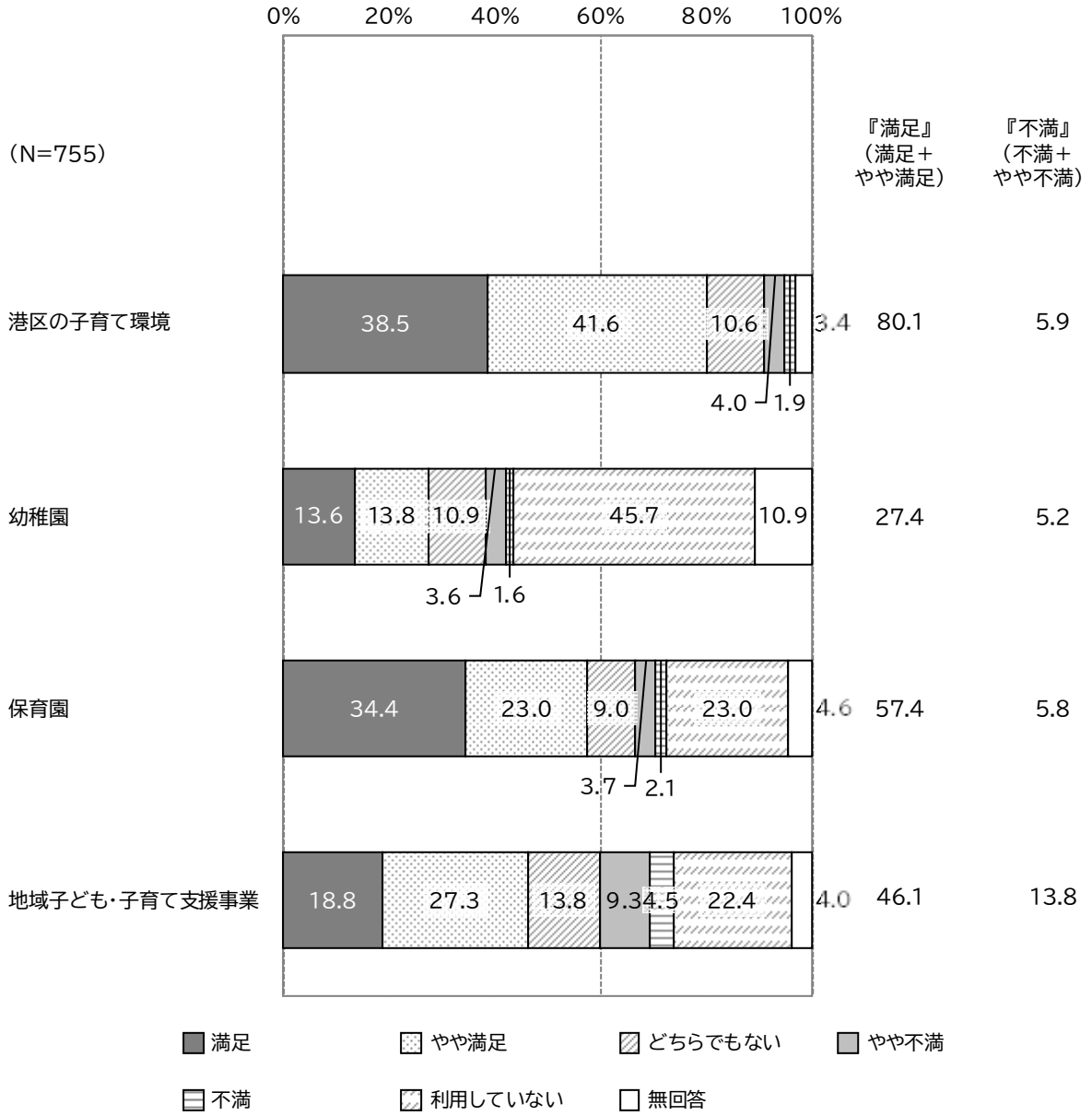
②最も重要な理由

「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」が 26.2％と最も多く、次いで「ほしいけれどもできないから」「高齢で産むのはいやだから」がともに 6.5％となっている。



問 39　港区の子育て環境全般と教育・保育事業（サービス内容について）への満足度について、お答えください。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

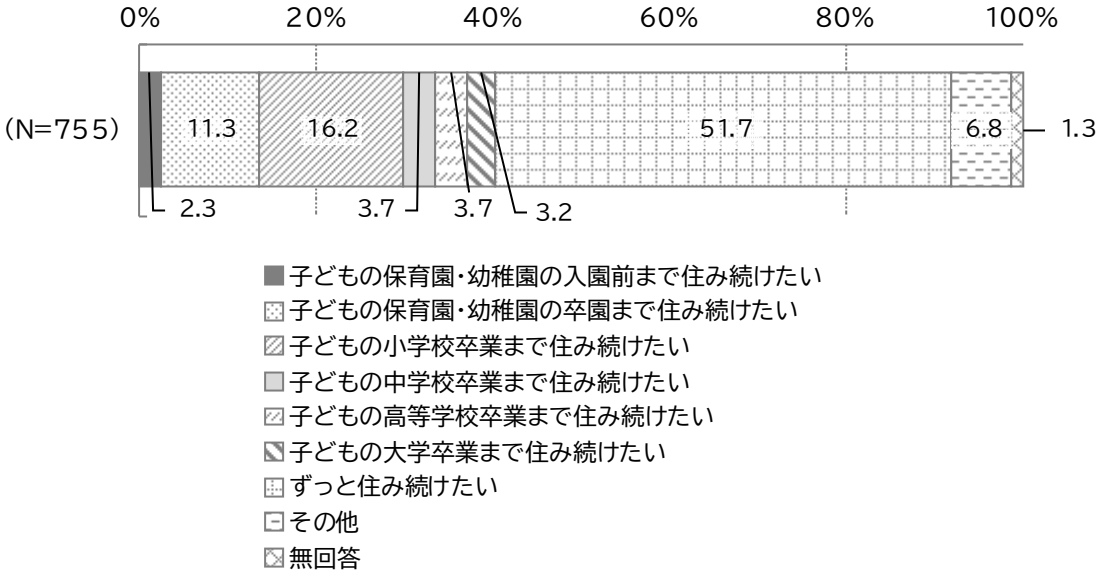
“港区の子育て環境”は「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が 80.1%、“幼稚園”は 27.4%（「利用していない」「無回答」を除くと 63.1%）、“保育園”は 57.4%（「利用していない」「無回答」を除くと 79.5%）、“地域子ども・子育て支援事業”は 46.1%（「利用していない」「無回答」を除くと 62.6%）となっており、いずれも「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』を上回っている。



※“港区の子育て環境”は「利用していない」の選択肢なし

問 40　これからも港区に住み続けたいと思いますか。（あてはまる番号ひとつに○）

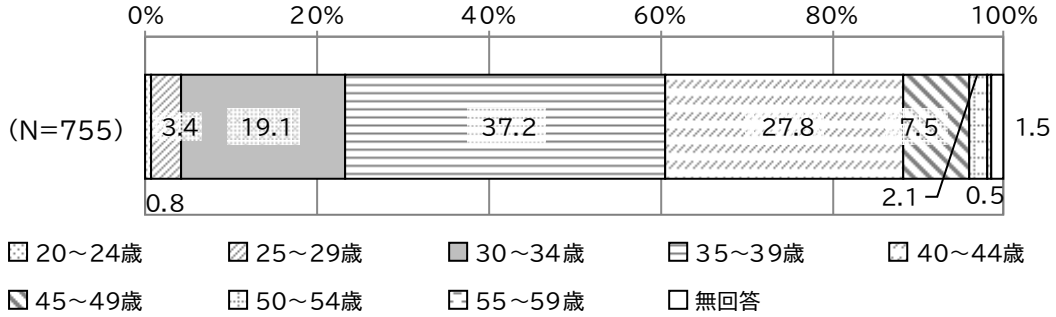
「ずっと住み続けたい」が 51.7%と最も多く、次いで「子どもの小学校卒業まで住み続けたい」が 16.2%、「子どもの保育園・幼稚園の卒園まで住み続けたい」が 11.3%となっている。



（13）保護者の状況について

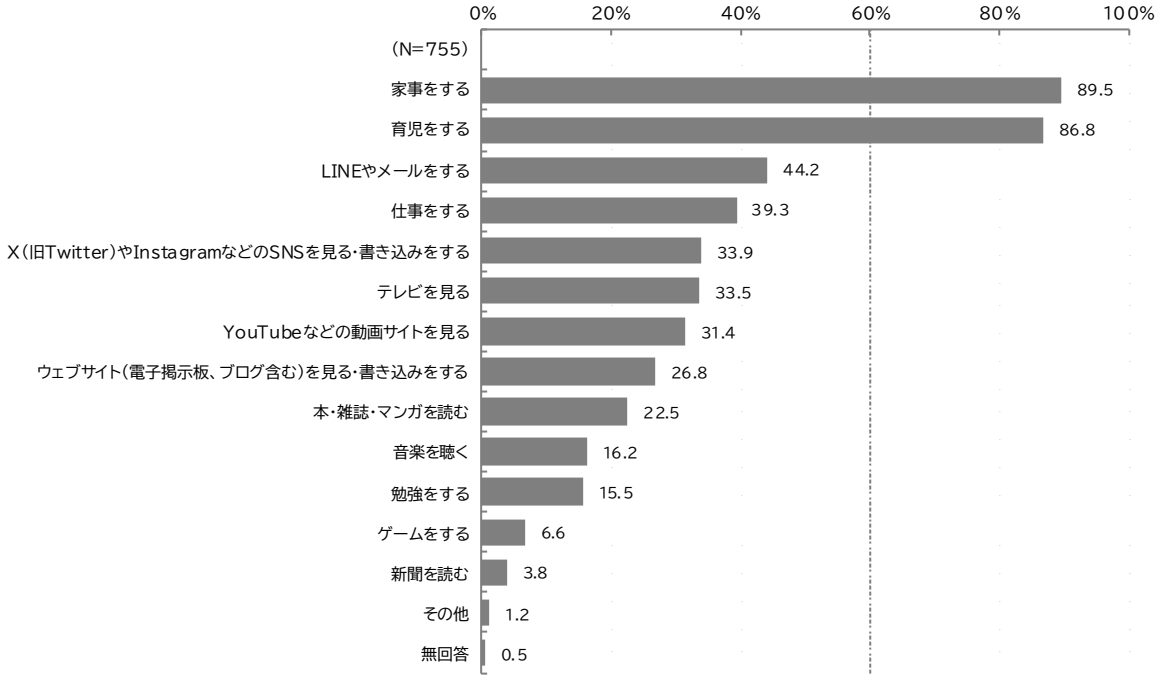
問 41　あなたの年齢を（　　）内に数字でご記入ください。（令和５年４月１日現在）

「35～39 歳」が 37.2%と最も多く、次いで「40～44 歳」が 27.8%、「30～34 歳」が 19.1%となっている。



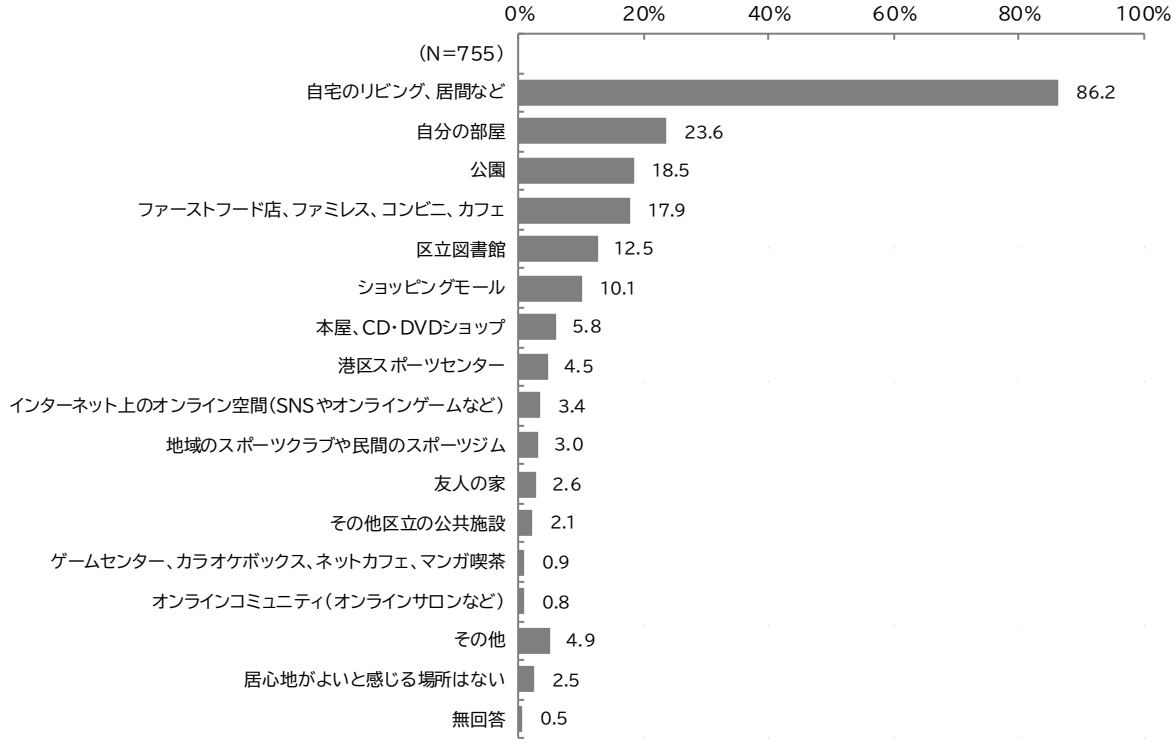
問 42　あなたが普段自宅にいるときによくしていることは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「家事をする」が 89.5%と最も多く、次いで「育児をする」が 86.8%、「LINE やメールをする」が 44.2%となっている。



問 43　あなたが、普段の生活で居心地がよいと感じる場所はどこですか。（あてはまる番号すべてに○）

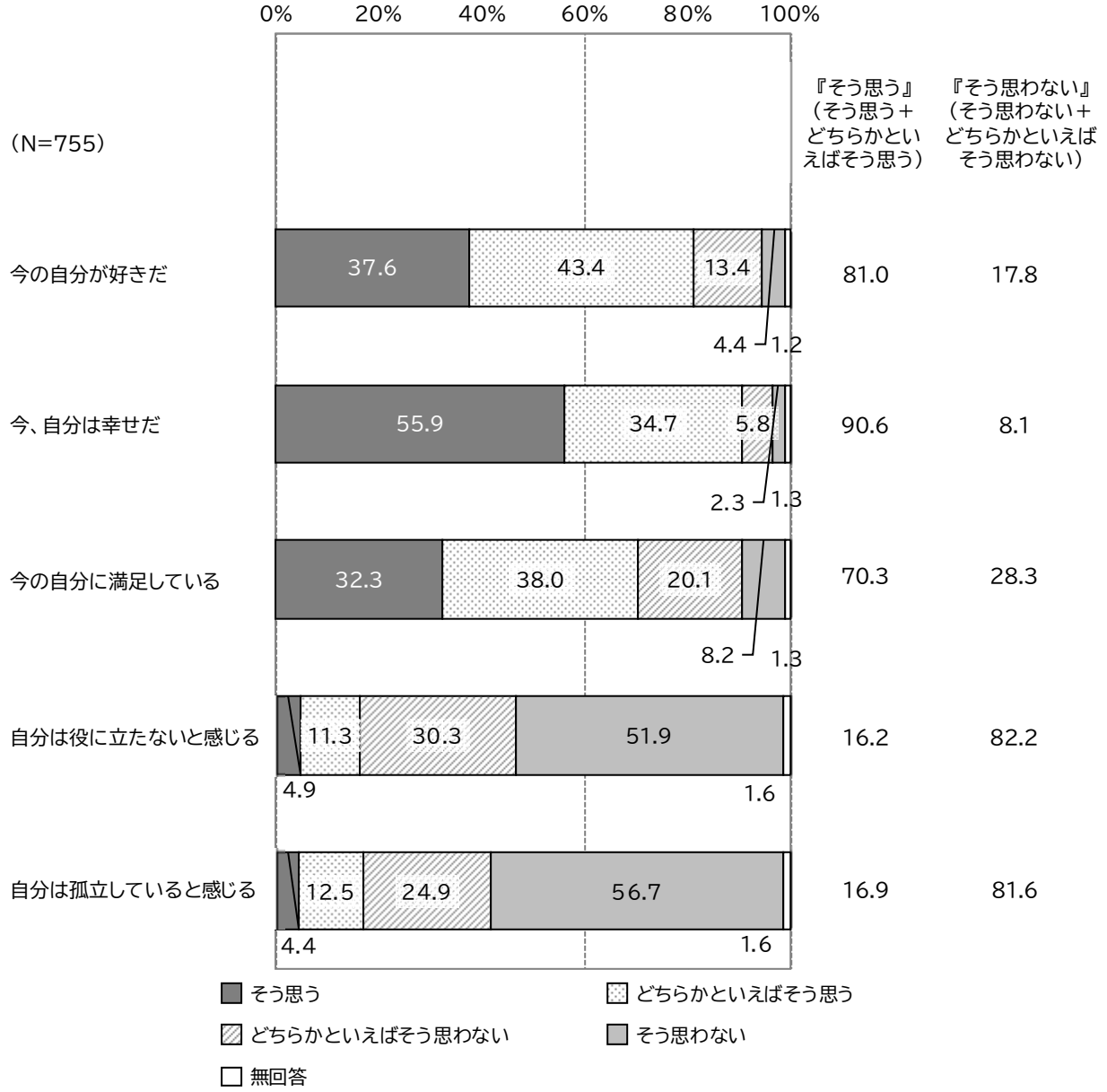
「自宅のリビング、居間など」が 86.2%と最も多く、次いで「自分の部屋」が 23.6%、「公園」が 18.5%となっている。



問 44　次の項目について、あなたはどのように感じますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

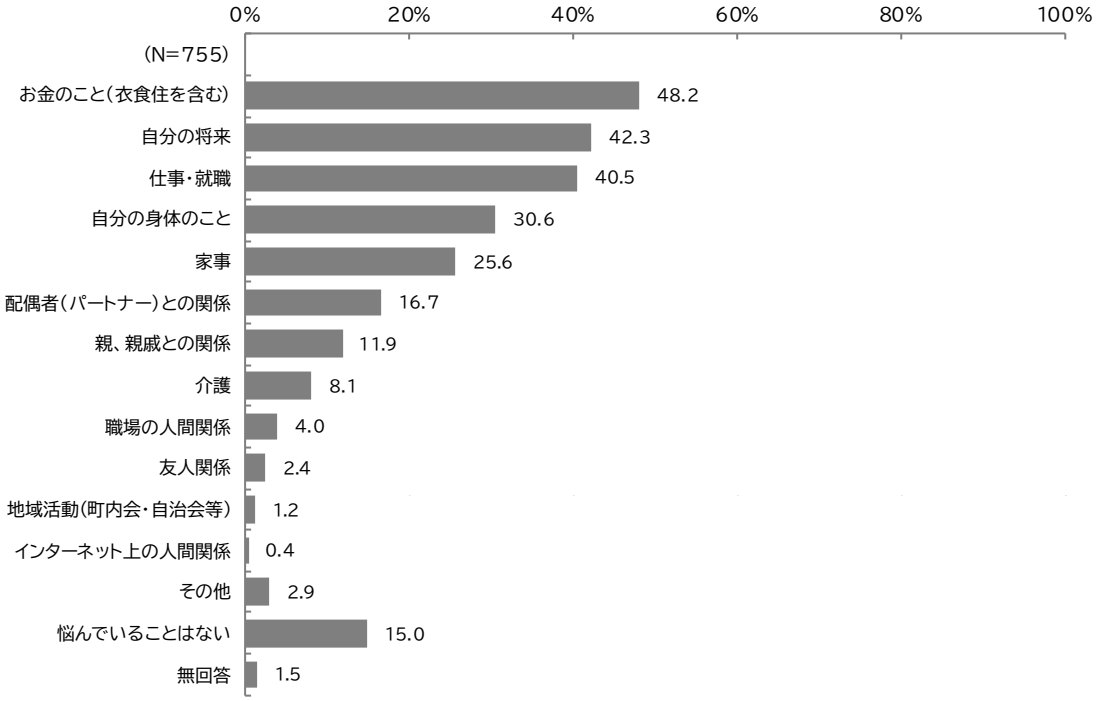
“今の自分が好きだ”“今、自分は幸せだ”“今の自分に満足している”において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』がそれぞれ 81.0%、90.6%、70.3%となっている。

“自分は役に立たないと感じる”“自分は孤立していると感じる”において、『そう思う』がそれぞれ 16.2%、16.9%となっている。



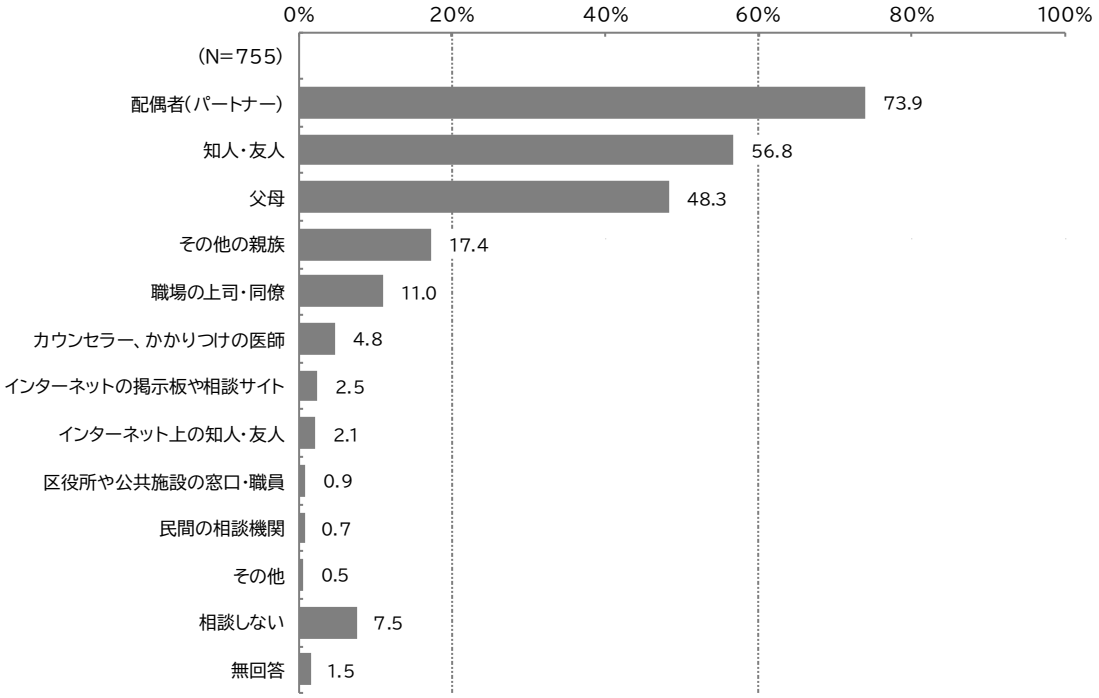
問 45　あなたは、現在、子育て以外の悩みはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「お金のこと（衣食住を含む）」が 48.2%と最も多く、次いで「自分の将来」が 42.3%、「仕事・就職」が 40.5%となっている。



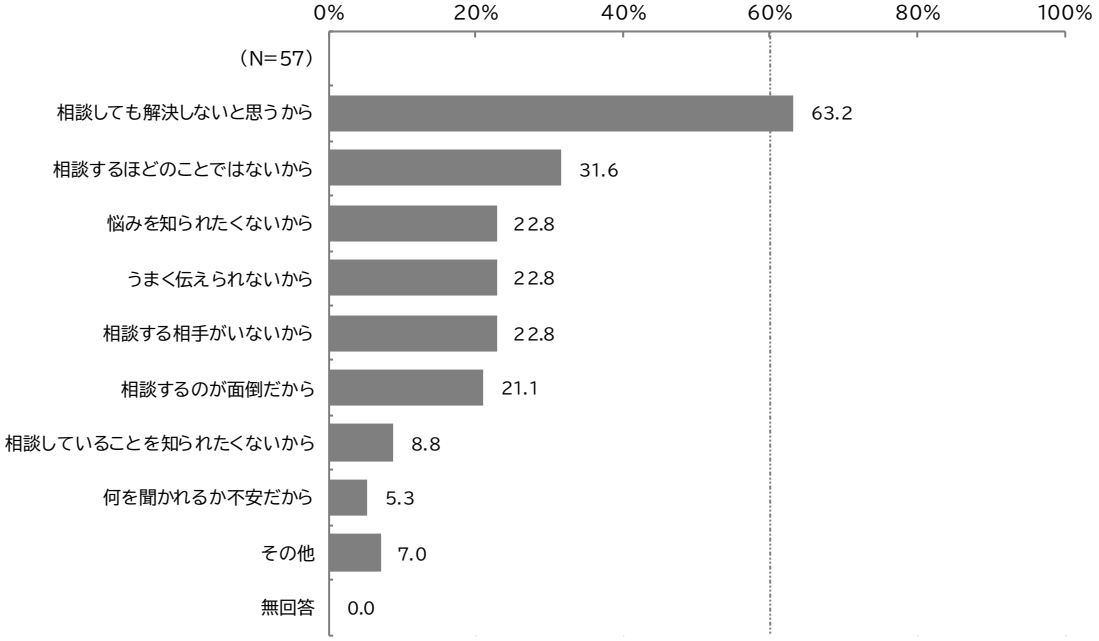
問 46　あなたは、普段子育て以外の悩みごとがあるとき、誰（どこ）に相談しますか。（あてはまる番号すべてに○）

「配偶者（パートナー）」が 73.9%と最も多く、次いで「知人・友人」が 56.8%、「父母」が 48.3%となっている。



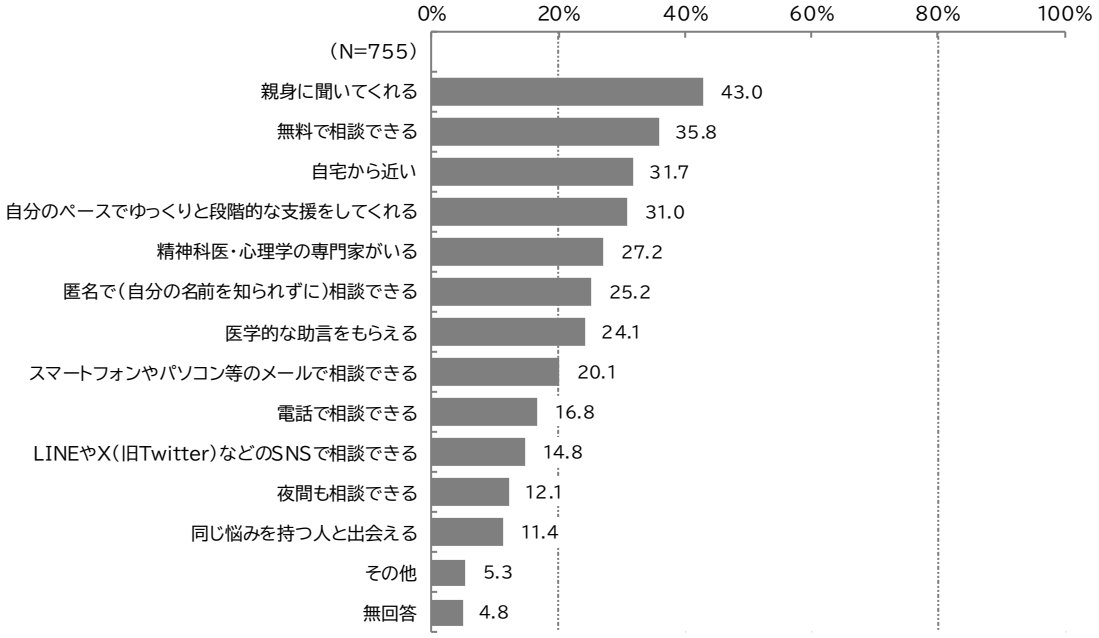
問 46-1　問 46 で「12.　相談しない」に○をつけた方にうかがいます
相談しない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「相談しても解決しないと思うから」が 63.2%と最も多く、次いで「相談するほどのことではないから」が 31.6%、「悩みを知られたくないから」「うまく伝えられないから」「相談する相手がいないから」がともに 22.8%となっている。



問 47　区役所や公共施設に相談するとしたら、どのようなことを望みますか。（あてはまる番号すべてに○）

「親身に聞いてくれる」が 43.0%と最も多く、次いで「無料で相談できる」が 35.8%、「自宅から近い」が 31.7%となっている。

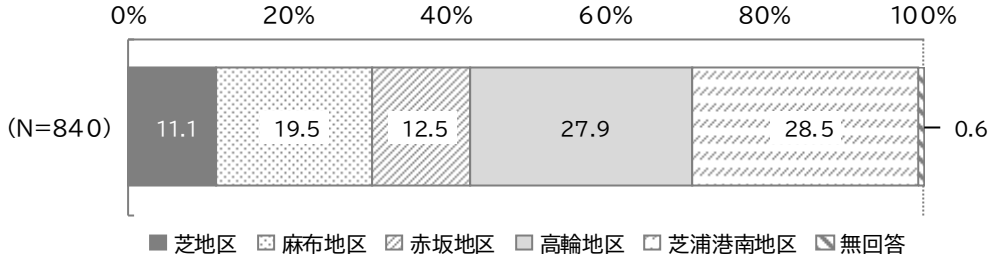


２．小学生の保護者

（１）居住地区について

問１　お住まいの地域はどこですか。（あてはまる番号ひとつに○）

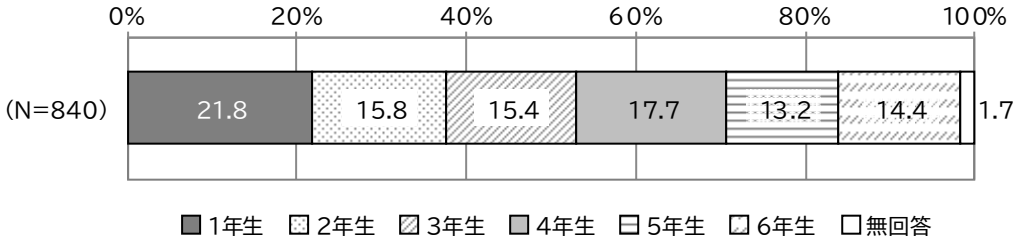
「芝浦港南地区」が 28.5％と最も多く、次いで「高輪地区」が 27.9％、「麻布地区」が 19.5％となっている。



（２）子どもと家族の状況について

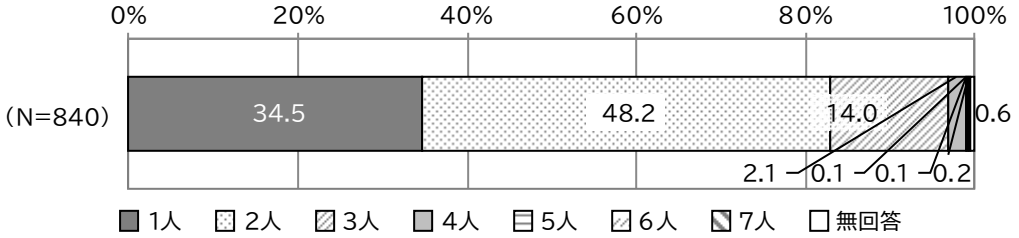
問２　宛名のお子さんの学年を（　　）内に数字でご記入ください。

「１年生」が 21.8％と最も多く、次いで「４年生」が 17.7％、「２年生」が 15.8％となっている。



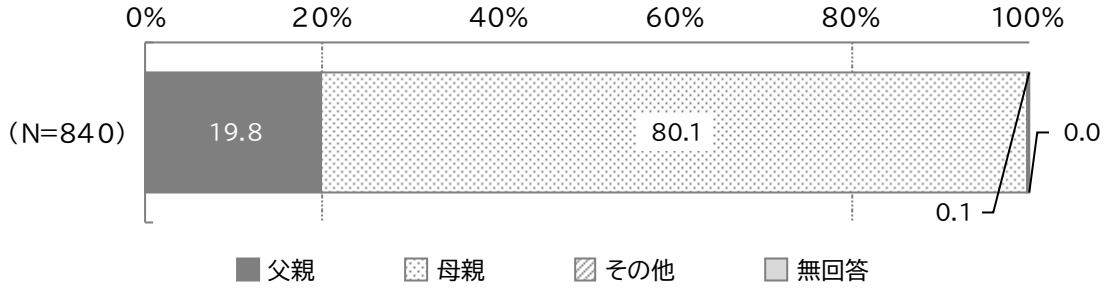
問３　宛名のお子さんのきょうだいは何人いますか。宛名のお子さんを含めた人数とそれぞれの生まれた年と月を（　　）内に数字でご記入ください。

「２人」が 48.2％と最も多く、次いで「１人」が 34.5％、「３人」が 14.0％となっている。



問４　この調査票に回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

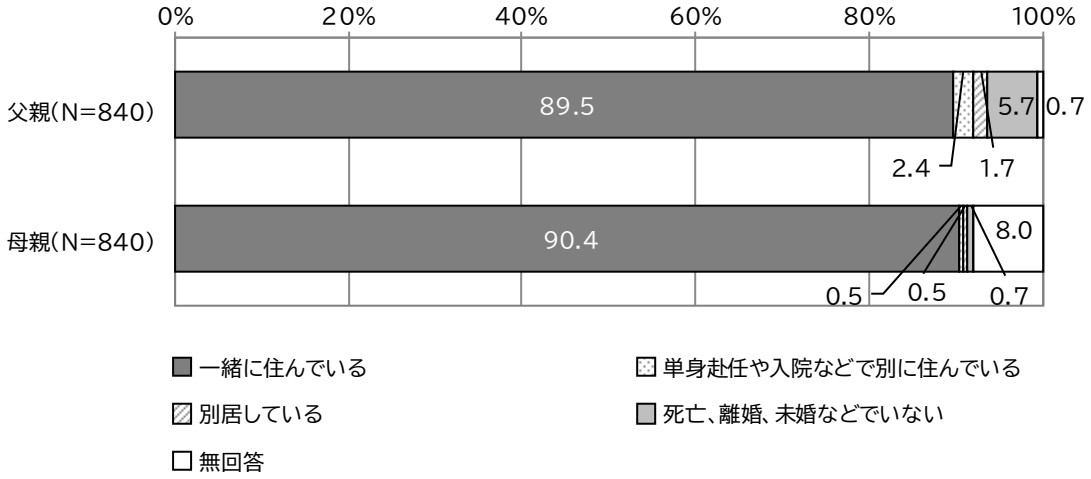
「母親」が 80.1%、「父親」が 19.8%となっている。



問５　宛名のお子さんとご両親の同別居状況についてうかがいます。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

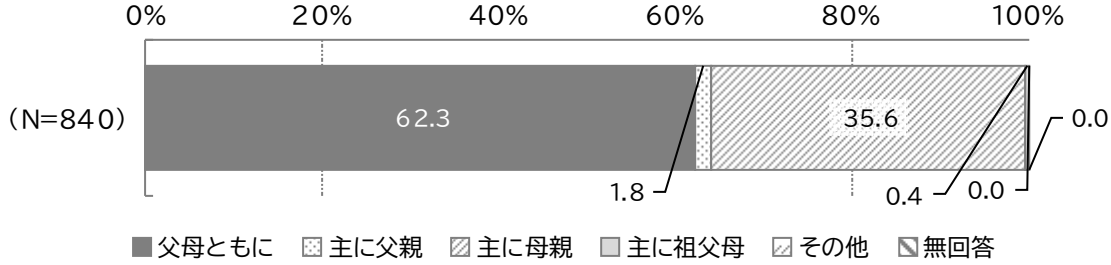
父親は「一緒に住んでいる」が 89.5%と最も多く、次いで「死亡、離婚、未婚などでいない」が 5.7%、「単身赴任や入院などで別に住んでいる」が 2.4%となっている。

母親は「一緒に住んでいる」が 90.4%と最も多く、次いで「死亡、離婚、未婚などでいない」が 0.7%、「単身赴任や入院などで別に住んでいる」「別居している」がともに 0.5%となっている。



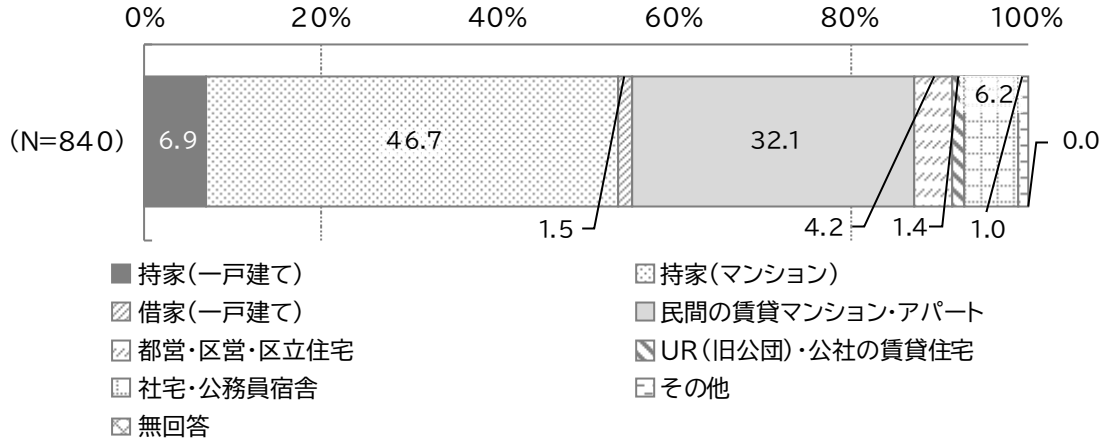
問６　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。なお、続柄はすべてお子さんからみた関係です。（あてはまる番号ひとつに○）

「父母ともに」が 62.3%と最も多く、次いで「主に母親」が 35.6%、「主に父親」が 1.8%となっている。



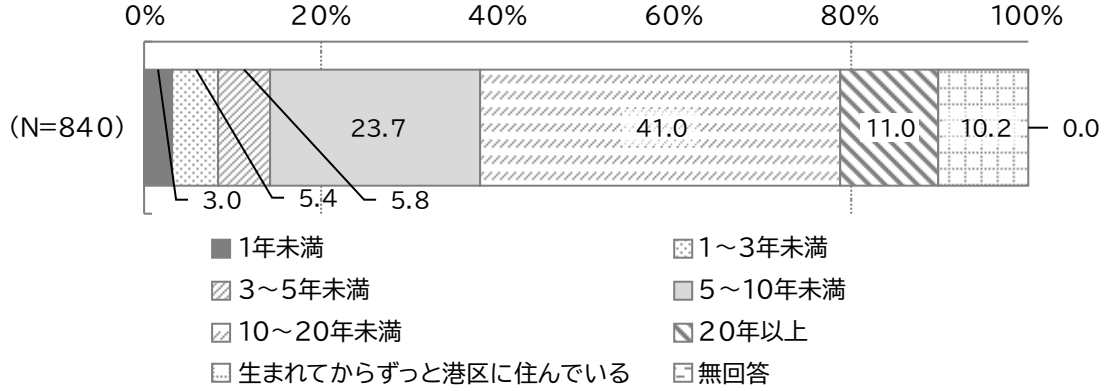
問７　あなた（宛名のお子さんの保護者）のお住まいをお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

「持家（マンション）」が 46.7％と最も多く、次いで「民間の賃貸マンション・アパート」が 32.1％、「持家（一戸建て）」が 6.9％となっている。



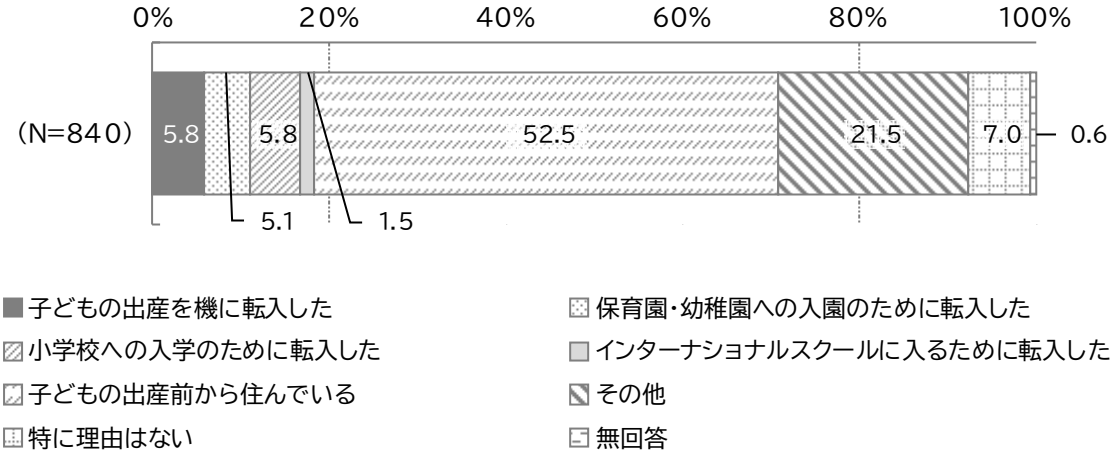
問８　あなた（宛名のお子さんの保護者）は、港区に住んで何年になりますか。宛名のお子さんの保護者のうち、港区での居住期間が長い方についてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

「10～20 年未満」が 41.0％と最も多く、次いで「５～10 年未満」が 23.7％、「20 年以上」が 11.0％となっている。



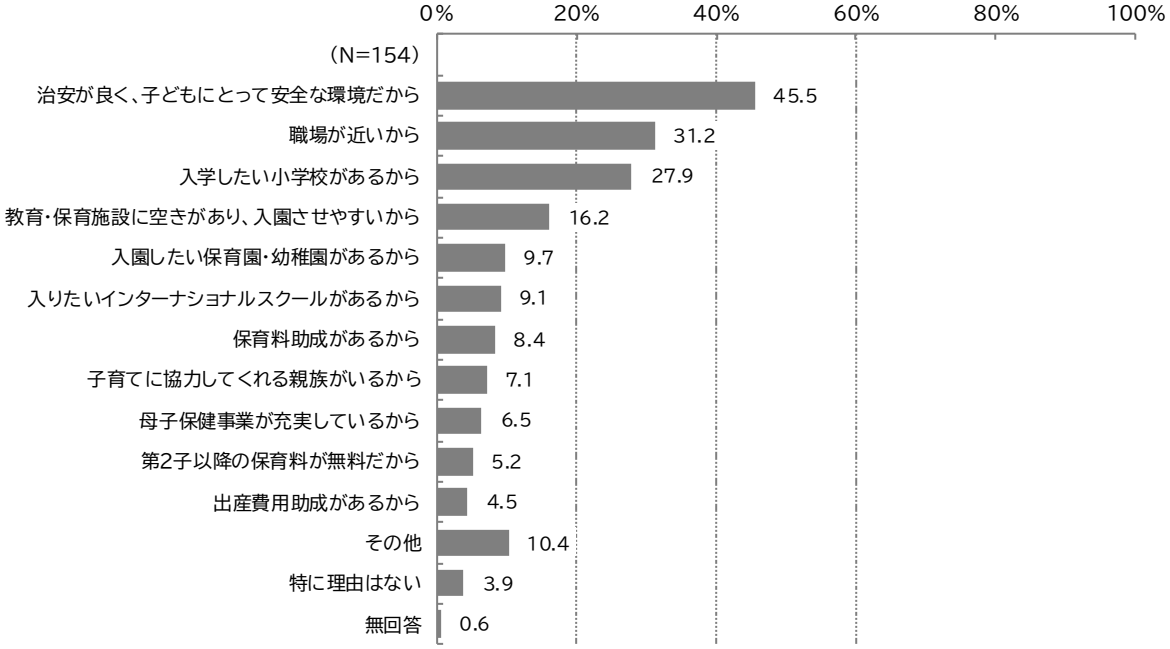
問８-１　あなた（宛名のお子さんの保護者）が、港区に住むことになったきっかけは何ですか。（あてはまる番号ひとつに○）

「子どもの出産前から住んでいる」が 52.5%と最も多く、次いで「その他」が 21.5%、「特に理由はない」が 7.0%となっている。



問８-２　問８-１で「１.子どもの出産を機に転入した」～「４.インターナショナルスクールに入るために転入した」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
次のうち、あてはまる理由があればお選びください。（あてはまる番号すべてに○）

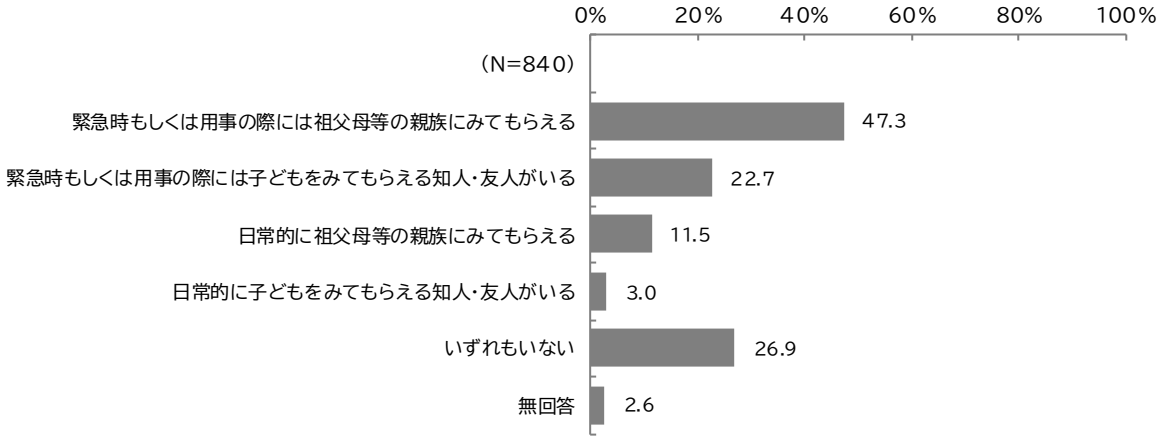
「治安が良く、子どもにとって安全な環境だから」が 45.5%と最も多く、次いで「職場が近いから」が 31.2%、「入学したい小学校があるから」が 27.9%となっている。



（3）子どもの育ちをめぐる環境について

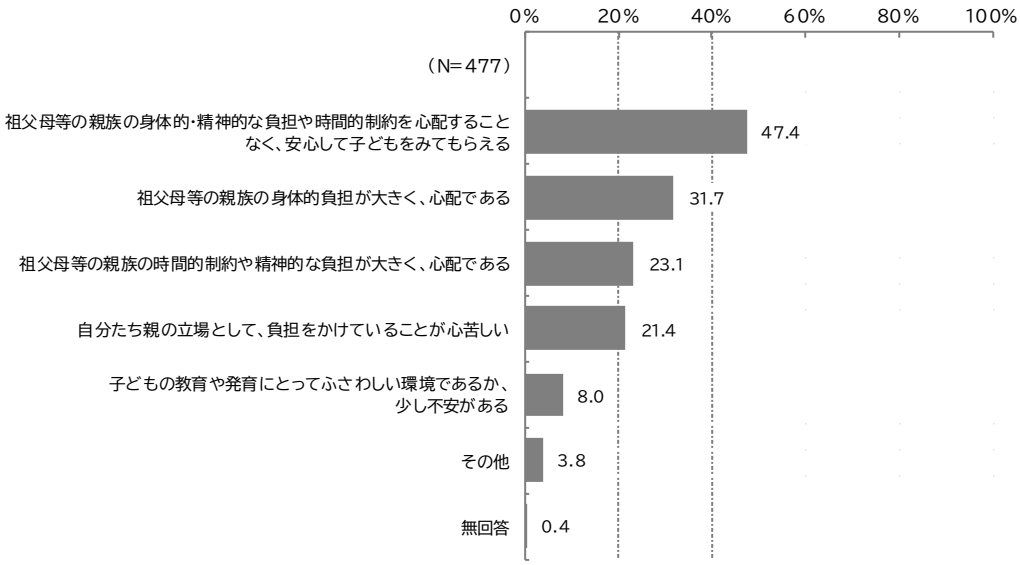
問９　日頃、保護者以外に宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 47.3％と最も多く、次いで「いずれもいない」が 26.9％、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる知人・友人がいる」が 22.7％となっている。



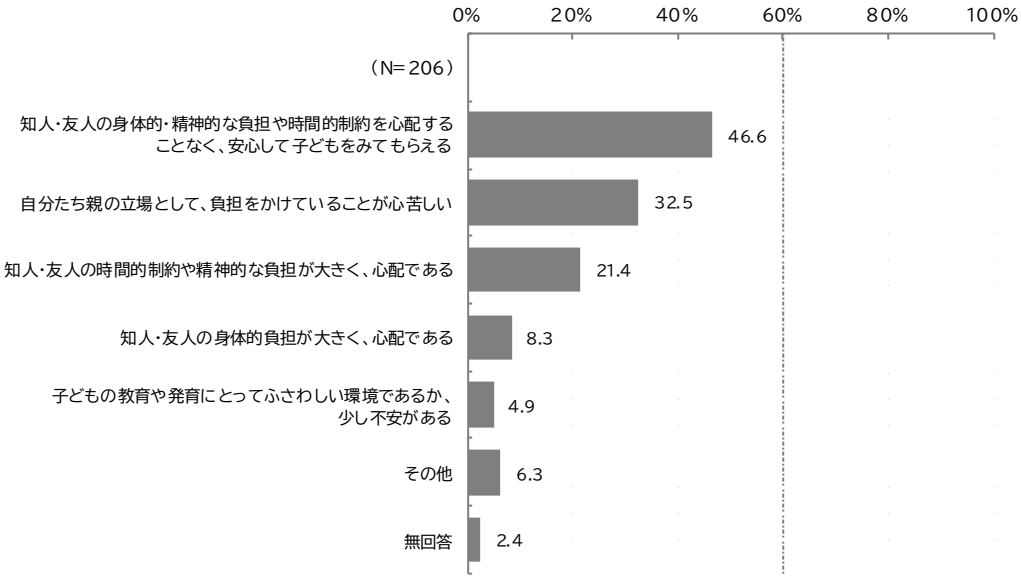
問９-１　問９で「１．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「２．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 47.4％と最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である」が 31.7％、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」が 23.1％となっている。



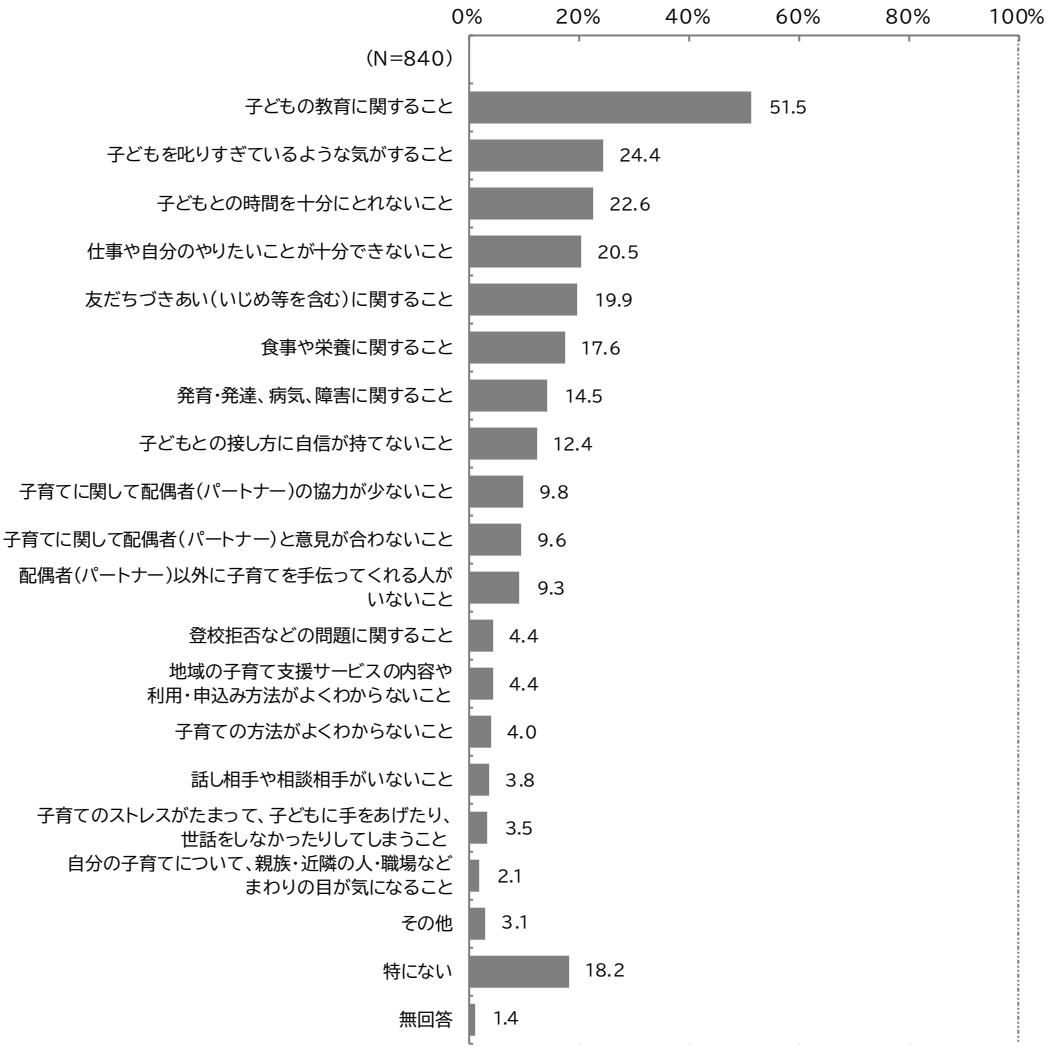
問９-２　問９で「３．日常的に子どもをみてもらえる知人・友人がいる」または「４．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる知人・友人がいる」に○をつけた方にうかがいます。
知人・友人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

「知人・友人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 46.6％と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 32.5％、「知人・友人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」が 21.4％となっている。



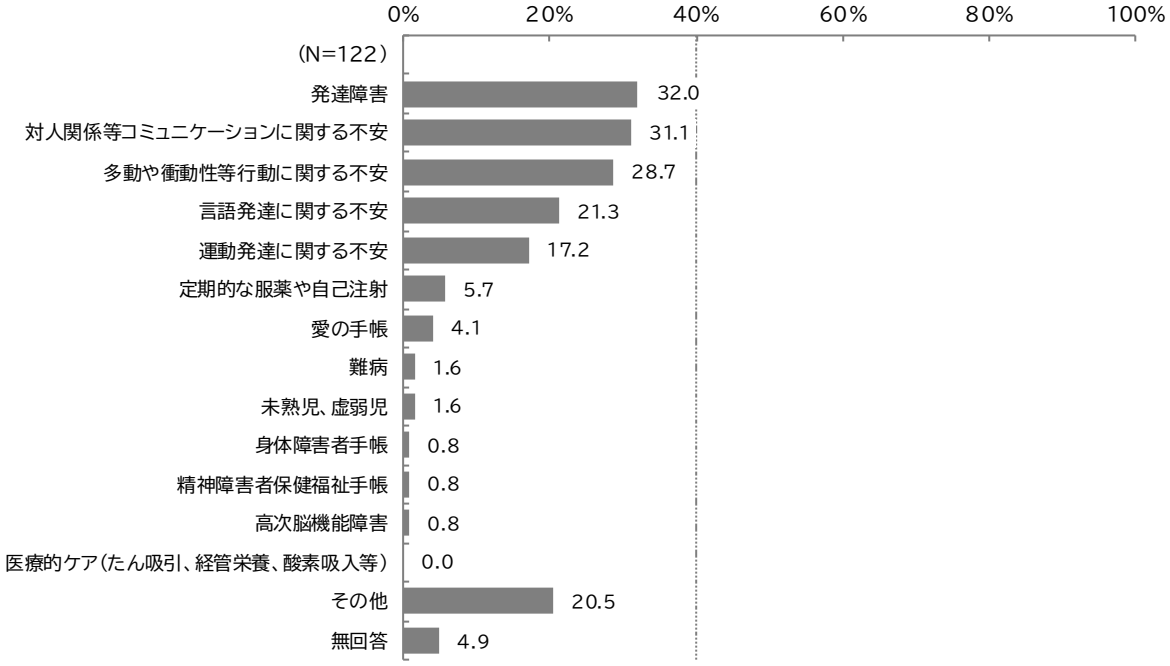
問 10　子育てに関して、日頃、悩んでいることや気になることはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「子どもの教育に関すること」が 51.5%と最も多く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がすること」が 24.4%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が 22.6%となっている。



問 10-1　問 10 で「1．発育・発達、病気、障害に関すること」に○をつけた方にうかがいます。あてはまるものをお答えください。（あてはまる番号すべてに○）また、「1.身体障害者手帳」～「3.精神障害者保健福祉手帳」に○をつけた方は、（　　）内に数字でご記入ください。

「発達障害」が 32.0%と最も多く、次いで「対人関係等コミュニケーションに関する不安」が 31.1%、「多動や衝動性等行動に関する不安」が 28.7%となっている。

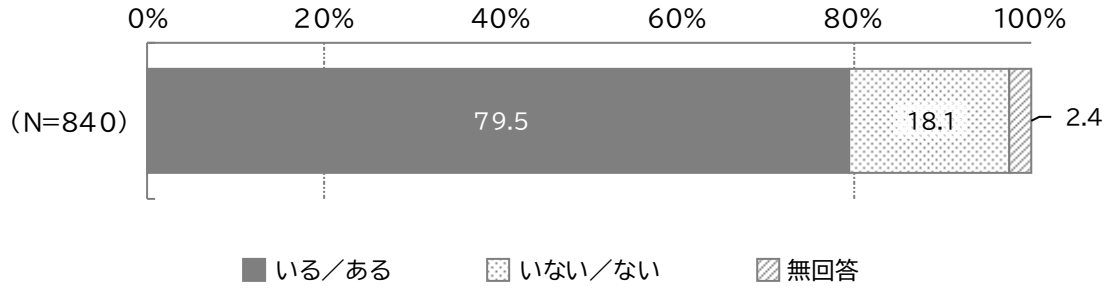


【等級】

	1級（度）	2級（度）	3級（度）	無回答
身体障害者手帳	－	－	1件 (100.0%)	－
愛の手帳	－	1件 (20.0%)	2件 (40.0%)	2件 (40.0%)
精神障害者保健福祉手帳	－	－	1件 (100.0%)	－

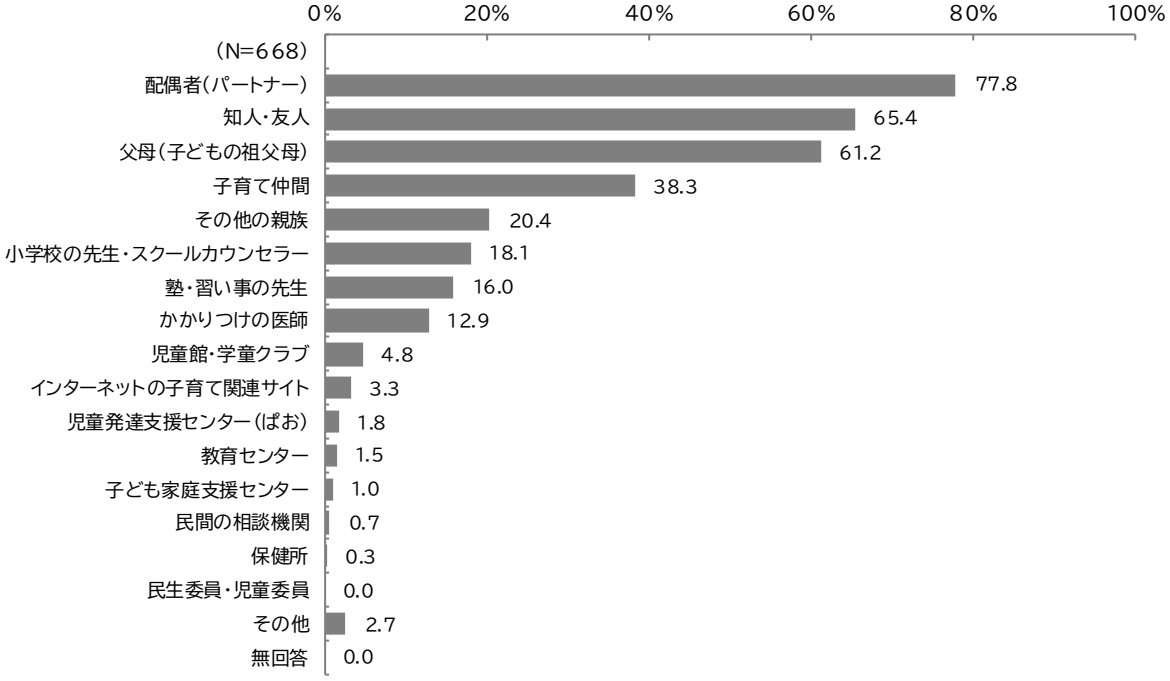
問 11　宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人（場所）はいますか（ありますか）。（あてはまる番号ひとつに○）

「いる／ある」が 79.5%、「いない／ない」が 18.1%となっている。



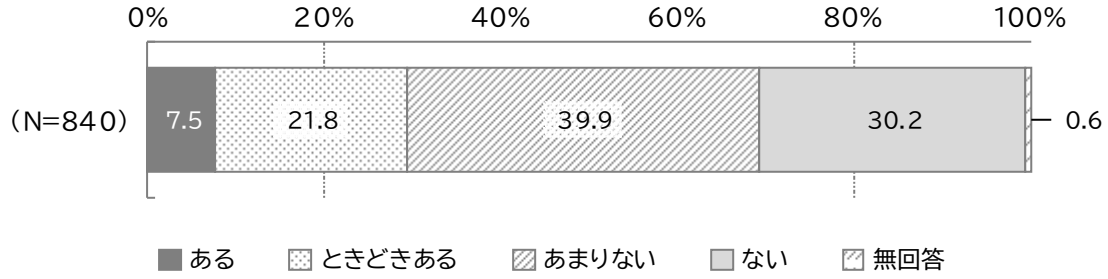
問 11-1　問 11 で「1．いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「配偶者（パートナー）」が 77.8%と最も多く、次いで「知人・友人」が 65.4%、「父母（子どもの祖父母）」が 61.2%となっている。



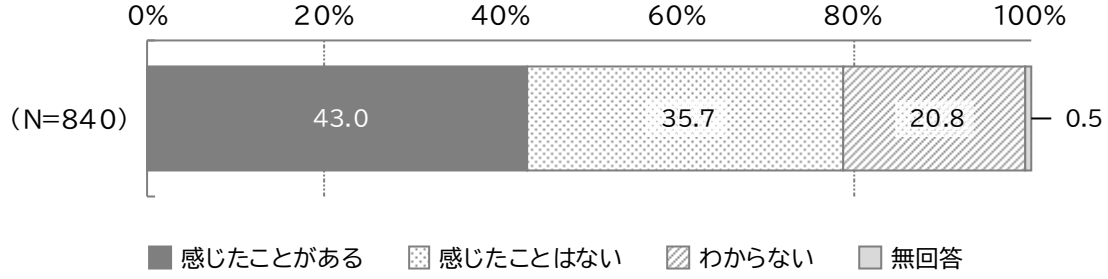
問 12　日頃、子育てを行うにあたり、孤立感を感じることはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

「あまりない」が 39.9%と最も多く、次いで「ない」が 30.2%、「ときどきある」が 21.8%となっている。



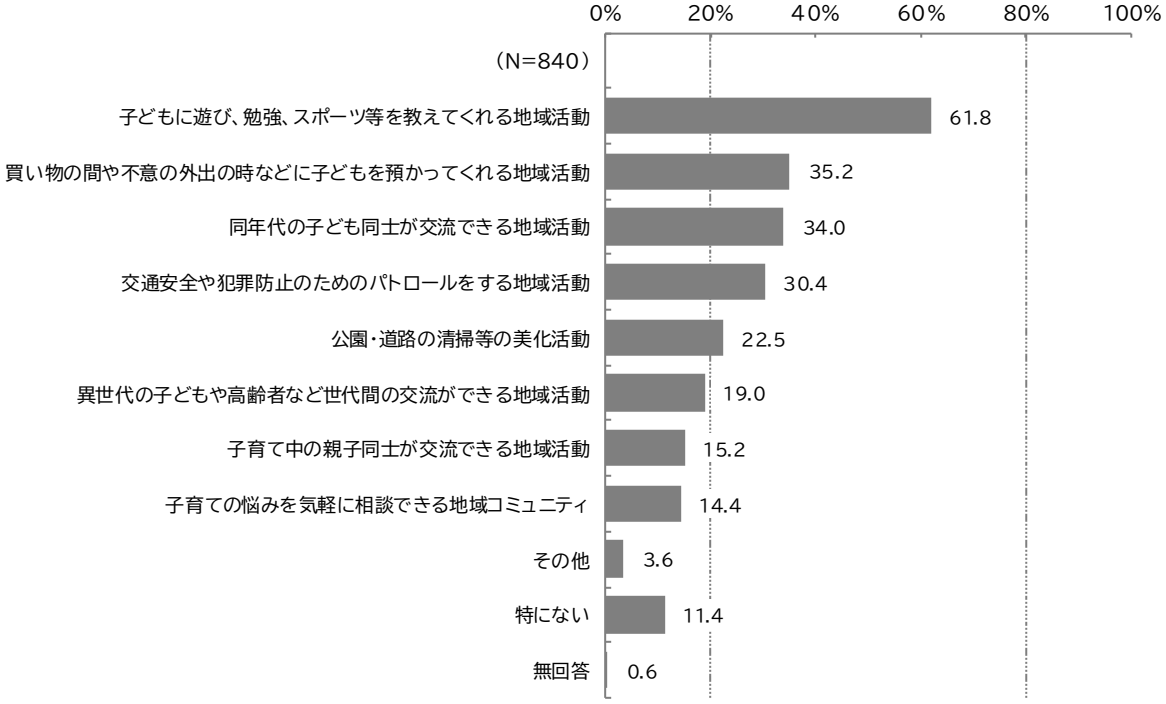
問 13　子育てについて、地域の人（近所の人、町内会などの知人、習い事での知人など）からのサポートがあればよいと感じたことはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

「感じたことがある」が 43.0%と最も多く、次いで「感じたことはない」が 35.7%、「わからない」が 20.8%となっている。



問 14　あなたは、地域の人からのサポートや地域活動について、どのようなものがあればよいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

「子どもに遊び、勉強、スポーツ等を教えてくれる地域活動」が 61.8%と最も多く、次いで「買い物の間や不意の外出の時などに子どもを預かってくれる地域活動」が 35.2%、「同年代の子ども同士が交流できる地域活動」が 34.0%となっている。



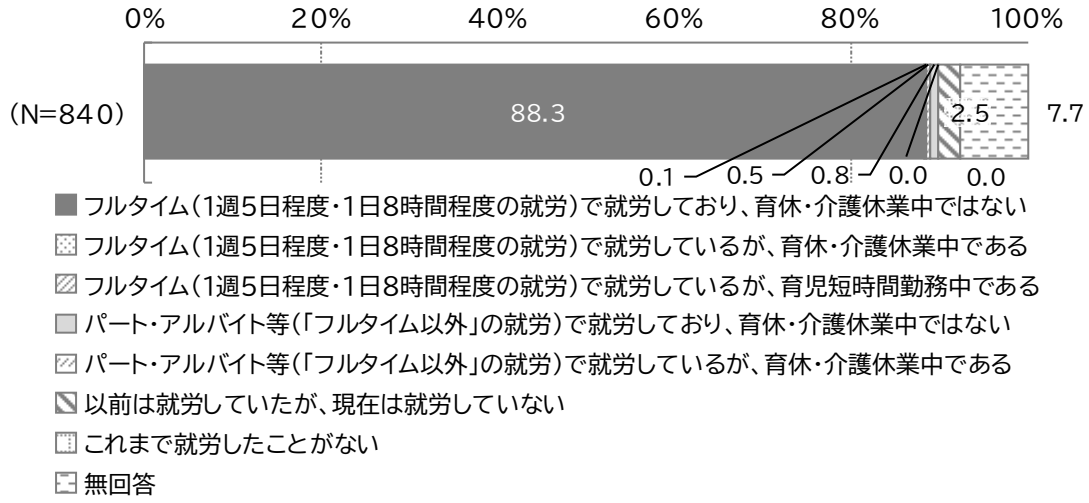
（４）就労・家計状況について

問 15　宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。（あてはまる番号ひとつに○）

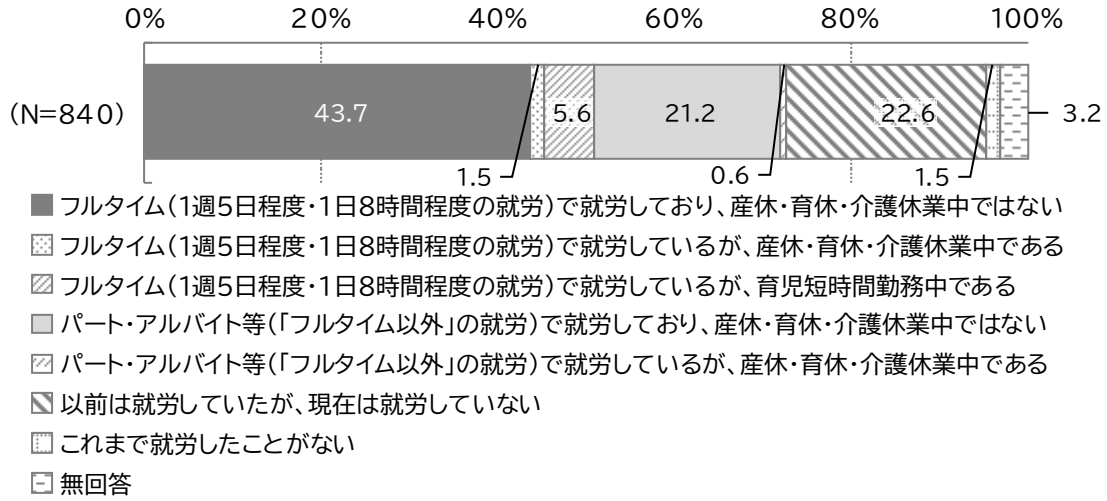
父親は「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 88.3%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 2.5%、「パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 0.8%となっている。

母親は「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 43.7%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 22.6%、「パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 21.2%となっている。

【父親】



【母親】

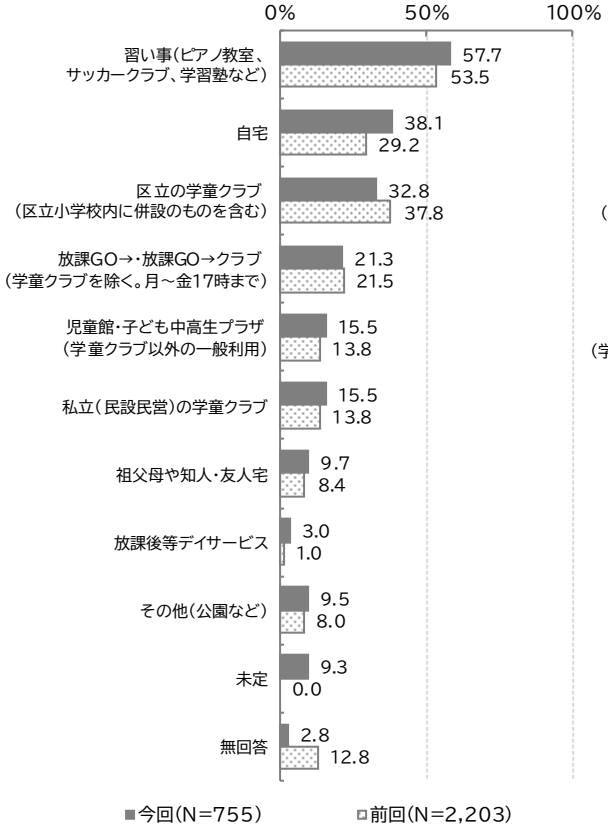


【前回比較】

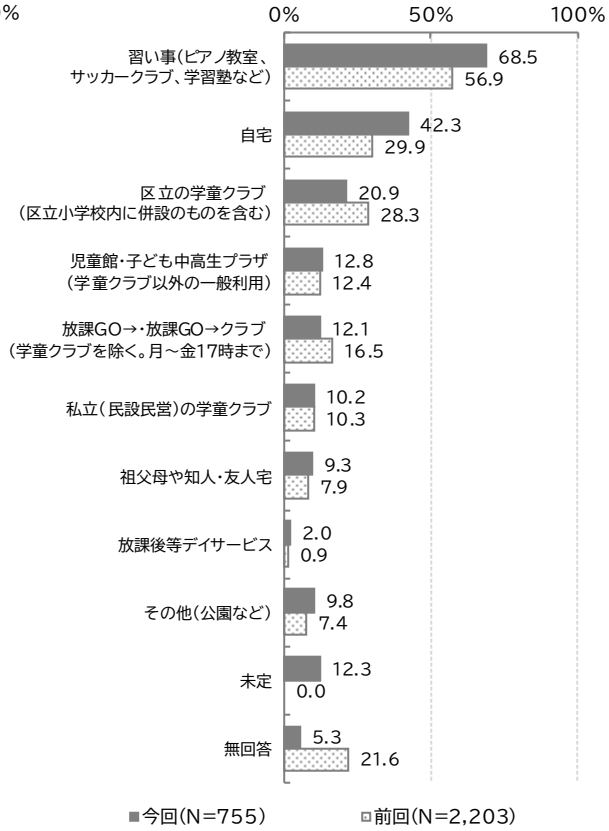
・ 前回調査と比べて、低学年（１～３年生）は「習い事」（今回 57.7%、前回 53.5%）、「自宅」（今回 38.1%、前回 29.2%）が多く、「区立の学童クラブ」（今回 32.8%、前回 37.8%）が少なくなっている。

・ 前回調査と比べて、高学年（４～６年生）は「習い事」（今回 68.5%、前回 56.9%）、「自宅」（今回 42.3%、前回 29.9%）、が多く、「区立の学童クラブ」（今回 20.9%、28.3%）が少なくなっている。

［低学年］



［高学年］



※前回調査では「未定」の選択肢なし

【関連する自由回答（一部抜粋）】

・ 保育園卒園後の育児に不安を感じている。放課後の学童保育は 19 時までとなっているが、現状就労で 19 時半頃に迎えに行くことが多い。そのため、子供の迎えや子供の自宅での一人時間を作らざるを得ない状況が予想できる。学童保育の数も選択肢も、保育園と比べて非常に少ない印象がある。共働き世帯が安心して就労できる環境づくりの支援をお願いしたい。【４歳・30 代母親】

・ 小学校で放課後に習い事をできるようにしてほしい。（又は学童）仕事をしていると習い事へ送ることができない。【５歳・30 代母親】

・ 仕事をしていなくても学童などの利用場所があるといいです。【４歳・40 代母親】

・ 民間学童の助成制度がほしいです。【０歳・30 代母親】

（９）職場の両立支援制度

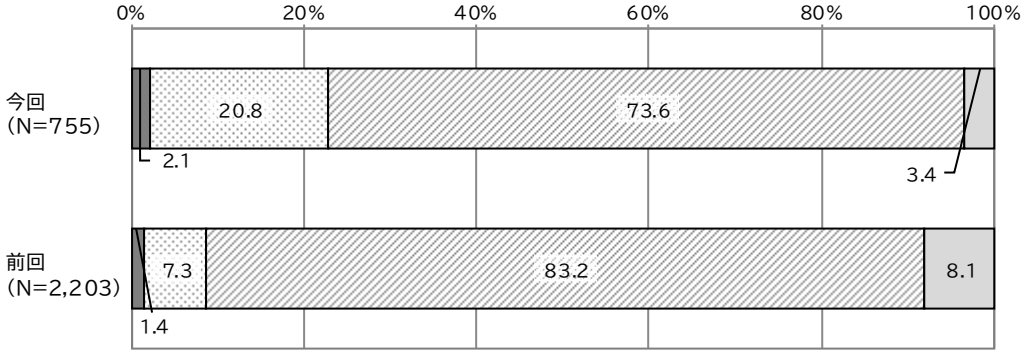
①育児休業の取得状況（問 36）

・　父親は「取得した（取得中である）」が 20.8%となっており、前回調査の 7.3%を大きく上回っている。

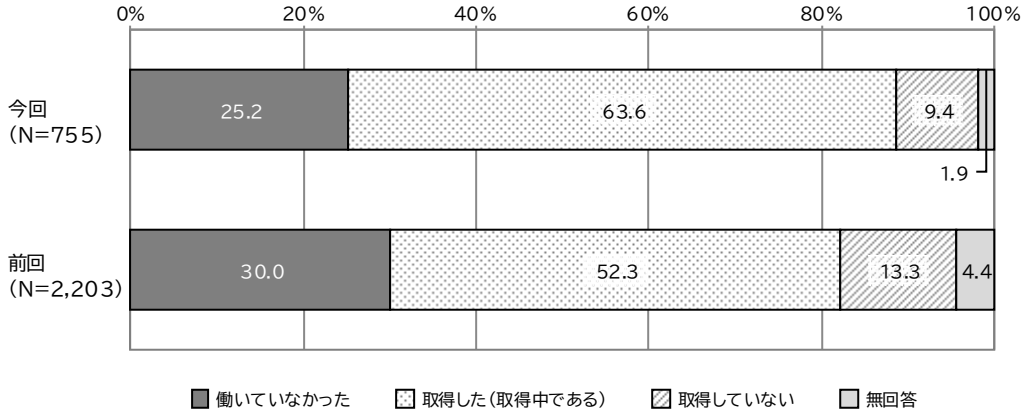
・　母親は「取得した（取得中である）」が 63.6%となっており、前回調査の 52.3%を上回っている。

【前回比較】

［父親］



［母親］

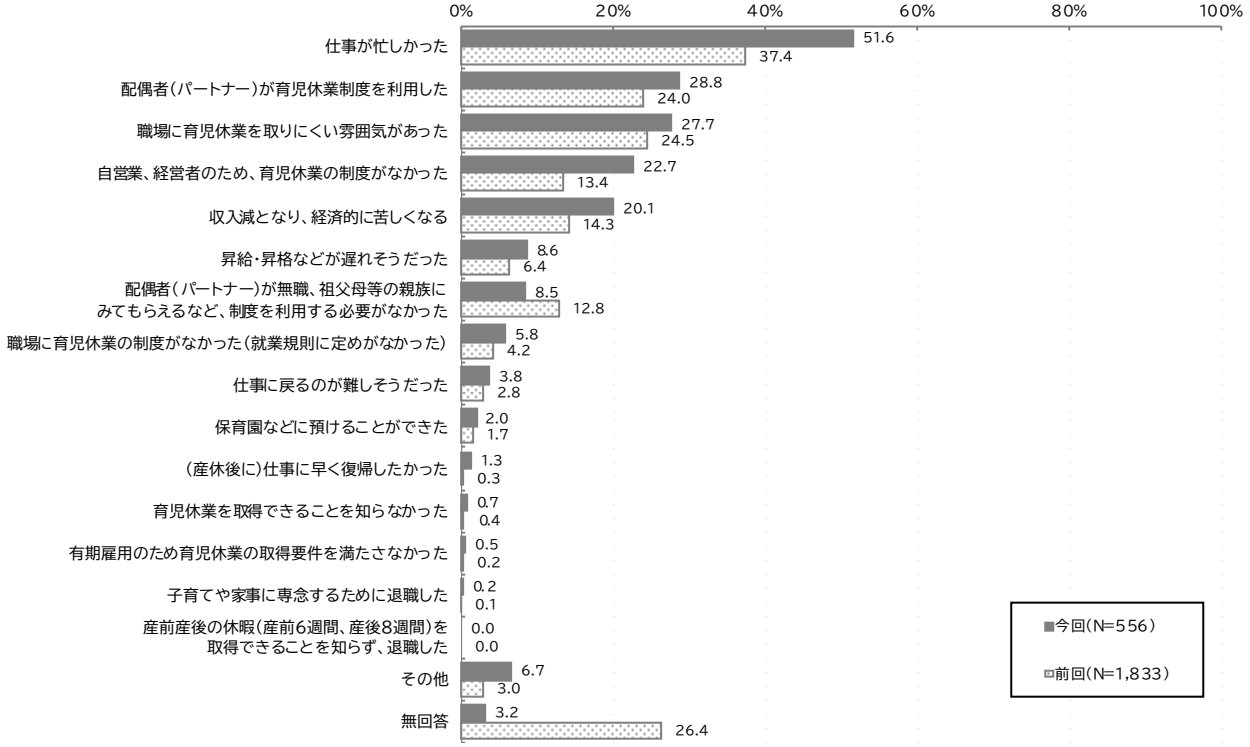


②育児休業を取得していない理由（問 36）

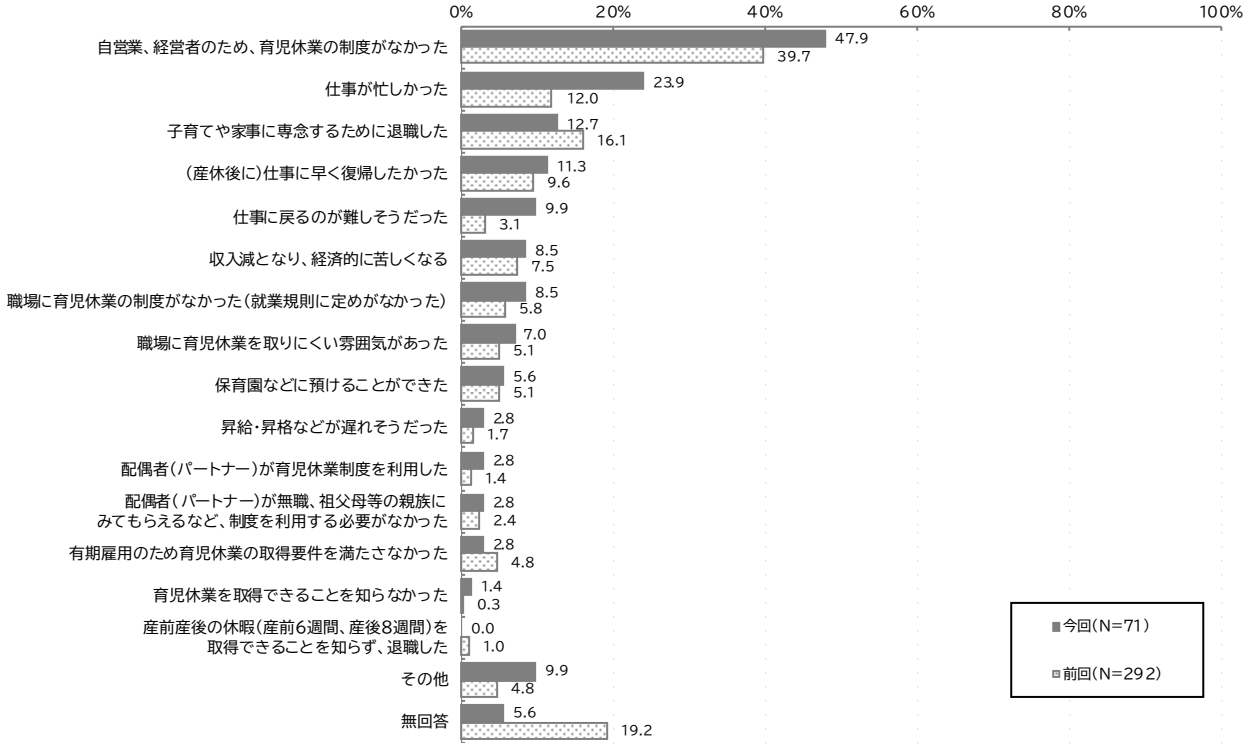
- 前回調査と比べて、父親は「仕事が忙しかった」（今回 51.6%、前回 37.4%）、「自営業、経営者のため、育児休業の制度がなかった」（今回 22.7%、前回 13.4%）が多くなっている。
- 前回調査と比べて、母親は「自営業、経営者のため、育児休業の制度がなかった」（今回 47.9%、前回 39.7%）、「仕事が忙しかった」（今回 23.9%、前回 12.0%）が多くなっている。

【前回比較】

［父親］



［母親］



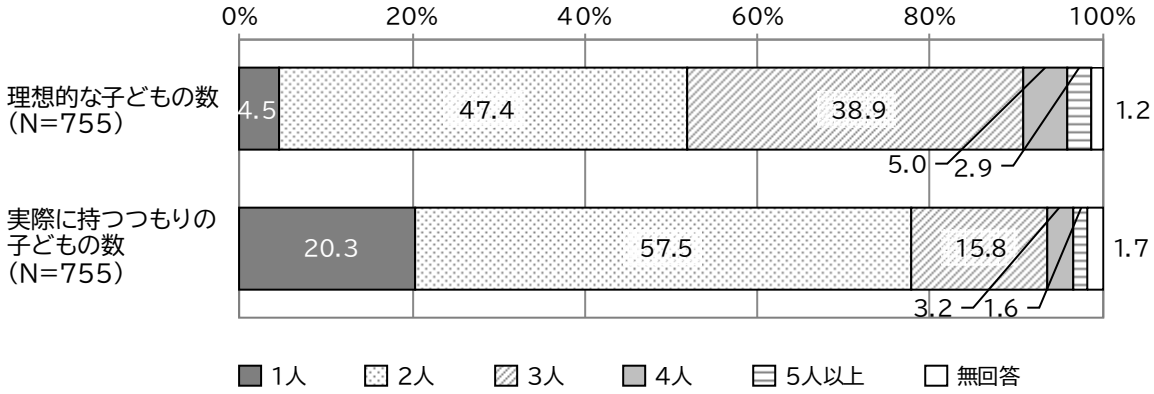
【関連する自由回答（一部抜粋）】

- 両親がともに安心して働きながら子育てできる環境作り（長時間労働の制限や育児時間を取得しやすい制度など）といった、根本的なところにもっと予算を使って頂けたらと思います。【０歳・30 代母親】
- フレックスタイム制や在宅勤務を推進している企業に補助やサポートをしてほしい。【０歳・40 代母親】
- 産後の０歳児の保護者向けのサロンを利用して、役立つ話を聞けたり、他のママと交流できたり、とても良かった。育休を取得する男性が増えていることに鑑み、パパ向けに限定したサロンのようなものがあると良いのではと思う。【０歳・30 代母親】

（10）理想と持つつもりの子どもの数

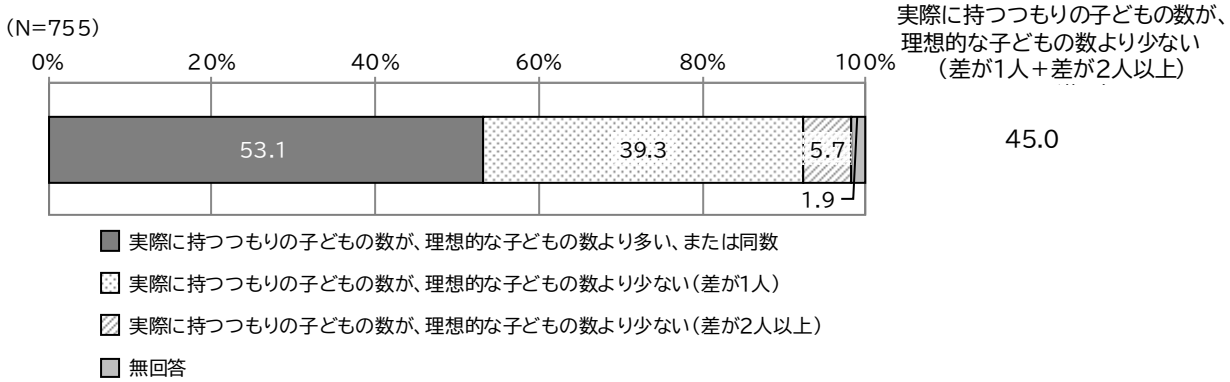
①理想的な子どもの数、実際に持つつもりの子どもの数（問 38、問 38－２）

- 理想的な子どもの数は「２人」が 47.4％と最も多く、次いで「３人」が 38.9％、「４人」が 5.0％となっている。平均の理想的な子どもの数は 2.5 人となっている。
- 実際に持つつもりの子どもの数は「２人」が 57.5％と最も多く、次いで「１人」が 20.3％、「３人」が 15.8％となっている。平均の実際に持つつもりの子どもの数は 2.0 人となっている。



②理想的な子どもの数と実際に持つつもりの子どもの数の差

- 実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないと回答した人は 45.0％（差が１人：39.3％、差が２人以上：5.7％）となっている。



③実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由（問 38－２）

- 世帯年収別にみると、いずれも「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」が５割以上となっている。収入が少なくなるにつれて「出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから」が多い傾向となっている。
- 子育ての孤立感の有無別にみると、孤立感を感じるほど「配偶者（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから」「育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから」が多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数（人）	出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから	将来的に子育てや教育にお金がかかるから	家が狭いから	幼稚園・保育園などの子どもの預け先がないから	自分や配偶者（パートナー）の仕事に支障が出るから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	家庭内の人間関係が良好ではないから	配偶者（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから	育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから
全体		340	36.8	62.9	52.4	8.2	27.4	10.6	4.7	16.5	29.1
世帯年収	200万円未満	6	66.7	50.0	66.7	33.3	50.0	0.0	33.3	33.3	16.7
	200～300万円未満	4	75.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	300～400万円未満	4	50.0	75.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	400～500万円未満	10	50.0	70.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0
	500～700万円未満	14	57.1	71.4	57.1	21.4	35.7	0.0	14.3	7.1	14.3
	700～1,000万円未満	46	39.1	67.4	63.0	0.0	26.1	2.2	10.9	28.3	23.9
	1,000～1,500万円未満	74	36.5	63.5	54.1	6.8	21.6	6.8	4.1	9.5	28.4
	1,500～2,000万円未満	66	39.4	62.1	53.0	6.1	33.3	9.1	3.0	15.2	34.8
	2,000～3,000万円未満	56	25.0	62.5	51.8	12.5	26.8	12.5	1.8	19.6	41.1
	3,000～5,000万円未満	20	30.0	65.0	55.0	10.0	45.0	30.0	0.0	15.0	30.0
	5,000～１億円未満	10	20.0	50.0	30.0	0.0	50.0	30.0	10.0	40.0	30.0
	１億円以上	5	40.0	80.0	60.0	40.0	0.0	40.0	0.0	40.0	40.0
	わからない	22	27.3	50.0	27.3	13.6	18.2	13.6	0.0	13.6	4.5
子育ての孤立感	ある	26	46.2	65.4	61.5	11.5	42.3	15.4	19.2	42.3	46.2
	ときどきある	105	39.0	67.6	55.2	10.5	32.4	8.6	4.8	23.8	35.2
	あまりない	123	33.3	58.5	52.0	6.5	23.6	13.0	4.1	11.4	27.6
	ない	84	36.9	64.3	46.4	6.0	22.6	8.3	1.2	7.1	19.0

		回答者数（人）	将来的に家族の介護の負担が発生・増加する見込みがあるから	妊娠することや子育てをすることに漠然とした不安があるから	健康上の理由から	ほしいけれどもできないから	高齢で産むのはいやだから	配偶者（パートナー）が望まないから	その他	無回答
全体		340	4.7	9.7	7.4	13.2	23.2	7.6	10.3	1.5
世帯年収	200万円未満	6	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0
	200～300万円未満	4	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	300～400万円未満	4	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	400～500万円未満	10	10.0	10.0	0.0	40.0	20.0	0.0	10.0	0.0
	500～700万円未満	14	0.0	7.1	7.1	7.1	14.3	21.4	14.3	0.0
	700～1,000万円未満	46	4.3	19.6	8.7	13.0	30.4	8.7	4.3	0.0
	1,000～1,500万円未満	74	5.4	5.4	12.2	14.9	25.7	2.7	6.8	2.7
	1,500～2,000万円未満	66	4.5	7.6	7.6	10.6	19.7	10.6	7.6	1.5
	2,000～3,000万円未満	56	7.1	14.3	1.8	14.3	23.2	8.9	17.9	0.0
	3,000～5,000万円未満	20	0.0	5.0	0.0	10.0	15.0	10.0	15.0	5.0
	5,000～１億円未満	10	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0	20.0	0.0
	１億円以上	5	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	わからない	22	4.5	4.5	13.6	9.1	27.3	0.0	18.2	4.5
子育ての孤立感	ある	26	3.8	23.1	7.7	7.7	15.4	15.4	19.2	0.0
	ときどきある	105	7.6	8.6	5.7	18.1	21.0	5.7	11.4	1.0
	あまりない	123	2.4	13.0	6.5	13.8	26.0	8.1	8.9	0.8
	ない	84	4.8	2.4	10.7	8.3	25.0	7.1	7.1	3.6

【関連する自由回答（一部抜粋）】

- できれば子供は３人ほしいですが、お金のことで産めません。もっと金銭的に支援があれば（学費など）と思います。【０歳・30 代母親】
- 都心に住む家族は、子育てには、住宅環境が一番ネックだと思います。子供 NG のマンションもあるし、上下隣の住人への配慮など、親子共にストレスが溜まります。２人目が欲しいと思いましたが、その為には、郊外や地方に行かねばならず、仕事にも差し支えるし、やはり、子供を諦めることになりました。例えば、都営など、子育て専用マンションがあったり、低価格で、子供が２～３人育てられる住宅支援があるといいと思います。【４歳・40 代母親】
- ３人目も欲しいが、平日仕事、土日育児を考えると、体力的精神的余裕がなく、もっと気軽に保育サービスを利用できるような助成、枠の拡充が必要だと感じている。【０歳・30 代母親】

（11）子育て環境

①子育て環境の満足度（問 39）

- “港区の子育て環境”“幼稚園”“保育園”“地域子ども・子育て支援事業”において、すべての居住地区、年齢で「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』を上回っている。
- 前回調査と比べて“保育園”は『満足』が多く、『不満』が少なくなっている。

【クロス表】

（１）港区の子育て環境

（単位：％）

		回答者数（人）	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答	『満足』（満足＋やや満足）	『不満』（不満＋やや不満）
全体		755	38.5	41.6	10.6	4.0	1.9	3.4	80.1	5.9
居住地区	芝地区	107	40.2	44.9	7.5	3.7	1.9	1.9	85.1	5.6
	麻布地区	153	35.3	40.5	14.4	3.9	0.7	5.2	75.8	4.6
	赤坂地区	86	39.5	33.7	10.5	7.0	2.3	7.0	73.2	9.3
	高輪地区	176	34.7	44.9	10.2	5.1	1.7	3.4	79.6	6.8
	芝浦港南地区	230	42.6	41.3	10.0	2.2	2.2	1.7	83.9	4.4
年齢	０歳	183	35.5	43.2	10.9	3.3	1.1	6.0	78.7	4.4
	１歳	102	43.1	37.3	9.8	6.9	0.0	2.9	80.4	6.9
	２歳	114	42.1	41.2	9.6	1.8	1.8	3.5	83.3	3.6
	３歳	100	40.0	43.0	10.0	1.0	3.0	3.0	83.0	4.0
	４歳	120	40.0	42.5	7.5	7.5	0.8	1.7	82.5	8.3
	５歳	129	35.7	39.5	14.7	3.1	4.7	2.3	75.2	7.8
前回(H30)		2,203	33.8	41.9	11.9	5.1	1.9	5.4	75.7	7.0

（2）幼稚園

（単位：%）

		回答者数（人）	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	利用していない	無回答	『満足』（満足＋やや満足）	『不満』（不満＋やや不満）
全体		755	13.6	13.8	10.9	3.6	1.6	45.7	10.9	27.4	5.2
居住地区	芝地区	107	9.3	12.1	9.3	4.7	0.9	55.1	8.4	21.4	5.6
	麻布地区	153	19.6	12.4	11.1	2.0	2.0	39.2	13.7	32.0	4.0
	赤坂地区	86	16.3	19.8	14.0	2.3	0.0	34.9	12.8	36.1	2.3
	高輪地区	176	13.1	11.4	11.9	6.3	1.1	46.0	10.2	24.5	7.4
	芝浦港南地区	230	11.3	15.2	9.1	2.6	2.2	49.6	10.0	26.5	4.8
年齢	0歳	183	8.7	12.0	13.1	2.2	1.6	53.0	9.3	20.7	3.8
	1歳	102	9.8	10.8	14.7	2.0	1.0	51.0	10.8	20.6	3.0
	2歳	114	9.6	6.1	8.8	5.3	2.6	50.9	16.7	15.7	7.9
	3歳	100	16.0	20.0	11.0	5.0	1.0	35.0	12.0	36.0	6.0
	4歳	120	17.5	20.0	8.3	3.3	0.0	41.7	9.2	37.5	3.3
	5歳	129	22.5	14.7	8.5	4.7	3.1	38.0	8.5	37.2	7.8
前回(H30)		2,203	10.8	11.3	35.0	7.5	6.0	0.0	29.3	22.1	13.5

※前回調査は「利用していない」の選択肢なし

（3）保育園

（単位：%）

		回答者数（人）	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	利用していない	無回答	『満足』（満足＋やや満足）	『不満』（不満＋やや不満）
全体		755	34.4	23.0	9.0	3.7	2.1	23.0	4.6	57.4	5.8
居住地区	芝地区	107	36.4	22.4	5.6	2.8	0.0	27.1	5.6	58.8	2.8
	麻布地区	153	32.7	17.0	9.8	3.3	3.3	28.8	5.2	49.7	6.6
	赤坂地区	86	29.1	24.4	5.8	3.5	1.2	26.7	9.3	53.5	4.7
	高輪地区	176	36.4	24.4	10.2	2.8	2.3	19.3	4.5	60.8	5.1
	芝浦港南地区	230	35.2	25.7	10.4	4.8	2.6	19.1	2.2	60.9	7.4
年齢	0歳	183	24.0	18.6	9.3	4.9	3.3	35.5	4.4	42.6	8.2
	1歳	102	37.3	25.5	9.8	5.9	2.9	15.7	2.9	62.8	8.8
	2歳	114	39.5	23.7	10.5	4.4	1.8	15.8	4.4	63.2	6.2
	3歳	100	41.0	28.0	10.0	1.0	0.0	16.0	4.0	69.0	1.0
	4歳	120	33.3	25.0	7.5	1.7	2.5	25.0	5.0	58.3	4.2
	5歳	129	38.0	20.9	7.8	3.9	1.6	20.9	7.0	58.9	5.5
前回(H30)		2,203	22.6	22.0	25.3	8.6	6.7	0.0	14.8	44.6	15.3

※前回調査は「利用していない」の選択肢なし

（4）地域子ども・子育て支援事業

（単位：%）

		回答者数（人）	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	利用していない	無回答	『満足』（満足＋やや満足）	『不満』（不満＋やや不満）
全体		755	18.8	27.3	13.8	9.3	4.5	22.4	4.0	46.1	13.8
居住地区	芝地区	107	16.8	34.6	13.1	11.2	1.9	19.6	2.8	51.4	13.1
	麻布地区	153	19.6	20.9	13.1	6.5	6.5	29.4	3.9	40.5	13.0
	赤坂地区	86	22.1	17.4	16.3	10.5	3.5	24.4	5.8	39.5	14.0
	高輪地区	176	15.3	29.5	16.5	8.5	6.8	19.3	4.0	44.8	15.3
	芝浦港南地区	230	20.4	30.0	11.3	10.4	3.0	20.9	3.9	50.4	13.4
年齢	0歳	183	18.6	27.9	9.8	10.4	3.3	25.7	4.4	46.5	13.7
	1歳	102	20.6	26.5	17.6	11.8	6.9	12.7	3.9	47.1	18.7
	2歳	114	18.4	32.5	14.0	6.1	4.4	19.3	5.3	50.9	10.5
	3歳	100	22.0	27.0	12.0	11.0	3.0	23.0	2.0	49.0	14.0
	4歳	120	17.5	25.8	14.2	8.3	6.7	25.0	2.5	43.3	15.0
	5歳	129	17.1	24.8	17.8	7.8	3.9	23.3	5.4	41.9	11.7
前回(H30)		2,203	17.1	29.5	25.3	12.0	4.4	0.0	11.6	46.6	16.4

※前回調査は「利用していない」の選択肢なし

２．小学生の保護者

調査結果の分析においては、下表に示す観点により記載している。

問番号	項目	主な観点					
		居住地区	子の学年	世帯構造	世帯年収	子育ての孤立感	前回比較※
（１）基本属性							
問１	居住地区		●				
問７	住まい	●	●				
問８	居住年数	●	●				
問８－１	居住のきっかけ	●	●				
問８－２	転入理由	●	●				
（２）子育て状況							
問６	子育てを主に行っている人		●				●
問９	子どもをみてもらえる親族・知人		●				●
問10	子育ての悩み		●	●			
問12	子育ての孤立感		●	●			●
（３）就労・家計状況							
問15	現在の就労状況		●				●
問19	家計の収支状況			●	●		
問20	新型コロナウイルス感染症拡大前と比べた暮らし向き			●	●		
（４）病気の際の対応							
問21－１	病気等で学校を休んだ際の対処方法	●	●				●
問21－２	病児・病後児のための保育サービスの利用希望	●	●				●
（５）不定期に、または宿泊を伴って利用する事業の利用状況							
問22	私用等で不定期に利用する事業の利用状況	●	●				●
問23	私用等で不定期に利用する事業の利用希望	●	●				●
（６）小学校での放課後の過ごし方							
問26	放課後に過ごしている場所	●	●				
問27	高学年（４～６年生）のときに放課後に過ごさせたい場所	●	●				
（７）理想と持つつもりの子どもの数							
問31－２	実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由				●	●	
（８）子育て環境							
問32	子育て環境の満足度	●	●				●

※前回調査結果として掲載しているデータの出典

港区子ども・子育て支援ニーズ調査報告書　平成 31 年３月

なお、前回調査は小学校１・２年生の保護者が対象のため参考値とする

（１）基本属性

①居住地区（問１）

・　学年別にみると、“１年生”“２年生”“５年生”は「高輪地区」（それぞれ 31.7%、30.1%、32.4%）、“３年生”“４年生”“６年生”は「芝浦港南地区」（それぞれ 29.5%、34.2%、28.9%）が最も多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	芝地区	麻布地区	赤坂地区	高輪地区	芝浦港南地区	無回答
全体		840	11.1	19.5	12.5	27.9	28.5	0.6
学年	１年生	183	15.8	16.4	14.2	31.7	21.3	0.5
	２年生	133	6.8	20.3	13.5	30.1	28.6	0.8
	３年生	129	10.1	20.2	12.4	27.1	29.5	0.8
	４年生	149	8.7	20.8	12.8	22.8	34.2	0.7
	５年生	111	10.8	18.9	7.2	32.4	30.6	0.0
	６年生	121	10.7	23.1	14.0	23.1	28.9	0.0

②住まい（問７）

・　居住地区別にみると、“芝地区”“赤坂地区”“高輪地区”“芝浦港南地区”は「持家（マンション）」（それぞれ 45.2%、33.3%、44.4%、64.4%）、“麻布地区”は「民間の賃貸マンション・アパート」（47.0%）が最も多くなっている。

・　学年別にみると、いずれも「持家（マンション）」が４割以上と最も多く、次いで「民間の賃貸マンション・アパート」となっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	持家（一戸建て）	持家（マンション）	借家（一戸建て）	民間の賃貸マンション・アパート	都営・区営・区立住宅	ＵＲ（旧公団）・公社の賃貸住宅	社宅・公務員宿舎	その他	無回答
全体		840	6.9	46.7	1.5	32.1	4.2	1.4	6.2	1.0	0.0
居住地区	芝地区	93	5.4	45.2	1.1	28.0	8.6	1.1	9.7	1.1	0.0
	麻布地区	164	11.0	33.5	1.8	47.0	0.0	0.0	5.5	1.2	0.0
	赤坂地区	105	9.5	33.3	3.8	32.4	3.8	2.9	13.3	1.0	0.0
	高輪地区	234	10.7	44.4	1.3	37.6	3.0	0.4	1.7	0.9	0.0
	芝浦港南地区	239	0.0	64.4	0.4	18.0	6.7	2.9	6.7	0.8	0.0
学年	１年生	183	6.0	45.9	2.2	35.0	4.4	1.6	4.9	0.0	0.0
	２年生	133	7.5	48.9	0.8	32.3	1.5	1.5	6.8	0.8	0.0
	３年生	129	6.2	45.0	4.7	31.8	4.7	0.8	5.4	1.6	0.0
	４年生	149	6.0	45.0	0.0	32.2	6.7	2.7	6.7	0.7	0.0
	５年生	111	8.1	44.1	0.0	36.9	2.7	0.0	7.2	0.9	0.0
	６年生	121	8.3	50.4	1.7	24.8	5.0	1.7	5.8	2.5	0.0

③居住年数（問８）

・ 居住地区別にみると、いずれも「10～20 年未満」が３割以上と最も多く、次いで“芝地区”は「20 年以上」(16.1%)、“麻布地区”“赤坂地区”“高輪地区”“芝浦港南地区”は「５～10 年未満」(それぞれ 22.0%、29.5%、28.2%、22.2%）となっている。

・ 学年別にみると、“１年生”“３年生”“４年生”“５年生”“６年生”は「10～20 年未満」(それぞれ 32.2%、38.0%、50.3%、53.2%、42.1%)、“２年生”は「５～10 年未満」(35.3%）が最も多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	１年未満	１～３年未満	３～５年未満	５～10年未満	10～20年未満	20年以上	生まれてからずっと港区に住んでいる	無回答
全体		840	3.0	5.4	5.8	23.7	41.0	11.0	10.2	0.0
居住地区	芝地区	93	3.2	5.4	5.4	14.0	40.9	16.1	15.1	0.0
	麻布地区	164	4.3	6.7	9.1	22.0	36.6	11.0	10.4	0.0
	赤坂地区	105	2.9	9.5	4.8	29.5	32.4	10.5	10.5	0.0
	高輪地区	234	3.8	3.8	3.8	28.2	36.3	12.8	11.1	0.0
	芝浦港南地区	239	1.3	4.2	5.4	22.2	52.7	7.1	7.1	0.0
学年	１年生	183	3.3	8.2	8.2	28.4	32.2	9.8	9.8	0.0
	２年生	133	3.8	6.0	6.8	35.3	33.8	6.8	7.5	0.0
	３年生	129	4.7	7.8	2.3	23.3	38.0	10.9	13.2	0.0
	４年生	149	2.0	2.0	5.4	18.8	50.3	12.8	8.7	0.0
	５年生	111	1.8	5.4	6.3	15.3	53.2	11.7	6.3	0.0
	６年生	121	2.5	1.7	2.5	19.8	42.1	14.9	16.5	0.0

④居住のきっかけ（問８－１）

・ 居住地区別にみると、いずれも「子どもの出産前から住んでいる」が４割以上と最も多く、“芝地区”(63.4%）はその他の地区と比べて多くなっている。次いで「その他」となっている。

・ 学年別にみると、いずれも「子どもの出生前から住んでいる」が約５割と最も多く、次いで「その他」となっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	子どもの出産を機に転入した	保育園・幼稚園への入園のために転入した	小学校への入学のために転入した	インターナショナルスクールに入るために転入した	子どもの出産前から住んでいる	その他	特に理由はない	無回答
全体		840	5.8	5.1	5.8	1.5	52.5	21.5	7.0	0.6
居住地区	芝地区	93	6.5	4.3	2.2	0.0	63.4	19.4	4.3	0.0
	麻布地区	164	4.3	4.3	9.1	4.3	51.2	18.3	7.9	0.6
	赤坂地区	105	5.7	4.8	8.6	1.0	41.9	24.8	12.4	1.0
	高輪地区	234	6.4	5.6	6.0	0.9	52.6	23.1	4.7	0.9
	芝浦港南地区	239	5.9	5.9	3.3	0.8	54.0	22.2	7.5	0.4
学年	１年生	183	5.5	4.9	6.6	1.1	55.7	18.6	6.6	1.1
	２年生	133	9.0	4.5	5.3	0.0	50.4	23.3	7.5	0.0
	３年生	129	7.8	4.7	4.7	2.3	50.4	24.0	5.4	0.8
	４年生	149	6.0	6.0	4.7	1.3	55.7	18.8	7.4	0.0
	５年生	111	0.9	8.1	7.2	1.8	49.5	22.5	9.0	0.9
	６年生	121	5.8	3.3	6.6	2.5	51.2	23.1	6.6	0.8

⑤転入理由（問８－２）

・ 居住地区別にみると、“芝地区”“麻布地区”“赤坂地区”“芝浦港南地区”は「治安が良く、子どもにとって安全な環境だから」(75.0%、47.2%、47.6%、42.1%)、“高輪地区”は「入学したい小学校があるから」(40.9%）が最も多くなっている。

・ 学年別にみると、いずれも「治安が良く、子どもにとって安全な環境だから」が最も多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	出産費用助成があるから	母子保健事業が充実しているから	保育料助成があるから	第２子以降の保育料が無料だから	教育・保育施設に空きがあり、入園させやすいから	入園したい保育園・幼稚園があるから	入学したい小学校があるから
全体		154	4.5	6.5	8.4	5.2	16.2	9.7	27.9
居住地区	芝地区	12	8.3	0.0	16.7	8.3	25.0	8.3	16.7
	麻布地区	36	5.6	2.8	5.6	2.8	5.6	8.3	36.1
	赤坂地区	21	0.0	4.8	4.8	9.5	23.8	9.5	28.6
	高輪地区	44	2.3	11.4	9.1	6.8	11.4	13.6	40.9
	芝浦港南地区	38	7.9	7.9	10.5	2.6	26.3	7.9	7.9
学年	１年生	33	0.0	6.1	12.1	12.1	12.1	9.1	21.2
	２年生	25	8.0	12.0	4.0	4.0	20.0	12.0	32.0
	３年生	25	12.0	12.0	12.0	8.0	4.0	8.0	32.0
	４年生	27	3.7	0.0	7.4	3.7	25.9	0.0	25.9
	５年生	20	0.0	5.0	10.0	0.0	15.0	20.0	35.0
	６年生	22	4.5	4.5	4.5	0.0	18.2	13.6	27.3

		回答者数（人）	入りたいインターナショナルスクールがあるから	職場が近いから	治安が良く、子どもにとって安全な環境だから	子育てに協力してくれる親族がいるから	その他	特に理由はない	無回答
全体		154	9.1	31.2	45.5	7.1	10.4	3.9	0.6
居住地区	芝地区	12	0.0	50.0	75.0	0.0	8.3	0.0	0.0
	麻布地区	36	19.4	25.0	47.2	8.3	11.1	5.6	0.0
	赤坂地区	21	9.5	33.3	47.6	0.0	4.8	0.0	0.0
	高輪地区	44	6.8	27.3	38.6	6.8	9.1	0.0	0.0
	芝浦港南地区	38	2.6	34.2	42.1	13.2	13.2	10.5	2.6
学年	１年生	33	6.1	18.2	42.4	12.1	15.2	6.1	3.0
	２年生	25	0.0	40.0	44.0	4.0	0.0	8.0	0.0
	３年生	25	12.0	40.0	48.0	0.0	12.0	0.0	0.0
	４年生	27	7.4	25.9	29.6	7.4	18.5	7.4	0.0
	５年生	20	15.0	35.0	55.0	10.0	15.0	0.0	0.0
	６年生	22	13.6	31.8	63.6	9.1	0.0	0.0	0.0

（２）子育て状況

①子育てを主に行っている人（問６）

・　学年別にみると、いずれも「父母ともに」が５割以上と最も多く、次いで「主に母親」となっている。

・　前回調査と比べて「父母ともに」（今回62.3%、前回55.7%）が多く、「主に母親」（今回35.6%、前回 42.4%）が少なくなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	父母ともに	主に父親	主に母親	主に祖父母	その他	無回答
全体		840	62.3	1.8	35.6	0.4	0.0	0.0
学年	１年生	183	69.4	1.6	29.0	0.0	0.0	0.0
	２年生	133	63.9	2.3	33.1	0.8	0.0	0.0
	３年生	129	64.3	0.0	34.9	0.8	0.0	0.0
	４年生	149	60.4	2.0	37.6	0.0	0.0	0.0
	５年生	111	54.1	1.8	43.2	0.9	0.0	0.0
	６年生	121	56.2	2.5	41.3	0.0	0.0	0.0
前回(H30)		879	55.7	1.1	42.4	0.3	0.1	0.2

②子どもをみてもらえる親族・知人（問９）

・　学年別にみると、いずれも「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が４割以上と最も多くなっている。次いで“１年生”“２年生”“３年生”“５年生”“６年生”は「いずれもいない」（それぞれ 30.1%、24.1%、27.1%、26.1%、32.2%）、“４年生”は「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる知人・友人がいる」（31.5%）となっている。

・　前回調査と比べて「いずれもいない」（今回 26.9%、前回 20.7%）が多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる知人・友人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる知人・友人がいる	いずれもいない	無回答
全体		840	11.5	47.3	3.0	22.7	26.9	2.6
学年	１年生	183	9.8	49.2	3.3	15.8	30.1	2.7
	２年生	133	13.5	47.4	3.8	20.3	24.1	3.8
	３年生	129	10.9	46.5	2.3	21.7	27.1	1.6
	４年生	149	11.4	53.0	2.7	31.5	19.5	0.7
	５年生	111	9.0	45.9	1.8	25.2	26.1	6.3
	６年生	121	14.9	40.5	3.3	24.8	32.2	1.7
前回（H30）		879	14.3	54.5	4.1	24.2	20.7	2.8

③子育ての悩み（問 10）

- 学年別にみると、いずれも「子どもの教育に関すること」が４割以上と最も多く、次いで“１年生”は「子どもとの時間を十分にとれないこと」「子どもを叱りすぎているような気がすること」（ともに 28.4%）、“２年生”“３年生”“４年生”は「子どもを叱りすぎているような気がすること」（それぞれ 30.8%、25.6%、25.5%）、“５年生”は「友だちづきあいに関すること」（19.8%）、“６年生”は「特にない」（24.8%）となっている。
- 世帯構造別にみると、いずれも「子どもの教育に関すること」（それぞれ 42.6%、52.4%）が最も多くなっている。
- “ひとり親”は「発育・発達、病気、障害に関すること」（27.8%）、「子どもとの接し方に自信が持てないこと」（22.2%）、「子どもとの時間を十分にとれないこと」（33.3%）、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」（33.3%）、「子どもを叱りすぎているような気がすること」（33.3%）が“ふたり親”と比べて多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	発育・発達、病気、障害に関すること	食事や栄養に関すること	子育ての方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	子どもとの時間を十分にとれないこと	話し相手や相談相手がいないこと	仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	子どもの教育に関すること	友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	登校拒否などの問題に関すること
全体		840	14.5	17.6	4.0	12.4	22.6	3.8	20.5	51.5	19.9	4.4
学年	１年生	183	13.1	24.0	4.9	14.8	28.4	3.8	27.3	51.4	19.7	2.7
	２年生	133	13.5	18.0	3.0	14.3	27.1	3.0	18.8	51.1	21.1	4.5
	３年生	129	11.6	17.1	3.9	13.2	20.9	3.1	22.5	57.4	23.3	5.4
	４年生	149	18.1	16.8	4.0	15.4	21.5	6.7	20.1	52.3	18.1	4.0
	５年生	111	9.9	14.4	5.4	7.2	18.0	3.6	14.4	47.7	19.8	6.3
	６年生	121	18.2	11.6	3.3	8.3	16.5	2.5	17.4	50.4	19.0	5.0
世帯構造	ひとり親	54	27.8	25.9	7.4	22.2	33.3	7.4	33.3	42.6	22.2	9.3
	ふたり親	760	13.9	17.5	3.8	11.4	21.6	3.4	19.6	52.4	19.9	4.2

		回答者数（人）	子育てに関して配偶者（パートナー）の協力が少ないこと	子育てに関して配偶者（パートナー）と意見が合わないこと	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの目が気になること	配偶者（パートナー）以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子どもを叱りすぎているような気がすること	子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと	その他	特にない	無回答
全体		840	9.8	9.6	2.1	9.3	24.4	3.5	4.4	3.1	18.2	1.4
学年	１年生	183	12.6	10.9	3.8	10.9	28.4	5.5	6.0	2.7	14.8	1.1
	２年生	133	9.8	9.8	3.0	13.5	30.8	3.0	3.8	1.5	20.3	2.3
	３年生	129	9.3	5.4	0.8	11.6	25.6	3.9	5.4	2.3	17.8	1.6
	４年生	149	9.4	10.7	2.7	6.0	25.5	1.3	3.4	4.7	15.4	1.3
	５年生	111	7.2	9.9	0.9	9.9	18.0	3.6	1.8	4.5	18.0	1.8
	６年生	121	9.1	10.7	0.8	2.5	15.7	2.5	5.8	3.3	24.8	0.8
世帯構造	ひとり親	54	9.3	5.6	3.7	3.7	33.3	3.7	3.7	11.1	14.8	0.0
	ふたり親	786	9.3	9.5	2.1	10.0	23.8	3.6	4.5	2.6	18.3	1.6

④子育ての孤立感（問 12）

- 学年別にみると、いずれも「あまりない」が３割以上と最も多く、次いで“１年生”“２年生”“４年生”“５年生”“６年生”は「ない」（それぞれ 32.2%、30.1%、29.5%、29.7%、32.2%）、“３年生”は「ときどきある」（29.5%）となっている。
- 世帯構造別にみると“ひとり親”は「ときどきある」（33.3%）、“ふたり親”は「あまりない」（40.8%）が最も多くなっている。
- “ひとり親”は「ある」（22.2%）が“ふたり親”と比べて多くなっている。
- 前回調査と比べて、大きな変化はみられない。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	ある	ときどきある	あまりない	ない	無回答
全体		840	7.5	21.8	39.9	30.2	0.6
学年	１年生	183	8.7	19.1	39.3	32.2	0.5
	２年生	133	7.5	21.1	40.6	30.1	0.8
	３年生	129	5.4	29.5	34.9	28.7	1.6
	４年生	149	9.4	18.8	41.6	29.5	0.7
	５年生	111	9.0	22.5	38.7	29.7	0.0
	６年生	121	5.0	21.5	41.3	32.2	0.0
世帯構造	ひとり親	54	22.2	33.3	29.6	14.8	0.0
	ふたり親	760	6.4	20.4	40.8	31.7	0.7
前回(H30)		879	6.4	20.9	42.2	29.4	1.1

【関連する自由回答（一部抜粋）】

子育てを主に行っている人	・ 子供が増えない理由は、子育ては女性ばかりが負担となる現実があるからです。子供を外で遊ばせている子煩悩な父親が増えているように見えますが、結局、母親はその間、自由時間ではなく、自宅で家事をしていることが多いです。【５年生・40 代母親】
子どもをみてもらえる親族・知人	・ 地方出身で、近くに親戚はいませんが、０歳で知りあったうさちゃんくらぶの友人や、保育園で知りあった友人に支えられ、生活しています。【２年生・40 代母親】
子育ての孤立感	・ 子育ての支援が充実していたおかげで、ここまで孤独や孤立をあまり感じずに子育てしてこられたと思います。【１年生・30 代母親】 ・ 乳幼児のときは本当に孤独を感じるのは真夜中から夜明け。その時間に何かしらの対応をしてくれる窓口や電話相談等を考えて欲しい。【４年生・40 代母親】 ・ 今は、子供が大きくなったので大丈夫ですが、乳幼児期は母親向けのイベントも遠かったりで（赤坂とか芝浦とか）参加しづらく孤独でした。台場地区を孤立させないでほしい。【３年生・40 代母親】

（３）就労・家計状況

①現在の就労状況（問 15）

・　母親の就労状況を子の学年別にみると、いずれも「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が約４割と最も多い。次いで、“１年生”“２年生”“３年生”“４年生”は「以前は就労していたが、現在は就労していない」（それぞれ 23.5%、24.1%、24.0%、22.1%）、“５年生”“６年生”は「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（それぞれ 27.0%、28.1%）となっている。

【クロス表（母親の就労状況）】

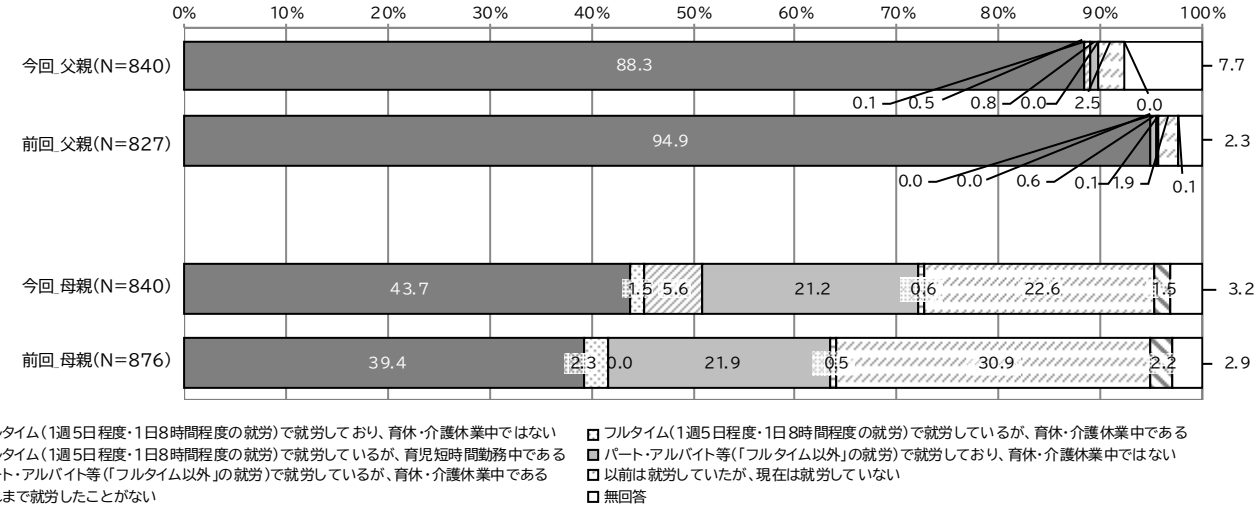
（単位：%）

		回答者数（人）	フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、育児短時間勤務中である	パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体		840	43.7	1.5	5.6	21.2	0.6	22.6	1.5	3.2
学年	１年生	183	42.6	2.2	8.7	16.9	0.0	23.5	1.6	4.4
	２年生	133	38.3	2.3	9.8	21.8	1.5	24.1	0.8	1.5
	３年生	129	39.5	2.3	6.2	21.7	0.8	24.0	2.3	3.1
	４年生	149	46.3	1.3	5.4	16.8	0.7	22.1	2.7	4.7
	５年生	111	47.7	0.0	0.9	27.0	0.0	20.7	0.9	2.7
	６年生	121	47.1	0.0	0.8	28.1	0.8	20.7	0.8	1.7

【前回比較】

・　父親は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」（88.3%）、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」（0.1%）、「フルタイムで就労しているが、育児短時間勤務中である」（0.5%）の合計が 88.9%となっており、前回調査の 94.9%を下回っている。

・　母親は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」（43.7%）、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」（1.5%）、「フルタイムで就労しているが、育児短時間勤務中である」（5.6%）の合計が 50.8%となっており、前回調査の 41.7%を上回っている。



※母親の選択肢は「産休・育休・介護休業中」となっている

※前回調査では「フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、育児短時間勤務中である」の項目なし

※前回調査では、父母について「死亡、離婚、未婚などでいない」と回答した数を集計から除外している

②家計の収支状況（問 19）

・ 世帯年収別にみると、“200 万円未満”から“700～1,000 万円未満”は「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」もしくは「赤字であり、貯蓄を取り崩している」、“1,000～1,500 万円未満”から“１億円以上”は「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が最も多くなっている。

・ 世帯構造別にみると、“ひとり親”は「赤字であり、貯蓄を取り崩している」（31.5%）、“ふたり親”は「黒字であり、毎月貯蓄をしている」（49.3%）が最も多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	黒字であり、毎月貯蓄をしている	黒字であるが、貯蓄はしていない	赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	赤字であり、貯蓄を取り崩している	赤字であり、借金をして生活している	その他	わからない	無回答
全体		840	46.8	9.6	22.3	10.8	2.4	0.5	6.9	0.7
世帯年収	200万円未満	20	10.0	0.0	30.0	30.0	10.0	0.0	20.0	0.0
	200～300万円未満	21	0.0	4.8	47.6	38.1	0.0	4.8	4.8	0.0
	300～400万円未満	21	19.0	14.3	23.8	33.3	9.5	0.0	0.0	0.0
	400～500万円未満	18	11.1	11.1	16.7	50.0	5.6	0.0	5.6	0.0
	500～700万円未満	43	9.3	9.3	39.5	25.6	14.0	0.0	2.3	0.0
	700～1,000万円未満	126	31.0	8.7	34.1	13.5	2.4	1.6	8.7	0.0
	1,000～1,500万円未満	163	44.8	12.3	27.6	10.4	1.8	0.0	3.1	0.0
	1,500～2,000万円未満	133	60.9	11.3	18.0	5.3	0.8	0.0	3.8	0.0
	2,000～3,000万円未満	130	67.7	7.7	16.2	3.1	0.8	0.8	3.8	0.0
	3,000～5,000万円未満	77	79.2	11.7	7.8	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	5,000～１億円未満	25	76.0	12.0	4.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0
	１億円以上	5	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	50	32.0	4.0	8.0	8.0	2.0	0.0	46.0	0.0
世帯構造	ひとり親	54	18.5	7.4	29.6	31.5	9.3	1.9	1.9	0.0
	ふたり親	760	49.3	9.7	21.4	9.2	1.8	0.4	7.2	0.8

③新型コロナウイルス感染症拡大前と比べた暮らし向き（問 20）

・ 世帯年収別にみると、“200 万円未満”“700～1,000 万円未満”から“１億円以上”は「変わらない」、“200～300 万円未満”から“500～700 万円未満”は「今の方がやや苦しい」もしくは「今の方が大変苦しい」が最も多くなっている。

・ 世帯構造別にみると、“ひとり親”は「今の方がやや苦しい」（37.0%）、“ふたり親”は「変わらない」（47.6%）が最も多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	今の方が大変ゆとりがある	今の方がややゆとりがある	変わらない	今の方がやや苦しい	今の方が大変苦しい	わからない	無回答
全体		840	2.5	7.6	46.5	24.9	11.8	6.1	0.6
世帯年収	200万円未満	20	0.0	0.0	40.0	20.0	35.0	5.0	0.0
	200～300万円未満	21	0.0	0.0	9.5	52.4	28.6	9.5	0.0
	300～400万円未満	21	0.0	4.8	28.6	38.1	14.3	14.3	0.0
	400～500万円未満	18	0.0	11.1	11.1	38.9	38.9	0.0	0.0
	500～700万円未満	43	0.0	4.7	20.9	37.2	37.2	0.0	0.0
	700～1,000万円未満	126	1.6	7.9	38.9	27.8	16.7	7.1	0.0
	1,000～1,500万円未満	163	0.6	7.4	50.9	23.9	12.9	4.3	0.0
	1,500～2,000万円未満	133	1.5	5.3	51.1	30.1	7.5	4.5	0.0
	2,000～3,000万円未満	130	3.1	7.7	63.1	20.8	1.5	3.8	0.0
	3,000～5,000万円未満	77	14.3	16.9	49.4	14.3	1.3	3.9	0.0
	5,000～１億円未満	25	0.0	24.0	60.0	16.0	0.0	0.0	0.0
	１億円以上	5	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	わからない	50	0.0	0.0	52.0	12.0	10.0	26.0	0.0
世帯構造	ひとり親	54	3.7	0.0	33.3	37.0	24.1	1.9	0.0
	ふたり親	760	2.5	8.3	47.6	23.7	10.8	6.4	0.7

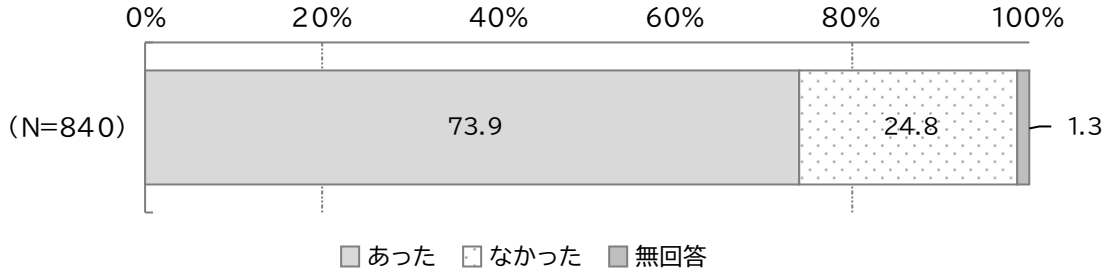
【関連する自由回答（一部抜粋）】

- 各種の所得制限は不公平です。港区独自で所得制限によるこども支援の格差を是正するようなしくみ、補助があると大変助かります。【５年生・40 代母親】
- 親の持家に住んでいる場合、一般的な港区イメージからくるほどの年収ではないこともあり、物価の高い港区で住むことは経済的に厳しいです。様々な補助金は 1,000 万（年収）円を超えると得られないことが多く、港区に住むことはお金がかかるので、地域によってこの値を見直すことは必要だと思います。【６年生・40 代母親】
- ひとり親でお金が不安です。ずっと港区に住めるなら住みたいですが、家賃が高すぎて子供が小学校卒業までいてあげれるか不安です。子供の為にも、今の友達から離したくないです。都営住宅や区営住宅がなかなかあたらないので、ひとり親の枠をもっと増やしてほしいです。【２年生・40 代母親】
- ひとり親家庭に、援助金をお願いしたい。コロナ禍以来、援助の数が減って厳しいので。【２年生・50 代母親】
- 家計困窮家庭への助成制度、食材、料理配達制度(コロナの緊急パックのようなもの)がほしい【３年生・40 代母親】

（４）病気の際の対応

①この１年に、子どもが病気等で学校を休んだこと（問 21）

・　「あった」が 73.9%、「なかった」が 24.8%となっている。



②病気等で学校を休んだ際の対処方法（問 21－１）

・　居住地区別にみると、いずれも「母親が仕事を休んだ」が５割以上と最も多くなっている。

・　学年別にみると、いずれも「母親が仕事を休んだ」が５割以上と最も多くなっている。次いで“１年生”“４年生”“６年生”は「父親が仕事を休んだ」（それぞれ 30.7%、28.0%、25.9%）、“２年生”“３年生”“５年生”は「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」（それぞれ 27.9%、31.6%、26.0%）となっている。

・　前回調査と比べて「父親が仕事を休んだ」（今回 25.8%、前回 19.5%）、「母親が仕事を休んだ」（今回 62.3%、前回 54.8%）が多く、「祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった」（今回 12.6%、前回 23.6%）が少なくなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった	父親または母親のうち就労していない方が、子どもをみた	派遣型一時保育を利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体		621	25.8	62.3	12.6	24.8	0.5	0.0	6.9	6.4	2.7
居住地区	芝地区	63	33.3	74.6	15.9	19.0	1.6	0.0	4.8	1.6	4.8
	麻布地区	121	19.8	59.5	10.7	29.8	0.0	0.0	11.6	6.6	0.0
	赤坂地区	79	19.0	54.4	7.6	34.2	1.3	0.0	3.8	6.3	0.0
	高輪地区	176	23.9	58.0	15.3	23.3	0.6	0.0	7.4	7.4	5.1
	芝浦港南地区	178	32.0	67.4	12.4	20.8	0.0	0.0	5.6	7.3	2.8
学年	１年生	140	30.7	62.9	12.1	26.4	0.0	0.0	5.0	5.0	2.1
	２年生	111	21.6	64.0	15.3	27.9	1.8	0.0	1.8	7.2	4.5
	３年生	95	20.0	58.9	17.9	31.6	0.0	0.0	6.3	4.2	2.1
	４年生	107	28.0	71.0	12.1	18.7	0.9	0.0	9.3	5.6	0.0
	５年生	77	23.4	57.1	9.1	26.0	0.0	0.0	10.4	10.4	2.6
	６年生	81	25.9	55.6	7.4	18.5	0.0	0.0	12.3	8.6	6.2
前回(H30)		641	19.5	54.8	23.6	32.6	2.8	0.2	5.9	3.4	2.0

※今回調査と前回調査における事業の対応は以下のとおり

今回：派遣型一時保育（子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業）を利用した

前回：居宅訪問型保育や派遣型一時保育（ベビーシッターや子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業）を利用した

③病児・病後児のための保育サービスの利用希望（問 21－２）

- 居住地区別にみると、いずれも「利用したいとは思わない」が６割以上と最も多くなっている。“高輪地区”は「病児・病後児保育施設等を利用したい」（31.9%）がその他の地区と比べて多くなっている。
- 学年別にみると、いずれも「利用したいとは思わない」が６割以上と最も多くなっている。“１年生”は「病児・病後児保育施設等を利用したい」（32.3%）がその他の学年と比べて多くなっている。
- 前回調査と比べて「利用したいとは思わない」（今回 77.1%、前回 66.3%）が多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	病児・病後児保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答
全体		414	22.9	77.1	0.0
居住地区	芝地区	50	20.0	80.0	0.0
	麻布地区	75	16.0	84.0	0.0
	赤坂地区	46	19.6	80.4	0.0
	高輪地区	113	31.9	68.1	0.0
	芝浦港南地区	127	22.0	78.0	0.0
学年	１年生	93	32.3	67.7	0.0
	２年生	75	24.0	76.0	0.0
	３年生	58	20.7	79.3	0.0
	４年生	81	22.2	77.8	0.0
	５年生	48	12.5	87.5	0.0
	６年生	50	20.0	80.0	0.0
前回(H30)		371	32.1	66.3	1.6

【関連する自由回答（一部抜粋）】

- 子どもの病気で学校が休みの時や、学級閉鎖の時に、仕事などが休めず、とても困っています。病児の預かり保育があったら、安心して勤務できると思います。【３年生・40 代母親】
- 小学生、中学生でも使える病児保育があると便利です。【１年生・30 代母親】

（５）不定期に、または宿泊を伴って利用する事業の利用状況

①私用等で不定期に利用する事業の利用状況（問 22）

・　すべての居住地区、学年で「利用していない」が８割以上と最も多くなっている。

・　前回調査と比べて「利用していない」（今回 92.3%、前回 88.5%）がやや多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	一時預かり（あい・ぽーと）	派遣型一時保育	ファミリー・サポート・センター	トワイライトステイ	短期入所（障害保健福祉センター等）	その他	利用していない	無回答
全体		840	1.7	0.6	0.5	0.6	0.1	1.9	92.3	2.6
居住地区	芝地区	93	2.2	0.0	1.1	3.2	0.0	0.0	91.4	3.2
	麻布地区	164	0.6	1.2	0.0	0.0	0.6	1.8	93.9	1.8
	赤坂地区	105	1.9	1.0	0.0	0.0	0.0	3.8	90.5	2.9
	高輪地区	234	0.9	0.4	0.4	0.4	0.0	3.0	92.7	2.1
	芝浦港南地区	239	2.9	0.4	0.8	0.4	0.0	0.8	91.6	3.3
学年	１年生	183	3.8	0.5	1.1	1.6	0.0	3.3	85.8	4.9
	２年生	133	1.5	0.8	1.5	0.0	0.0	2.3	91.7	2.3
	３年生	129	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	3.1	92.2	3.1
	４年生	149	1.3	0.7	0.0	1.3	0.0	1.3	94.6	0.7
	５年生	111	0.9	0.9	0.0	0.0	0.9	0.0	96.4	0.9
	６年生	121	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	96.7	2.5
前回(H30)		879	2.5	3.0	0.9	0.7	0.1	3.5	88.5	1.8

※ 今回調査と前回調査における事業の対応は以下のとおり
今回：派遣型一時保育
前回：居宅訪問型保育や派遣型一時保育
今回：短期入所（障害保健福祉センター等）
前回：緊急一時保護、レスパイト保護（障害保健副センター）

②私用等で不定期に利用する事業の利用希望（問 23）

- 居住地区別にみると、いずれも「利用したいとは思わない」が６割以上と最も多くなっている。
- 学年別にみると、いずれも「利用したいとは思わない」が最も多い。“１年生”“２年生”“３年生”は「利用したい」（それぞれ 43.7%、36.1%、32.6%）がその他の学年と比べて多くなっている。
- 前回調査と比べて「利用したいとは思わない」（今回 67.9%、前回 58.1%）が多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	利用したい	利用したいとは思わない	無回答
全体		840	30.6	67.9	1.5
居住地区	芝地区	93	32.3	66.7	1.1
	麻布地区	164	31.7	67.1	1.2
	赤坂地区	105	33.3	66.7	0.0
	高輪地区	234	35.5	61.5	3.0
	芝浦港南地区	239	23.4	75.3	1.3
学年	１年生	183	43.7	54.1	2.2
	２年生	133	36.1	61.7	2.3
	３年生	129	32.6	65.1	2.3
	４年生	149	26.2	73.2	0.7
	５年生	111	18.9	80.2	0.9
	６年生	121	20.7	78.5	0.8
前回(H30)		879	38.7	58.1	3.2

【関連する自由回答（一部抜粋）】

- 一時預かり施設を増やして頂きたいです。特に小学生が利用出来る施設が非常に少ないと感じています。【５年生・40 代母親】
- 土日祝日でも父母それぞれキャリアアップのための勉強の時間が欲しいので、有料でも構わないので無条件で子供を預かってくれる保育・学童施設の充実を望みます。【１年生・30 代父親】
- 子どもが小さいうちは、本当に母親 1 人で子どもと向き合っている人が多いです。無料で数時間子どもを預かってもらい、温かいご飯を食べたり、遮られずに大人と話をしたり、自分のタイミングでトイレに行ったりする。そういう人として当たり前のことができる時間が欲しい。子どもがいない空間で少し過ごすことができれば、また子どもに余裕を持って接することができます。誰でも無料で子どもを気軽に預けられる、そういう制度を望みます。【１年生・40 代母親】

（６）小学校での放課後の過ごし方

①放課後に過ごしている場所（問 26）

・ 居住地区別にみると、“芝地区”“赤坂地区”“高輪地区”“芝浦港南地区”は「自宅」（それぞれ 66.7%、66.7%、64.5%、69.9%）、“麻布地区”は「習い事」（71.3%）が最も多くなっている。次いで“芝地区”“赤坂地区”“高輪地区”“芝浦港南地区”は「習い事」（それぞれ 52.7%、62.9%、59.0%、67.8%）、“麻布地区”は「自宅」（70.1%）となっている。

・ 学年別にみると、“１年生”“３年生”は「習い事」（それぞれ 51.4%、71.3%）、“２年生”“４年生”“５年生”“６年生”は「自宅」（それぞれ 59.4%、75.2%、82.0%、84.3%）が最も多くなっている。

・ “１年生”“２年生”“３年生”は「放課ＧＯ→・放課ＧＯ→クラブ」（それぞれ 29.5%、23.3%、16.3%）、「区立の学童クラブ」（それぞれ 27.3%、30.1%、23.3%）がその他の学年と比べて多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	自宅	祖父母や知人・友人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館・子ども中高生プラザ（学童クラブ以外の一般利用）	放課ＧＯ→・放課ＧＯ→クラブ（学童クラブを除く。月～金 17 時まで）
全体		840	67.7	6.9	63.8	10.7	15.1
居住地区	芝地区	93	66.7	8.6	52.7	4.3	18.3
	麻布地区	164	70.1	6.1	71.3	11.0	14.0
	赤坂地区	105	66.7	11.4	62.9	14.3	21.0
	高輪地区	234	64.5	6.4	59.0	10.7	17.5
	芝浦港南地区	239	69.9	5.4	67.8	11.7	9.6
学年	１年生	183	49.2	4.9	51.4	10.4	29.5
	２年生	133	59.4	4.5	58.6	12.8	23.3
	３年生	129	66.7	7.8	71.3	10.9	16.3
	４年生	149	75.2	8.1	71.1	11.4	10.1
	５年生	111	82.0	8.1	72.1	9.9	2.7
	６年生	121	84.3	9.1	66.9	9.9	1.7

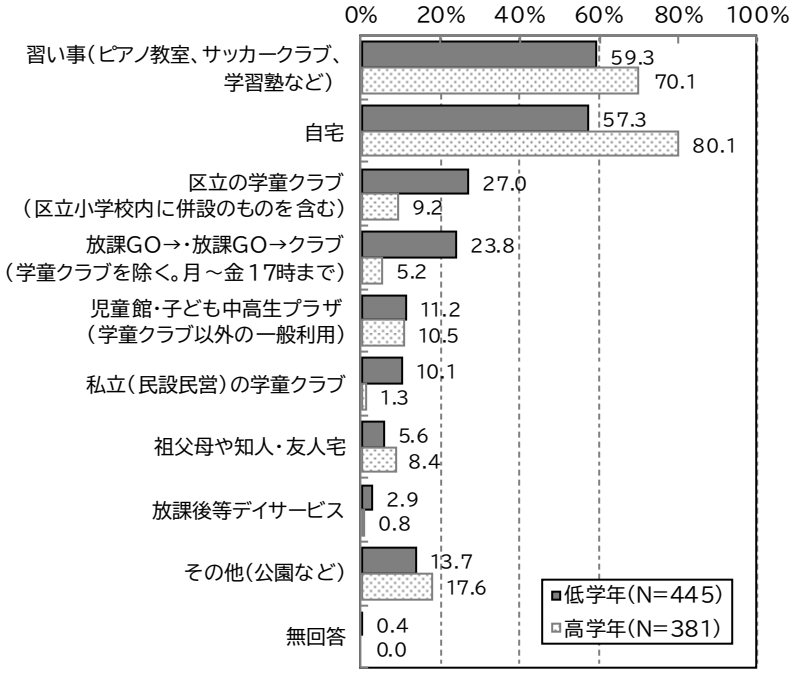
		回答者数（人）	区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）	私立（民設民営）の学童クラブ	放課後等デイサービス	その他（公園など）	無回答
全体		840	19.0	6.0	1.9	15.4	0.2
居住地区	芝地区	93	14.0	5.4	3.2	18.3	0.0
	麻布地区	164	14.0	6.1	1.8	19.5	0.0
	赤坂地区	105	16.2	7.6	1.0	13.3	0.0
	高輪地区	234	21.8	7.3	1.7	13.2	0.4
	芝浦港南地区	239	23.4	4.2	2.1	14.6	0.4
学年	１年生	183	27.3	14.2	2.2	8.7	0.5
	２年生	133	30.1	8.3	3.8	14.3	0.0
	３年生	129	23.3	6.2	3.1	20.2	0.8
	４年生	149	14.8	2.7	0.7	16.8	0.0
	５年生	111	6.3	0.9	0.9	14.4	0.0
	６年生	121	5.0	0.0	0.8	21.5	0.0

【低学年・高学年別比較】

・　低学年は「習い事」が 59.3%と最も多く、次いで「自宅」が 57.3%、「区立の学童クラブ」が 27.0%となっている。

・　高学年は「自宅」が 80.1%と最も多く、次いで「習い事」が 70.1%、「その他（公園など)」が 17.6%となっている。

・　低学年は「区立の学童クラブ」「放課ＧＯ→・放課ＧＯ→クラブ」が高学年と比べて多くなっている。



②高学年（４～６年生）のときに放課後に過ごさせたい場所（問 27）

※低学年（１～３年生）の保護者のみ回答

・　すべての居住地区、学年で「習い事」が６割以上と最も多く、次いで「自宅」となっている。“赤坂地区”は「児童館・子ども中高生プラザ」（26.7%）、「放課ＧＯ→・放課ＧＯ→クラブ」（23.3%）がその他の地区と比べて多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	自宅	祖父母や知人・友人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童館・子ども中高生プラザ（学童クラブ以外の一般利用）	放課ＧＯ→・放課ＧＯ→クラブ（学童クラブを除く。月～金 17 時まで）	区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）
全体		445	53.3	7.2	73.7	16.4	17.3	17.3
居住地区	芝地区	51	51.0	5.9	68.6	7.8	19.6	17.6
	麻布地区	83	54.2	6.0	74.7	16.9	18.1	13.3
	赤坂地区	60	55.0	11.7	86.7	26.7	23.3	16.7
	高輪地区	133	56.4	9.0	70.7	18.0	15.0	16.5
	芝浦港南地区	115	48.7	4.3	72.2	13.0	14.8	21.7
学年	１年生	183	52.5	8.7	67.8	16.4	16.9	15.8
	２年生	133	52.6	3.8	79.7	14.3	18.8	18.0
	３年生	129	55.0	8.5	76.0	18.6	16.3	18.6

		回答者数（人）	私立（民設民営）の学童クラブ	放課後等デイサービス	その他（公園など）	未定	無回答
全体		445	5.2	4.0	15.1	4.7	1.3
居住地区	芝地区	51	5.9	7.8	15.7	7.8	0.0
	麻布地区	83	6.0	7.2	12.0	7.2	2.4
	赤坂地区	60	6.7	1.7	11.7	1.7	0.0
	高輪地区	133	5.3	2.3	14.3	5.3	0.8
	芝浦港南地区	115	3.5	3.5	20.0	2.6	2.6
学年	１年生	183	6.6	3.3	10.4	7.7	1.6
	２年生	133	4.5	3.0	15.8	2.3	0.0
	３年生	129	3.9	6.2	20.9	3.1	2.3

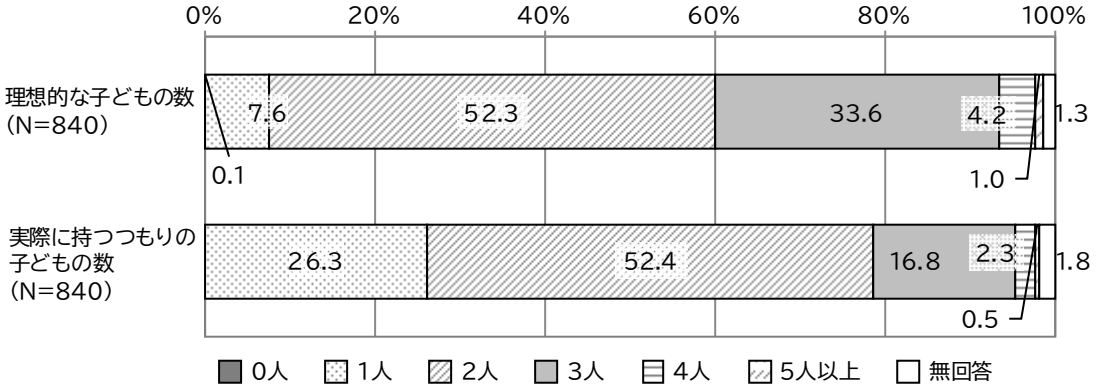
【関連する自由回答（一部抜粋）】

- 低学年のうちは学童がありますが、学年が上がると下校後の居場所に困ることです。中学受験をする子は塾が居場所になるかもしれませんが、中学受験をしない子はなかなか安全な居場所を見つけるのが難しいと感じています。特に中学年、高学年は子どもにもやりたいことの意思が出て来ますし、教育的な側面が強くなるため、ただ預かっていただくだけでは子どもも物足りないようです。何か策をご検討いただければ幸いです。【６年生・40 代母親】
- 学童クラブ等の大人の目がある場所で過ごしてもらう方が一番安心しますが、現状の学童クラブや放課後クラブは過密状態になっており、尚且つ習い事をさせないと他の友達と教育格差が生まれやすく、1 人で通わせるには少々不安はありますが、通わせている状況です。【３年生・40 代母親】
- 母親がパートのため、放課ＧＯ→クラブは利用できず、ハードルが高いと感じました。【１年生・40 代母親】

（７）理想と持つつもりの子どもの数

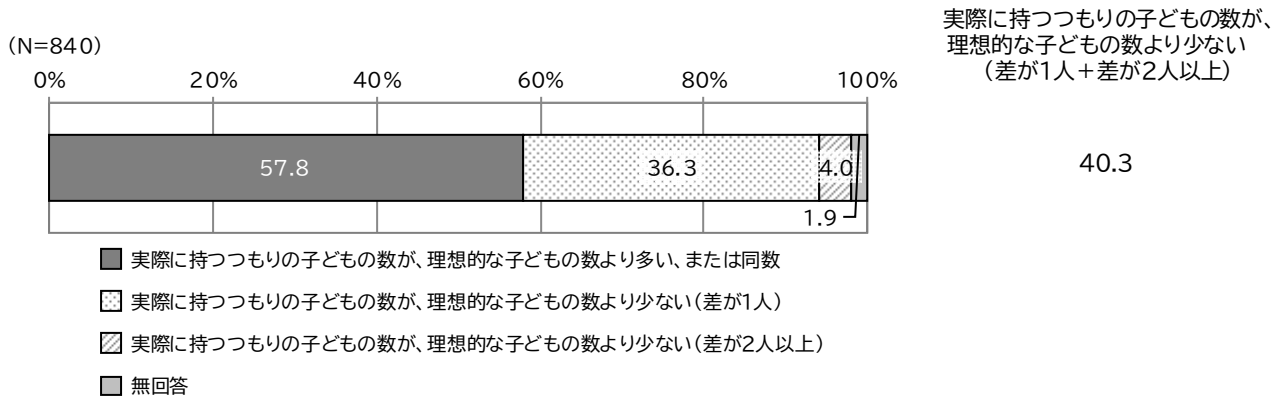
①理想的な子どもの数、実際に持つつもりの子どもの数（問 31、問 31－２）

- 理想的な子どもの数は「２人」が 52.3％と最も多く、次いで「３人」が 33.6％、「１人」が 7.6％となっている。平均の理想的な子どもの数は 2.4 人となっている。
- 実際に持つつもりの子どもの数は「２人」が 52.4％と最も多く、次いで「１人」が 26.3％、「３人」が 16.8％となっている。平均の実際に持つつもりの子どもの数は 2.0 人となっている。



②理想的な子どもの数と実際に持つつもりの子どもの数の差

- 実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないと回答した人は 40.3％（差が１人：36.3％、差が２人以上：4.0％）となっている。



③実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由（問 31－２）

- 世帯年収別にみると、“500～700 万円未満”は「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」（75.0%）が最も多くなっている。次いで「出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから」（60.0%）となっており、その他の年収と比べて多くなっている。
- 子育ての孤立感の有無別にみると、孤立感を感じるほど「出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから」「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」「配偶者（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから」が多い傾向となっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから	将来的に子育てや教育にお金がかかるから	家が狭いから	幼稚園・保育園などの子どもの預け先がないから	自分や配偶者（パートナー）の仕事に支障が出るから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	家庭内の人間関係が良好ではないから	配偶者（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから	育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから
全体		339	24.2	51.3	38.6	4.1	21.5	8.0	3.5	14.7	25.1
世帯年収	200万円未満	5	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	200～300万円未満	8	37.5	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5
	300～400万円未満	7	28.6	42.9	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6
	400～500万円未満	9	22.2	77.8	33.3	0.0	11.1	0.0	11.1	33.3	22.2
	500～700万円未満	20	60.0	75.0	40.0	0.0	10.0	0.0	0.0	5.0	30.0
	700～1,000万円未満	55	38.2	63.6	43.6	3.6	12.7	5.5	5.5	14.5	18.2
	1,000～1,500万円未満	69	26.1	56.5	58.0	4.3	23.2	11.6	1.4	18.8	27.5
	1,500～2,000万円未満	55	18.2	54.5	40.0	5.5	27.3	12.7	0.0	14.5	27.3
	2,000～3,000万円未満	57	8.8	35.1	28.1	5.3	28.1	10.5	3.5	10.5	31.6
	3,000～5,000万円未満	28	0.0	35.7	28.6	7.1	28.6	7.1	10.7	17.9	21.4
	5,000～１億円未満	6	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0
	１億円以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	16	25.0	43.8	25.0	0.0	25.0	0.0	12.5	18.8	12.5
子育ての孤立感	ある	29	41.4	62.1	34.5	10.3	17.2	0.0	6.9	27.6	27.6
	ときどきある	73	32.9	58.9	37.0	4.1	30.1	6.8	4.1	20.5	31.5
	あまりない	138	19.6	47.1	44.9	2.2	22.5	9.4	4.3	10.9	29.7
	ない	97	18.6	48.5	32.0	4.1	14.4	9.3	1.0	12.4	13.4

		回答者数（人）	将来的に家族の介護の負担が発生・増加する見込みがあるから	妊娠することや子育てをすることに漠然とした不安があるから	健康上の理由から	ほしいけれどもできないから	高齢で産むのはいやだから	配偶者（パートナー）が望まないから	その他	無回答
全体		339	3.8	6.5	8.3	20.1	30.1	9.7	9.4	0.3
世帯年収	200万円未満	5	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	200～300万円未満	8	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0
	300～400万円未満	7	14.3	0.0	14.3	42.9	28.6	0.0	28.6	0.0
	400～500万円未満	9	0.0	0.0	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0
	500～700万円未満	20	10.0	5.0	0.0	40.0	15.0	0.0	10.0	0.0
	700～1,000万円未満	55	5.5	9.1	9.1	18.2	25.5	10.9	10.9	0.0
	1,000～1,500万円未満	69	1.4	2.9	10.1	17.4	30.4	8.7	5.8	0.0
	1,500～2,000万円未満	55	0.0	7.3	3.6	10.9	45.5	16.4	3.6	0.0
	2,000～3,000万円未満	57	7.0	7.0	8.8	17.5	28.1	5.3	14.0	1.8
	3,000～5,000万円未満	28	7.1	14.3	10.7	21.4	42.9	25.0	3.6	0.0
	5,000～１億円未満	6	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0
	１億円以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	16	0.0	6.3	12.5	37.5	31.3	6.3	6.3	0.0
子育ての孤立感	ある	29	10.3	0.0	10.3	20.7	24.1	10.3	20.7	0.0
	ときどきある	73	8.2	9.6	11.0	21.9	27.4	4.1	5.5	1.4
	あまりない	138	1.4	6.5	8.0	23.2	26.1	9.4	8.7	0.0
	ない	97	2.1	6.2	5.2	14.4	40.2	14.4	10.3	0.0

（８）子育て環境

①子育て環境の満足度（問 32）

・　すべての居住地区、学年で「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』を大きく上回っている。

・　前回調査と比べて、大きな変化はみられない。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数（人）	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答	『満足』（満足＋やや満足）	『不満』（不満＋やや不満）
全体		840	36.0	44.4	15.4	2.1	1.0	1.2	80.4	3.1
居住地区	芝地区	93	36.6	45.2	15.1	1.1	1.1	1.1	81.8	2.2
	麻布地区	164	39.6	41.5	14.6	3.0	0.6	0.6	81.1	3.6
	赤坂地区	105	28.6	43.8	21.0	1.9	2.9	1.9	72.4	4.8
	高輪地区	234	38.5	42.7	15.4	1.7	0.0	1.7	81.2	1.7
	芝浦港南地区	239	33.9	48.5	13.4	2.1	1.3	0.8	82.4	3.4
学年	１年生	183	35.5	49.2	10.9	1.1	1.1	2.2	84.7	2.2
	２年生	133	31.6	48.9	12.8	4.5	0.8	1.5	80.5	5.3
	３年生	129	35.7	45.0	14.7	1.6	1.6	1.6	80.7	3.2
	４年生	149	36.9	42.3	16.8	2.0	1.3	0.7	79.2	3.3
	５年生	111	41.4	35.1	21.6	0.9	0.9	0.0	76.5	1.8
	６年生	121	34.7	43.8	19.0	2.5	0.0	0.0	78.5	2.5
前回(H30)		879	34.4	42.3	14.6	4.7	1.5	2.6	76.7	6.2

３．中学生

調査結果の分析においては、下表に示す観点により記載している。

問番号	項目	主な観点			
		居住地区	学年	性別	自己肯定感（今の自分が好きだ）
（１）基本属性					
問１	居住地区		●	●	
問２	学年			●	
問３	通っている学校	●	●	●	
（２）家族との関わり					
問７	家族との関わり		●	●	●
（３）学校生活、友達との関わり					
問９	学校は楽しいか		●	●	●
問10	学校に行きたくないと思ったこと		●	●	●
問10－１	学校に行きたくないと思った理由		●	●	●
問11	友達との関わり		●	●	●
（４）放課後や休日の過ごし方					
問13	居心地がよいと感じる場所		●	●	●
（５）施設の利用状況					
問16	施設（児童館や子ども中高生プラザ等）の利用状況	●	●	●	
問16-1	児童館や子ども中高生プラザ等に行く目的	●	●	●	
問16-2	児童館や子ども中高生プラザ等を利用しない理由	●	●	●	
問17	行ってみたい場所	●	●	●	
（６）自分について感じていることや悩みごと					
問18	自分について感じていること		●	●	
問19	現在の不安や悩みごと		●	●	●
（７）将来のイメージ					
問22	将来の進路		●	●	
問24	進学や就職		●	●	
問25	結婚		●	●	
問26	子どもを持つこと		●	●	

（１）基本属性

①居住地区（問１）

・　学年別にみると、いずれも「高輪地区」が約３割と最も多く、次いで“１年生”は「麻布地区」（20.7%）、“２年生”“３年生”は「芝浦港南地区」（それぞれ 20.7%、23.6%）となっている。

・　性別別にみると“男”“女”とも「高輪地区」が３割以上と最も多く、次いで“男”は「芝浦港南地区」（24.6%）、“女”は「麻布地区」（19.6%）となっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	芝地区	麻布地区	赤坂地区	高輪地区	芝浦港南地区	無回答
全体		596	13.3	18.8	14.6	31.0	21.3	1.0
学年	１年生	213	15.0	20.7	12.2	31.5	20.2	0.5
	２年生	203	12.8	16.7	15.3	33.5	20.7	1.0
	３年生	178	11.8	19.1	16.9	28.1	23.6	0.6
性別	男	293	9.6	17.7	15.7	31.7	24.6	0.7
	女	291	17.2	19.6	13.7	30.9	17.5	1.0
	その他・答えたくない	10	10.0	30.0	10.0	20.0	30.0	0.0

②学年（問２）

・　性別別にみると、いずれも男女の割合は同程度となっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	１年生	２年生	３年生	無回答
全体		596	35.7	34.1	29.9	0.3
性別	男	293	37.9	32.8	29.0	0.3
	女	291	33.7	34.7	31.6	0.0
	その他・答えたくない	10	30.0	60.0	10.0	0.0

③通っている学校（問３）

- 居住地区別にみると、いずれも「私立・国立・都立の中学校」が約５割と最も多く、次いで「港区内の公立中学校」となっている。“麻布地区”は「インターナショナルスクール」（12.5%）がその他の地区と比べて多くなっている。
- 学年別にみると、いずれも「私立・国立・都立の中学校」が約５割と最も多く、次いで「港区内の公立中学校」となっている。
- 性別別にみると、“男”“女”ともに「私立・国立・都立の中学校」が約５割と最も多く、次いで「港区内の公立中学校」となっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	港区内の公立中学校	港区外の公立中学校	私立・国立・都立の中学校	インターナショナルスクール	その他	無回答
全体		596	43.1	0.5	50.3	5.2	0.5	0.3
居住地区	芝地区	79	40.5	1.3	55.7	0.0	2.5	0.0
	麻布地区	112	35.7	0.0	50.9	12.5	0.9	0.0
	赤坂地区	87	44.8	0.0	48.3	6.9	0.0	0.0
	高輪地区	185	45.4	0.5	50.3	3.8	0.0	0.0
	芝浦港南地区	127	47.2	0.8	48.8	3.1	0.0	0.0
学年	１年生	213	41.3	0.5	53.1	5.2	0.0	0.0
	２年生	203	46.3	0.5	47.8	4.4	1.0	0.0
	３年生	178	42.1	0.6	50.6	6.2	0.6	0.0
性別	男	293	43.3	0.7	48.8	6.1	0.7	0.3
	女	291	42.6	0.3	52.2	4.5	0.3	0.0
	その他・答えたくない	10	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

【参考：中学校別生徒数（令和５年度学校基本調査）】

（単位：人）

	全体	公立	私立	国立
全国	3,177,508 (100.0%)	2,902,882 (91.4%)	247,622 (7.8%)	27,004 (0.8%)
東京都	314,459 (100.0%)	230,649 (73.3%)	81,257 (25.8%)	2,553 (0.8%)

（２）家族との関わり

①家族との関わり（問７）

・ “家族とよく話をする”“家族に自分の意見を言えている”“家族はあなたの考えや気持ちを理解してくれる”“あなたが困ったとき、家族は助けてくれる”において、学年別にみると、いずれも「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』を大きく上回っている。

・ 性別別にみると、“男”“女”ともに『そう思う』が『そう思わない』を大きく上回っている。

・ 自己肯定感の有無別にみると、自己肯定感が高くなるにつれて『そう思う』が多い傾向となっている。

【クロス表】

（１）家族とよく話をする

（単位：％）

		回答者数（人）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』（そう思う＋どちらかといえばそう思う）	『そう思わない』（そう思わない＋どちらかといえばそう思わない）
全体		596	73.0	19.0	3.0	1.5	3.5	92.0	4.5
学年	１年生	213	76.5	16.9	1.4	1.9	3.3	93.4	3.3
	２年生	203	69.5	22.7	3.4	1.0	3.4	92.2	4.4
	３年生	178	73.0	16.9	4.5	1.7	3.9	89.9	6.2
性別	男	293	72.7	19.5	2.7	1.4	3.8	92.2	4.1
	女	291	73.9	17.9	3.4	1.7	3.1	91.8	5.1
	その他・答えたくない	10	50.0	40.0	0.0	0.0	10.0	90.0	0.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	85.0	9.6	1.2	1.2	3.1	94.6	2.4
	どちらかといえばそう思う	212	70.8	21.7	2.4	1.4	3.8	92.5	3.8
	どちらかといえばそう思わない	81	58.0	30.9	6.2	1.2	3.7	88.9	7.4
	そう思わない	38	39.5	42.1	13.2	5.3	0.0	81.6	18.5

（２）家族に自分の意見を言えている

（単位：％）

		回答者数（人）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』（そう思う＋どちらかといえばそう思う）	『そう思わない』（そう思わない＋どちらかといえばそう思わない）
全体		596	69.0	19.5	5.7	1.8	4.0	88.5	7.5
学年	１年生	213	69.0	20.2	4.7	2.3	3.8	89.2	7.0
	２年生	203	66.0	22.2	6.4	1.0	4.4	88.2	7.4
	３年生	178	72.5	15.7	5.6	2.2	3.9	88.2	7.8
性別	男	293	67.2	19.8	6.5	1.7	4.8	87.0	8.2
	女	291	71.8	19.6	3.8	1.7	3.1	91.4	5.5
	その他・答えたくない	10	30.0	10.0	40.0	10.0	10.0	40.0	50.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	86.2	8.8	1.2	0.4	3.5	95.0	1.6
	どちらかといえばそう思う	212	60.4	26.4	7.1	1.4	4.7	86.8	8.5
	どちらかといえばそう思わない	81	48.1	37.0	9.9	1.2	3.7	85.1	11.1
	そう思わない	38	50.0	13.2	21.1	15.8	0.0	63.2	36.9

（３）家族はあなたの考えや気持ちを理解してくれる

（単位：％）

		回答者数（人）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』（そう思う＋どちらかといえばそう思う）	『そう思わない』（そう思わない＋どちらかといえばそう思わない）
全体		596	56.5	29.4	7.9	2.3	3.9	85.9	10.2
学年	１年生	213	58.2	31.0	5.6	1.4	3.8	89.2	7.0
	２年生	203	52.7	31.0	9.9	2.0	4.4	83.7	11.9
	３年生	178	59.0	25.8	8.4	3.4	3.4	84.8	11.8
性別	男	293	57.7	27.6	7.5	2.4	4.8	85.3	9.9
	女	291	56.4	32.0	6.9	2.1	2.7	88.4	9.0
	その他・答えたくない	10	20.0	10.0	50.0	10.0	10.0	30.0	60.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	74.6	18.5	3.1	0.8	3.1	93.1	3.9
	どちらかといえばそう思う	212	49.1	36.8	7.1	2.4	4.7	85.9	9.5
	どちらかといえばそう思わない	81	40.7	40.7	14.8	0.0	3.7	81.4	14.8
	そう思わない	38	15.8	36.8	28.9	18.4	0.0	52.6	47.3

（４）あなたが困ったとき、家族は助けてくれる

（単位：％）

		回答者数（人）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』（そう思う＋どちらかといえばそう思う）	『そう思わない』（そう思わない＋どちらかといえばそう思わない）
全体		596	76.0	17.6	1.7	0.8	3.9	93.6	2.5
学年	１年生	213	80.3	15.0	0.9	0.5	3.3	95.3	1.4
	２年生	203	72.9	20.7	1.5	0.5	4.4	93.6	2.0
	３年生	178	74.7	17.4	2.2	1.7	3.9	92.1	3.9
性別	男	293	77.5	15.0	1.7	0.7	5.1	92.5	2.4
	女	291	75.6	19.6	1.4	1.0	2.4	95.2	2.4
	その他・答えたくない	10	40.0	40.0	10.0	0.0	10.0	80.0	10.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	88.8	6.9	0.0	0.8	3.5	95.7	0.8
	どちらかといえばそう思う	212	71.2	21.2	2.4	0.5	4.7	92.4	2.9
	どちらかといえばそう思わない	81	60.5	34.6	1.2	0.0	3.7	95.1	1.2
	そう思わない	38	47.4	36.8	10.5	5.3	0.0	84.2	15.8

（３）学校生活、友達との関わり

①学校は楽しいか（問９）

・　学年別にみると、いずれも「とても楽しい」が約５割と最も多く、次いで「まあまあ楽しい」となっている。

・　性別別にみると、“男”“女”ともに「とても楽しい」が５割以上と最も多く、次いで「まあまあ楽しい」となっている。

・　自己肯定感の有無別にみると、自己肯定感が高くなるにつれて「とても楽しい」が多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数（人）	とても楽しい	まあまあ楽しい	どちらともいえない	あまり楽しくない	まったく楽しくない	無回答
全体		596	52.5	35.1	5.2	4.9	2.0	0.3
学年	１年生	213	54.5	35.2	4.7	3.8	1.9	0.0
	２年生	203	49.8	36.5	5.4	6.4	2.0	0.0
	３年生	178	52.8	33.7	5.6	4.5	2.2	1.1
性別	男	293	54.3	34.1	4.8	4.4	1.7	0.7
	女	291	51.9	35.7	4.8	5.2	2.4	0.0
	その他・答えたくない	10	20.0	40.0	30.0	10.0	0.0	0.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	72.7	21.5	1.9	2.3	1.5	0.0
	どちらかといえばそう思う	212	43.4	43.4	5.7	6.1	0.9	0.5
	どちらかといえばそう思わない	81	28.4	53.1	9.9	3.7	4.9	0.0
	そう思わない	38	21.1	42.1	15.8	15.8	5.3	0.0

②学校に行きたくないと思ったこと（問 10）

・　学年別にみると、いずれも「ほとんどない」が４割以上と最も多く、次いで「ときどきあった」となっている。

・　性別別にみると“男”“女”ともに「ほとんどない」が約４割と最も多く、次いで“男”は「一度もない」（22.5％）、“女”は「ときどきあった」（27.5％）となっている。

・　自己肯定感の有無別にみると、自己肯定感が低くなるにつれて「よくあった」「ときどきあった」が多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数（人）	よくあった	ときどきあった	ほとんどいない	一度もない	無回答
全体		596	10.2	24.3	42.3	21.8	1.3
学年	１年生	213	8.9	24.4	40.8	24.4	1.4
	２年生	203	10.8	25.6	42.9	19.7	1.0
	３年生	178	11.2	23.0	43.8	20.2	1.7
性別	男	293	8.5	20.8	46.1	22.5	2.0
	女	291	11.3	27.5	38.8	21.6	0.7
	その他・答えたくない	10	30.0	30.0	40.0	0.0	0.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	6.2	11.9	43.8	36.2	1.9
	どちらかといえばそう思う	212	8.0	28.3	48.6	14.6	0.5
	どちらかといえばそう思わない	81	18.5	37.0	39.5	3.7	1.2
	そう思わない	38	31.6	57.9	5.3	5.3	0.0

③学校に行きたくないと思った理由（問 10－１）

- 学年別にみると、“１年生”“２年生”は「友達とうまくいかない」（それぞれ 28.2%、29.7%）、“３年生”は「その他」（29.5%）が最も多く、次いで、いずれも「特に理由はない、わからない」となっている。
- 性別別にみると、“男”は「特に理由はない、わからない」（29.1%）、“女”は「友達とうまくいかない」（31.0%）が最も多くなっている。次いで、“男”は「その他」（26.7%）、“女”は「特に理由はない、わからない」（24.8%）となっている。
- 自己肯定感の有無別にみると、自己肯定感が低くなるにつれて「友達とうまくいかない」「クラスになじめない」「自分の外見や性格のため」が多い傾向となっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	友達とうまくいかない	先生とうまくいかない	授業についていけない	部活動でうまくいかない	クラスになじめない	いじめや嫌がらせがある
全体		206	28.2	8.3	14.6	13.6	14.6	14.1
学年	１年生	71	28.2	8.5	16.9	7.0	14.1	11.3
	２年生	74	29.7	9.5	12.2	21.6	17.6	14.9
	３年生	61	26.2	6.6	14.8	11.5	11.5	16.4
性別	男	86	23.3	7.0	11.6	11.6	7.0	16.3
	女	113	31.0	8.8	15.9	15.9	19.5	12.4
	その他・答えたくない	6	50.0	16.7	33.3	0.0	33.3	16.7
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	47	21.3	8.5	17.0	12.8	8.5	8.5
	どちらかといえばそう思う	77	23.4	7.8	13.0	7.8	10.4	15.6
	どちらかといえばそう思わない	45	31.1	13.3	11.1	20.0	17.8	8.9
	そう思わない	34	44.1	2.9	20.6	17.6	29.4	23.5

		回答者数（人）	自分の外見や性格のため	家族や家庭の事情があるため	その他	特に理由はない、わからない	無回答
全体		206	8.7	1.0	24.8	27.2	0.5
学年	１年生	71	9.9	0.0	23.9	26.8	1.4
	２年生	74	9.5	1.4	21.6	27.0	0.0
	３年生	61	6.6	1.6	29.5	27.9	0.0
性別	男	86	3.5	0.0	26.7	29.1	1.2
	女	113	12.4	1.8	23.9	24.8	0.0
	その他・答えたくない	6	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	47	6.4	0.0	36.2	27.7	0.0
	どちらかといえばそう思う	77	2.6	0.0	23.4	31.2	1.3
	どちらかといえばそう思わない	45	8.9	2.2	15.6	31.1	0.0
	そう思わない	34	26.5	2.9	20.6	14.7	0.0

④友達との関わり（問 11）

- “親しい友達がいる”において、すべての学年、性別で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が９割を超えている。
- “友達と仲良くなるまで時間がかかる”において、すべての学年、性別で『そう思う』が３割を超えている。自己肯定感が低くなるにつれて『そう思う』が多くなっている。
- “友達とうまく話せないことがある”において、すべての学年、性別で『そう思う』が２割を超えている。自己肯定感が低くなるにつれて『そう思う』が多くなっている。
- “友達から自分がどう見られているのか気になる”において、すべての学年、性別で『そう思う』が４割を超えている。性別別にみると、“女”は『そう思う』が“男”と比べて多くなっている。自己肯定感が低くなるにつれて『そう思う』が多くなっている。
- “友達と一緒にいるよりも、一人でいる方が気が楽だ”において、すべての学年、性別で『そう思う』が２割を超えている。自己肯定感が低くなるにつれて『そう思う』が多くなっている。

【クロス表】

（１）親しい友達がいる

（単位：％）

		回答者数（人）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』（そう思う＋どちらかといえばそう思う）	『そう思わない』（そう思わない＋どちらかといえばそう思わない）
全体		596	82.2	13.3	2.3	1.3	0.8	95.5	3.6
学年	１年生	213	81.7	14.1	2.3	1.4	0.5	95.8	3.7
	２年生	203	80.3	14.3	3.4	1.5	0.5	94.6	4.9
	３年生	178	84.8	11.2	1.1	1.1	1.7	96.0	2.2
性別	男	293	81.2	14.0	2.0	1.4	1.4	95.2	3.4
	女	291	83.5	12.4	2.4	1.4	0.3	95.9	3.8
	その他・答えたくない	10	70.0	20.0	10.0	0.0	0.0	90.0	10.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	89.6	7.7	1.2	0.4	1.2	97.3	1.6
	どちらかといえばそう思う	212	82.1	15.1	0.9	1.4	0.5	97.2	2.3
	どちらかといえばそう思わない	81	72.8	18.5	7.4	1.2	0.0	91.3	8.6
	そう思わない	38	60.5	26.3	5.3	7.9	0.0	86.8	13.2

（２）友達と仲良くなるまで時間がかかる

（単位：％）

		回答者数（人）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』（そう思う＋どちらかといえばそう思う）	『そう思わない』（そう思わない＋どちらかといえばそう思わない）
全体		596	13.1	22.5	33.9	29.0	1.5	35.6	62.9
学年	１年生	213	13.6	21.1	32.9	31.0	1.4	34.7	63.9
	２年生	203	14.8	25.6	34.5	24.1	1.0	40.4	58.6
	３年生	178	10.7	20.8	34.8	31.5	2.2	31.5	66.3
性別	男	293	13.0	18.4	36.2	30.4	2.0	31.4	66.6
	女	291	12.7	26.5	32.0	27.8	1.0	39.2	59.8
	その他・答えたくない	10	30.0	30.0	30.0	10.0	0.0	60.0	40.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	10.8	18.1	30.0	40.0	1.2	28.9	70.0
	どちらかといえばそう思う	212	12.3	26.4	34.9	24.1	2.4	38.7	59.0
	どちらかといえばそう思わない	81	14.8	24.7	49.4	11.1	0.0	39.5	60.5
	そう思わない	38	28.9	26.3	23.7	21.1	0.0	55.2	44.8

（3）友達とうまく話せないことがある

（単位：%）

		回答者数（人）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』（そう思う＋どちらかといえばそう思う）	『そう思わない』（そう思わない＋どちらかといえばそう思わない）
全体		596	8.2	19.1	29.0	41.9	1.7	27.3	70.9
学年	１年生	213	7.0	15.0	33.3	42.7	1.9	22.0	76.0
	２年生	203	10.3	25.1	28.1	35.5	1.0	35.4	63.6
	３年生	178	7.3	16.9	25.3	48.3	2.2	24.2	73.6
性別	男	293	7.2	16.0	29.4	45.4	2.0	23.2	74.8
	女	291	8.6	21.6	28.9	39.5	1.4	30.2	68.4
	その他・答えたくない	10	30.0	40.0	30.0	0.0	0.0	70.0	30.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	5.0	10.8	25.4	57.7	1.2	15.8	83.1
	どちらかといえばそう思う	212	7.1	21.2	33.5	35.4	2.8	28.3	68.9
	どちらかといえばそう思わない	81	16.0	30.9	29.6	23.5	0.0	46.9	53.1
	そう思わない	38	21.1	36.8	26.3	15.8	0.0	57.9	42.1

（4）友達から自分がどう見られているのか気になる

（単位：%）

		回答者数（人）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』（そう思う＋どちらかといえばそう思う）	『そう思わない』（そう思わない＋どちらかといえばそう思わない）
全体		596	23.8	27.9	21.1	25.3	1.8	51.7	46.4
学年	１年生	213	20.7	29.1	21.6	25.8	2.8	49.8	47.4
	２年生	203	29.6	27.1	20.2	22.2	1.0	56.7	42.4
	３年生	178	21.3	27.0	21.9	28.1	1.7	48.3	50.0
性別	男	293	19.8	23.5	23.2	30.7	2.7	43.3	53.9
	女	291	27.5	32.3	18.9	20.3	1.0	59.8	39.2
	その他・答えたくない	10	40.0	30.0	30.0	0.0	0.0	70.0	30.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	16.2	20.8	23.8	37.7	1.5	37.0	61.5
	どちらかといえばそう思う	212	17.9	36.3	24.1	18.9	2.8	54.2	43.0
	どちらかといえばそう思わない	81	43.2	30.9	11.1	14.8	0.0	74.1	25.9
	そう思わない	38	65.8	23.7	7.9	2.6	0.0	89.5	10.5

（5）友達と一緒にいるよりも、一人でいる方が気が楽だ

（単位：%）

		回答者数（人）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』（そう思う＋どちらかといえばそう思う）	『そう思わない』（そう思わない＋どちらかといえばそう思わない）
全体		596	10.6	20.3	36.7	30.7	1.7	30.9	67.4
学年	１年生	213	9.4	17.8	34.3	36.2	2.3	27.2	70.5
	２年生	203	11.8	20.2	40.4	26.6	1.0	32.0	67.0
	３年生	178	10.7	23.6	36.0	28.1	1.7	34.3	64.1
性別	男	293	8.9	18.1	37.2	33.4	2.4	27.0	70.6
	女	291	12.0	22.3	36.1	28.5	1.0	34.3	64.6
	その他・答えたくない	10	20.0	30.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	10.8	12.3	33.5	42.3	1.2	23.1	75.8
	どちらかといえばそう思う	212	5.7	22.6	40.1	28.8	2.8	28.3	68.9
	どちらかといえばそう思わない	81	11.1	34.6	40.7	13.6	0.0	45.7	54.3
	そう思わない	38	34.2	31.6	34.2	0.0	0.0	65.8	34.2

（４）放課後や休日の過ごし方

①居心地がよいと感じる場所（問 13）

・ 学年別にみると、“１年生”は「家のリビング、居間など」(79.3%)、“２年生”“３年生”は「自分の部屋」（それぞれ 70.4%、75.3%）が最も多くなっている。次いで“１年生”は「自分の部屋」(64.3%)、「部活動」(41.3%)、“２年生”は「家のリビング、居間など」(67.5%)、「部活動」(35.0%)、“３年生”は「家のリビング、居間など」(69.7%)、「学校」(42.1%）となっている。

・ 性別別にみると、“男”“女”とも「家のリビング、居間など」が７割以上と最も多く、次いで「自分の部屋」となっている。

・ 自己肯定感の有無別にみると、自己肯定感が高くなるにつれて「家のリビング、居間など」「学校」「部活動」が多く、自己肯定感が低くなるにつれて「ゲームセンター、カラオケボックス、ネットカフェ、マンガ喫茶」「インターネット上のオンライン空間」が多い傾向となっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	自分の部屋	家のリビング、居間など	友達の家	学校	部活動	塾や習い事の場所	公園	ファーストフード店、ファミレス、コンビニ、カフェ	ゲームセンター、カラオケボックス、ネットカフェ、マンガ喫茶	本屋、CD・DVDショップ
全体		596	69.5	72.3	9.7	37.9	35.6	13.6	10.1	10.6	8.1	13.8
学年	１年生	213	64.3	79.3	8.5	37.1	41.3	12.2	11.3	10.3	9.9	14.1
	２年生	203	70.4	67.5	8.9	34.5	35.0	11.3	8.9	8.9	5.9	12.3
	３年生	178	75.3	69.7	12.4	42.1	29.2	18.0	10.1	12.4	7.9	15.2
性別	男	293	71.0	72.7	13.0	42.0	39.2	12.3	11.9	12.3	8.9	9.9
	女	291	67.4	73.2	6.9	34.7	32.3	15.5	7.6	8.9	6.5	17.2
	その他・答えたくない	10	90.0	30.0	0.0	10.0	20.0	0.0	20.0	0.0	30.0	30.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	67.7	82.7	10.4	48.5	43.5	15.8	10.4	11.5	5.4	12.3
	どちらかといえばそう思う	212	67.9	77.4	12.7	37.3	36.8	13.2	10.8	10.4	7.5	17.0
	どちらかといえばそう思わない	81	80.2	45.7	4.9	21.0	16.0	9.9	8.6	8.6	12.3	8.6
	そう思わない	38	65.8	34.2	0.0	10.5	21.1	10.5	7.9	7.9	21.1	18.4

		回答者数（人）	ショッピングモール	地域のスポーツクラブや民間のスポーツジム	区立図書館	港区スポーツセンター	その他区立の公共施設	インターネット上のオンライン空間（SNSやオンラインゲームなど）	オンラインコミュニティ（オンラインサロンなど）	その他	居心地がよいと感じる場所はない	無回答
全体		596	8.2	2.7	12.4	4.4	2.7	10.4	1.5	4.4	0.3	0.2
学年	１年生	213	9.4	4.2	16.0	5.2	2.8	10.8	2.3	4.7	0.0	0.0
	２年生	203	8.9	2.0	8.9	4.4	3.4	9.4	1.0	2.5	1.0	0.0
	３年生	178	6.2	1.7	12.4	3.4	1.1	11.2	1.1	6.2	0.0	0.6
性別	男	293	5.8	4.1	13.0	5.1	2.7	11.9	1.7	4.8	0.7	0.3
	女	291	10.7	1.4	12.0	3.8	2.4	7.6	1.4	3.8	0.0	0.0
	その他・答えたくない	10	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	50.0	0.0	10.0	0.0	0.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	6.9	3.5	12.7	4.6	3.5	8.5	1.5	3.5	0.4	0.0
	どちらかといえばそう思う	212	9.0	2.8	14.6	4.2	2.8	11.3	1.4	4.7	0.0	0.0
	どちらかといえばそう思わない	81	9.9	1.2	6.2	3.7	1.2	9.9	1.2	6.2	0.0	0.0
	そう思わない	38	10.5	0.0	13.2	2.6	0.0	21.1	2.6	5.3	2.6	0.0

（５）施設の利用状況

①施設（児童館や子ども中高生プラザ・児童高齢者交流プラザ）の利用状況（問 16）

・ 居住地区別にみると、いずれも「以前利用していたが、今は利用していない」が３割以上と最も多く、“麻布地区”（55.4％）、“高輪地区”（60.5％）は他の地区と比べて多くなっている。“芝地区”“赤坂地区”“芝浦港南地区”は「どこにあるか知らない」が２割を超えている。

・ 学年別にみると、いずれも「以前利用していたが、今は利用していない」が約５割と最も多く、次いで「知っているが行ったことがない」となっている。

・ 性別別にみると、いずれも「以前利用していたが、今は利用していない」が約５割と最も多く、次いで「知っているが行ったことがない」となっている。“男”は「たまに利用する（週に１回程度)」(12.3％）が“女”と比べて多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数（人）	よく利用する（週に２回以上）	たまに利用する（週に１回程度）	以前利用していたが、今は利用していない	知っているが行ったことがない	どこにあるか知らない	無回答
全体		596	2.3	8.6	49.2	20.6	17.4	1.8
居住地区	芝地区	79	1.3	7.6	36.7	26.6	26.6	1.3
	麻布地区	112	1.8	8.9	55.4	16.1	14.3	3.6
	赤坂地区	87	3.4	6.9	33.3	29.9	24.1	2.3
	高輪地区	185	2.7	10.3	60.5	16.8	8.1	1.6
	芝浦港南地区	127	1.6	7.9	45.7	19.7	24.4	0.8
学年	１年生	213	2.3	9.9	52.6	16.4	16.0	2.8
	２年生	203	2.5	9.9	47.3	21.7	18.2	0.5
	３年生	178	1.7	5.6	47.2	24.7	18.5	2.2
性別	男	293	3.1	12.3	47.4	20.5	15.0	1.7
	女	291	1.0	4.8	51.2	21.0	19.9	2.1
	その他・答えたくない	10	0.0	10.0	50.0	20.0	20.0	0.0

②児童館や子ども中高生プラザ等に行く目的（問 16－１）

・ 居住地区別にみると、“麻布地区”“高輪地区”“芝浦港南地区”は「体育館を利用するため」（それぞれ83.3%、45.8%、50.0%）が最も多く、次いで「友達に会うため」（それぞれ50.0%、33.3%、41.7%）となっている。“高輪地区”は「勉強（自習）のため」「ひまだから、時間つぶし」も多くなっている。

・ 学年別にみると、いずれも「体育館を利用するため」が最も多くなっている。“２年生”は「友達に会うため」も多くなっている。

・ 性別別にみると、“男”“女”ともに「体育館を利用するため」が３割以上と最も多く、次いで“男は”「友達に会うため」（42.2%）、“女”は「勉強（自習）のため」（29.4%）となっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	ゲームやマンガがあるから	スタジオ（音楽やダンス）を利用するため	体育館を利用するため	勉強（自習）のため	友達に会うため	施設のイベントが楽しいから	ひまだから、時間つぶし	その他	無回答
全体		65	26.2	4.6	52.3	21.5	38.5	16.9	29.2	10.8	1.5
居住地区	芝地区	7	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0
	麻布地区	12	25.0	0.0	83.3	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	8.3
	赤坂地区	9	33.3	11.1	55.6	11.1	55.6	33.3	44.4	0.0	0.0
	高輪地区	24	25.0	0.0	45.8	33.3	33.3	8.3	33.3	12.5	0.0
	芝浦港南地区	12	33.3	8.3	50.0	0.0	41.7	33.3	33.3	16.7	0.0
学年	１年生	26	38.5	0.0	69.2	23.1	42.3	23.1	30.8	3.8	0.0
	２年生	25	24.0	4.0	36.0	12.0	36.0	12.0	32.0	20.0	4.0
	３年生	13	7.7	15.4	46.2	38.5	30.8	15.4	23.1	7.7	0.0
性別	男	45	33.3	2.2	57.8	20.0	42.2	17.8	35.6	8.9	0.0
	女	17	11.8	5.9	35.3	29.4	23.5	11.8	17.6	17.6	5.9
	その他・答えたくない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③児童館や子ども中高生プラザ等を利用しない理由（問 16－２）

・ 居住地区別、学年別にみると、いずれも「塾や習い事、部活動などで行く時間がないから」が３割以上と最も多く、次いで「興味がないから」となっている。

・ 性別別にみると、“男”“女”ともに「塾や習い事、部活動などで行く時間がないから」が４割以上と最も多く、次いで「興味がないから」となっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	場所が遠いから	開館日や開館時間が合わないから	塾や習い事、部活動などで行く時間がないから	知っている人がいないと行きにくいから	興味がないから	その他	特に理由はない	無回答
全体		416	12.0	6.5	46.9	21.4	36.1	7.0	14.4	0.7
居住地区	芝地区	50	12.0	8.0	50.0	20.0	40.0	4.0	14.0	0.0
	麻布地区	80	11.3	7.5	42.5	25.0	30.0	10.0	16.3	1.3
	赤坂地区	55	20.0	1.8	52.7	20.0	45.5	1.8	7.3	0.0
	高輪地区	143	12.6	7.0	51.0	21.7	32.9	7.0	15.4	0.0
	芝浦港南地区	83	6.0	7.2	39.8	20.5	37.3	8.4	15.7	2.4
学年	１年生	147	12.2	8.2	49.7	24.5	34.0	6.1	13.6	0.7
	２年生	140	12.1	5.7	46.4	21.4	40.0	7.1	11.4	0.0
	３年生	128	11.7	5.5	44.5	18.0	33.6	7.0	18.8	1.6
性別	男	199	8.0	7.0	46.2	15.6	36.2	5.5	15.6	1.0
	女	210	15.7	6.2	48.1	27.1	36.2	8.1	12.9	0.5
	その他・答えたくない	7	14.3	0.0	28.6	14.3	28.6	14.3	28.6	0.0

④行ってみたい場所（問 17）

- 居住地区別、学年別にみると、いずれも「好きなことを自由にして過ごせる」が５割以上と最も多く、次いで「いつでも行きたいときに行ける」、「何もせずのんびりできる」となっている。
- 性別別でみると、“男”“女”ともに「好きなことを自由にして過ごせる」が５割以上と最も多く、次いで「いつでも行きたいときに行ける」、「何もせずのんびりできる」となっている。
- “女”は「1 人で過ごせる」（30.2%）、「悩みごとの相談ができる」（12.7%）が“男”と比べて多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	いつでも行きたいときに行ける	一人で過ごせる	何もせずのんびりできる	ありのままでいられる、自分を否定されない	好きなことを自由にして過ごせる	新しいことやりたいことに挑戦できる	悩みごとの相談ができる	違う世代の人と出会える	その他	特にない	無回答
全体		596	44.1	23.7	32.7	20.5	54.9	22.8	9.7	6.5	5.0	21.0	6.0
居住地区	芝地区	79	55.7	34.2	36.7	25.3	58.2	21.5	15.2	5.1	5.1	17.7	6.3
	麻布地区	112	36.6	16.1	24.1	22.3	53.6	24.1	10.7	6.3	4.5	24.1	8.9
	赤坂地区	87	41.4	29.9	36.8	23.0	50.6	21.8	6.9	6.9	2.3	25.3	6.9
	高輪地区	185	51.9	24.3	35.1	23.2	57.8	22.7	10.3	7.6	5.4	16.2	5.4
	芝浦港南地区	127	35.4	18.9	31.5	9.4	52.8	22.8	7.1	6.3	6.3	23.6	3.9
学年	１年生	213	47.9	23.0	36.2	20.2	56.8	22.5	7.5	4.7	5.6	16.9	6.6
	２年生	203	39.4	23.2	30.5	19.2	51.7	22.7	10.3	6.9	5.4	22.7	6.9
	３年生	178	45.5	25.3	31.5	22.5	56.7	23.6	11.8	8.4	3.4	23.6	4.5
性別	男	293	43.0	16.4	29.7	17.7	53.2	21.8	6.1	6.5	3.8	21.2	7.8
	女	291	45.7	30.2	35.7	22.3	56.0	23.7	12.7	6.5	6.5	20.6	4.5
	その他・答えたくない	10	30.0	50.0	40.0	50.0	70.0	20.0	30.0	10.0	0.0	20.0	0.0

【関連する自由回答（一部抜粋）】

- 中高生でも安全に遊べて楽しめるような施設があったら嬉しいです。そこで区内のイベントのお知らせなども知れると行動の幅が広がる気がします。【１年生・女性】
- サッカーやバスケなど、ボールを使える公園を増やして欲しいです【３年生・男性】
- 室内で遊べるような場所を増やして欲しい。【２年生・男性】
- 区民の人が自由につかえる自習室がほしいです。【１年生・女性】
- 友達と過ごすのにお金のかからない場所がほしい。【２年生・女性】
- 中学生向けの中学生同士で関わり合える施設などがあると嬉しい。【２年生・女性】
- 色々な人と、交流できる場所が欲しい。【１年生・男性】
- 身近に小さなだがしやさんとか数人集まれる程度（いくたびに違う人と会えたりすると人の輪もひろがる）のお店をつくってくれたら、ストレスとかが重いときに逃げられる居場所になると思う。お店の人が悩みをきいてくれるところ、かくれがみたいな。【２年生・性別：その他・答えたくない】
- 学校に行けない子どもの居場所がないのが困る。気軽にいつでも受け入れてくれる場所があるといい。【１年生・男性】
- 学生に対してどういう施設などがあるのかを紹介してほしい。【３年生・男性】

（６）自分について感じていることや悩みごと

①自分について感じていること（問 18）

・ “今の自分が好きだ”“今、自分は幸せだ”“今の自分に満足している”において、すべての学年で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』を上回っている。性別別にみると、“男”“女”ともに『そう思う』が『そう思わない』を上回っている。

・ “自分は役に立たないと感じる”“自分は孤立していると感じる”において、すべての学年で『そう思う』が『そう思わない』を下回っている。性別別にみると、“男”“女”ともに『そう思う』が『そう思わない』を下回っている。

【クロス表】

（１）今の自分が好きだ

（単位：％）

		回答者数（人）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』（そう思う＋どちらかといえばそう思う）	『そう思わない』（そう思わない＋どちらかといえばそう思わない）
全体		596	43.6	35.6	13.6	6.4	0.8	79.2	20.0
学年	１年生	213	44.6	39.0	10.8	4.7	0.9	83.6	15.5
	２年生	203	40.4	35.0	16.3	8.4	0.0	75.4	24.7
	３年生	178	46.1	32.0	14.0	6.2	1.7	78.1	20.2
性別	男	293	49.1	34.1	10.6	5.1	1.0	83.2	15.7
	女	291	39.2	37.1	16.2	6.9	0.7	76.3	23.1
	その他・答えたくない	10	0.0	40.0	30.0	30.0	0.0	40.0	60.0

（２）今、自分は幸せだ

（単位：％）

		回答者数（人）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』（そう思う＋どちらかといえばそう思う）	『そう思わない』（そう思わない＋どちらかといえばそう思わない）
全体		596	58.6	33.6	4.9	2.2	0.8	92.2	7.1
学年	１年生	213	61.0	31.5	5.2	0.9	1.4	92.5	6.1
	２年生	203	55.7	37.9	4.4	2.0	0.0	93.6	6.4
	３年生	178	58.4	31.5	5.1	3.9	1.1	89.9	9.0
性別	男	293	61.1	31.7	4.4	1.7	1.0	92.8	6.1
	女	291	57.4	34.7	4.8	2.4	0.7	92.1	7.2
	その他・答えたくない	10	10.0	60.0	20.0	10.0	0.0	70.0	30.0

（３）今の自分に満足している

（単位：％）

		回答者数（人）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』（そう思う＋どちらかといえばそう思う）	『そう思わない』（そう思わない＋どちらかといえばそう思わない）
全体		596	37.4	30.9	19.8	11.1	0.8	68.3	30.9
学年	１年生	213	39.4	34.3	13.6	11.3	1.4	73.7	24.9
	２年生	203	34.5	31.0	22.7	11.8	0.0	65.5	34.5
	３年生	178	38.8	26.4	23.6	10.1	1.1	65.2	33.7
性別	男	293	39.6	32.1	16.7	10.6	1.0	71.7	27.3
	女	291	36.4	29.9	22.0	11.0	0.7	66.3	33.0
	その他・答えたくない	10	0.0	30.0	40.0	30.0	0.0	30.0	70.0

（４）自分は役に立たないと感じる

（単位：％）

		回答者数（人）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』（そう思う＋どちらかといえばそう思う）	『そう思わない』（そう思わない＋どちらかといえばそう思わない）
全体		596	7.0	15.9	32.2	43.8	1.0	22.9	76.0
学年	１年生	213	8.9	16.0	31.0	42.7	1.4	24.9	73.7
	２年生	203	4.4	21.2	36.9	36.9	0.5	25.6	73.8
	３年生	178	7.9	10.1	28.1	52.8	1.1	18.0	80.9
性別	男	293	6.8	15.0	30.4	46.8	1.0	21.8	77.2
	女	291	6.9	16.5	34.0	41.9	0.7	23.4	75.9
	その他・答えたくない	10	20.0	30.0	40.0	0.0	10.0	50.0	40.0

（５）自分は孤立していると感じる

（単位：％）

		回答者数（人）	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』（そう思う＋どちらかといえばそう思う）	『そう思わない』（そう思わない＋どちらかといえばそう思わない）
全体		596	3.0	7.7	26.8	61.4	1.0	10.7	88.2
学年	１年生	213	2.8	6.6	24.4	64.8	1.4	9.4	89.2
	２年生	203	5.4	9.4	32.5	52.2	0.5	14.8	84.7
	３年生	178	0.6	7.3	23.6	67.4	1.1	7.9	91.0
性別	男	293	4.1	6.8	24.6	63.5	1.0	10.9	88.1
	女	291	1.7	8.6	27.8	61.2	0.7	10.3	89.0
	その他・答えたくない	10	10.0	10.0	70.0	0.0	10.0	20.0	70.0

②現在の不安や悩みごと（問 19）

- 学年別にみると、“１年生”“２年生”は「勉強や成績のこと」（それぞれ 56.8%、63.1%）、“３年生”は「進路や将来のこと」（56.2%）が最も多く、次いで“１年生”“２年生”は「進路や将来のこと」（それぞれ 36.2%、55.2%）、“３年生”は「勉強や成績のこと」（53.9%）となっている。
- 性別別にみると、“男”“女”ともに「勉強や成績のこと」が５割以上と最も多く、次いで「進路や将来のこと」となっている。
- 自己肯定感の有無別にみると、自己肯定感が低くなるにつれて、「勉強や成績のこと」「進路や将来のこと」「友人関係のこと」「家族との関係・家庭環境のこと」「体や性のこと」「性格のこと」「外見のこと」が多い傾向となっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	勉強や成績のこと	進路や将来のこと	友達関係のこと	いじめのこと	恋愛のこと	学校の先生のこと	家族との関係・家庭環境のこと
全体		596	58.1	48.5	18.6	1.7	7.2	4.2	9.4
学年	１年生	213	56.8	36.2	16.0	1.9	2.8	3.3	7.0
	２年生	203	63.1	55.2	23.2	1.5	10.3	4.4	13.3
	３年生	178	53.9	56.2	16.9	1.7	9.0	5.1	7.9
性別	男	293	54.6	44.7	12.3	2.4	5.8	4.1	9.2
	女	291	61.5	51.9	25.1	1.0	8.2	4.1	9.3
	その他・答えたくない	10	70.0	70.0	20.0	0.0	20.0	10.0	20.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	45.8	37.3	8.8	0.8	4.6	2.3	4.6
	どちらかといえばそう思う	212	63.7	52.4	19.8	1.4	6.6	4.7	9.0
	どちらかといえばそう思わない	81	75.3	66.7	33.3	2.5	8.6	6.2	12.3
	そう思わない	38	78.9	68.4	50.0	7.9	26.3	10.5	39.5

		回答者数（人）	病気や健康のこと	体や性のこと	性格のこと	外見のこと	その他	悩んでいることはない	無回答
全体		596	5.5	4.9	13.1	17.4	2.2	25.0	1.2
学年	１年生	213	4.2	2.8	11.7	13.6	0.9	28.6	1.4
	２年生	203	5.9	6.4	16.7	19.2	2.0	22.2	1.0
	３年生	178	6.7	5.6	10.7	19.7	3.4	23.6	1.1
性別	男	293	5.1	3.8	9.2	9.9	2.0	29.0	1.7
	女	291	6.2	5.2	15.5	24.1	2.1	21.3	0.7
	その他・答えたくない	10	0.0	30.0	60.0	50.0	10.0	0.0	0.0
自己肯定感（今の自分が好きだ）	そう思う	260	3.1	1.9	5.8	8.8	1.9	38.1	0.8
	どちらかといえばそう思う	212	6.6	3.8	9.0	17.5	2.4	19.8	0.9
	どちらかといえばそう思わない	81	7.4	7.4	27.2	33.3	1.2	7.4	0.0
	そう思わない	38	13.2	26.3	57.9	44.7	5.3	2.6	0.0

【関連する自由回答（一部抜粋）】

悩みごとの相談	・ 他人に知られたくないような悩みごとを“匿名”で相談できるサービスをつくって、分かりやすいように宣伝して欲しいです。【２年生・女性】 ・ 悩みの相談をもっと簡単にできるようにしてほしい。【２年生・女性】

（７）将来のイメージ

①将来の進路（問 22）

・ 学年別にみると、いずれも「大学、短期大学、またはそれ以上の学校まで進学したい」が約８割と最も多く、次いで“１年生”“２年生”は「わからない」（それぞれ 12.2%、11.8%）、“３年生”は「高校、高等専門学校、専門学校まで進学したい」（7.9%）となっている。

・ 性別別にみると、いずれも「大学、短期大学、またはそれ以上の学校まで進学したい」が５割以上と最も多く、次いで「わからない」、「高校、高等専門学校、専門学校まで進学したい」となっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	大学、短期大学、またはそれ以上の学校まで進学したい	高校、高等専門学校、専門学校まで進学したい	中学校を卒業したら働きたい	その他	わからない	無回答
全体		596	79.7	6.9	0.0	1.5	10.4	1.5
学年	１年生	213	77.5	5.2	0.0	2.3	12.2	2.8
	２年生	203	78.8	7.9	0.0	1.0	11.8	0.5
	３年生	178	83.1	7.9	0.0	1.1	6.7	1.1
性別	男	293	78.5	6.5	0.0	1.7	11.6	1.7
	女	291	81.8	7.2	0.0	1.4	8.2	1.4
	その他・答えたくない	10	50.0	10.0	0.0	0.0	40.0	0.0

②進学や就職（問 24）

・ 学年別にみると、“１年生”“３年生”は「なんとなく楽しみだ」（それぞれ 33.3%、34.3%）、“２年生”は「なんとなく不安だ」（35.5%）が最も多くなっている。

・ 性別別にみると、“男”は「なんとなく楽しみだ」（34.8%）、“女”は「なんとなく不安だ」（32.3%）が最も多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数（人）	とても楽しみだ	なんとなく楽しみだ	なんとなく不安だ	とても不安だ	その他	無回答
全体		596	23.5	32.2	29.7	9.2	3.4	2.0
学年	１年生	213	23.5	33.3	28.2	8.9	2.3	3.8
	２年生	203	18.2	29.1	35.5	12.3	3.4	1.5
	３年生	178	29.8	34.3	25.3	6.2	3.9	0.6
性別	男	293	23.2	34.8	27.6	9.2	3.4	1.7
	女	291	24.7	29.2	32.3	8.9	2.4	2.4
	その他・答えたくない	10	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0

③結婚（問 25）

・　学年別、性別別にみると、いずれも「結婚したい」と「どちらかというと結婚したい」を合わせた『結婚したい』が、「結婚したくない」と「どちらかというと結婚したくない」を合わせた『結婚したくない』を上回っている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数（人）	結婚したい	どちらかというと結婚したい	どちらでもいい	どちらかというと結婚したくない	結婚したくない	わからない	無回答	『結婚したい』（結婚したい＋どちらかというと結婚したい）	『結婚したくない』（結婚したくない＋どちらかというと結婚したくない）
全体		596	34.9	22.7	18.3	4.7	5.7	12.4	1.3	57.6	10.4
学年	１年生	213	33.3	17.8	20.7	5.2	6.1	14.1	2.8	51.1	11.3
	２年生	203	36.9	24.6	16.7	3.0	5.4	12.8	0.5	61.5	8.4
	３年生	178	34.8	26.4	16.9	5.6	5.6	10.1	0.6	61.2	11.2
性別	男	293	35.8	24.2	17.1	4.1	4.1	13.3	1.4	60.0	8.2
	女	291	35.1	21.3	18.6	5.5	6.9	11.3	1.4	56.4	12.4
	その他・答えたくない	10	10.0	20.0	30.0	0.0	20.0	20.0	0.0	30.0	20.0

【理由（自由回答　一部抜粋）】

『結婚したい』	・　結婚した方が幸せそうで楽しそうだから。【２年生・男性】 ・　安定した暮らしがしたいから。【２年生・女性】 ・　互いに支えあう環境が必要であると思ったから。【１年生・女性】 ・　独身は寂しいだろうしやっぱり誰かと生活してるだけで心のあり方とか気持ちのあり方もかわると思うから。【３年生・男性】 ・　精神的な安定にもなり、経済的にも良くなっていくから。また、子供をつくり自分の子孫をのこしていけるから。【２年生・男性】 ・　好きな人がいるから。【３年生・女性】 ・　両親が幸せそうだから。【１年生・男性】 ・　それがふつうだと思う。そうなるのだろうとなんとなく思う。【２年生・男性】
『結婚したくない』	・　結婚する必要性を感じないから。【２年生・女性】 ・　自分の時間がほしいから。【３年生・男性】 ・　一人でいる方が気楽だから。【３年生・男性】 ・　家族以外の人と共同生活はできない。メリットをあまり感じない。【２年生・女性】 ・　お金がかかるから。【１年生・男性】 ・　結婚して前より幸せな人を見たことがない。めんどくさそう。まわりで離婚している人が多い。【１年生・女性】 ・　子供を産みたくないから。【１年生・女性】 ・　特に恋愛に今現在興味がないから。【２年生・女性】

④子どもを持つこと（問 26）

- 学年別にみると、いずれも「子どもがほしい」と「どちらかというと子どもがほしい」を合わせた『子どもがほしい』が、「子どもはほしくない」と「どちらかというと子どもはほしくない」を合わせた『子どもはほしくない』を上回っている。
- 性別別にみると、“男”“女”ともに『子どもがほしい』が『子どもはほしくない』を上回っている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数（人）	子どもがほしい	どちらかというと子どもがほしい	どちらでもいい	どちらかというと子どもはほしくない	子どもはほしくない	わからない	無回答	『子どもがほしい』（子どもがほしい＋どちらかというと子どもがほしい）	『子どもはほしくない』（子どもはほしくない＋どちらかというと子どもはほしくない）
全体		596	33.6	21.0	17.6	3.0	9.1	14.3	1.5	54.6	12.1
学年	１年生	213	33.8	18.3	17.4	3.3	9.4	15.0	2.8	52.1	12.7
	２年生	203	37.9	20.7	15.8	2.0	8.4	14.3	1.0	58.6	10.4
	３年生	178	28.7	24.7	20.2	3.9	9.0	12.9	0.6	53.4	12.9
性別	男	293	34.8	21.5	18.1	3.1	6.5	14.7	1.4	56.3	9.6
	女	291	33.3	20.6	16.5	2.7	11.3	13.7	1.7	53.9	14.0
	その他・答えたくない	10	10.0	10.0	40.0	10.0	10.0	20.0	0.0	20.0	20.0

【理由（自由回答　一部抜粋）】

『子どもがほしい』	・ 子供が好きだから。賑やかな家族に憧れがあるから。【１年生・女性】 ・ 私は親に愛されていると思うから、私も子供のこと愛したい。【１年生・女性】 ・ 辛いこともあると思うけど、それ以上に幸せをくれそうだから。【２年生・女性】 ・ 子どもがいると日々の生活が楽しくなるし新たな知識がえられると思うから。【３年生・女性】 ・ 子どもを育てることもかけがえのない経験になると思うから。【３年生・男性】 ・ いろいろ学んだ事を後の世代にも伝えていきたいと思っているから。【１年生・男性】 ・ 今まで育ててきてくれた親達に、一般的にかわいいとされる孫を見せてあげることで、感謝の気持ちの一欠片でも伝わればいいと思うから。【２年生・男性】 ・ 少子高齢化を救うため。【３年生・女性】
『子どもはほしくない』	・ 子どもが好きではない。【３年生・女性】 ・ 自分だけの時間がほしいから。【３年生・男性】 ・ 自分で精一杯だから他の人の面倒はみれない。【２年生・女性】 ・ 将来、子どもに色々お金を使ったりしなければならないし、ストレスが溜まると思うので人生が楽しめないと思うから。【１年生・男性】 ・ うまく子供を育てられる自信がない。仕事に力を入れたい。【３年生・女性】 ・ 子供を責任を持って育てられないと思うから。【２年生・男性】 ・ 産むのは大変そうだから。【１年生・女性】 ・ 今の社会から改善されなければ子育てはとても難しく、子供は自分が生きる上での足手まといにしかならないと思うから。【１年生・女性】

４．高校生世代から 39 歳まで

調査結果の分析においては、下表に示す観点により記載している。

問番号	項目	主な観点	
		年齢	性別
（１）基本属性			
問５	住まい	●	
問６	居住年数	●	
問38	婚姻状況	●	
問42	子どもの有無	●	
（２）就労状況			
問18	現在の職業	●	●
問21	世帯年収	●	
（３）家族、友人、職場、地域との関わり			
問27	家族・親族との関わり	●	
問28	学校で出会った友人との関わり	●	
問29	職場の人との関わり	●	
問30	地域の人との関わり	●	
（４）悩みごとや相談先			
問34	現在の不安や悩みごと	●	
問35	悩みごとの相談先	●	
（５）結婚			
問39	結婚していない理由	●	●
問41	結婚の意向	●	●
（６）子どもを持つこと			
問43	現在の子どもの数	●	
問45	現在子どもがいない理由	●	●
問47	子どもを持つことの意向	●	●
問48	理想的な子どもの数	●	
問49	実際に持つつもりの子どもの数	●	
（７）子ども・若者支援施策			
問51	港区に望む子ども・若者施策	●	

（1）基本属性

- 回答者の年齢割合は、“高校生世代（15-17 歳)”が 4.6%、“大学生世代（18-21 歳)”が 7.3%、“青・壮年期（22-29 歳)”が 26.3%、“青・壮年期（30-39 歳)”が 61.8%となっている。
- 住まいについては、“高校生世代”“大学生世代”は「自分以外の持家(マンション)」（それぞれ 39.1%、33.3%)、“青・壮年期（22-29 歳)”“青・壮年期（30-39 歳)”は「民間の賃貸マンション・アパート」（それぞれ 52.3%、56.5%）が最も多くなっている。
- 居住年数については、“高校生世代”“大学生世代”は「10 年以上」（それぞれ 82.6%、72.2%）が７割以上なのに対し、“青・壮年期（22-29 歳)” 青・壮年期（30-39 歳）“は「10 年未満」（それぞれ 75.4%、76.1%）が７割以上となり、「10 年以上」（それぞれ 24.6%、23.9%）は約２割にとどまる。
- 結婚している人（結婚したことがある人を含む）の割合は、“大学生世代”が 2.8%、“青・壮年期（22-29 歳)”が 24.6%、“青・壮年期（30-39 歳)”が 75.2%となっている。
- 子どもがいる人の割合は、“大学生世代”が 2.8%、“青・壮年期（22-29 歳)”が 7.7%、“青・壮年期（30-39 歳)”が 50.3%となっている。

【世代別の基本属性まとめ】

	高校生世代 (N=23)【4.6%】	大学生世代 (N=36)【7.3%】	青・壮年期 22-29 歳 (N=130)【26.3%】	青・壮年期 30-39 歳 (N=306)【61.8%】
ライフステージ想定	⇒⇒⇒学生で両親と同居⇒⇒⇒		⇒⇒就職⇒⇒結婚⇒⇒子育て⇒⇒	
住まい【問５】	1 自分以外の持家（マンション）39.1%	1 自分以外の持家（マンション）33.3%	1 民間の賃貸マンション・アパート 52.3%	1 民間の賃貸マンション・アパート 56.5%
	2 自分以外の持家（一戸建て）17.4%	2 民間の賃貸マンション・アパート 22.2%	2 自分以外の持家（マンション）18.5%	2 持家（マンション）17.6%
	3 民間の賃貸マンション・アパート 13.0%	3 自分以外の持家（一戸建て）、持家（マンション）いずれも 13.9%	3 社宅・公務員宿舎 11.5%	3 自分以外の持家（マンション）10.1%
居住年数【問６】	10 年未満 17.4% 10 年以上 82.6%	10 年未満 27.8% 10 年以上 72.2%	10 年未満 75.4% 10 年以上 24.6%	10 年未満 76.1% 10 年以上 23.9%
結婚している人（結婚したことがある人を含む）の割合【問 38】	-	2.8%	24.6%	75.2%
子どもがいる人の割合【問 42】	-	2.8%	7.7%	50.3%

結婚している人（結婚したことがある人を含む）の平均年齢 34.2 歳

子どもがいる人の平均年齢 35.0 歳

【クロス表】

（単位：%）

		全体	15 歳～17 歳	18 歳～21 歳	22 歳～29 歳	30 歳～39 歳
回答者数（人）		495	23	36	130	306
住まい【問５】	自分の持家（一戸建て）	1.8	8.7	0.0	1.5	1.6
	自分以外（親・その他）の持ち家（一戸建て）	6.1	17.4	13.9	6.9	3.9
	自分の持家（マンション）	13.5	4.3	13.9	5.4	17.6
	自分以外（親・その他）の持ち家（マンション）	15.4	39.1	33.3	18.5	10.1
	借家（一戸建て）	2.2	8.7	0.0	1.5	2.3
	民間の賃貸マンション・アパート	50.9	13.0	22.2	52.3	56.5
	都営・区営・区立住宅	1.8	4.3	2.8	1.5	1.6
	ＵＲ（旧公団）・公社の賃貸住宅	0.6	4.3	2.8	0.0	0.3
	社宅・公務員宿舎	7.1	0.0	8.3	11.5	5.6
	学生寮	0.4	0.0	2.8	0.8	0.0
	その他	0.2	0.0	0.0	0.0	0.3
居住年数【問６】	１年未満	14.3	8.7	8.3	25.4	10.8
	１～３年未満	22.2	8.7	11.1	33.8	19.6
	３～５年未満	14.9	0.0	0.0	8.5	20.6
	５～10 年未満	18.2	0.0	8.3	7.7	25.2
	10～20 年未満	17.8	65.2	33.3	10.8	15.4
	20 年以上	4.8	0.0	2.8	4.6	5.6
	生まれてからずっと港区に住んでいる	7.7	17.4	36.1	9.2	2.9
婚姻状況【問 38】	結婚している（事実婚を含む）	50.7	0.0	2.8	23.8	71.6
	結婚したことはない	46.9	100.0	97.2	75.4	24.8
	結婚したことはあるが、今はしていない	2.4	0.0	0.0	0.8	3.6
子どもの有無【問 42】	いる	33.3	0.0	2.8	7.7	50.3
	いない	66.7	100.0	97.2	92.3	49.7

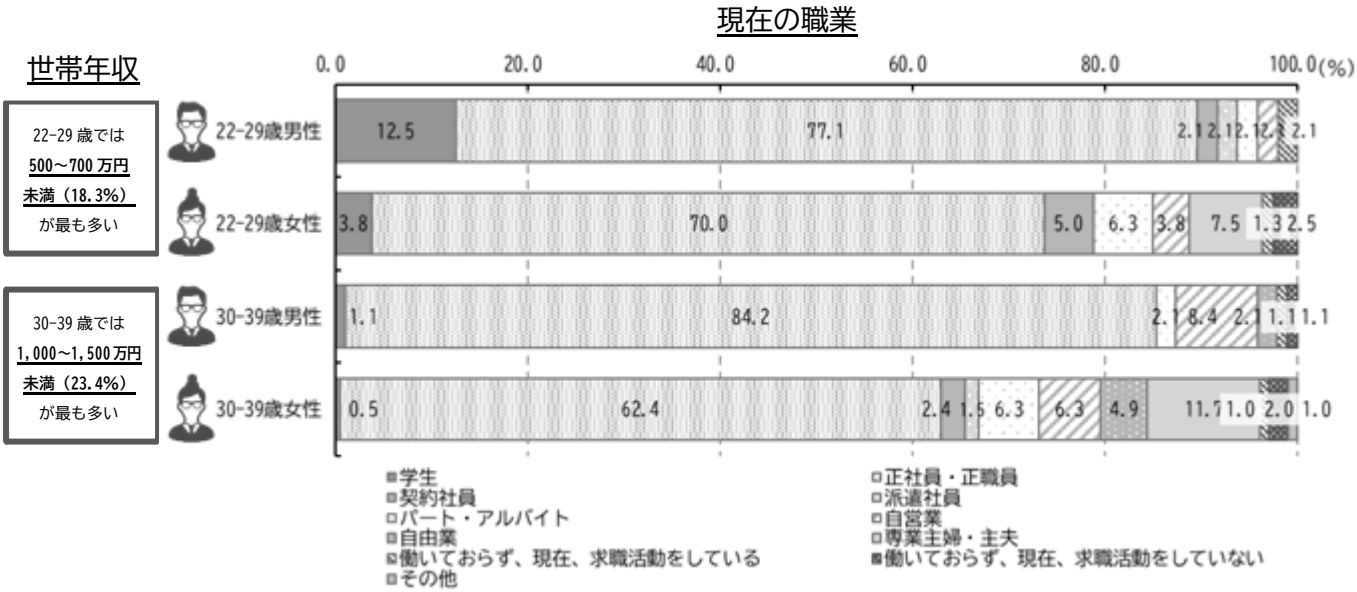
【関連する自由回答（一部抜粋）】

住まいの悩み	・ 現在の居住地が気に入っているが、物価（家賃含む）が上がっても収入はあまり増えていないため、このまま子供が大きくなるまで住み続けることができるか考えている。【38 歳・女性】 ・ 子どもの成長に合わせた部屋を探しているが 2LDK 且つ 50 平米以上の部屋に住むとなると家賃 28 万円以上が相場になります。そうなると、教育(英語/リトミック/多様性理解に対応する認証保育所)に掛けられるお金(月 16 万)が捻出できないので仕方なく 1LDK に住んでいます(24 万円)。【38 歳・女性】

（2）就労状況

- 現在の職業については、“青・壮年期（22-29 歳）”は、男性の 77.1%、女性の 70.0%が「正社員・正職員」と回答しており、最も多くなっている。“青・壮年期（30-39 歳）”も同様に、男性の 84.2%、女性の 62.4%が「正社員・正職員」と回答しており、最も多くなっている。
- 世帯年収については、“青・壮年期（22-29 歳）”は「500～700 万円未満（18.3%）」、“青・壮年期（30-39 歳）”は「1,000～1,500 万円未満（23.4%）」が最も多くなっている。

【世代別の就労状況まとめ】



【クロス表】

①現在の職業

（単位：%）

		全体	15 歳～17 歳	18 歳～21 歳	22 歳～29 歳		30 歳～39 歳	
					男性	女性	男性	女性
回答者数（性別無回答を除く）（人）		487	23	36	48	80	95	205
現在の職業【問18】	学生（予備校生などを含む）	13.8	100.0	91.7	12.5	3.8	1.1	0.5
	正社員・正職員	62.0	0.0	2.8	77.1	70.0	84.2	62.4
	契約社員	2.1	0.0	0.0	2.1	5.0	0.0	2.4
	派遣社員	0.8	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	1.5
	パート・アルバイト（学生のアルバイトは除く）	4.5	0.0	2.8	2.1	6.3	2.1	6.3
	自営業	5.1	0.0	0.0	2.1	3.8	8.4	6.3
	自由業（個人で専門知識や技術を生かした職業）	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	4.9
	専業主婦・主夫	6.2	0.0	0.0	0.0	7.5	0.0	11.7
	働いておらず、現在、求職活動をしている	1.0	0.0	0.0	2.1	1.3	1.1	1.0
	働いておらず、現在、求職活動をしていない	1.6	0.0	2.8	0.0	2.5	1.1	2.0
	その他	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0

②世帯年収（学生以外）

（単位：%）

		全体	15 歳～17 歳	18 歳～21 歳	22 歳～29 歳	30 歳～39 歳
回答者数（学生以外）（人）		427	0	3	120	304
世帯年収【問 21】	収入なし	1.6	0.0	0.0	2.5	1.3
	200 万円未満	1.9	0.0	33.3	3.3	1.0
	200～300 万円未満	3.0	0.0	0.0	7.5	1.3
	300～400 万円未満	7.3	0.0	0.0	9.2	6.6
	400～500 万円未満	6.8	0.0	0.0	10.0	5.6
	500～700 万円未満	12.9	0.0	0.0	18.3	10.9
	700～1,000 万円未満	14.3	0.0	0.0	9.2	16.4
	1,000～1,500 万円未満	19.7	0.0	33.3	10.0	23.4
	1,500～2,000 万円未満	10.3	0.0	0.0	8.3	11.2
	2,000～3,000 万円未満	11.5	0.0	0.0	10.0	12.2
	3,000～5,000 万円未満	3.3	0.0	0.0	0.8	4.3
	5,000～１億円未満	1.4	0.0	33.3	1.7	1.0
	１億円以上	0.9	0.0	0.0	0.8	1.0
	わからない	5.2	0.0	0.0	8.3	3.9

【関連する自由回答（一部抜粋）】

仕事の悩み	・ 希望している職種に転職できるか。【32 歳・女性】 ・ 一部賃上げのある業界もあるようだが、現在の職場は世間の景気に影響されないため、転職かダブルワークを検討している。しかし現状転職に有利になるようなスキルもないため不安を感じている。【31 歳・性別：その他・答えたくない】
仕事と子育ての両立	・ 子育てと仕事の両立が悩み。仕事に専念したいときもあるが、子どもとの時間もほしい。【34 歳・女性】 ・ 今後子どもを持った際に、仕事で満足のいく働きを続けることができるかどうか。仕事と子育て、どちらも犠牲にしたくないと思ってしまうが、現実的には仕事へのコミットを減らすことになるのかなと想像すると、今の生活を変えることを躊躇してしまう部分がある。【28 歳・女性】 ・ 夫婦共働き家庭にて、現在、私が専業主夫として育休中。夫婦ともにフルタイム勤務で、残業が常態化している職場なので、職場復帰後の生活（特に育児）が不安。【35 歳・男性】 ・ これから出産を控えているが、再度就職しても保育料が高かったり、仕事と家事育児の両立による身体的な負担や金銭的な負担が増えるのが心配。【30 歳・女性】

（3）家族、友人、職場、地域との関わり

- “会話やメール等をよくしている”において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、年齢が高くなるにつれて「家族・親族」「学校で出会った友人」「地域の人」は少なく、「職場の人」は多くなっている。
- “困ったときは助けてくれる”において、『そう思う』は、年齢が高くなるにつれて「学校で出会った友人」が少なくなっている。
- どの世代においても、「地域の人」は、“会話やメール等をよくしている”“困ったときは助けてくれる”において、「家族・親族」「学校で出会った友人」「職場の人」と比べて『そう思う』が少なくなっている。

【世代別の家族等との関わりまとめ】

		高校生世代（N=23）	大学生世代（N=36）	青・壮年期 22-29 歳（N=130）	青・壮年期 30-39 歳（N=306）
ライフステージ想定		⇒⇒⇒学生で両親と同居⇒⇒⇒		⇒⇒就職⇒⇒結婚⇒⇒子育て⇒⇒	
会話やメール等をよくしている	家族・親族【問 27(1)】	そう思う 95.7% そう思わない 4.3%	そう思う 97.2% そう思わない 2.8%	そう思う 88.5% そう思わない 11.5%	そう思う 89.9% そう思わない 0.1%
	学校で出会った友人【問 28(1)】	そう思う 100.0% そう思わない 0.0%	そう思う 75.0% そう思わない 25.0%	そう思う 76.2% そう思わない 23.8%	そう思う 5.9% そう思わない 4.1%
	職場の人【問 29(1)】	そう思う 66.7% そう思わない 33.3%	そう思う 48.1% そう思わない 51.9%	そう思う 70.9% そう思わない 29.1%	そう思う 0.1% そう思わない 9.9%
	地域の人【問 30(1)】	そう思う 41.2% そう思わない 58.8%	そう思う 21.2% そう思わない 78.8%	そう思う 7.3% そう思わない 92.7%	そう思う 8.9% そう思わない 1.1%
困ったときは助けてくれる	家族・親族【問 27(3)】	そう思う 100.0% そう思わない 0.0%	そう思う 94.4% そう思わない 5.6%	そう思う 93.8% そう思わない 6.2%	そう思う 4.4% そう思わない .6%
	学校で出会った友人【問 28(3)】	そう思う 100.0% そう思わない 0.0%	そう思う 91.7% そう思わない 8.3%	そう思う 89.2% そう思わない 10.8%	そう思う 4.8% そう思わない 5.2%
	職場の人【問 29(3)】	そう思う 100.0% そう思わない 0.0%	そう思う 70.4% そう思わない 29.6%	そう思う 85.6% そう思わない 14.4%	そう思う 1.3% そう思わない 8.7%
	地域の人【問 30(3)】	そう思う 47.1% そう思わない 52.9%	そう思う 36.4% そう思わない 63.6%	そう思う 21.1% そう思わない 78.9%	そう思う 5.8% そう思わない 4.2%

※　表中の「そう思う」の割合は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の回答割合の合計

※　表中の「そう思わない」の割合は、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の回答割合の合計

【クロス表】

（単位：%）

			全体	15 歳～17 歳	18 歳～21 歳	22 歳～29 歳	30 歳～39 歳
回答者数（無回答を除く）（人）			495	23	36	130	306
会話やメール等をよくしている	家族・親族【問 27(1)】	そう思う	65.1	78.3	55.6	60.8	67.0
		どちらかといえばそう思う	25.3	17.4	41.7	27.7	22.9
		どちらかといえばそう思わない	7.3	0.0	2.8	8.5	7.8
		そう思わない	2.4	4.3	0.0	3.1	2.3
	学校で出会った友人【問 28(1)】	そう思う	34.3	78.3	52.8	41.5	25.8
		どちらかといえばそう思う	30.3	21.7	22.2	34.6	30.1
		どちらかといえばそう思わない	22.6	0.0	19.4	18.5	26.5
		そう思わない	12.7	0.0	5.6	5.4	17.6
	職場の人【問 29(1)】	そう思う	36.2	0.0	18.5	35.4	38.7
		どちらかといえばそう思う	39.2	66.7	29.6	35.4	41.5
		どちらかといえばそう思わない	12.8	33.3	25.9	13.4	11.0
		そう思わない	11.8	0.0	25.9	15.7	8.9
	地域の人【問 30(1)】	そう思う	8.4	17.6	3.0	2.4	11.0
		どちらかといえばそう思う	14.7	23.5	18.2	4.8	17.9
		どちらかといえばそう思わない	17.7	29.4	12.1	16.9	17.9
		そう思わない	59.2	29.4	66.7	75.8	53.2
困ったときは助けてくれる	家族・親族【問 27(3)】	そう思う	80.0	82.6	80.6	83.1	78.4
		どちらかといえばそう思う	14.5	17.4	13.9	10.8	16.0
		どちらかといえばそう思わない	3.6	0.0	5.6	3.8	3.6
		そう思わない	1.8	0.0	0.0	2.3	2.0
	学校で出会った友人【問 28(3)】	そう思う	46.5	73.9	61.1	52.3	40.2
		どちらかといえばそう思う	34.5	26.1	30.6	36.9	34.6
		どちらかといえばそう思わない	8.9	0.0	5.6	5.4	11.4
		そう思わない	10.1	0.0	2.8	5.4	13.7
	職場の人【問 29(3)】	そう思う	38.3	0.0	25.9	45.6	36.6
		どちらかといえばそう思う	43.7	100.0	44.4	40.0	44.7
		どちらかといえばそう思わない	10.9	0.0	14.8	7.2	12.3
		そう思わない	7.1	0.0	14.8	7.2	6.3
	地域の人【問 30(3)】	そう思う	11.2	23.5	9.1	7.3	12.3
		どちらかといえばそう思う	21.2	23.5	27.3	13.8	23.5
		どちらかといえばそう思わない	19.5	23.5	24.2	14.6	20.8
		そう思わない	48.1	29.4	39.4	64.2	43.3

【関連する自由回答（一部抜粋）】

人間関係の悩み	家族	・ 仕事や家事の負担が集中して常に疲労困憊。パートナーが理解してくれないことが多く会話が精神的に負担。【37 歳・女性】
	学校	・ 部活の先輩との接し方、部活友達との関わり方。【15 歳・女性】
	職場	・ 以前の職場での人間関係による精神的な不調が続いており、再就職へ動きだすことができずにいるが、貯金を切り崩している為金銭的な期限も迫り、焦りばかりを募らせていることへの不安と自己嫌悪との板挟み状態であること。【28 歳・女性】
	地域	・ 引越して友達がいない。【38 歳・女性】

（4）悩みごとや相談先

・ 現在の不安や悩みごとについては、“高校生世代”“大学生世代”“青・壮年期（22-29 歳）”は「自分の将来」（それぞれ 56.5%、58.3%、60.8%）、“青・壮年期（30-39 歳）”は「お金のこと」（56.9%）が最も多くなっている。

・ 悩みごとの相談先については、“高校生世代”は「父母」（65.2%）、“大学生世代”“青・壮年期（22-29 歳）”は「友人・知人」（それぞれ 61.1%、67.7%）、“青・壮年期（30-39 歳）”は「配偶者（パートナー）」（63.4%）が最も多くなっている。

【世代別の悩みごとや相談先まとめ】

	高校生世代（N=23）	大学生世代（N=36）	青・壮年期 22-29 歳（N=130）	青・壮年期 30-39 歳（N=306）
現在の不安や悩みごと【問 34】	1 自分の将来 56.5%	1 自分の将来 58.3%	1 自分の将来 60.8%	1 お金のこと 56.9%
	1 受験・進路 56.5%	2 仕事・就職 36.1%	2 お金のこと 54.6%	2 自分の将来 50.7%
	3 親、親戚との関係、友人関係 いずれも 17.4%	3 お金のこと 30.6%	3 仕事・就職 27.7%	3 仕事・就職、子育て いずれも 33.7%
悩みごとの相談先【問 35】	父母 65.2%	知人・友人 61.1%	知人・友人 67.7%	配偶者（パートナー） 63.4%

【クロス表】

（単位：%）

		全体	15 歳～17 歳	18 歳～21 歳	22 歳～29 歳	30 歳～39 歳
回答者数（人）		495	23	36	130	306
現在の不安や悩みごと（複数回答）【問 34】	家事	10.3	0.0	2.8	5.4	14.1
	お金のこと（衣食住を含む）	52.3	13.0	30.6	54.6	56.9
	自分の身体のこと	25.3	8.7	19.4	17.7	30.4
	自分の将来	54.1	56.5	58.3	60.8	50.7
	受験・進路	6.7	56.5	25.0	3.8	2.0
	仕事・就職	31.1	8.7	36.1	27.7	33.7
	地域活動（町内会・自治会等）	1.0	0.0	2.8	0.0	1.3
	配偶者（パートナー）との関係	10.3	0.0	2.8	11.5	11.4
	親、親戚との関係	9.5	17.4	2.8	8.5	10.1
	介護	6.9	0.0	0.0	4.6	9.2
	子育て	24.4	0.0	2.8	13.1	33.7
	友人関係	5.7	17.4	13.9	6.9	3.3
	恋愛関係	10.7	13.0	19.4	17.7	6.5
	職場の人間関係	6.3	0.0	5.6	6.9	6.5
	インターネット上の人間関係	0.4	0.0	2.8	0.8	0.0
	悩んでいることはない	11.9	17.4	16.7	13.1	10.5
	その他	2.0	4.3	2.8	1.5	2.0

（単位：%）

		全体	15 歳～17 歳	18 歳～21 歳	22 歳～29 歳	30 歳～39 歳
回答者数（人）		495	23	36	130	306
悩みごとの相談先（複数回答）【問35】	配偶者（パートナー）	46.5	0.0	8.3	25.4	63.4
	父母	46.9	65.2	58.3	52.3	41.8
	その他親族	12.7	4.3	11.1	13.1	13.4
	知人・友人	55.8	56.5	61.1	67.7	50.0
	恋人	8.3	0.0	5.6	17.7	5.2
	学校の先生	0.8	8.7	0.0	0.8	0.3
	職場の上司・同僚	13.3	0.0	2.8	16.2	14.4
	カウンセラー・かかりつけの医師	4.0	4.3	2.8	3.1	4.6
	区役所や公共施設の窓口・職員	1.8	4.3	0.0	0.0	2.6
	民間の相談機関	1.0	0.0	0.0	0.8	1.3
	インターネットの掲示板や相談サイト	0.6	0.0	0.0	0.0	1.0
	インターネット上の知人・友人	2.0	8.7	2.8	1.5	1.6
	相談しない	10.9	17.4	13.9	7.7	11.4
	その他	0.8	4.3	0.0	0.8	0.7

【関連する自由回答（一部抜粋）】

将来の不安	・ 将来の自分が全く想像できなくて不安しかない。【15 歳・男性】 ・ 自分の世代は年金が満足にもらえないのではないかという不安。【34 歳・女性】 ・ 死ぬ時に一人だった場合、誰がその後の段取り（葬式の手配など）をしてくれるだろうか。【37 歳・女性】 ・ 両親に生活を依存している中で、自分が真っ当な社会人としてやっていけるのか自信がなく、ぼんやりとした不安を感じている。【22 歳・男性】
経済的な不安	・ 子どもの成長を優先して妻のキャリアは諦め限られた収入では、妻の勤務時間を減らすと世帯収入も減り将来の教育費や老後資金の貯蓄に届かなくなります。【38 歳・女性】 ・ 低収入ではないが、こども 2 人の育児を考えると金銭面の不安あり。食料品や消耗品など軒並み値上がりしている。今後、低収入でないために、様々な支援で所得制限にひっかかり、むしろ余裕がなくなっていくのではと不安。【38 歳・女性】 ・ 将来的に子どもが出来た時に、この地域で仕事をして住む（徒歩圏内で）ためにお金がかかりすぎるだろう。【36 歳・男性】 ・ 比較的金銭的余裕のある 20 代でも、マンション価格をはじめとする物価の高騰により、港区で子育てが出来るのかの不安が少しあります。【28 歳・男性】 ・ 出産、育児、配偶者の転勤に帯同する等で現職を離れることになる際、世帯収入および自身が自由に使えるお金が減ることに不安を感じている。【26 歳・女性】
子育ての不安	・ 都心での子育ては感覚が分からず、色々選択肢は多いが何をしてあげるのがいいのか悩ましい。【39 歳・男性】 ・ 子どもに心身とも健全にそだてられるか？共働きで本気で打ち込める習い事などさせてあげられるか？夫婦間での家事育児負担の不平等はどうすれば解決するのか？などに不安を感じています。【37 歳・女性】 ・ 中学受験が過熱しすぎていて、子どもへの影響が心配。公立中学のレベルが低いとよく聞くので心配。【32 歳・男性】 ・ 子供に生まれつき障害があるので、進学など将来のことが不安である。【37 歳・女性】

（5）結婚

- 現在結婚していない割合は、“高校生世代”が 100.0%、“大学生世代”が 97.2%、“青・壮年期（22-29 歳)”が 76.2%、“青・壮年期（30-39 歳)”が 28.4%であり、“青・壮年期（30-39 歳)”で大きく割合が減少している。結婚している人の平均年齢は 34.2 歳となっている。
- 結婚していない理由は、“高校生世代”“大学生世代”は「結婚するにはまだ若いから」（それぞれ 78.3%、77.1%)、“青・壮年期（22-29 歳)”“青・壮年期（30-39 歳)”は「適当な相手にめぐりあわないから」が最も多くなっている。
- 今後の結婚意向については、“高校生世代”“大学生世代”では、それぞれ 69.6%、74.3%が結婚したいと回答している。“青・壮年期（22-29 歳)”では男女ともに７割以上が結婚したいと回答しているが、“青・壮年期（30-39 歳)”はその割合がやや少なくなっている。

【世代別の結婚に対する意識まとめ】

	高校生世代【未婚率 100.0%】	大学生世代【未婚率 97.2%】	青・壮年期 22-29 歳【未婚率 76.2%】	青・壮年期 30-39 歳【未婚率 28.4%】
結婚していない理由【問 39】	1 結婚するにはまだ若いから 78.3%	1 結婚するにはまだ若いから 77.1%	1 男適当な相手にめぐりあわないから 56.4% 女適当な相手にめぐりあわないから 55.2%	1 男適当な相手にめぐりあわないから 57.1% 女適当な相手にめぐりあわないから 57.1%
	2 学業や仕事に打ち込みたいから 13.0%	2 学業や仕事に打ち込みたいから 22.9%	2 男結婚するにはまだ若い 41.0% 女結婚する必要性を感じない 24.1%	2 男結婚資金が足りない、収入不安定 31.4% 女結婚する必要性を感じない 38.8%
	3 適当な相手にめぐりあわないから ほか５件 いずれも 4.3%	2 適当な相手にめぐりあわないから 22.9%	3 男結婚資金が足りない、収入不安定 35.9% 女家族を持つ責任がなく、気楽 22.4%	3 男結婚する必要性を感じない 28.6% 女独身で生活できる経済力がある 30.6%
今後の結婚意向【問 41】	結婚したい 69.6%	結婚したい 74.3%	男結婚したい 74.4% 女結婚したい 79.3%	男結婚したい 51.4% 女結婚したい 57.1%

結婚している人(結婚したことがある人を含む)の平均年齢 34.2 歳

【クロス表】

（単位：%）

		全体	15 歳～17 歳	18 歳～21 歳	22 歳～29 歳		30 歳～39 歳	
					男性	女性	男性	女性
回答者数（現在結婚している人以外・性別無回答を除く）（人）		239	23	35	39	58	35	49
結婚していない理由（複数回答）【問 39】	結婚するにはまだ若いから	30.1	78.3	77.1	41.0	13.8	5.7	2.0
	適当な相手にめぐりあわないから	46.4	4.3	22.9	56.4	55.2	57.1	57.1
	結婚資金が足りないから、収入が不安定だから	18.8	0.0	8.6	35.9	17.2	31.4	14.3
	学業や仕事に打ち込みたいから	16.7	13.0	22.9	20.5	13.8	22.9	10.2
	趣味や娯楽を楽しみたいから	17.2	0.0	14.3	33.3	13.8	20.0	16.3
	家族を持つ責任がなく、気楽だから	15.1	0.0	8.6	7.7	22.4	22.9	18.4
	結婚する必要性を感じないから	21.8	4.3	14.3	7.7	24.1	28.6	38.8
	独身で生活できるだけの経済力があるから	12.1	0.0	0.0	5.1	13.8	11.4	30.6
	他者とうまく付き合えないから	7.5	0.0	0.0	12.8	3.4	17.1	10.2
	同性のパートナーと結婚する国の制度がないから	2.1	4.3	0.0	2.6	1.7	5.7	0.0
	夫婦別姓に関する国の制度がないから	5.9	4.3	2.9	2.6	5.2	11.4	8.2
	交際相手・パートナーに結婚する気がないから	2.9	4.3	0.0	0.0	3.4	2.9	6.1
	離婚や死別の経験の傷がまだ癒えていないから	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0
	その他	5.4	4.3	2.9	2.6	10.3	5.7	4.1
今後の結婚意向【問41】	結婚したい	41.4	52.2	40.0	46.2	41.4	28.6	42.9
	どちらかというと結婚したい	26.8	17.4	34.3	28.2	37.9	22.9	14.3
	どちらでもいい	16.7	8.7	14.3	15.4	12.1	22.9	24.5
	どちらかというと結婚したくない	5.0	4.3	－	2.6	3.4	8.6	10.2
	結婚したくない	4.2	4.3	5.7	2.6	3.4	8.6	2.0
	わからない	5.9	13.0	5.7	5.1	1.7	8.6	6.1

【関連する自由回答（一部抜粋）】

結婚に対する考え	・ 結婚願望はあるもののそもそも出会いがない。【32 歳・女性】 ・ 結婚をした方が幸せかこのままでいいか。【37 歳・女性】 ・ 長年交際している相手がいるが、いまいち結婚に踏み切れずダラダラと付き合っており、お互い婚期を逃して年ばかりとっていくのではと、不安に思う。【32 歳・女性】

（6）子どもを持つこと

- 子どもがいる割合は、“大学生世代”が 2.8%、“青・壮年期（22-29 歳）”が 7.7%、“青・壮年期（30-39 歳）”が 50.3%であり、“青・壮年期（30-39 歳）”は大きく割合が増加している。子どもがいる人の平均年齢は 35.0 歳となっている。
- どの世代においても、６～７割程度が、今後、子どもを持ちたいと考えている。
- 子どもがいない理由は、どの世代においても「結婚していない、交際相手がいないから」が最も多くなっている。
- 理想より持つつもりの子どもの数が少ないと回答した割合は、“高校生世代”が 21.7%、“大学生世代”が 25.0%、“青・壮年期（22-29 歳）”が 40.8%、“青・壮年期（30-39 歳）”が 41.5%であり、“青・壮年期（22-29 歳）”“青・壮年期（30-39 歳）”は大きく割合が増加している。

【世代別の子どもに対する意識まとめ】

		高校生世代【子どもがいる割合 0.0%】	大学生世代【子どもがいる割合 2.8%】	青・壮年期 22-29 歳【子どもがいる割合 7.7%】	青・壮年期 30-39 歳【子どもがいる割合 50.3%】
子どもがいる人	現在の子どもの人数［平均］【問 43】	-	1.00 人	1.20 人	1.55 人
子どもがいない人	今後の子どもを持つことの意向【問 47】	子どもを持ちたい 60.9%	子どもを持ちたい 68.6%	男子どもを持ちたい 71.1% 女子どもを持ちたい 72.6%	男子どもを持ちたい 64.8% 女子どもを持ちたい 63.2%
	現在子どもがいない理由【問 45】 1	結婚していない、交際相手がいないから 82.6%	1 結婚していない、交際相手がいないから 94.3%	1 男結婚していない、交際相手がいない 77.8% 女結婚していない、交際相手がいない 67.1%	1 男結婚していない、交際相手がいない 57.4% 女結婚していない、交際相手がいない 38.9%
	2	子どもを持つにはまだ若いから 43.5%	2 子どもを持つにはまだ若いから 22.9%	2 男子どもを持つにはまだ若い 24.4% 女出産・子育て費用が足りない、将来的に子育てや教育にお金がかかる いずれも 26.0%	2 男将来的に子育てや教育にお金がかかる 27.8% 女妊娠や子育てに漠然とした不安がある、ほしいけれどもできない いずれも 18.9%
	3	妊娠や子育てに漠然とした不安があるから ほか３件 いずれも 4.3%	3 出産・子育て費用が足りない、収入が不安定だから ほか２件 いずれも 2.9%	3 男出産・子育て費用が足りない、将来的に子育てや教育にお金がかかる いずれも 11.1% 女妊娠や子育てに漠然とした不安がある 23.3%	3 男出産・子育て費用が足りない、家が狭い いずれも 22.2% 女将来的に子育てや教育にお金がかかる 16.8%
理想の子どもの数［平均］【問 48】		2.21 人	1.77 人	2.06 人	1.99 人
持つつもりの子どもの数［平均］【問 49】		1.78 人	1.47 人	1.47 人	1.50 人
理想より持つつもりの子どもの数が少ない人の割合		21.7%	25.0%	40.8%	41.5%

子どもがいる人の平均年齢 35.0 歳

【クロス表】

（単位：%）

		全体	15歳～17歳	18歳～21歳	22歳～29歳		30歳～39歳	
					男性	女性	男性	女性
回答者数（子どもがいる人以外・性別無回答を除く）（人）		325	23	35	45	73	54	95
今後の子どもを持つことの意向【問47】	子どもを持ちたい	45.2	34.8	37.1	55.6	47.9	42.6	45.3
	どちらかというと子どもを持ちたい	21.8	26.1	31.4	15.6	24.7	22.2	17.9
	どちらでもいい	14.5	13.0	8.6	24.4	9.6	16.7	14.7
	どちらかというと子どもを持ちたくない	4.9	4.3	5.7	2.2	5.5	3.7	6.3
	子どもを持ちたくない	8.9	8.7	11.4	2.2	11.0	9.3	9.5
	わからない	4.6	13.0	5.7	0.0	1.4	5.6	6.3
現在子どもがいない理由（複数回答）【問45】	結婚していないから、交際相手がいないから	62.8	82.6	94.3	77.8	67.1	57.4	38.9
	子どもを持つにはまだ若いから	12.9	43.5	22.9	24.4	12.3	3.7	2.1
	出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから	13.5	0.0	2.9	11.1	26.0	22.2	7.4
	将来的に子育てや教育にお金がかかるから	16.9	0.0	0.0	11.1	26.0	27.8	16.8
	家が狭いから	7.7	4.3	2.9	4.4	5.5	22.2	5.3
	幼稚園・保育園などの子どもの預け先がないから	3.7	0.0	2.9	0.0	6.8	5.6	3.2
	家庭内の人間関係が良好ではないから	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0
	自分や配偶者（パートナー）の仕事に支障が出るから	6.2	0.0	0.0	0.0	6.8	11.1	9.5
	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	10.5	0.0	0.0	0.0	17.8	16.7	12.6
	配偶者（パートナー)の家事・育児への協力が得られないから	0.9	0.0	0.0	0.0	4.1	0.0	0.0
	育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから	8.0	0.0	0.0	0.0	15.1	9.3	10.5
	将来的に家族の介護の負担が発生・増加する見込みがあるから	2.5	0.0	0.0	0.0	4.1	3.7	3.2
	妊娠することや子育てをすることに漠然とした不安があるから	12.3	4.3	0.0	2.2	23.3	5.6	18.9
	健康上の理由から	1.8	4.3	0.0	0.0	1.4	1.9	3.2
	ほしいけれどもできないから	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	18.9
	高齢で産むのはいやだから	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	1.1
	配偶者（パートナー)が望まないから	0.6	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.1
	その他	8.9	4.3	0.0	4.4	12.3	7.4	13.7

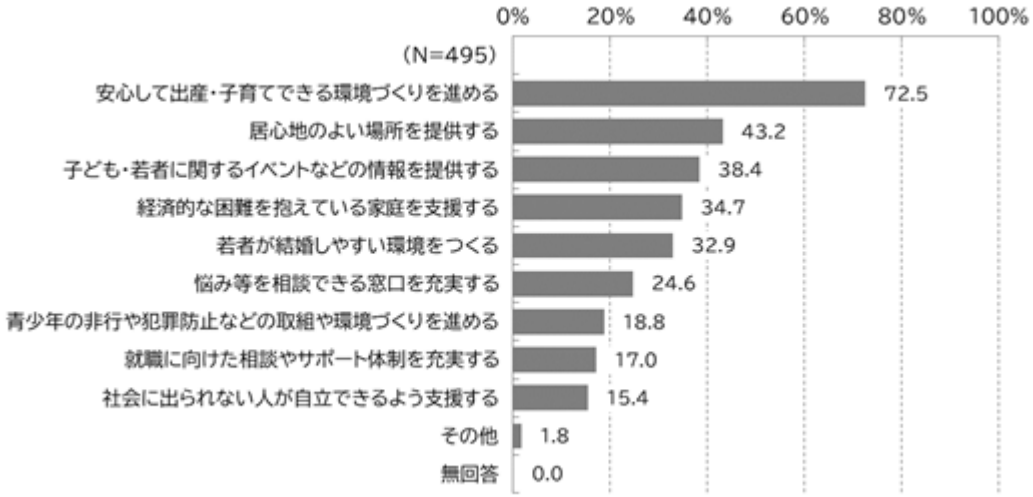
【関連する自由回答（一部抜粋)】

子どもを持つこと	・ 子供は欲しいが、養育費を捻出できるか不安に感じている。【26歳・女性】 ・ 子どもが欲しいと思うが、金銭面から難しさを感じている。【27歳・男性】 ・ 子育てをしたいと思っているが、圧倒的に母親個人への負担が多すぎて、そのリスクを負ってまでやりたいのか、思いとどまってしまう。親も1人の人間として、時間的にも精神的にも、社会的生活を送れるような仕組みが必要だと思います。【39歳・女性】 ・ 不妊治療中で、なかなか授からず今後の生活に不安があります。【37歳・女性】

（7）子ども・若者支援施策

- 港区に望む子ども・若者施策は、「安心して出産・子育てできる環境づくりを進める」（72.5%）が最も多く、次いで「居心地のよい場所を提供する」（43.2%）、「子ども・若者に関するイベントなどの情報を提供する」（38.4%）となっている。
- 世代別にみると、“高校生世代”“青・壮年期（22-29 歳）”“青・壮年期（30-39 歳）”は「安心して出産・子育てできる環境づくりを進める」（それぞれ 56.5%、68.5%、78.4%）、“大学生世代”は「居心地のよい場所を提供する」（52.8%）が最も多くなっている。

【港区に望む子ども・若者施策】



【世代別の望む子ども・若者施策まとめ】

	高校生世代（N=23）	大学生世代（N=36）	青・壮年期 22-29 歳（N=130）	青・壮年期 30-39 歳（N=306）
港区に望む子ども・若者施策【問 51】	1 安心して出産・子育てできる環境づくりを進める **56.5%**	1 居心地のよい場所を提供する **52.8%**	1 安心して出産・子育てできる環境づくりを進める **68.5%**	1 安心して出産・子育てできる環境づくりを進める **78.4%**
	2 若者が結婚しやすい環境をつくる **47.8%**	2 安心して出産・子育てできる環境づくりを進める **47.2%**	2 若者が結婚しやすい環境をつくる **46.2%**	2 子ども・若者に関するイベントなどの情報を提供する **44.1%**
	3 居心地のよい場所を提供する **43.5%**	3 子ども・若者に関するイベントなどの情報を提供する、経済的な困難を抱えている家庭を支援する **いずれも 41.7%**	3 経済的な困難を抱えている家庭を支援する **39.2%**	3 居心地のよい場所を提供する **44.1%**

【クロス表】

（単位：%）

		全体	15歳～17歳	18歳～21歳	22歳～29歳	30歳～39歳
回答者数（人）		495	23	36	130	306
港区に望む子ども・若者施策（複数回答）【問51】	子ども・若者に関するイベントなどの情報を提供する	38.4	17.4	41.7	27.7	44.1
	悩み等を相談できる窓口を充実する	24.6	26.1	19.4	23.8	25.5
	居心地のよい場所を提供する	43.2	43.5	52.8	38.5	44.1
	就職に向けた相談やサポート体制を充実する	17.0	17.4	25.0	16.9	16.0
	若者が結婚しやすい環境をつくる	32.9	47.8	30.6	46.2	26.5
	安心して出産・子育てできる環境づくりを進める	72.5	56.5	47.2	68.5	78.4
	経済的な困難を抱えている家庭を支援する	34.7	30.4	41.7	39.2	32.4
	社会に出られない人が自立できるよう支援する	15.4	17.4	11.1	12.3	17.0
	青少年の非行や犯罪防止などの取組や環境づくりを進める	18.8	26.1	19.4	14.6	19.9
	その他	1.8	4.3	0.0	0.8	2.3

【関連する自由回答（一部抜粋）】

区の施策、支援に関する意見	安心して出産・子育てできる環境	・ 港区の子育て支援は手厚くとても感謝しています。公立中学で海外に行ける機会の提供も嬉しいです。しかしやはり妊娠・出産前後は思うように働けず、また教育費の面での不安はあります。今第二子を妊娠中ですが、３人目は少しためらってしまいます。希望する人数、子どもを安心して産める環境だと嬉しく思います。【34歳・女性】 ・ 国が少子化対策をするまで待ってられないので、個人でなるべく沢山稼いで貯金や投資をしないと結婚や子育ての選択肢はない。【30歳・女性】
	若者が結婚しやすい環境	・ 若い世代の子達が、結婚や育児しやすいように助成金があると良いのではないかと思います。【31歳・男性】
	子ども・若者に関するイベントなどの情報提供	・ 施策も充実しており、年々様々な新しい施策も始まり有難いと感じています。情報発信も分かりやすく助かっています。子育てアプリとLINEはよく使っています。【32歳・女性】 ・ 若い方々にも年齢を重ねるごとに妊娠しづらくなることや、不妊治療にかかる費用、子宮頸がんの予防接種、梅毒が増えていることなど啓蒙活動していただけると若い方にも子供を持つことについて興味を持っていただけるのではないかと思いました。【37歳・女性】
	経済的な困難を抱えている家庭への支援	・ 親の収入によって教育格差が生まれないような仕組みづくりを期待します。港区奨学金等あっても良いと思います。【29歳・女性】 ・ 大学卒業するまで子供に係る費用すべて無償にしてみては。【35歳・男性】 ・ 35歳未満の未婚者への経済的支援等をしてほしい。【30歳・女性】

第４章　自由意見

ご記入いただいた自由意見のうち、一部の意見を抜粋して記載する。なお、記載にあたって文言等を修正している場合がある。

１．小学校入学前の子どもの保護者

①教育・保育事業の施設数や定員について

・ 保育園の数がまだ足りないと思う。認可保育園はいくつかあるが、逆に認可外が少ないためもし審査でどこにも入れなかった時の選択肢がなく非常に不安。【０歳・30 代母親】
・ 認定こども園の施設を増やしてほしいです。就労しながら幼稚園のように行事や情操教育に力を入れたいと思うが、延長保育の利用者数や、長期休みの対策などを考えると共働きフルタイム勤務では現実的に考えるとなかなか保育園以外を選べません。【２歳・30 代母親】
・ 12 月や早生まれの子も家の近くの希望する保育園に０歳児クラスから入れるように、育児休業明け予約制度の人数を増やしてほしい。もしくは、希望する 1 歳児クラスに４月入園できるように定員枠を増やしてほしい。【０歳・30 代母親】
・ 未就学児の子供が３人いる共働き世帯で両親の援助は遠方のため見込めません。保育園をせめて３人一緒に入れてもらえるよう、優遇してほしいです。３人一緒にいられないと送迎の負担が増大します。【０歳・30 代母親】

②教育・保育事業の環境について

・ 幼稚園の預かり保育開始時間を 8：00～8：30 に早めてほしい。様々な仕事を探しても、始業 9：00 なので、いくら 8：45 に幼稚園に預けても間に合わない。【２歳・30 代母親】
・ 幼稚園の預かり保育の最終時間をもっと遅くしてほしい。(19～20 時まで緊急時に預かってもらえれば、共働きでも教育の選択肢が広がります)【０歳・30 代母親】
・ 区立幼稚園にもスクールバスがあると便利だなと思います。【２歳・30 代母親】
・ 区立保育園、または私立であっても園庭のある保育園の拡充。【４歳・30 代母親】
・ 保育園と習い事事業者の連携をして欲しい。保育園内で、部屋を分けて希望者に習い事を実施するとか、子どもを教室に送迎してくれるなど。必要なお金は払うので、もっとフレキシブルな育児ができる環境が欲しいです。【５歳・40 代母親】
・ 港区だからこそ、日本語ネイティブではないけど日本国籍を有する帰国子女への教育環境も整えて貰えると嬉しいです。親の趣味ではなく、やむをえず仕方なくのインター育ちなのに、義務教育を受けたことにならないのは、将来の選択肢を狭めてしまいます。【０歳・40 代母親】

③教育・保育事業の内容や質について

・ 港区の施策はかなり充実している部類だと思っています。さらに区営の保育園での英語や運動プログラムなどの教育的な側面のプログラムの充実、私立に負けない公立の小中学校の学習環境や学習レベルの向上をお願いしたいです。【３歳・40 代母親】
・ 小・中学校のインクルーシブ教育を進め、障害児を地域から切り離さないでほしい。【1 歳・30 代母親】
・ 発達障害や学習障害の受け皿がとても少ないです。小学校・学童になると大人の目が足りないと思います。支援学級や加配の先生、そもそもの配置基準の見直しなど。１人１人への合理的配慮が実行できる体制づくりをお願いします。【４歳・30 代母親】

・ 保育士の入れ替わりが激しいです。子どもも不安に思います。国の基準だとしても、港区の税金から保育園・保育室に助成金を出し、保育士の確保や配置基準（４・５歳児３０：１）にプラスした保育士の配置を希望（要望）します。【４歳・40 代母親】
・ 保育士の給料を上げる、配置数を増やすなどし、安全第一を確保してほしい。【１歳・40 代母親】

④教育・保育事業の費用負担について
・ 保育園の給食費無料は大変嬉しく思います。できることならば、０～２歳までの保育料も無料になると最高の子育て支援になると思います。「子供にはお金をかける」が当たり前の港区になってほしいと思います。今は少子化なので特に。【３歳・20 代母親】
・ 第一子から保育園の無償化、住民税を多く払えば払うほど保育料が高額なため、保育料の見直し。【０歳・30 代母親】
・ 幼稚園の延長保育を無償化してほしい。【３歳・30 代母親】
・ インターナショナルスクールや私立幼稚園等、認可の保育園以外の教育機能を活用する際の金銭的支援を充実させてほしい。【４歳・30 代父親】
・ ベビーシッターをお願いしたいのですが、金額が高く利用できていないところです。東京都のベビーシッター補助のように補助いただけると幸いです。【０歳・30 代母親】

⑤地域子育て支援事業について
・ コロナ禍での出産で、妊娠中は何かと不安が多かったものの、産後は赤ちゃん訪問から Hello ママサロン、うさちゃんクラブ、保健所での毎月の身体測定等、港区のサポートが手厚く、大変助けられました。特に０歳児の最初に Hello ママサロン等で同月齢の子を持つお母さま方と知り合うことができ、おかげで親子共々良いお友達がたくさんできたことが、楽しく育児を続けられている大きな要因だと思います。【１歳・40 代母親】
・ 港区は子育てのサービスが厚く大変感謝しています。ただ、力を貸してくれる地域の方が少ないです。子むすび、あい・ぽーとのサービスもいつも使えず、いつも１人でなんとかするしかありません。ベビーシッター、送迎などをお手伝い頂ける方、サービスの拡充を望んでおります。【１歳・30 代母親】
・ あっぴぃ、Pokke などの施設は、コロナ前は上の子とよく使っていたが、コロナ以降予約制等になって、面倒になっていかなくなりました。面倒な手続きなしに気軽に立ち寄り、気軽に使える施設だとありがたいです。【２歳・30 代父親】
・ 子育て支援施設の各所ルール（同じあっぴぃでも）や対応が異なりすぎるので、戸惑うことが多い。事業者が異なるのは理解するが、もう少し統一感は必要だと思う。また登録が各所バラバラなので、複数の登録や会員証の管理等が不便。【０歳・40 代母親】
・ 港区産前産後家事・育児支援サービスを３歳まででなく４～５歳くらいまで利用できたり、もう少し１年間に利用できる時間枠を拡充していただけると個人的にはとても嬉しいです。【２歳・40 代母親】

⑥土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業について
・ 年に数回土曜日に仕事があるが、就労日は平日のみとなっている為保育園を利用出来ません。週末の家事やリフレッシュも、気軽にいつもの保育園に預けられると非常に助かります。【２歳・40 代

母親】

- 土日祝の親のリフレッシュ保育枠が増えるととても助かる。３人目も欲しいが、平日仕事、土日育児を考えると、体力的精神的余裕がなく、もっと気軽に保育サービスを利用できるような助成、枠の拡充が必要だと感じている。【０歳・30 代母親】
- 現在幼稚園に通っています。夏休みなどの長期休暇がキツイです。その時だけ、民間のサマースクールなどを申し込みますが、１ヶ月で 20 万円ほどかかります。長期休みも幼稚園が開いているとうれしいです。【４歳・40 代母親】
- 夏休み期間中に１ヶ月ほど田舎（自然がいっぱいある場所）に子どもを預けられるような自治体間の連携があると嬉しい。【４歳・30 代母親】

⑦病気の際の対応について

- 子供が病気になった時などに緊急時の預かり先が欲しい。例えばあっぴぃに併設でそういったサービスを展開するなど、当日電話をして受け入れてくれるような預かり所の支援をお願いしたい。【４歳・30 代母親】
- 病児保育の枠が少なく、かつ正式な病名がないと入れないため子供が病気になった際仕事への影響が辛いです。【２歳・40 代母親】
- 病児保育が終わる時間が早い(17 時半までなど)ので、お迎えが間に合わないです。土曜日は病児保育が無いためとても困っています。他の区では土曜日の病児保育もあるので、ぜひ港区でもお願いします。【３歳・30 代父親】
- 預かり事業も大変助かりますが、自分の体調がすぐれないときの家事の支援が欲しいです。【1 歳・30 代母親】

⑧一時預かり等について

- 一時預りの予約が取れない（特に０歳、１歳)。親が病気になった時など、翌日に預けたい時でも取れたことはない。１か月前から予約しておかないといけないのが使いづらい。【２歳・30 代母親】
- ファミリーサポートを１名紹介いただいたが予定が合わないことが多く、複数名紹介していただきたいがいない。土曜日に両親ともに仕事をしていなければ預けられないが、預けられるようにしてほしい。または一時預かりやファミリーサポートを充実してほしい。【４歳・30 代母親】
- 一時預かりの時間が５時間までが多いですが、８時間くらいまで上限があると助かります。【０歳・40 代母親】
- 夜間の一時預かり場所をもっと増やして頂きたいです。【１歳・40 代母親】
- 就労していないので仕事以外での保育園の一時利用がもっと手軽にできたら良いです。【４歳・30 代母親】

⑨放課後の過ごし方について

- 保育園卒園後の育児に不安を感じている。放課後の学童保育は 19 時までとなっているが、現状就労で 19 時半頃に迎えに行くことが多い。そのため、子供の迎えや子供の自宅での１人時間を作らざるを得ない状況が予想できる。学童保育の数も選択肢も、保育園と比べて非常に少ない印象がある。【４歳・30 代母親】
- 民間学童の助成制度がほしいです。【０歳・30 代母親】

⑩港区の子育て環境について

- 乳児はあっぴぃや Pokke などを利用できるが、幼児が安全に体を動かして遊べる場所が少ない。遊具のある公園など。加えて、雨の日でも遊べる施設もあると良い。【３歳・30 代父親】
- 夏場に安心して子供が遊べる場所を増やして欲しいです。公園は暑過ぎて遊べません。【２歳・40 代母親】
- 同年代（子ども）の集まれるイベントや室内で遊べる所を増やしてほしい。【４歳・30 代母親】
- もっと無料で子供が参加できるイベントを増やして欲しいです。【４歳・30 代母親】
- 最近始まったおむつを施設で捨てられる仕組みはとても嬉しいです。（下の子がいるので、荷物が減り、助かります）【４歳・30 代母親】
- 交通量の多さや、通勤・通学時間帯に逆向きのラッシュに遭うこと。道の整備の不十分さ（木の根による段差、路側帯の草、運河沿い遊歩道の草、ゴミやタバコなど）といったことは、子どもと生活するうえで不安に感じる材料です。自転車レーンの整備、自転車置場の整備など含めて、道をもっと安全にして下さい。【４歳・30 代母親】
- 子供が安心して歩けるように、またベビーカーが通りやすいように歩道を広く整備してほしい。また、自転車用と歩道をしっかり区別してほしい。【５歳・30 代母親】
- 公共の場での喫煙が非常に気になります。公園内に喫煙者がいることもあり、子どもの受動喫煙がとても嫌です。公共の場、禁止区域での喫煙の徹底をどうかお願いしたいです。【０歳・30 代母親】

⑪港区の子育て支援について

- 国に先駆けて第２子以降の保育料無償化、出産育児応援商品券プレゼントなど、出産や育児を大いに応援してくれている様子を感じ、安心して生み育てられる。【０歳・40 代母親】
- 未就学児２名以上いる家庭に配布いただいたタクシーチケットは本当に助かりました。来年から上の子が小学生になるために対象外となってしまうのですが、ぜひ、支援の拡大をご検討いただけますと幸いです。【０歳・30 代母親】
- 出産費用の支援はとてもありがたかったです。出産後も 1 人目から金銭的な支援がもう少しあると嬉しいです。【０歳・30 代母親】
- 現在双子１歳を育てていますが、夜間授乳による寝不足、毎日の入浴、離乳食がとにかく大変です。産後ドゥーラをもっと利用して生活を回したいけど、助成がありません。多胎児育児支援の充実をさせて欲しいです。【０歳・30 代母親】
- 共働きに対しての支援ばかりに感じる。子供の教育を優先するために専業を選んでいる家庭も多いと思うのに、そこに対しての政策はない。専業になる分子供との関わりをして当たり前に思われることが重荷になることもある。専業、共働き関わらず楽しく子供を育てていける制度を考えてほしい。【子の年齢無回答・30 代母親】
- どれだけ手厚い子育て支援をして下さっていたとしても、住む場所（マンション等）の家賃が高くて、子どもが大きくなるにつれ住みにくくなってくる。住居の支援もして頂きたいです。【４歳・30 代母親】

⑫相談・情報提供について

- 区の相談は話を聞くだけでなく、具体的なアドバイスや支援をしてほしい。【1 歳・40 代父親】
- 漠然とした不安や精神的にいっぱいいっぱいになった時に、気軽に専門家に相談できる仕組がある

といい。【1歳・40代父親】

- サービスの情報を知らないことが多い。ネットだと一定の目的がある上で検索しないと情報を知ることができないので、メルマガやDMでサービスの認知を広げてほしい。【５歳・40代父親】
- Please provide more information in English. Please provide more outreach to foreign resident who do not know about services.（より多くの情報を英語で提供してください。サービスを知らない外国人への働きかけをもっと強化してください。）【５歳・40代母親】

２．小学生の保護者

①教育の内容や質について

- 区立小学校、中学校の体力向上、学力向上が、共に期待できると良いなと思います。質の良い教育環境、指導が行われるように、教員の給料アップや、民間や外部からの人員の増加をしていただき、子ども達が学びを楽しめるような教育環境を作っていただきたいです。【３年生・40 代母親】
- 高学年の１クラスの人数が多すぎて、クラスルームにぱんぱんに押し込まれているように感じます。クラスの人数が多いと先生への負担も多く感じますし、適切・適正な授業環境へ整備して頂きたいです。【２年生・40 代母親】
- 民間の企業や塾などと連携して、学校の授業以外の学習や学力が低く塾に行けない子供のサポートをしてもらいたい。【４年生・50 代母親】
- 公立小中高学校に通わせるメリット（金銭面、設備、教育レベルなど）が上がれば私立教育に偏らない風潮になり、より子供を育て易い環境の区になると思います。【１年生・40 代母親】
- 発達障害やギフテッドについて知識理解ある先生も多くないと感じています。大人数の小学校に対し、担任一人では困り事を抱えた児童に向き合うのはとても難しいです。私は少人数学級を進めるべきだし、通常級の支援員を増やすべきだと思います。【５年生・50 代母親】
- ＡＳＤ（アスペルガー）の児童に配慮した環境作り。知的障害がなく見た目や普段の生活では生きづらさがわからない、集団生活が苦しい子供の居場所作りや学べる環境、理解している教育者が少なすぎると思います。他人からは見えない困りごとを抱えている子供は多いです。【３年生・40 代母親】
- 不登校児が増えている。不登校児が心穏やかに過ごせるような専門家の手伝いもほしい。【２年生・40 代母親】
- ＤＸ化が遅れており、紙文化から脱却できていない小学校運営は改革が必要。【１年生・40 代母親】
- 小学校の ICT について、コロナ禍ではオンライン配信も利用があったが、最近はまた対面に戻ってきている。共働きの家庭が増えているので、保護者会などは対面とオンライン参加を両方選べるようにするなど、なるべく保護者が会社を休むことが少なくなるように、今後も柔軟な対応をお願いしたいと思う。教員の働き方改革で、残業を少なくしますというお知らせがあったが、共働きの家庭では、16 時までの学校の連絡は実際なかなか厳しいと感じている。保育園のように、家庭と学校を結ぶ連絡アプリのような電子システム（電話出来ないときの代替手段）の導入をぜひご検討お願いしたい。【２年生・40 代母親】

②教育の費用負担について

- 海外の公立の幼稚園・小学校と比較すると日本の公立の幼稚園・小学校は、保護者が負担する学用品の金額の高さがとても気になります。給食費無償化も助かりましたが、学校経由で購入する学用品の類も無償化していただけますでしょうか。【１年生・30 代母親】
- 私立学校へ通っているのでそこへの補助金等がもう少し拡充され、無償化に近い形になるともっと嬉しいです。【１年生・40 代父親】

③病気の際の対応について

- 小学生、中学生でも使える病児保育があると便利です。【１年生・30 代母親】
- 親への支援（一時預かり等）ではなく、病気時に親がしっかり看病出来る様な支援など、もっと子

供の気持ちに寄り添った支援を期待します。【６年生・40 代母親】

・ 医療的ケアが必要な子どもに対してどういった事業を区や都が行なっているのか、きょうだい児のケアや送迎等でどういったサービスが利用できるのかなど、保健師の方が窓口となってワンストップで知ることができればより良かったと思います。レスパイト入院先を区内の病院で増やしたり、必要に応じて乳児院(東京都済生会中央病院)の案内をする等があれば、患者家族にとって大きな助けになると感じました。【１年生・40 代母親】

④一時預かり等について

・ 子どもが保育園から小学校低学年では、あい・ぽーとやトワイライト、ファミリーサポートなど保育事業や預かっていただき、活用しました。遅くまで預けることができ、本当に助かりましたので満足しています。ただ、ファミリーサポートは協会会員が少なく、なかなか協力者が見つからなかったので、復帰したときは大変苦労したことを覚えています。【６年生・50 代父親】

・ 専業主婦でも気軽に子供を預けられる体制（近所で）本当に必要なサポートだと思います。預けることへのハードルが高すぎて（立地、理由、手続きの大変さ）本当に助けを必要としている人に届いていないと感じます。【３年生・40 代母親】

・ 子供が友達と一緒に宿泊などできる施設やイベントなどあると、一時預かりなどで孤独を感じるわけでもなく時間を作れそうだと思うので、そのような施設やイベントなどがあるといいのにと思う。【４年生・40 代母親】

⑤放課後の過ごし方について

・ 学童クラブはかなり大人数であり、学校も学童クラブも教員不足であるように感じている。特に、学童クラブは部屋のスペースも狭いので、これでは十分に遊べないし、狭くてストレスのため友人間のトラブルにもつながりやすくなっているのではないかと危惧している。地域の児童数増加で小学生が増えているので、何か改善策がないか、今後の港区の施策に期待したい。【２年生・40 代母親】

・ 小学校高学年の子どもが放課後に過ごせる場所を用意してほしい。学校を利用したスポーツ、学習、何もしなくてもよい場所、等で、クラスの友達とは違う人間関係がもてるとよい。他区で行われている補習塾もよいと思う。【６年生・40 代母親】

・ 学童に保育園と同じように 20 時まで預けられるようにしてほしい。今は 19 時までだが、その 1 時間が大きい。【１年生・30 代母親】

・ フルタイムの共働きだと習い事をさせるのが大変。（平日送り迎えができないため）その点を小学校又は学童でサポートしてほしい。学童職員の方が子供達をまとめて習い事につれていってくれる又は、講師の方が直接来てくれる等。もちろん利用料が発生することは前提で。まとめてつれていってくれる分、個人で送迎を頼むより安くすみ、保護者は助かる。【２年生・40 代母親】

・ 学童保育の運営が大変アナログで、出欠、連絡が全て物理的なノートと電話連絡です。勤務時間中の連絡も全て電話で来るため、大変負担が大きく、アプリ、メール、LINE などを導入していただきたいです。【４年生・40 代母親】

・ 週何日か放課後等デイサービスを利用していますが、事業所も少なく空きもありません。空きがあればどこでもいいという訳にはいかないのが、特性をもった子の親の悩みです。やっと子供が安心して通えそうなところが見つかっても、送迎をやっていないところが多いです。移動のサポート

（複数個所を周るなどのスクールカーなど）前向きに検討をお願いします。【２年生・40 代母親】

・ 夏休みなど長期休暇期間中のみの学童利用制度を希望致します。長期休暇期間は、保護者が共働きで学童に申込んでいない場合、朝から夜まで 1 人（昼食も 1 人でとる）で過ごすことになり、長時間 1 人にさせておく環境は心配です。【４年生・40 代母親】

⑥港区の子育て環境について

・ 球技ができる公園が少な過ぎる。放課後に友達と遊べる公園がないため、結果的にゲームをせざるをえない。お金を払い習い事としてやらせないとできない現状です。特に小学生（塾に入る前の低学年）の遊び場（球技可能）な場所の提供、例えば小学校の校庭開放など真剣に考えて頂きたいです。【２年生・40 代母親】

・ プレーパークの存在に大変助けられています。プレーパークでは大人の都合ではなく子どもの健全な育ちが尊重され、のびのびと子どもがやりたい事に挑戦出来る環境が守られていて、親にとっても肩の力を抜いて暖かい気持ちで子どもと向き合える、最高の場所です。【１年生・30 代母親】

・ 田舎と違って地域での関わりが少ないなと感じます。地域でのかかわりがもっと濃密になるように、イベントごとを地域ごとに、若者中心に盛り上げて、老若男女問わず楽しめるのをやっていってほしいと思います！そしたら必然的に、みんな顔見知りになって、安心安全な地域になるのではないかと思います。【３年生・30 代母親】

・ もっと公園などに防犯カメラを設置してほしいです。人通りのある大きい公園でも子どもに対する盗撮が多発していると聞きました。安心して子どもたちが公園を使えるようにお願いしたいと思います。【２年生・30 代母親】

・ 治安や交通安全が急激に低下しているので見回り、警備、子ども 110 番の家や店舗をもっと増やして欲しい。特に下校や通塾時間が本当に不安です。交通ルールを無視した人々の電動キックボードやレンタサイクル利用の増加で親子共々何度も怖い思いをしています。【４年生・50 代母親】

・ こどもが学校へ行くときのちぃばすの整備をお願いしたいです。朝は本数を増やすなど。【１年生・40 代母親】

⑦港区の子育て支援について

・ 幼児期は手厚さを感じたが、高学年、中高生にはあまり支援やいい環境と感じることがない。【５年生・40 代母親】

・ 幼保から小学生のギャップをより丁寧に埋める施策を希望します。病児保育の有無や、子どもの預け入れ期間に差がありすぎて、両親フルタイム勤務世帯と施策やシステムが一切マッチしません。本アンケートも施策に反映する際には分かりやすいストーリーに飛びつくのではなく、適切に因果関係を整理し、短絡的な施策にならないように願います。【３年生・40 代母親】

・ 各種の所得制限は不公平です。港区独自で所得制限によるこども支援の格差を是正するようなしくみ、補助があると大変助かります。【５年生・40 代母親】

・ 家族を増やしたい願望はあるものの、物価高や景気の上がらない状況を考えると簡単に産む決断が出来ない。出産費用の助成や複数の子供が居る家族への金銭的なサポートがあると、港区が子育てに優しい区となるのではないかと思う。【１年生・30 代母親】

⑧相談・情報提供について

- 生まれてから成人するまで継続的に相談、支援が受けられる様にしてほしい。幼稚（保育）園、小学校、中学校…その都度、手続き、相談、支援の申し込みが必要となり、１人の子供について何度も同じ話を、それぞれ担当の方にする事は大変負担です。１人の子供について、各方面に情報を共有してもらえる体制を構築してもらえたら有難いです。【６年生・50 代母親】
- 思春期を迎えた若者が気軽に相談できる施設や、どんな子でも受け入れてくれる場所があれば良いと思います。カウンセリングは高いですし、申し込みをするのもなかなか困難なため、このような施設が安価で気軽に利用できれば、親世代も安心して子育てができると思います。【１年生・40 代母親】
- 学校以外にも、子供自身が相談できる居場所が複数あれば良いなと思います。【３年生・50 代母親】
- 自分で調べないと申請できないのではなく、対象者には全て案内をしてほしい。【１年生・40 代母親】
- 私学小学校に通わせていると､子育て支援の情報が入って来ないように思う。公立小学校に通わせてるママ友からの情報がほとんどで、知らないことが多い。【１年生・40 代母親】
- I know there is much information at ward office, but I don’t have enough time to go there on person. More information online would be appreciated.（区役所にはたくさんの情報があることは知っていますが、直接行く時間がありません。オンラインでさらに詳しい情報をいただければ幸いです。）【３年生・40 代母親】

⑨アンケートについて

- このようにアンケートなどで、小さな意見やとりとめのない考えを述べることができる機会があることがありがたい。【５年生・50 代母親】

３．中学生

①学校・教育の環境について

- 勉強をサポートする会みたいなものをもっと増やしてほしいです。【２年生・女性】
- 学校教育で、通信制コースなどを追加してもいいと思う。【２年生・男性】
- グローバル学習を行われる機会を増やしてほしい(小学６年生 中学２年生の オーストラリア 海外短期留学を毎年できるようにしてほしい)。【２年生・男性】
- シンガポールたのしみです！中高生に、将来につながる教育のチャンスをたくさんください！【１年生・女性】
- 公立の学校の先生の質をあげてほしい。【１年生・女性】
- 先生の言葉遣いなどをしっかり見てほしい。その言葉遣いによって傷つく人がいる。【２年生・男性】
- いじめの対策をもっとしっかりしてほしい(例えば、港区内で起きた実際の事例を挙げたりしてもっと身近に感じさせるなどをしてほしい)。【２年生・男性】
- いじめのない学校。校則やテストがなく個性や自由を尊重できる学校。勉強の成績だけではなく、だれもが楽しく認め合える学校。だれもがチャンスのある学校。【２年生・女性】
- 来年から修学旅行をシンガポールにしないで、学校の給食や学校の設備の向上や修理（カラーコピー・紙質を良くする・座りやすいいすにする・ホワイトボードにする・実験道具を薬品も新しくする・インターネットをつなげやすくする、などなど）（黒板は体に悪い）にそのお金を使い、みんなが過ごしやすい学校にして欲しいです。【２年生・女性】
- 部活で使う道具を増してほしい。【１年生・男性】
- 校内にエレベーターのない公立小中学校にエレベーターを設置して、バリアフリー化を進めて下さい。【２年生・男性】
- 学校の制服を自由にする。【２年生・女性】

②交流について

- いろいろな友達や人と会って楽しめる施設、学校でも他の学校の人と集まる機会があって楽しいので良いなと思います。【２年生・女性】
- 港区は、子供や年寄りに対するサービスが充実していて、とても過ごしやすいと思う。子供のために区の団体がお祭りを開いてくれたりするのがとてもいい。中学生向けの中学生同士で関わり合える施設などがあると嬉しい。【２年生・女性】
- 私は、小学校から私立に行っているのであまり近所の人々と関わったことがありません。もっと近所の友達や知り合いが増えるようなイベントを行ってほしいです。【１年生・女性】
- 楽しいイベントがもっとあったら良いと思う。ミュージックやおまつりとか。【３年生・男性】
- 将来は英語を生かした仕事をしたいと思っているので、外国人との交流イベントやボランティアを企画して欲しい。【３年生・女性】

③生活の環境について

- もっと遊べる所を増やしてほしい(野球、バレーボールなど球技が出来る所が少ないから)友達と過ごすのにお金のかからない場所。【２年生・女性】
- バスケのリングを色んな所に設置してほしい。【１年生・女性】

- もっと中高生プラザのようなものを作ってほしい。【１年生・女性】
- 児童館のおかげで元気でいられる。【３年生・男性】
- 図書館を増やしてほしい。【３年生・女性】
- 図書館でもっと自習をしやすくして欲しい。【２年生・女性】
- 安心して勉強できる自習室や勉強を教えてくれるチューター（先生）がいる自習室を増やしたり中高生プラザや児童館につくってほしいです。【１年生・女性】
- 学校に行けない子どもの居場所がないのが困る。気軽にいつでも受け入れてくれる場所があるといい。【１年生・男性】
- 街中に座れるところがたくさんほしい。【１年生・女性】
- 生活に便利な施設を増やしてほしい。今の所家の近くに薬局とスーパーとコンビニばかりある。仕事帰りのサラリーマンのことしか考えて考えてなさそうな状態。子育て世代が多いのだからもっと家庭に寄り添って街をよくしていくことを検討してみてください。マンションを多く作っているのなら、施設が整っていれば割と人は集まると思います。【１年生・女性】
- 大きいショッピングセンターがお台場にしかなく、家からも少し遠いため不便。【３年生・女性】
- 一軒家が壊されるとたいていビルになる。外苑前の銀杏並木の存続が危ぶまれている。港区がこれ以上住みにくくならないように真剣に考えて下さい。【２年生・男性】
- もっとペットフレンドリーな町にしてほしい。【２年生・男性】
- 港区は、一部だけだが海と繋がっていて運河などもあるので、もっと運河や海を綺麗にする活動を計画して、実行して欲しい。【３年生・男性】
- 二酸化炭素排出量が港区は高いので、エコなまちづくりをして欲しい。【１年生・男性】
- ごみが多い。道がせまい所と広い所が急にきたりしてこわい。【２年生・男性】
- 歩きタバコをする人が多いです。身長のせいもあり煙がちょうど顔あたりに来るので気になります。歩きタバコをする人を減らせないでしょうか。【３年生・女性】
- 車のスピードが速く、登下校中、危ないのでガードレールを増やしてほしいです。【１年生・女性】
- 自転車が通れるところを増やして欲しい。自転車置き場ももう少し増やして欲しい。【２年生・男性】
- 部活帰りのときに、学校からの通学路が暗くてこわい。【１年生・女性】
- 今と変わらず、安心して生活できる港区であって欲しい。【２年生・女性】
- 魅力のある住みやすい区にして欲しい。【１年生・男性】

④各種支援について

- 子どもに関する手当は所得制限をなくしてほしい。港区の子どもがもらえるクーポンを、母は喜んでいました。【３年生・男性】
- 私の家族は兄弟が多いので子供に対する補償や支援があると良い。塾で学ぶ為のお金を出してほしい。【３年生・女性】
- お年寄りの方が持っているシルバーパスポートのように、小中学生が使えるバスの利用券があると嬉しいです。（都バスやコミュニティバスをよく使うので…）自転車通学が禁止されている学校や施設も多いので、あると出かけやすくなります。【３年生・女性】
- 私立学校に通う中学生にも、公立中学校の生徒と同様に色々に支援や援助をしてほしいです。【１年生・男性】

⑤相談・情報提供について

・ いろいろ困っていることがあるので、ぜひお力かしてください。【２年生・男性】
・ 他人に知られたくないような悩みごとを“匿名”で相談できるサービスをつくって、分かりやすいように宣伝して欲しいです。【２年生・女性】
・ 悩みの相談をもっと簡単にできるようにしてほしい。【２年生・女性】
・ 学生に対してどういう施設などがあるのかを紹介してほしい。【３年生・男性】

⑥アンケート調査について

・ もっと沢山このアンケートのようなことをやって欲しい。【１年生・男性】
・ 中学生に対するアンケートにしては質問項目が多く煩雑です。また、もう少し区政や様々な支援に関心が持てるよう、この機会に気づきを与えるような工夫もあると良いと思います。【１年生・女性】
・ アンケートめんどくさいのでなくしてほしいです。【２年生・男性】

⑦その他

・ 港区がきっかけとなり、他の区や他の都道府県の市なども発展していって欲しいです。【１年生・男性】
・ ９月に発表された、港区立中学校の修学旅行が来年からシンガポールになるというように、これからも港区が初めての実践したり、初めて物事を計画することができるまちにしたい。また、最新機械や技術を駆使してさらに進化した多様性あふれるわいわいとしたまちにできたら理想的だと思った。【２年生・女性】
・ 区の税金をもっと区民の意見を聞いて大切に使ってほしい。【１年生・男性】
・ もっと子供の声を聞く機会を増やして欲しい。【１年生・性別：その他・答えたくない】
・ 子供総会のようなものを開き、その結果が全学校に伝えられるようにしてほしい。【２年生・男性】

４．高校生世代から 39 歳まで

①教育・保育事業の施設数や定員について

・ 港区に引っ越してきた６年前より、保育園が増え、設備がきれいになり、補助が増えて、ずっと住みやすくなりました。感謝しています。【39 歳・女性】
・ 港区全体で見ると保育園の空きが目立っていると思うが、六本木一丁目周辺の０～１歳枠は厳しいと感じる。可能な限り入園ニーズが高いエリアや園の０～１歳枠を増やす働きかけを望んでいる。【38 歳・男性】
・ 夜の時間帯に働く人向けの保育を充実させて欲しい。家庭教師として働きたいが働く時間帯に手軽に利用できる保育が少ないと感じる。【32 歳・女性】

②教育・保育事業の内容や質について

・ 幼稚園小学校中学校などの先生や教育環境、子どもたちがいじめや人権問題などなく、安心して学べる環境を整えていってほしいです。【35 歳・女性】
・ 常に空きが目立つ園は保育士の過労や悪待遇、SNS への園児顔出し写真投稿など良い評判を見聞きしないので、いずれ子を預けることにかなり不安があり避けると思う。【38 歳・男性】
・ 教員による未成年への性犯罪ニュースをいくつか目にしている。港区だけでどうこうできる問題ではないと思うが、日本版 DBS の導入を一刻も早く進めてほしい。公立教員への不信感から、国私立小学校や中学校への受験熱が高まっている面もあると思う。【38 歳・男性】
・ 発達障害者の場合、長所が普通の人よりも優れている所があるので、その長所は徹底的に伸ばして欲しい。【35 歳・男性】
・ 発達障害や学習障害に対する理解の促進と専門家による学習及び就業支援の拡充。具体的には、次に掲げるようなことを希望します。当事者とその親に対して、専門家による具体的な助言の提供やその機会の創造や窓口の増設。学校現場における専門スタッフの配置。当事者と進学先及び就業先を結ぶ機会の創出。【39 歳・男性】
・ 公立中学の魅力をアップして、公立中学に進学する生徒が増えるようにしてほしいです。小学生の大半が中学受験に巻き込まれている現状は異常だと思います。【32 歳・男性】
・ 区立幼稚園の教育に魅力を感じていますが、PTA 等親の参加頻度が高いことから共働きでは幼稚園に通わせることは非常に難しいです。一方で年々園児数が減ってきており、施設は立派であるにも関わらず通いたい人が通えない状況はもったいないのではと個人的には考えています。区立幼稚園の親の負担軽減がなされれば、共働きでも幼稚園を選択できる人が増えると思います。【34 歳・女性】
・ 姉妹都市への留学。【17 歳・男性】
・ 区立中学校のシンガポール修学旅行への支援は大賛成です。来年度以降も是非続けてください。【31 歳・女性】
・ 公立中学校の修学旅行先をシンガポールにする予算が可決されておりましたが、極めて不公平であると感じております。その予算があれば、公立中学校に在籍している生徒に限るのではなく、もっと普遍的な子育て支援に使っていただきたいです。【36 歳・女性】

③地域子育て支援事業について

・ 1 歳の子どもが家だと飽き飽きしているので、各所に子どもを遊ばせることができる子育てひろば

があり助かっています。ありがとうございます。【35 歳・男性】

- 子供を私立幼稚園に入れる共働き夫婦のために、預かり保育サービスを増やしてほしい。【31 歳・女性】
- Pokke の閉館時間が 16 時 30 分と早い。18 時まで開いていればよい。【34 歳・男性】
- 共働きの家事支援を充実させて欲しい。【39 歳・女性】
- ベビーシッター制度はとてもありがたいですが、入院中にとても気になるのが子供の食事です。ベビーシッターでは食事の準備はあまり手厚くないイメージで産後ドゥーラのような料理代行の制度もあればとても助かります。【38 歳・女性】
- 産後ドゥーラ利用可能枠をもっと増やしてほしい。理想は渋谷区並み。【38 歳・男性】
- 季節に応じたイベントなど子供に四季をかんじさせられるようなイベントが欲しい。【30 歳・女性】
- 子供が参加できるイベントがたくさんあってとても嬉しく思っています。ただ、抽選で外れてしまうことも多々あるので、可能な限り定員を多くとり、これからもたくさんのイベントを開催してください。【38 歳・男性】

④生活の環境について

- 広い公園や子供を自由に伸び伸びと遊ばせられる環境が少ないと感じます。海岸の方までいけば多少広い公園はありますが、三田周辺などは広い公園はなかなかありません。土地の特性上、どうしようもないことも多くあるとは思いますが、せめて子供がのびのびと遊べるような遊具の充実したスペースやスポーツができる場所を増やして欲しいです。【36 歳・女性】
- 高輪４丁目（品川駅付近）には子供の遊び場や（公園や児童館など）認可保育園もなく、小児科・内科もないのが悩みです。【34 歳・男性】
- スポーツセンターや、みなとパーク芝浦の居心地が良いので、よく通っていますし、楽しそうな子供たちをよく見かけます。公共施設が充実しているのは港区の強みだと思います。【27 歳・女性】
- 共働き家庭の子供達（小学生）が放課後安心して過ごせるような屋内の場所を増やして欲しい。図書館などは中高生で埋まってしまっている。学童だと共働き世代以外の友人と遊ぶことができない。晴れている日は公園でいいのですが。【39 歳・女性】
- 地域の同じ年代の人と出会いや交流の場があったら良いと考える。【19 歳・男性】
- 立地がとてもいいので、大人だけで暮らしている今のような状態では港区はすごく住みやすい。ただし、生活費はかかるエリア、かつ、土地が少ない(小さい)エリアなので、子供が生まれた後にも暮らしいたいかと聞かれると、あまり良い生活が維持できるとは思えず、また子供にとって魅力的なエリアとは思えていない。そのため、子供がある程度の年齢になれば別のところに引っ越すことが現実的と思っている。【31 歳・女性】
- 今第２子を妊娠中ですが、３人目は少しためらってしまいます。希望する人数、子どもを安心して産める環境だと嬉しく思います。【34 歳・女性】

⑤各種支援について

- 親の収入によって教育格差が生まれないような仕組みづくりを期待します。港区奨学金等あっても良いと思います。【29 歳・女性】
- 私立高校の学費の無償化。【15 歳・女性】
- 大学院生を奨学金等の支援の対象に含めてほしい。【21 歳・男性】

・ インターナショナルな子育て環境にお金が払えなくても手が届くようにしてほしい。【30 歳・女性】
・ 35 歳未満の未婚者への経済的支援等をしてほしい。【30 歳・女性】
・ 子どもを欲しいと思っている若者が、その思いを安心して実現できる支援をしてほしいです。日本全体がそうじゃないように思うので、港区で事例を作ってほしいです。【30 歳・女性】
・ 若い世代の子達が、結婚や育児しやすいように一時的な助成金および継続可能な助成金があると良いのではないかと思います。【31 歳・男性】
・ 出産一時金の支給や、育児中の支援サービスなどの施策を実施しており、子どもを産むなら港区に住んでいたいと思っています。そのおかげか、港区は小さい子ども、ファミリーが多く生活していると感じます。ぜひ今後もこうした施策を続けていっていただきたいです。【28 歳・女性】
・ 港区で第一子を出産し、他の区よりも子育て支援が手厚いと実感しています。乳幼児だけでなく小学生や中学生と成長するにつれ必要な支援も充実しているといいなと思います。【39 歳・女性】
・ 年収で区切るのではなく、全市民に等しく金銭的サポートをお願いしたい。頑張って働きながら家庭を作ろうとしても、高すぎず低すぎずの年収だと、仕事も大変なのに金銭支援が受けられず結果 1 番苦しいと感じる。【31 歳・女性】
・ 日本全体の取り組みや流れと比較すると、港区に住んでいて子育て世代への助成金など支援は豊富であるように思う。ありがたく思う反面、やはり都内に住んで子どもを 1 人以上もつことは厳しい。低所得者への支援ではなく、全体的な底上げをお願いいたします。【30 歳・女性】
・ 他行政区と比較しても手厚い支援をいただいていると思いますが、赤ちゃん・子供ファーストの政策を打ち出していただき、より子育て世代と子供達が安心して暮らせる港区を作っていただきたいです。【29 歳・男性】
・ 子供は２人欲しいですが、現状の不動産価格では２人を育てられる広さの住宅購入が難しく、２人目は断念予定です。ファミリー向け物件の転売防止や、子供がいる家庭への優先販売などを行なってほしいです。【31 歳・男性】
・ 子育て世帯に対する家賃補助などの住宅費用の支援を希望します。リモートワークなど両親が子供の世話をしながら家で仕事することが増え、子供の遊ぶスペースと仕事のスペースの確保が都心の住宅だと家賃が高く難しい。【35 歳・女性】
・ 家賃が高く、区外に転出する覚悟を決め、現在手続き中です。頑張れば家屋は購入はできましたが、子供の将来の教育費を考えるとリスクは犯せないという判断になりました。ずっと住み続けたかったのにその点は残念に思っています。【37 歳・女性】
・ 子育てのしやすい地域は治安のいい場所でもあると思うので、子育て世帯への支援に力を入れて頂けると、結果的に他の世帯にもメリットがあるのかなと思います。【31 歳・性別：その他・答えたくない】
・ まだ働きたいため、東京都が行っているような、卵子凍結への助成金などの支援を港区でもしてほしい。【35 歳・女性】

⑥相談・情報提供について

・ 以前、港区子ども家庭支援センターに相談に行きましたが、最終的に自分達で何とかしろという回答しかもらえませんでした。せめて無料相談の弁護士など紹介してもらえれば少しは希望が持てるかと思いますが、何一つフォローアップはありませんでした。真摯に改善を求めます。【37 歳・女性】

- 情報発信も分かりやすく助かっています。子育てアプリと LINE はよく使っています。【32 歳・女性】
- 周知がない又は弱いので、どのような制度があるのか分からない。また、実際の施策を調べても、どの施策にどのくらいの予算規模でどのようなビジョンを持って取り組みたいのかもあまり伝わってこない。【26 歳・男性】
- どんな制度があるのか、若い世代の人にも分かりやすいような説明やお知らせがあると良いのではないかと思います。【17 歳・女性】
- 若い方々にも年齢を重ねるごとに妊娠しづらくなることや、不妊治療にかかる費用、子宮頸がんの予防接種・検診、梅毒が増えていること、妊娠についての必要な知識など啓蒙活動していただけると、子供を持つことについて興味を持っていただけるのではないかと思いました。【37 歳・女性】

第５章　調査結果から示唆される課題と対応の方向性

１．調査結果から示唆される課題と対応の方向性

調査結果から示唆される課題と対応の方向性においては、関連する調査対象を下記のとおり記載している。

入学前・・・・・・小学校入学前の子どもの保護者
小・・・・・・・・小学生の保護者
中・・・・・・・・中学生
高/若者・・・・・ 高校生世代から 39 歳まで

１．教育・保育事業における適正な量の確保と質の向上

【調査結果】

・ 平日の定期的な教育・保育事業の利用は、０歳児が 29.5%、１歳児が 75.5%、２歳児が 86.8%、３歳児が 99.0%、４歳児が 97.5%、５歳児が 94.6%であり、０～５歳児全体で 76.0%となっている（入学前問 21)。前回調査の０～５歳の利用率は 73.9%となっており、教育・保育の利用はこの５年間で 2.1 ポイント増加している。

・ 幼稚園利用者の約６割、保育園利用者の約８割が、そのサービス内容について満足していると回答するなど（入学前問 39)、教育・保育事業に対する満足度は高い一方で、自由意見では、教育・保育内容の質の向上や、教育・保育従事職員の確保・定着の支援を求める意見があった。

【課題と対応の方向性】

・ 今後も適正な教育・保育の量を確保し、保育園待機児童ゼロを継続するとともに、質の向上を図ることを通じて、子どもの健やかな成長を支えていく必要がある。

２．地域子ども・子育て支援事業のさらなる充実

【調査結果】

・ 地域子ども・子育て支援事業のうち、一時預かり事業については、68.2%が不定期の教育・保育事業等を今後利用したいと回答するなど、ニーズの高さがうかがえる（入学前問 30)。その一方で、自由意見では、「予約が取れない」など、量的な拡充を求める意見があった。

・ ０歳児の保護者のうち約７割が在宅で子育てをしており（入学前問 21)、０歳児の保護者は不定期の教育・保育事業等の利用を希望する割合が 81.4%と、他の年齢の子どもを持つ保護者と比べて高くなっている（入学前問 30)。

・ 病気の際の対応については、直近１年の間に子どもの病気等を理由に教育・保育サービスを利用できなかった割合は 82.9%となっており（入学前問 28)、うち母親が仕事を休むことで対応した割合は 72.1%と最も高くなっている（入学前問 28-１)。

・ 病児・病後児保育施設等の利用希望については、父親または母親が仕事を休むことで対応した人のうち、半数以上の 52.9%が「利用したい」と回答しているが（入学前問 28-２)、自由意見では「病児保育の予約をもっと取りやすくしてほしい」など、一時預かりと同様に量の

拡大に関する意見が寄せられている。

【課題と対応の方向性】

・　子育て家庭の孤立感や子育ての負担軽減を図るため、ニーズが高い一時預かり事業や、病児・病後児保育事業を中心に、地域子ども・子育て支援事業のさらなる充実に取り組んでいく必要がある。

３．多様なニーズに応じた子育て支援の推進

【調査結果】

・　０歳児の保護者のうち約７割が在宅で子育てをしており（入学前問 21)、他の年齢の保護者と比べて孤立感がやや高くなっている（入学前問 12)。

・　子育て家庭の約３割（小学校入学前の子どもの保護者 30.1%、小学生の保護者 26.9%）は、親族や知人・友人からの助けを得にくく（入学前問９、小問９)、子育てにより孤立したり、子育てへの不安や負担を感じやすい状況に置かれたりしている。

・　２人以上のきょうだいがいる世帯は、小学校入学前の子どもの保護者が 55.1%、小学生の保護者が 64.7%と半数を超えており（入学前問３、小問３)、自由意見では、多子世帯に対する助成や、子どもの送り迎え、通院時などの移動に関する支援を求める意見があった。

【課題と対応の方向性】

・　妊産婦や在宅子育て家庭など、孤立した育児に陥りやすい子育て家庭を支援するためには、地域子ども・子育て支援事業の充実のみならず、人とのつながりを含め、地域ぐるみで子どもと子育てを支援する体制を構築する必要がある。

・　多子世帯や多胎児を育てる家庭の経済的負担の軽減や、子どもの数に応じた移動の支援を進めていく必要がある。

４．支援が必要な家庭や子どもに対する施策の充実

【調査結果】

・　小学校入学前の子どもの保護者、小学生の保護者のいずれも約１割（それぞれ 14.6%、14.5%）が子どもの「発育・発達、病気、障害に関すること」に不安を持っている（入学前問 10、小問 10)。

・　中学生、高校生世代では、ともに約１割（それぞれ 8.7%、9.7%）が日常的に家族のお世話をしており（中問８、高/若者問９)、相談できる環境や支援を求める声が一定数存在する（中問８-３)。

・　ひとり親家庭は暮らし向きが苦しいと感じる割合が６割以上（小学校入学前の子どもの保護者 70.8%、小学生の保護者 61.1%）（入学前問 20、小問 20)、孤立感を感じる割合が５割以上（小学校入学前の子どもの保護者 62.5%、小学生の保護者 55.5%）（入学前問 12、小問 12）であり、子育ての悩みとして「子どもとの接し方に自信が持てない」「話し相手や相談相手がいない」「子どもとの時間を十分にとれない」などが多くなっている（入学前問 10、小問 10)。

【課題と対応の方向性】

・　障害のある子どもや医療的ケア児、ヤングケアラーをはじめ、配慮を必要とする家庭や子どもへの支援体制を強化し、一人ひとりの健やかな成長、発達及び自立が保障され、子どもの

最善の利益を第一に考えた環境を構築する必要がある。

・ ひとり親家庭を含め、生活が困難な状況にある子育て家庭が抱える様々な課題やニーズに対応し、子育ての不安解消や経済的自立を支援する必要がある。

５．子育てと仕事の両立支援

【調査結果】

・ 小学校入学前の子どもの母親の就労については、フルタイムの割合は 62.4%となっており、前回調査の 54.7%を上回っている（入学前問 15）。

・ 育児休業の取得については、小学校入学前の子どもの母親の取得率は 63.6%となっており、前回調査の 52.3%と比べて高くなっている。一方で、父親の取得率は 20.8%で、前回調査の 7.3%から大きく増加しているものの、依然として母親の割合より低く、約２割にとどまっている（入学前問 36）。

・ 育児休業取得率は前回調査と比べて多くなっているが、取得していない理由として、父親、母親ともに「仕事が忙しかった」「育児休業の制度がなかった」が多くなっている（入学前問 36）。

・ 小学生の母親の就労については、フルタイムの割合は 50.8%となっており、前回調査の 41.7%を上回っている（小問 15）。

【課題と対応の方向性】

・ 共働き世帯が増加している中で、共働き・共育てを実現するために、さらなる男性の家事・子育てへの参画を促進し、男性、女性ともに、希望どおり育児休業制度等を利用できるよう、仕事と子育てを両立できる環境づくりを推進する必要がある。

６．子どもの権利が守られ、健やかに成長できる環境整備の推進

【調査結果】

・ 小学校での放課後の過ごし方について、小学校低学年は「習い事」（59.3%）、「自宅」（57.3%）、「区立の学童クラブ」（27.0%）、小学校高学年は「自宅」（80.1%）、「習い事」（70.1%）、「その他（公園など）」（17.6%）で過ごしている割合が多くなっている（小問 26）。自由意見では、学童クラブの定員拡大や放課後児童支援員の確保を求める意見があった。

・ 「保育園であそぼう」「保育所や幼稚園の園庭などの開放」をこれまでに利用したことがある人は約１割（それぞれ 9.7%、13.8%）なのに対し、今後利用したいと回答した割合はそれぞれ 28.9%、41.3%にのぼっている（入学前問 25）。自由意見では、夏場や雨の日でも子どもが体を動かして遊べる場所を求める意見があった。

【課題と対応の方向性】

・ 子どもの権利が守られる安全・安心な居場所を確保し、子どもの心身の健やかな育ちを支援するため、学童クラブの定員拡大や質の向上のほか、様々な手法を活用した遊び場を確保し、環境整備に取り組んでいく必要がある。

７．結婚・妊娠前から出産後の切れ目ない支援

【調査結果】

・ 未婚の高校生世代から 39 歳までの約７割がいずれ結婚することを希望しているが（高/若者問 41)、現在結婚していない理由として、「適当な相手にめぐりあわないから」(46.7％)、「結婚資金が足りないから、収入が不安定だから」(18.9％）など、出会いの機会の減少や経済的事情が挙げられている（高/若者問 39)。

・ 子育ての将来展望を描けず、理想の子どもの数が叶わない状況にある人は、小学校入学前の子どもの保護者、小学生の子どもの保護者、青・壮年期（22-29 歳)、青・壮年期（30-39 歳）のいずれも約４割（それぞれ45.0％、40.3％、40.8％、41.5％）となっている（入学前問 38、問 38-１、小問 31、問 31-１、高/若者問 48、49)。

・ 理想の子どもの数を持てない理由として、「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」などの経済的理由や「育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから」など子育ての負担に関する理由が多くなっている（入学前問 38-２、小問 31-２、高/若者問 50)。

【課題と対応の方向性】

・ 結婚の希望の実現を阻む要因の解消に向けて、経済的支援のほか、出会いの機会の創出支援の充実や、結婚に伴う新生活の支援を推進する必要がある。

・ 妊娠・出産後の支援に加え、これから妊娠を希望する人への希望に応じた支援をさらに進めていく必要がある。

８．子ども・若者の居場所づくりの推進及び相談支援の強化

【調査結果】

・ 中学生では、児童館・子ども中高生プラザ等を「よく利用する（週に２回以上)」(2.3％)、「たまに利用する（週に１回程度)」(8.6％）と回答した人の合計は１割程度であり、「知っているが行ったことがない」(20.6％)、「どこにあるか知らない」(17.4％）と回答した人の合計は約４割に上っている（中問 16)。

・ 港区に望む子ども・若者施策について、高校生世代から 39 歳まででは「安心して出産・子育てできる環境づくりを進める」に次いで「居心地のよい場所を提供する」(43.2％）が多くなっている（高/若者問 51)。

・ 悩みごとを誰にも相談しないと回答した人は、中学生、高校生世代から 39 歳までのいずれも約１割（それぞれ 15.3％、10.9％）となっている（中問 20、高/若者問 35)。

・ 悩みごとや不安を相談しない理由として、「相談しても解決しないと思う」「相談するのが面倒」「相談する相手がいない」などが多くなっている（中問 20-１、高/若者問 36)。

【課題と対応の方向性】

・ 子ども・若者が悩みや不安などを相談でき、自己肯定感や自己有用感を高めて自分らしく社会生活を送ることができるよう、子ども・若者の意見を聴取し、子ども中高生プラザの認知度の向上や、子ども・若者の居場所づくりの推進及び相談支援の強化に取り組む必要がある。

使用した調査票

港区子ども・若者・子育て支援に関する実態調査

調査票

（小学校入学前の子どもの保護者用）

※別紙「－回答方法－」に記載されているIDを右の枠内にご記入ください。

ID記入欄

お住まいの地域についてうかがいます

問1　お住まいの地域はどこですか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．芝	7．浜松町	13．麻布永坂町	19．麻布十番	25．高輪
2．海岸	8．芝大門	14．南麻布	20．東麻布	26．白金
3．東新橋	9．芝公園	15．元麻布	21．元赤坂	27．白金台
4．新橋	10．虎ノ門	16．西麻布	22．赤坂	28．芝浦
5．西新橋	11．愛宕	17．六本木	23．南青山	29．港南
6．三田	12．麻布狸穴町	18．麻布台	24．北青山	30．台場

問1－1　お住まいの丁目を（　　）内に数字でご記入ください。

（　　）丁目

封筒の宛名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます

問2　宛名のお子さんの生まれた年と月を（　　）内に数字でご記入ください。

（　　）年（　　）月生まれ　※西暦でお答えください

問3　宛名のお子さんのきょうだいは何人いますか。
宛名のお子さんを含めた人数とそれぞれの生まれた年と月を（　　）内に数字でご記入ください。
記入欄が不足する場合は余白を適宜ご利用ください。

きょうだい数　（　　）人
きょうだいの生年月　1人目（　　）年（　　）月生まれ
2人目（　　）年（　　）月生まれ
3人目（　　）年（　　）月生まれ
※西暦でお答えください

問4　この調査票に回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
（あてはまる番号ひとつに○）

1．父親　2．母親　3．その他（　　）

問5　宛名のお子さんとご両親の同別居状況についてうかがいます。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

（1）父親	（2）母親
1．一緒に住んでいる	1．一緒に住んでいる
2．単身赴任や入院などで別に住んでいる	2．単身赴任や入院などで別に住んでいる
3．別居している	3．別居している
4．死亡、離婚、未婚などでいない	4．死亡、離婚、未婚などでいない

問6　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。なお、続柄はすべてお子さんからみた関係です。（あてはまる番号ひとつに○）

1．父母ともに　3．主に母親　5．その他（　　）
2．主に父親　4．主に祖父母

問7　あなた（宛名のお子さんの保護者）のお住まいをお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

1．持家（一戸建て）　5．都営・区営・区立住宅
2．持家（マンション）　6．UR（旧公団）・公社の賃貸住宅
3．借家（一戸建て）　7．社宅・公務員宿舎
4．民間の賃貸マンション・アパート　8．その他（　　）

問8　あなた（宛名のお子さんの保護者）は、港区に住んで何年になりますか。宛名のお子さんの保護者のうち、港区での居住期間が長い方についてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

1．1年未満　4．5～10年未満　7．生まれてからずっと港区に住んでいる
2．1～3年未満　5．10～20年未満
3．3～5年未満　6．20年以上

問8－1　あなた（宛名のお子さんの保護者）が、港区に住むことになったきっかけは何ですか。
（あてはまる番号ひとつに○）

1．子どもの出産を機に転入した
2．保育園・幼稚園への入園のために転入した
3．インターナショナルスクールに入るために転入した
→ 問8－2へ

4．子どもの出産前から住んでいる
5．その他（　　）
6．特に理由はない
→ 問9へ

問8-2　問8-1で「1」～「3」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
次のうち、あてはまる理由があればお選びください。（あてはまる番号すべてに○）

1．出産育児助成があるから
2．母子保健事業が充実しているから
3．保育料助成があるから
4．第2子以降の保育料が無料だから
5．幼稚園・保育園に空きがあり、入園させやすいから
6．入園したい保育園・幼稚園があるから
7．入学したい小学校があるから
8．入りたいインターナショナルスクールがあるから
9．通勤が近いから
10．治安が良く、子どもにとって安全な環境だから
11．子育てに協力してくれる親族がいるから
12．その他（　　）
13．特に理由はない

宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問9　日頃、保護者以外に宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
→ 問9-1へ
3．日常的に子どもをみてもらえる知人・友人がいる
4．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる知人・友人がいる
→ 問9-2へ
5．いずれもいない
→ 問10へ

問9-1　問9で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
（あてはまる番号すべてに○）

1．祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的拘束を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2．祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である
3．祖父母等の親族の時間的拘束や精神的な負担が大きく、心配である
4．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5．子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6．その他（　　）

問9-2　問9で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。
知人・友人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
（あてはまる番号すべてに○）

1．知人・友人の身体的・精神的な負担や時間的拘束を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2．知人・友人の身体的負担が大きく、心配である
3．知人・友人の時間的拘束や精神的な負担が大きく、心配である
4．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5．子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6．その他（　　）

問10　子育てに関して、日頃、悩んでいることや気になることはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．発育・発達、病気、障害に関すること
→ 問10-1へ
2．食事や栄養に関すること
3．子育ての方法がよくわからないこと
4．子どもとの接し方に自信が持てないこと
5．子どもとの時間を十分にとれないこと
6．話し相手や相談相手がいないこと
7．仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
8．子どもの教育に関すること
9．友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
10．登園拒否などの問題に関すること
11．子育てに関して配偶者（パートナー）の協力が少ないこと
12．子育てに関して配偶者（パートナー）と意見が合わないこと
13．自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの目が気になること
14．配偶者（パートナー）以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15．子どもを叱りすぎているような気がすること
16．子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
17．地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと
18．その他（　　）
19．特にない

問10-1　問10で「1．発育・発達、病気、障害に関すること」に○をつけた方にうかがいます。
あてはまるものをお答えください。（あてはまる番号すべてに○）
また、「1」～「3」に○をつけた方は、（　　）内に数字でご記入ください。

1．身体障害者手帳（　　：級）
2．愛の手帳（　　）度
3．精神障害者保健福祉手帳（　　：級）
4．難病
5．高次脳機能障害

次ページに続きます

6．発達障害
7．医療的ケア（たん吸引、経管栄養、酸素吸入等）
8．定期的な服薬や自己注射
9．未熟児、虚弱児
10．言語発達に関する不安
11．運動発達に関する不安
12．多動や衝動性等行動に関する不安
13．対人関係等コミュニケーションに関する不安
14．その他（　　）

問11　宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人（場所）はいますか（ありますか）。
（あてはまる番号ひとつに○）

1．いる／ある ➡ 問11-1へ　　2．いない／ない ➡ 問12へ

問11-1　問11で「1．いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．配偶者（パートナー）
2．父母（子どもの祖父母）
3．その他の親族
4．知人・友人
5．子育て仲間
6．塾・習い事の先生
7．かかりつけの医師
8．民生委員・児童委員
9．保育園・幼稚園等
10．子ども家庭支援センター
11．児童発達支援センター（ぱお）
12．児童館・学童クラブ
13．子育てひろば
14．保健所
15．教育センター
16．民間の相談機関
17．インターネットの子育て関連サイト
18．その他（　　）

問12　日頃、子育てを行うにあたり、孤立感を感じることはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．ある　　3．あまりない
2．ときどきある　　4．ない

問13　子育てについて、地域の人（近所の人、町内会などの知人、習い事での知人など）からのサポートがあればよいと感じたことはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．感じたことがある　　2．感じたことはない　　3．わからない

問14　あなたは、地域の人からのサポートや地域活動について、どのようなものがあればよいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．子育て中の親子同士が交流できる地域活動
2．子育ての悩みを気軽に相談できる地域コミュニティ
3．同年代の子ども同士が交流できる地域活動
4．異世代の子どもや高齢者など世代間の交流ができる地域活動
5．子どもに遊び、勉強、スポーツ等を教えてくれる地域活動
6．買い物の間や不意の外出の時などに子どもを預かってくれる地域活動
7．交通安全や犯罪防止のためのパトロールをする地域活動
8．公園・道路の清掃等の美化活動
9．その他（　　）
10．特にない

宛名のお子さんの保護者の就労・家計状況についてうかがいます

問15　宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。
（1）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】（あてはまる番号ひとつに○）

1．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
2．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
3．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育児短時間勤務中である
4．パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
5．パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
➡ 問(1)-1, (1)-2へ

6．以前は就労していたが、現在は就労していない
7．これまで就労したことがない
➡ 問(2)へ

（1）-1　（1）で「1」～「5」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
1週あたりの「就労日数」及びそのうちの「在宅勤務日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたりの就労日数（　　）日　うち在宅勤務日数（　　）日
1日あたりの就労時間（　　）時間

（1）-2　（1）で「1」～「5」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時間と帰宅時間をお答えください。
時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
育休・介護休業中の方に、休業に入る前の状況についてお答えください。
自営業や在宅勤務の場合は、仕事を開始する時間と終了する時間についてお答えください。

家を出る時間　：（　　）時（　　）分
帰宅時間　　：（　　）時（　　）分　※24時間制でお答えください

（2）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】（あてはまる番号ひとつに○）

1．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育児短時間勤務中である
4．パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
5．パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
→ 問(2)-1、(2)-2へ

6．以前は就労していたが、現在は就労していない
7．これまで就労したことがない
→ 問16へ

（2）-1　（2）で「1」～「5」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
1週あたりの「就労日数」及びその内の「在宅勤務日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたりの就労日数（　　）日　うち在宅勤務日数（　　）日
1日あたりの就労時間（　　）時間

（2）-2　（2）で「1」～「5」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時間と帰宅時間をお答えください。
時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
自営業や在宅勤務の場合は、仕事を開始する時間と終了する時間についてお答えください。

家を出る時間　：（　　）時（　　）分
帰宅時間　　：（　　）時（　　）分　※24時間制でお答えください

問15　問15の（1）または（2）で、「4」または「5」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問17へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

(1)父親	1．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある 2．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）の就労を続けることを希望 4．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）をやめて子育てや家事に専念したい
(2)母親	1．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある 2．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）の就労を続けることを希望 4．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）をやめて子育てや家事に専念したい

問17　問15の（1）または（2）で、「6．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「7．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問18へお進みください。
就労したいという希望はありますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）
また、「3．すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方は、希望する就労形態（それぞれの欄に○はひとつだけ）と1週あたり日数、1日あたりの時間数をご記入ください。

(1)父親	1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2．1年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい 3．すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態　ア．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） イ．パート・アルバイト等（「ア．フルタイム」以外） ➡1週あたり（　　）日　1日あたり（　　）時間
(2)母親	1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2．1年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい 3．すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態　ア．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） イ．パート・アルバイト等（「ア．フルタイム」以外） ➡1週あたり（　　）日　1日あたり（　　）時間

【すべての方にうかがいます】

問18　約名のお子さんの世帯全体の年収（税込）は、おおよそどれくらいですか。仕事による収入と仕事外の収入を合わせてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

1．200万円未満
2．200～300万円未満
3．300～400万円未満
4．400～500万円未満
5．500～700万円未満
6．700～1,000万円未満
7．1,000～1,500万円未満
8．1,500～2,000万円未満
9．2,000～3,000万円未満
10．3,000～5,000万円未満
11．5,000～1億円未満
12．1億円以上
13．わからない

問 19 現在の家計について、最も近いものをお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

1．黒字であり、毎月貯蓄をしている
2．黒字であるが、貯蓄はしていない
3．赤字でも黒字でもなく、ギリギリである
4．赤字であり、貯蓄を取り崩している
5．赤字であり、借金をして生活している
6．その他（　　　　　　　　）
7．わからない

問 20 現在の家計について、新型コロナウイルス感染拡大前の 2020 年 1 月頃と比べて、どう感じていますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．今の方が大変ゆとりがある
2．今の方がややゆとりがある
3．変わらない
4．今の方がやや苦しい
5．今の方が大変苦しい
6．わからない

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業※の利用状況についてうかがいます

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、幼稚園や保育園など、月単位で定期的に利用している施設や事業を指します。

問 21 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．利用している ➡ 問21-1へ
2．利用していない ➡ 問21-4へ

問 21-1 **問 21 で「1．利用している」に○をつけた方にうかがいます。**

宛名のお子さんは、平日どのような定期的な教育・保育を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業について、あてはまる番号すべてに○をつけ、「1」～「11」に○をつけた方は、施設名を（　　）内にご記入ください。
また、○をつけた事業について、現在の利用状況と本来利用したい希望時間等を（　　）内に数字でご記入ください。（時間は 24 時間制でお答えください）

※教育・保育事業の内容は、別紙の「回答のための参考資料」の 1 頁を参考にしてください。

教育・保育事業（あてはまる番号すべてに○）	項目	現在の利用状況	本来利用したい希望時間等
1．区立幼稚園（通常の教育時間の利用） ➡ 施設名（　　　）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
2．私立幼稚園（通常の教育時間の利用） ➡ 施設名（　　　）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
3．幼稚園の預かり保育（通常の教育時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） ➡ 施設名（　　　）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
4．区立認可保育園 ➡ 施設名（　　　）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
5．私立認可保育園 ➡ 施設名（　　　）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時

次頁に続きます

教育・保育事業（あてはまる番号すべてに○）	項目	現在の利用状況	本来利用したい希望時間等
6．認定こども園 ➡ 施設名（　　　）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
7．小規模保育事業所 ➡ 施設名（　　　）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
8．港区保育室 ➡ 施設名（　　　）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
9．認証保育所 ➡ 施設名（　　　）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
10．ベビーホテルなどの認可外保育施設 ➡ 施設名（　　　）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
11．インターナショナルスクール ➡ 施設名（　　　）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
12．定期利用保育（みなと保育サポート…）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
13．居宅訪問型保育や派遣型一時保育（ベビーシッターや子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
14．家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
15．ファミリー・サポート・センター（育児サポート子かるなど事業などの地域住民による子どもの預かりサービス）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
16．児童発達支援センター（みなと）など	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時
17．その他（　　　）	1週あたり	（　　）日	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間 （　）時～（　）時	（　　）時間 （　）時～（　）時

問 21-2 **問 21 で「1．利用している」に○をつけた方にうかがいます。**
現在利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．港区内
2．港区外

問21-3　問21で「1．利用している」に○をつけた方にうかがいます。

定期的な教育・保育事業を利用されている主な理由はどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．子どもの教育や発達のため
2．保護者が、現在就労しているため
3．保護者が、就労予定がある／求職中であるため
4．保護者が、家族・親族などを介護しているため
5．保護者が、病気や障害があるため
6．保護者が、学生であるため
7．その他（　　）

問21-4　問21で「2．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．（父親か母親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2．祖父母等の親族がみているので、利用する必要がない
3．知人・友人がみているので、利用する必要がない
4．利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5．利用したいが、経済的な理由で利用が難しい
6．利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件があわない
7．利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8．子どもがまだ小さいため、利用する必要がない
→（　　）歳位になったら利用しようと考えている
9．その他（　　）

【すべての方にうかがいます】

問22　現在、利用している、利用していないに関わらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、あてはまる番号すべてに○をつけ、「1」～「11」に○をつけた方は、施設名を（　）内にご記入ください。
また、○をつけた事業について、希望時間等を（　）内に数字でご記入ください。
（時間は24時間制でお答えください）
※教育・保育事業の内容は、同封の「回答のための参考資料」の1頁を参考にしてください。

教育・保育事業（あてはまる番号すべてに○）	項目	利用したい希望時間等
1．区立幼稚園（通常の教育時間の利用）	1週あたり	（　　）日
➡ 施設名（　　）	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
2．私立幼稚園（通常の教育時間の利用）	1週あたり	（　　）日
➡ 施設名（　　）	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
3．幼稚園の預かり保育（通常の教育時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	1週あたり	（　　）日
➡ 施設名（　　）	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
4．区立認可保育園	1週あたり	（　　）日
➡ 施設名（　　）	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
5．私立認可保育園	1週あたり	（　　）日
➡ 施設名（　　）	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
6．認定こども園	1週あたり	（　　）日
➡ 施設名（　　）	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
7．小規模保育事業所	1週あたり	（　　）日
➡ 施設名（　　）	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時

次頁に続きます

教育・保育事業（あてはまる番号すべてに○）	項目	利用したい希望時間等
8．港区保育室	1週あたり	（　　）日
➡ 施設名（　　）	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
9．認証保育所	1週あたり	（　　）日
➡ 施設名（　　）	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
10．ベビーホテルなどの認可外保育施設	1週あたり	（　　）日
➡ 施設名（　　）	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
11．インターナショナルスクール	1週あたり	（　　）日
➡ 施設名（　　）	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
12．定期利用保育（みなと保育サポート）	1週あたり	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
13．訪問型保育や就園型一時保育（ベビーシッターや子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業）	1週あたり	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
14．家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）	1週あたり	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
15．ファミリー・サポート・センター（育児サポート子むすび事業などの地域住民による子どもの預りサービス）	1週あたり	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
16．児童発達支援センター（ぱお）など	1週あたり	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時
17．その他（　　）	1週あたり	（　　）日
	1日あたり	（　　）時間　（　）時～（　）時

問22-1　問22で「1」～「3」に○をつけ、かつ「4」～「17」にも○をつけた方にうかがいます。

○をつけた事業のうち、もっとも利用を希望するのは幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）ですか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．はい　　2．いいえ

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問23 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（子育てひろば・親子が集って過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする以下のような事業）などを利用していますか。
利用している事業について、あてはまる番号すべてに○をつけ、「1」または「5」に○をつけた方は、施設名を（　）内にご記入ください。
また、○をつけた事業について、おおよその利用回数を（　）内に数字でご記入ください。

事業内容	現在の利用回数
1．子育てひろば　あっぴい ➡ 施設名（　　）	1週あたり（　　）回　もしくは 1か月あたり（　　）回　程度
2．みなと子育て支援プラザ「Poka（ぽっけ）」	1週あたり（　　）回　もしくは 1か月あたり（　　）回　程度
3．子育てひろば「あい・ぽーと」	1週あたり（　　）回　もしくは 1か月あたり（　　）回　程度
4．子ども家庭支援センターの親子ふれあいひろば	1週あたり（　　）回　もしくは 1か月あたり（　　）回　程度
5．子ども中高生プラザ、児童青少年交流プラザの乳幼児室（子育てひろば） ➡ 施設名（　　）	1週あたり（　　）回　もしくは 1か月あたり（　　）回　程度
6．児童館の乳幼児室	1週あたり（　　）回　もしくは 1か月あたり（　　）回　程度
7．その他（　　）	1週あたり（　　）回　もしくは 1か月あたり（　　）回　程度
8．利用していない	

問24 問23のような地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向について、あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用希望回数を（　）内に数字でご記入ください。

利用意向	利用希望回数
1．利用していないが、今後利用したい	1週あたり（　　）回　もしくは 1か月あたり（　　）回　程度
2．すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	1週あたり（　　）回　もしくは 1か月あたり（　　）回　程度
3．新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	

問25 下の事業等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。
※子育て支援事業に、同封の「回答のための参考資料」の2頁を参考にしてください。

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
（1）幼稚園、保育所	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
（2）障がい児保育事業・育児支援事業	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
（3）こんにちは赤ちゃん訪問事業	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
（4）Hello ママサロン・のんびりサロン	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
（5）うさちゃんクラブ	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
（6）たんぽぽクラブ	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
（7）みなと子育て支援プラザ「Poka（ぽっけ）」	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
（8）子育てひろば「あっぴい」	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
（9）子育てひろば「あい・ぽーと」	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
（10）保育園であそぼう	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
（11）外国籍の本館開放の会	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
（12）保育所や幼稚園の園庭などの開放	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
（13）子ども家庭支援センターの相談事業	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
（14）みなと保健所の相談事業	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
（15）教育センターの相談事業	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問26 宛名のお子さんについて、土曜と日曜・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）
希望がある場合は、利用したい時間帯を（　）内に数字でご記入ください。
※これらの事業の利用には、一部の利用者負担がかかります。
※教育・保育事業とは、幼稚園や保育所などの事業を指します。親戚・知人による預けは含みません。

（1）土曜
1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に1～2回は利用したい
→利用したい時間帯（　）時から（　）時まで
※24時間制でお答えください

（2）日曜・祝日
1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に1～2回は利用したい
→利用したい時間帯（　）時から（　）時まで
※24時間制でお答えください

問 26-1　**問 26 の（1）または（2）で、「3．月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**
毎週ではなく、時々利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．月に数回仕事が入るため
2．平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3．親族の介護や手伝いが必要なため
4．リフレッシュのため
5．その他（　　）

問 27　**「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。**
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望はありますか。（あてはまる番号ひとつに○）
希望がある場合は、利用したい時間帯を（　）内に数字でご記入ください。
※利用には、一定の利用者負担がかかる場合があります。

1．利用する必要はない
2．休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3．休みの期間中、週に数日利用したい

→ 利用したい時間帯
（　）時から（　）時まで
※24時間制でお答えください

問 27-1　**問 27 で「3．休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**
毎日ではなく、時々利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．週に数回仕事が入るため
2．買い物等の用事をまとめて済ませるため
3．親族の介護や手伝いが必要なため
4．リフレッシュのため
5．その他（　　）

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます
（平日の教育・保育事業を利用している方のみ）

※お子さんの病気の際に利用できる事業の内容は、同封の「回答のための参考資料」の3頁を参考にしてください。

問 28　**問 21 で、平日の定期的な教育・保育事業について「1．利用している」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 29 にお進みください。**
この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園や保育園等を利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．あった ➡ 問28-1へ　　2．なかった➡ 問29へ

問 28-1　宛名のお子さんが病気やけがで、普段利用している幼稚園や保育園等が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、「5」に○をつけた方は、施設名を（　）内にご記入ください。
また、○をつけたものについて、それぞれの日数も（　）内に数字でご記入ください。
（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）

1年間の対処方法	日数	
1．父親が仕事を休んだ	（　　）日	➡ 問28-2へ
2．母親が仕事を休んだ	（　　）日	
3．祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった	（　　）日	
4．父親または母親のうち就労していない方が、子どもをみた	（　　）日	
5．病児・病後児保育施設を利用した ➡ 施設名（　　）	（　　）日	
6．訪問型保育や派遣型一時保育（ベビーシッターや子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業）を利用した	（　　）日	➡ 問28-5へ
7．ファミリー・サポート・センター（育児サポート子むすびなど地域住民による子どもの預かりサービス）を利用した	（　　）日	
8．やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	（　　）日	
9．その他（　　）	（　　）日	

問 28-2　**問 28-1 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。**
その際、「病児・病後児のための保育サービスを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は日数について（　）内に数字でご記入ください。
※病児・病後児保育施設や訪問型保育などの利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です。

1．病児・病後児保育施設等を利用したい ➡（　　）日 ➡ 問28-3へ
2．利用したいとは思わない ➡ 問28-4へ

問 28-3　**問 28-2 で「1．病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**
上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．他の施設（例：幼稚園、保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2．小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3．地域住民が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：派遣型の一時保育等）
4．その他（　　）

問28-4　問28-2で「2．利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．病気・怪我などを他人にみてもらうのは不安
2．事業の質に不安がある
3．立地や利用可能時間などが利用しにくい
4．利用料がかかる・高い
5．利用料がわからない
6．保護者が仕事を休んで対応する
7．その他（　　）

問28-5　問28-1で「3」～「9」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
その後、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。
あてはまる番号ひとつに○をつけ、仕事を休んで子どもをみたかった日数について（　　）内に数字でご記入ください。

1．できれば仕事を休んで子どもをみたい　➡（　　）日　➡　問29へ
2．休んで子どもをみることは非常に難しい　➡　問28-6へ

問28-6　問28-5で「2．休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．子どもの病気を理由に休みがとれない
2．自営業なので休めない
3．休日数が足りないので休めない
4．その他（　　）

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

※お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等に関する事業内容は、同封の「回答のための参考資料」の3頁を参考にしてください。

問29　宛名のお子さんについて、私用、冠の通院、不定期の就労等の目的で利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を（　　）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
1．一時預かり （自宅を離れて一時的に子どもを保育する事業）	（　　）日
2．幼稚園の預かり保育 （幼稚園の教育時間を延長して行える事業のうち不定期に利用する場合のみ）	（　　）日
3．居宅訪問型保育や家庭的一時保育 （ベビーシッターや子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業）	（　　）日
4．ファミリー・サポート・センター （援助を受けたい方と援助を行うことの出来る人による子どもの預かりサービス）	（　　）日
5．トワイライトステイ（Twilightにおける夜間の一時預かり）	（　　）日
6．乳児院等（母子保健相談センター等）	（　　）日
7．その他（　　）	（　　）日
8．利用していない	➡ 問29-1へ

問29-1　問29で「8．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．利用したい事業が近くにない
2．事業の質に不安がある
3．立地や利用可能時間が利用しにくい
4．事業の利用方法（手続き等）がわからない
5．利用料がかかる・高い
6．利用料がわからない
7．自分が事業の対象者になるのかどうか、わからない
8．事業の内容を知らなかった
9．日常接していない人に預けるのが不安
10．その他（　　）
11．利用する必要がない

問30　宛名のお子さんに関して、私用（冠婚、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用したいですか。（あてはまる番号ひとつに○）また利用したい場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数を（　　）内に数字でご記入ください。
※事業の利用には、一定の利用者負担がかかります。

1．利用したい	計（　　）日	
ア．私用（冠婚、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事で）、リフレッシュ目的	年間（　　）回	➡ 問30-1へ
イ．冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	年間（　　）日	
ウ．不定期の就労	年間（　　）回	
エ．その他（　　）	年間（　　）日	
2．利用したいとは思わない		➡ 問31へ

問30-1　問30で「1．利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問30の目的でお子さんを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等）
2．小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点事業等）
3．地域住民等が子育て家庭の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4．その他（　　）

問31　この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことはありましたか。（預け先がみつからなかった場合を含みます。）（あてはまる番号ひとつに○）
あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる方法すべてに○をつけ、それぞれの日数を（　　）内に数字でご記入ください。

1．あった

1年間の対処方法	日数	
ア．祖父母等の親族・知人にみてもらった	（　　）泊	➡ 問31-1へ
イ．ショートステイ（Public）を利用した	（　　）泊	
ウ．ショートステイ（家庭的な施設）を利用した	（　　）泊	
エ．ショートステイ（東京都新宿区中央児童相談所施設）を利用した	（　　）泊	
オ．イ～エ以外の教育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（　　）泊	
カ．乳児院（障害保健相談センター等）を利用した	（　　）泊	
キ．やむを得ず子どもを同伴させた	（　　）泊	
ク．やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	（　　）泊	
ケ．その他（　　）	（　　）泊	

2．なかった

問31-1　問31で「1．あった　ア．祖父母等の親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族・知人にお願いすることは、どのくらいの困難度でしたか。
（あてはまる番号ひとつに○）

1．非常に困難　　2．どちらかといえば困難　　3．特に困難ではない

宛名のお子さんの小学校入学後の過ごし方についてうかがいます

※放課後の過ごし方を支援する事業等については、同封の「『日曜のための事業説明』の4頁を参照してください。

問32　宛名のお子さんについて、希望する小学校入学先はどれですか。（あてはまる番号ひとつに○）
また、学校名を（　　）内にご記入ください。

希望する入学先	希望する学校名
1．区立小学校（イを除く）	（　　）
2．国立、私立の小学校	（　　）
3．特別支援学校	（　　）
4．区立小学校の特別支援学級	（　　）
5．その他（区外の区立小学校等、インターナショナルスクールなど）	（　　）

問33　宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）について、あてはまる番号すべてに○をつけ、「4」～「7」に○をつけた方は、施設名を（　　）内にご記入ください。
また、○をつけたものについて、希望する週あたりの日数を（　　）内に数字でご記入ください。

（1）小学校低学年（1－3年生）

場所	過ごさせたい日数
1．自宅	週（　　）日くらい
2．祖父母や知人・友人宅	週（　　）日くらい
3．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい
4．児童館・子ども中高生プラザ（学童クラブ以外の一般利用） ➡ 施設名（　　）	週（　　）日くらい
5．放課GO→・放課GO→クラブ （学童クラブを除く。月～金17時まで） ➡ 施設名（　　）	週（　　）日くらい
6．区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む） ➡ 施設名（　　）	週（　　）日くらい ➡下校から（　　）時まで
7．私立（民設民営）の学童クラブ ➡ 施設名（　　）	週（　　）日くらい ➡下校から（　　）時まで
8．放課後等デイサービス	週（　　）日くらい
9．その他（公園など）	週（　　）日くらい
10．未定	

（2）小学校高学年（4～6年生）

場所	過ごさせたい日数
1．自宅	週（　　）日くらい
2．祖父母や知人・友人宅	週（　　）日くらい
3．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい
4．児童館・子ども中高生プラザ（学童クラブ以外の一般利用） ➡ 施設名（　　）	週（　　）日くらい
5．放課GO→・放課GO→クラブ （学童クラブを除く。月～金17時まで） ➡ 施設名（　　）	週（　　）日くらい
6．区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む） ➡ 施設名（　　）	週（　　）日くらい ➡下校から（　　）時まで
7．私立（民設民営）の学童クラブ ➡ 施設名（　　）	週（　　）日くらい ➡下校から（　　）時まで
8．放課後等デイサービス	週（　　）日くらい
9．その他（公園など）	週（　　）日くらい
10．未定	

問34　問33で「6．区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）」または「7．私立（民設民営）の学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜、日曜・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。
（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は、利用したい日数と時間帯を（　　）内に数字でご記入ください。
（時間は24時間制でお答えください）
※事業の利用には、一定の利用者負担がかかります。

（1）土曜	（2）日曜・祝日
1．低学年（1～3年生）の間は利用したい 2．高学年（4～6年生）まで利用したい 3．利用する必要はない	1．低学年（1～3年生）の間は利用したい 2．高学年（4～6年生）まで利用したい 3．利用する必要はない
利用したい日数　月（　　）日程度 利用したい時間帯 （　　）時から（　　）時まで	利用したい日数　月（　　）日程度 利用したい時間帯 （　　）時から（　　）時まで

問35　宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は、利用したい日数と時間帯を（　　）内に数字でご記入ください。（時間は24時間制でお答えください）

1．低学年（1～3年生）の間は利用したい
2．高学年（4～6年生）まで利用したい
3．利用する必要はない

利用したい日数　週（　　）日
利用したい時間帯　（　　）時から（　　）時まで

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます

問36 現在のお子さんが生まれた時、父母のいずれかまたは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を選んでください。

（1）父親	（2）母親
1．聞いていなかった	1．聞いていなかった
2．取得した（取得中である）	2．取得した（取得中である）
3．取得していない	3．取得していない
➡取得していない理由（下からあてはまる番号すべてを選んでご記入ください）（　　）	➡取得していない理由（下からあてはまる番号すべてを選んでご記入ください）（　　）

1．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2．仕事が忙しかった
3．（産休後に）仕事に早く復帰したかった
4．仕事に戻るのが難しそうだった
5．収入減となり、経済的に苦しくなる
6．保育園などに預けることができた
7．配偶者（パートナー）が育児休業制度を利用した
8．配偶者（パートナー）が休業、祖父母等の援助にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
9．子育てや家事などを専念するために退職した
10．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
11．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
12．育児休業を取得できることを知らなかった
13．産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
14．自営業、農業者のため、育児休業の制度がなかった
15．その他（　　）

問36-1 「子どもが原則1歳（※1）になるまで育児休業給付が支給される仕組み」や「子どもが満3歳になるまでの育児休業等（※2）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み」がありますが、そのことを知っていましたか。（あてはまる番号ひとつに○）

※1…保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳
※2…法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に対する措置

1．育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2．育児休業給付のみ知っていた
3．保険料免除のみ知っていた
4．育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問36-2 問36で「2．取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

（1）父親	（2）母親
1．育児休業取得後、職場に復帰した➡ 問36-3へ	1．育児休業取得後、職場に復帰した➡ 問36-3へ
2．現在も育児休業中である ➡ 問36-9へ	2．現在も育児休業中である ➡ 問36-9へ
3．育児休業中に離職した ➡ 問37へ	3．育児休業中に離職した➡ 問37へ

問36-3 問36-2で「1．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

※年度初めの保育園入園を希望して、年度初めより前に復職して一時的に認可外保育所に入園した場合や年度初めでの入園を希望して復職したが、地域には希望する保育園に入園できなかった場合も「1」を選んでください。

（1）父親	（2）母親
1．年度初めの入園に合わせたタイミングだった	1．年度初めの入園に合わせたタイミングだった
2．年度初めの入園に合わせたタイミングではなかった	2．年度初めの入園に合わせたタイミングではなかった

問36-4 問36-2で「1．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
実際に職場復帰したのは、お子さんが何歳何か月のときでしたか。また、希望としては、お子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。お勤め先の育児休業の制度の期間内で（　）内に数字でご記入ください。

	実際	希望
（1）父親	（　　）歳（　　）か月	（　　）歳（　　）か月
（2）母親	（　　）歳（　　）か月	（　　）歳（　　）か月

問36-5 問36-2で「1．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
お勤め先に、育児のために3歳まで休職を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。（　）内に数字でご記入ください。

（1）父親	（2）母親
（　　）歳（　　）か月	（　　）歳（　　）か月

問36-6 問36-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

ア．「希望」より早く復帰した方（それぞれあてはまる番号すべてに○）

（1）父親	（2）母親
1．希望する保育園に入るため	1．希望する保育園に入るため
2．配偶者（パートナー）や祖父母の希望があったため	2．配偶者（パートナー）や祖父母の希望があったため
3．経済的な理由で早く復帰する必要があった	3．経済的な理由で早く復帰する必要があった
4．人事異動や発令の前日の時期に合わせるため	4．人事異動や発令の前日の時期に合わせるため
5．その他（　　）	5．その他（　　）

イ．「希望」より遅く復帰した方（それぞれあてはまる番号すべてに○）

（1）父親	（2）母親
1．希望する保育園に入れなかったため	1．希望する保育園に入れなかったため
2．自分や子どもなどの体調が芳しくなかったため	2．自分や子どもなどの体調が芳しくなかったため
3．配偶者（パートナー）や家族の希望があったため	3．配偶者（パートナー）や家族の希望があったため
4．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5．子どもをみてくれる人がいなかったため	5．子どもをみてくれる人がいなかったため
6．その他（　　）	6．その他（　　）

問36-7　問36-2で「1．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を利用しましたか。
（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

（1）父親	（2）母親
1．利用する必要がなかった	1．利用する必要がなかった
2．利用した	2．利用した
3．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）➡ 問36-8へ	3．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）➡ 問36-8へ

問36-8　問36-7で「3．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。
短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。（それぞれあてはまる番号すべてに○）

短時間勤務制度を利用しなかった理由	（1）父親	（2）母親
1．職場に短時間勤務制度が取りにくい雰囲気があった	1	1
2．仕事がやしかった	2	2
3．短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	3	3
4．短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる	4	4
5．配偶者（パートナー）が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5	5
6．配偶者（パートナー）が休職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	6	6
7．子育てや家事に専念するため退職した	7	7
8．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	8	8
9．短時間勤務制度が利用できることを知らなかった	9	9
10．その他（　　）	10	10

問36-9　問36-2で「2．現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

（1）父親	（2）母親
1．1歳になるまで育児休業を取得したい	1．1歳になるまで育児休業を取得したい
2．1歳になる前に復帰したい	2．1歳になる前に復帰したい
3．1歳以降も育児休業を取得したい	3．1歳以降も育児休業を取得したい

問37　子育てと仕事の両立のために、職場にどのようなことを望みますか。（あてはまる番号3つまで○）

1．妊娠中や育児期間中の勤務軽減（フレックスタイム制度や短時間勤務制度など）
2．産前産後の休暇が十分に取れる環境
3．育児休業期間にある程度の給与保障がされる制度
4．育児休業期間が1年を超えて取れる制度
5．子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇が取れる制度
6．男性も育児休業制度が利用できるなど、子育てに男性も参加できる環境づくり
7．女性の再雇用制度
8．テレワークなどの在宅勤務制度
9．その他（　　）

子育ての環境や支援全般についてうかがいます

問38　あなた（宛名のお子さんの保護者）にとって、理想的な子どもの数を（　　）内に数字でご記入ください。

（　　）人

問38-1　現在いらっしゃるお子さんを含んだ、実際に持つつもりの子どもの数を（　　）内に数字でご記入ください。

（　　）人

問38-2　問38-1の実際に持つつもりの子どもの数が、問38の理想的な子どもの数より少ない方にうかがいます。
実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはどうしてですか。
（あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由に◎）

	少ない理由
あてはまる番号すべてに○をつけ、最も重要な理由には◎をつける	1．出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから
	2．将来的に子育てや教育にお金がかかるから
	3．家が狭いから
	4．幼稚園・保育園などの子どもの預け先がないから
	5．自分や配偶者（パートナー）の仕事に支障が出るから
	6．自分や夫婦の生活を大切にしたいから
	7．家庭内の人間関係が良好ではないから
	8．配偶者（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから
	9．育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから
	10．将来的に家族の介護の負担が発生・増加する恐れがあるから
	11．妊娠することやご育てをすることに関係した不安があるから
	12．健康上の理由から
	13．ほしいけれどもできないから
	14．高齢で産むのはいやだから
	15．配偶者（パートナー）が望まないから
	16．その他（　　）

問39　当区の子育て環境全般と教育・保育事業（サービス内容について）への満足度について、お答えください。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

	サービス内容					利用していない
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	
（1）当区の子育て環境	1	2	3	4	5	
（2）幼稚園	1	2	3	4	5	6
（3）保育園	1	2	3	4	5	6
（4）地域子ども・子育て支援事業（子育てひろば、一時預かり、病児病後児保育）	1	2	3	4	5	6

問40　これからも港区に住み続けたいと思いますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．子どもの保育園・幼稚園の入園前まで住み続けたい
2．子どもの保育園・幼稚園の卒園まで住み続けたい
3．子どもの小学校卒業まで住み続けたい
4．子どもの中学校卒業まで住み続けたい
5．子どもの高等学校卒業まで住み続けたい
6．子どもの大学卒業まで住み続けたい
7．ずっと住み続けたい
8．その他（　　）

保護者ご自身の状況についてうかがいます

【問41から問47は、あなた（宛名のお子さんの保護者）自身のことについてお答えください】

問41　あなたの年齢を（　　）内に数字でご記入ください。（令和5年4月1日現在）

（　　）歳

問42　あなたが普段自宅にいるときによくしていることは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．テレビを見る
2．本・雑誌・マンガを読む
3．新聞を読む
4．音楽を聞く
5．ゲームをする
6．勉強をする
7．仕事をする
8．家事をする
9．育児をする
10．ウェブサイト（電子掲示板、ブログ含む）を見る・書き込みをする
11．YouTubeなどの動画サイトを見る
12．LINEやメールをする
13．X（旧Twitter）やInstagramなどのSNSを見る・書き込みをする
14．その他（　　）

問43　あなたが、普段の生活で居心地がよいと感じる場所はどこですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．自分の部屋
2．自宅のリビング、居間など
3．友人の家
4．公園
5．ファーストフード店、ファミレス、コンビニ、カフェ
6．ゲームセンター、カラオケボックス、ネットカフェ、マンガ喫茶
7．本屋、CD・DVDショップ
8．ショッピングモール
9．地域のスポーツクラブや民間のスポーツジム
10．区立図書館
11．港区スポーツセンター
12．その他区立の公共施設（　　）
13．インターネット上のオンライン空間（SNSやオンラインゲームなど）
14．オンラインコミュニティ（オンラインサロンなど）
15．その他（　　）
16．居心地がよいと感じる場所はない

問44　次の項目について、あなたはどのように感じますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

	そう思う	どちらかというとそう思う	どちらかというとそう思わない	そう思わない
（1）今の自分が好きだ	1	2	3	4
（2）今、自分はやせだ	1	2	3	4
（3）今の自分に満足している	1	2	3	4
（4）自分は役に立たないと感じる	1	2	3	4
（5）自分は独立していると感じる	1	2	3	4

問45　あなたは、現在、子育て以外の悩みはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．家事
2．お金のこと（夫食住を含む）
3．自分の身体のこと
4．自分の将来
5．仕事・就職
6．地域活動（町内会・自治会等）
7．配偶者（パートナー）との関係
8．親、親族との関係
9．介護
10．友人関係
11．職場の人間関係
12．インターネット上の人間関係
13．その他（　　）
14．悩んでいることはない

問46　あなたは、普段子育て以外の悩みごとがあるとき、誰（どこ）に相談しますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．配偶者（パートナー）
2．父母
3．その他の親族
4．知人・友人
5．職場の上司・同僚
6．カウンセラー、かかりつけの医師　➡ 問47へ
7．区役所や公共施設の窓口・職員
8．民間の相談機関
9．インターネットの掲示板や相談サイト
10．インターネット上の知人・友人
11．その他（　　）

12．相談しない　➡ 問46-1へ

問46-1　問46で「12．相談しない」に○をつけた方にうかがいます。
相談しない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．相談するほどのことではないから
2．悩みを知られたくないから
3．相談するのが面倒だから
4．何を聞かれるかが心配だから
5．うまく伝えられないから
6．相談していることを知られたくないから
7．相談しても解決しないと思うから
8．相談する相手がいないから
9．その他（　　）

問 47　区役所や公共施設に相談するとしたら、どのようなことを望みますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．親身に聞いてくれる
2．自分のペースでゆっくりと段階的な支援をしてくれる
3．医学的な助言をもらえる
4．精神科医・心理学の専門家がいる
5．同じ悩みを持つ人と出会える
6．匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる
7．無料で相談できる
8．自宅から近い
9．夜間も相談できる
10．電話で相談できる
11．スマートフォンやパソコン等のメールで相談できる
12．LINE や X（旧 Twitter）などの SNS で相談できる
13．その他（　　）

問 48　最後に、港区の教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援、子ども・若者の施策に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。

調査票を同封の返信用封筒に入れて、**11月9日（木）まで**に郵送（投函）してください（切手は不要です）。

また、個人情報保護の観点から、調査票の封筒に、お名前やご住所等をお書きにならないでください。

ー悩みや不安を抱えている方へー

各種相談窓口については、右の二次元コード（QRコード）からご覧いただけます。
相談機関一覧（港区ホームページ）

港区子ども・若者・子育て支援に関する実態調査

調査票

（小学生の保護者用）

※別紙「一回答方法一」に記載されているIDを右の枠内にご記入ください。

ID記入欄

お住まいの地域についてうかがいます

問1　お住まいの地域はどこですか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．芝	7．浜松町	13．麻布永坂町	19．麻布十番	25．高輪
2．海岸	8．芝大門	14．南麻布	20．東麻布	26．白金
3．東新橋	9．芝公園	15．元麻布	21．元赤坂	27．白金台
4．新橋	10．虎ノ門	16．西麻布	22．赤坂	28．芝浦
5．西新橋	11．愛宕	17．六本木	23．南青山	29．港南
6．三田	12．麻布霞穴町	18．麻布台	24．北青山	30．台場

問1-1　お住まいの丁目を（　　）内に数字でご記入ください。

（　　）丁目

封筒の宛名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます

問2　宛名のお子さんの学年を（　　）内に数字でご記入ください。

小学校（　　）年生

問3　宛名のお子さんのきょうだいは何人いますか。
宛名のお子さんを含めた人数とそれぞれの生まれた年と月を（　　）内に数字でご記入ください。
記入欄が不足する場合は余白を適宜ご利用ください。

きょうだい数　（　　）人
きょうだいの生年月　1人目（　　）年（　　）月生まれ
2人目（　　）年（　　）月生まれ
3人目（　　）年（　　）月生まれ
※西暦でお答えください

問4　この調査票に回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
（あてはまる番号ひとつに○）

1．父親　2．母親　3．その他（　　）

問5　宛名のお子さんとご両親の同居状況についてうかがいます。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

（1）父親	（2）母親
1．一緒に住んでいる	1．一緒に住んでいる
2．単身赴任や入院などで別に住んでいる	2．単身赴任や入院などで別に住んでいる
3．別居している	3．別居している
4．死亡、離婚、未婚などでいない	4．死亡、離婚、未婚などでいない

問6　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。なお、続柄はすべてお子さんからみた関係です。（あてはまる番号ひとつに○）

1．父母ともに　3．主に母親　5．その他（　　）
2．主に父親　4．主に祖父母

問7　あなた（宛名のお子さんの保護者）のお住まいをお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

1．持家（一戸建て）　5．都営・区営・区立住宅
2．持家（マンション）　6．UR（旧公団）・公社の賃貸住宅
3．借家（一戸建て）　7．社宅・公務員宿舎
4．民間の賃貸マンション・アパート　8．その他（　　）

問8　あなた（宛名のお子さんの保護者）は、港区に住んで何年になりますか。宛名のお子さんの保護者のうち、港区での居住期間が長い方についてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

1．1年未満　4．5～10年未満　7．生まれてからずっと港区に住んでいる
2．1～3年未満　5．10～20年未満
3．3～5年未満　6．20年以上

問8-1　あなた（宛名のお子さんの保護者）が、港区に住むことになったきっかけは何ですか。
（あてはまる番号ひとつに○）

1．子どもの出産を機に転入した
2．保育園・幼稚園への入園のために転入した
3．小学校への入学のために転入した
4．インターナショナルスクールに入るために転入した
→ 問8-2へ

5．子どもの出産前から住んでいる
6．その他（　　）
7．特に理由はない
→ 問9へ

問8-2　問8-1で「1」～「4」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
次のうち、あてはまる理由があればお選びください。（あてはまる番号すべてに○）

1．児童用助成があるから
2．母子保健事業が充実しているから
3．保育料助成があるから
4．第２子以降の保育料が無料だから
5．教育・保育施設に空きがあり、入園させやすいから
6．入園したい保育園・幼稚園があるから
7．入学したい小学校があるから
8．入りたいインター・ナショナルスクールがあるから
9．職場が近いから
10．治安が良く、子どもにとって安全な環境だから
11．子育てに協力してくれる親族がいるから
12．その他（　　）
13．特に理由はない

宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問9　日頃、保護者以外に宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．定期的に祖父母等の親族にみてもらえる
2．緊急時もしくに用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる　➡ 問9-1へ
3．定期的に子どもをみてもらえる知人・友人がいる
4．緊急時もしくに用事の際にはこどもをみてもらえる知人・友人がいる　➡ 問9-2へ
5．いずれもいない　➡ 問10へ

問9-1　問9で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
（あてはまる番号すべてに○）

1．祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2．祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である
3．祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である
4．自分たち親の立場として、負担をかけていることから苦しい
5．子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6．その他（　　）

問9-2　問9で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。
知人・友人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
（あてはまる番号すべてに○）

1．知人・友人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2．知人・友人の身体的負担が大きく、心配である
3．知人・友人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である
4．自分たち親の立場として、負担をかけていることから苦しい
5．子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6．その他（　　）

問10　子育てに関して、日頃、悩んでいることや気になることはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．発育・発達、病気、障害に関すること　➡ 問10-1へ
2．食事や栄養に関すること
3．子育ての方法がよくわからないこと
4．子どもとの接し方に自信が持てないこと
5．子どもとの時間を十分にとれないこと
6．話し相手や相談相手がいないこと
7．仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
8．子どもの教育に関すること
9．友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
10．学校生活などの問題に関すること
11．子育てに関して配偶者（パートナー）の協力が少ないこと
12．子育てに関して配偶者（パートナー）と意見が合わないこと
13．自分の子育てについて、親戚・近隣の人・職場などまわりの目が気になること
14．配偶者（パートナー）以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15．子どもを怒りすぎているような気がすること
16．子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
17．地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと
18．その他（　　）
19．特にない

問10-1　問10で「1．発育・発達、病気、障害に関すること」に○をつけた方にうかがいます。
あてはまるものをお答えください。（あてはまる番号すべてに○）
また、「1」～「3」に○をつけた方は、（　　）内に数字でご記入ください。

1．身体障害者手帳（　　）級
2．療育手帳（　　）度
3．精神障害者保健福祉手帳（　　）級
4．難病
5．高次脳機能障害
6．発達障害
7．医療的ケア（たん吸引、経管栄養、酸素吸入等）
8．定期的な服薬や自己注射
9．未熟児、低体重
10．言語発達に関する不安
11．運動発達に関する不安
12．多動や衝動性等行動に関する不安
13．友人関係等コミュニケーションに関する不安
14．その他（　　）

問11 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人（場所）はいますか（ありますか）。
（あてはまる番号ひとつに○）

1．いる／ある ➡ 問11-1へ　　2．いない／ない ➡ 問12へ

問11-1 問11で「1．いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．配偶者（パートナー）
2．父母（子どもの祖父母）
3．その他の親族
4．友人・知人
5．子育て仲間
6．職・習い事の先生
7．かかりつけの医師
8．民生委員・児童委員
9．小学校の先生・スクールカウンセラー
10．子ども家庭支援センター
11．児童発達支援センター（ぱお）
12．児童館・学童クラブ
13．保健所
14．教育センター
15．区役所の相談機関
16．インターネットの子育て情報サイト
17．その他（　　）

問12 日頃、子育てを行うにあたり、孤立感を感じることはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．ある
2．ときどきある
3．あまりない
4．ない

問13 子育てについて、地域の人（近所の人、町内会などの知人、習い事での知人など）からのサポートがあればよいと感じたことはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．感じたことがある　　2．感じたことはない　　3．わからない

問14 あなたは、地域の人からのサポートや地域活動について、どのようなものがあればよいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．子育て中の親子同士が交流できる地域活動
2．子育ての悩みを気軽に相談できる地域コミュニティ
3．同年代の子ども同士が交流できる地域活動
4．異世代の子どもや高齢者など世代間の交流ができる地域活動
5．子どもに遊び、勉強、スポーツ等を教えてくれる地域活動
6．買い物の間や不意の外出の時などに子どもを預かってくれる地域活動
7．交通安全や犯罪防止のためのパトロールをする地域活動
8．公園・道路の清掃等の美化活動
9．その他（　　）
10．特にない

宛名のお子さんの保護者の就労・家計状況についてうかがいます

問15 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

（1）父親［母子家庭の場合は記入は不要です］（あてはまる番号ひとつに○）

1．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
2．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
3．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育児短時間勤務中である
4．パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
5．パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である

➡ 問(1)-1, (1)-2へ

6．以前は就労していたが、現在は就労していない
7．これまで就労したことがない

➡ 問(2)へ

（1）-1 （1）で「1」～「5」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
1週あたりの「就労日数」及びそのうちの「在宅勤務日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたりの就労日数（　　）日　うち在宅勤務日数（　　）日
1日あたりの就労時間（　　）時間

（1）-2 （1）で「1」～「5」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時間と帰宅時間をお答えください。
時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
自営業や在宅勤務の場合は、仕事を開始する時間と終了する時間についてお答えください。

家を出る時間　：（　　）時（　　）分
帰宅時間　　：（　　）時（　　）分　※24時間制でお答えください

（2）母親［父子家庭の場合は記入は不要です］（あてはまる番号ひとつに○）

1．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育児短時間就業中である
4．パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
5．パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

➡ 問(2)-1、(2)-2へ

6．以前は就労していたが、現在は就労していない
7．これまで就労したことがない

➡ 問16へ

（2）-1　（2）で「1」～「5」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週あたりの「就労日数」及びそのうちの「在宅勤務日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたりの就労日数（　　）日　うち在宅勤務日数（　　）日
1日あたりの就労時間（　　）時間

（2）-2　（2）で「1」～「5」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

自営業や在宅勤務の場合は、仕事を開始する時間と終了する時間についてお答えください。

家を出る時間　：（　　）時（　　）分
帰宅時間　　：（　　）時（　　）分　※24時間制でお答えください

問16　問15の（1）または（2）で、「4」または「5」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問17へお進みください。

フルタイムへの転換希望にありますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

(1)父親	1．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある 2．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）の就労を続けることを希望 4．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）をやめて子育てや家事に専念したい
(2)母親	1．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある 2．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）の就労を続けることを希望 4．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）をやめて子育てや家事に専念したい

問17　問15の（1）または（2）で、「6．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「7．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問18へお進みください。

就労したいという希望はありますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

また、「3．すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方は、希望する就労形態（それぞれの欄に○はひとつだけ）と1週あたり日数、1日あたりの時間数をご記入ください。

(1)父親	1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2．1年より先、一番下のこどもが（　　）歳になったころに就労したい 3．すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ➡希望する就労形態　ア．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） イ．パート・アルバイト等（「ア．フルタイム」以外） ➡1週あたり（　　）日　1日あたり（　　）時間
(2)母親	1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2．1年より先、一番下のこどもが（　　）歳になったころに就労したい 3．すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ➡希望する就労形態　ア．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） イ．パート・アルバイト等（「ア．フルタイム」以外） ➡1週あたり（　　）日　1日あたり（　　）時間

【すべての方にうかがいます】

問18　貴方のお子さんの世帯全体の年収（税込）は、およそどれくらいですか。仕事による収入と仕事外の収入を合わせてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

1．200万円未満	6．700～1,000万円未満	11．5,000～1億円未満
2．200～300万円未満	7．1,000～1,500万円未満	12．1億円以上
3．300～400万円未満	8．1,500～2,000万円未満	13．わからない
4．400～500万円未満	9．2,000～3,000万円未満	
5．500～700万円未満	10．3,000～5,000万円未満	

問19　貴方の家計について、最も近いものをお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

1．黒字であり、毎月貯蓄をしている	5．赤字であり、借金をして生活している
2．黒字であるが、貯蓄はしていない	6．その他（　　）
3．赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	7．わからない
4．赤字であり、貯蓄を取り崩している	

問20　貴方の家計について、新型コロナウイルス感染拡大前の2020年1月頃と比べて、どう感じていますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．今の方が大変ゆとりがある	4．今の方がやや苦しい
2．今の方がややゆとりがある	5．今の方が大変苦しい
3．変わらない	6．わからない

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます

※お子さんの病気の際に利用できる事業の内容は、同封の「回答のための参考資料」の1頁を参考にしてください。

問21　この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．あった ➡ 問21-1へ　　2．なかった ➡ 問22へ

問21-1　この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（　）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）

1年間の対処方法	日数	
1．父親が仕事を休んだ	（　　）日	➡ 問21-2へ
2．母親が仕事を休んだ	（　　）日	
3．祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった	（　　）日	➡ 問21-5へ
4．父親または母親のうち就労していない方が、子どもをみた	（　　）日	
5．病児・病後児保育（子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業）を利用した	（　　）日	
6．ファミリー・サポート・センター（有償サポート・子育て援助など地域住民による子どもの預かりサービス）を利用した	（　　）日	
7．やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	（　　）日	
8．その他（　　）	（　　）日	

問21-2　問21-1で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

その際、「病児・病後児のための保育サービスを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は日数について（　）内に数字でご記入ください。

※病児・病後児保育施設の利用には、　　の利用料がかかり、利用前でかかりつけ医の受診が必要です。

1．病児・病後児保育施設等を利用したい ➡（　　）日 ➡ 問21-3へ
2．利用したいとは思わない ➡ 問21-4へ

問21-3　問21-2で「1．病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．他の施設（例：幼稚園、保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2．小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3．地域住民が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：家庭型の一時保育等）
4．その他（　　）

問21-4　問21-2で「2．利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2．事業の質に不安がある
3．立地や利用可能時間などが利用しにくい
4．利用料がかかる・高い
5．利用料がわからない
6．保護者が仕事を休んで対応する
7．その他（　　）

問21-5　問21-1で「3」～「8」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、仕事を休んで子どもをみたかった日数について（　）内に数字でご記入ください。

1．できれば仕事を休んで子どもをみたい ➡（　　）日 ➡ 問22へ
2．休んで子どもをみることは非常に難しい ➡ 問21-6へ

問21-6　問21-5で「2．休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．子どもの看護を理由に休みがとれない
2．自営業なので休めない
3．休暇日数が足りないので休めない
4．その他（　　）

宛名のお子さんが不定期に、または宿泊を伴って利用する事業についてうかがいます

※お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等に関する事業内容は、同封の「回答のための参考資料」の1頁を参考にしてください。

問22　宛名のお子さんについて、冠婚、葬の通院、不定期の就労等の目的で利用している事業はありますか。ある場合に、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を（　）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）	
1．一時預かり（ちい・ぱーと）（理由を問わずに一時的に子どもを保育する事業）	（　　）日	➡ 問23へ
2．病児・病後児保育（子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業）	（　　）日	
3．ファミリー・サポート・センター（有償サポート・子育て援助等の地域住民による子どもの預かりサービス）	（　　）日	
4．トワイライトステイ（Friiseにおける夜間の一時預かり）	（　　）日	
5．短期入所（原則は児童福祉センター等）	（　　）日	
6．その他（　　）	（　　）日	
7．利用していない		

問22-1　問22で「7．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．利用したい事業が近くにない
2．事業の質に不安がある
3．立地や利用可能時間が利用しにくい
4．事業の利用方法（手続き等）がわからない
5．利用料がかかる、高い
6．利用料がわからない
7．自分も事業の会員になるのかどうか、わからない
8．事業の内容を知らなかった
9．日常接していない人に預けるのが不安
10．その他（　　）
11．利用する必要がない

問23 宛名のお子さんに関して、私用（冠婚、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で、**宿泊**を利用したいですか。（あてはまる番号ひとつに○）また利用したい場合は、あてはまる記号すべてに○をつけ、必要な日数を（　）内に数字でご記入ください。

※宿泊の利用には、一定の利用者負担がかかります。

1．利用したい		計（　）日
	ア．私用（冠婚、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の病い等）、リフレッシュ目的	年間（　）日
	イ．親の通院、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	年間（　）日
	ウ．パート等の就労	年間（　）日
	エ．その他（　　）	年間（　）日
2．利用したいとは思わない		

問24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことはありましたか。（預け先がみつからなかった場合を含みます。）（あてはまる番号ひとつに○）

あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を（　）内に数字でご記入ください。

1．あった

1年間の対処方法	日数	
ア．祖父母等の親族・知人にみてもらった	（　）泊	➡ 問24-1へ
イ．ショートステイ（Public）を利用した	（　）泊	
ウ．保育入所（保育所・認定こども園・センター等）を利用した	（　）泊	
エ．やむを得ず子どもを同行させた	（　）泊	
オ．やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	（　）泊	
カ．その他（　　）	（　）泊	

2．なかった

問24-1 問24で「1．あった　ア．祖父母等の親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族・知人にお願いすることは、どのくらいの困難度でしたか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．非常に困難　　2．どちらかといえば困難　　3．特に困難ではない

宛名お子さんの小学校での放課後の過ごし方についてうかがいます

※放課後の過ごし方を支援する事業内容は、同封の「回答のための参考資料」の2頁を参照してください。

問25 宛名のお子さんが通学している小学校はどれですか。（あてはまる番号ひとつに○）
また、学校名を（　）内にご記入ください。

通学先	学校名
1．港区立小学校（4を除く）	（　　）
2．国立、私立の小学校	（　　）
3．特別支援学校	（　　）
4．港区立小学校の特別支援学級	（　　）
5．その他（港区以外の区立小学校等、インターナショナルスクールなど）	（　　）

問26 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、「4」～「7」に○をつけた方は、施設名を（　）内にご記入ください。また、○をつけたものについて、週あたりの日数を（　）内に数字でご記入ください。

場所	過ごしている日数
1．自宅	週（　）日くらい
2．祖父母や知人・友人宅	週（　）日くらい
3．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　）日くらい
4．児童館・子ども中高生プラザ（学童クラブ以外の一般利用） ➡ 施設名（　　）	週（　）日くらい
5．放課後ひろば・放課後ひろばクラブ（学童クラブを除く。月～金 17時まで） ➡ 施設名（　　）	週（　）日くらい
6．区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む） ➡ 施設名（　　）	週（　）日くらい ➡下校から（　）時まで
7．私立（民設民営）の学童クラブ ➡ 施設名（　　）	週（　）日くらい ➡下校から（　）時まで
8．放課後等デイサービス	週（　）日くらい
9．その他（塾など）	週（　）日くらい

【宛名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の方にうかがいます。】

問27　宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のとき、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、「4」～「7」に○をつけた方は、施設名を（　　）内にご記入ください。

場所	過ごさせたい日数
1．自宅	週（　　）日くらい
2．祖父母や知人・友人宅	週（　　）日くらい
3．習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい
4．児童館・子ども中高生プラザ （学童クラブ以外の一般利用） ➡ 施設名（　　）	週（　　）日くらい
5．放課GO→・放課GO→クラブ （学童クラブを除く。月～金 17時まで） ➡ 施設名（　　）	週（　　）日くらい
6．区立の学童クラブ （区立小学校内に併設のものを含む） ➡ 施設名（　　）	週（　　）日くらい ➡下校から（　　）時まで
7．私立（民設民営）の学童クラブ ➡ 施設名（　　）	週（　　）日くらい ➡下校から（　　）時まで
8．放課後等デイサービス	週（　　）日くらい
9．その他（公園など）	週（　　）日くらい
10．未定	

問28　**問26、問27で、「6．区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）」「7．私立（民設民営）の学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。**

宛名のお子さんについて、土曜、日曜・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。
（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は、利用したい日数と時間帯を（　　）内に数字でご記入ください。
（時間は24時間制でお答えください）
※事業の利用には、一定の利用者負担がかかります。

（1）土曜	1．低学年（1～3年生）の間は利用したい 2．高学年（4～6年生）まで利用したい 3．利用する必要はない 利用したい日数　月（　　）日程度 利用したい時間帯　（　　）時から（　　）時まで
（2）日曜・祝日	1．低学年（1～3年生）の間は利用したい 2．高学年（4～6年生）まで利用したい 3．利用する必要はない 利用したい日数　月（　　）日程度 利用したい時間帯　（　　）時から（　　）時まで

問29　**問26、問27で、「6．区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）」「7．私立（民設民営）の学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。**

宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は、利用したい日数と時間帯を（　　）内に数字でご記入ください。
（時間は24時間制でお答えください）

1．低学年（1～3年生）の間は利用したい
2．高学年（4～6年生）まで利用したい
3．利用する必要はない

利用したい日数　週（　　）日
利用したい時間帯　（　　）時から（　　）時まで

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます

問30　子育てと仕事の両立のために、職場にどのようなことを望みますか。（あてはまる番号3つまで○）

1．妊娠中や育児期間中の勤務軽減（フレックスタイム制度や短時間勤務制度など）
2．産前産後の休暇が十分に取れる制度
3．育児休業期間にある程度の給与保護がされる制度
4．育児休業期間が1年を超えて取れる制度
5．子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇が取れる制度
6．男性も育児休業制度が利用できるなど、子育てに男性も参加できる環境づくり
7．女性の再雇用制度
8．テレワークなどの在宅勤務制度
9．その他（　　）

子育ての環境や支援全般についてうかがいます

問31 あなた（宛名のお子さんの保護者）にとって、理想的な子どもの数を（　　）内に数字でご記入ください。

（　　）人

問31-1 今おいくつしゃるお子さんを含んだ、実際に持つつもりの子どもの数を（　　）内に数字でご記入ください。

（　　）人

問31-2 問31-1の実際に持つつもりの子どもの数が、問31の理想的な子どもの数より少ない方にうかがいます。

実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはどうしてですか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由に◎）

	少ない理由
あてはまる番号すべてに○をつけ、最も重要な理由には◎をつけ	1．出産・子育て費用がかさむから、収入が不安定だから
	2．将来的に子育てや教育にお金がかかるから
	3．家が狭いから
	4．保育園・保育所などの子どもの預け先がないから
	5．自分や配偶者（パートナー）の仕事に支障が出るから
	6．自分や夫婦の生活を大切にしたいから
	7．家庭内の人間関係が良好でないから
	8．配偶者（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから
	9．年収の増加、労働時間が増加することに耐えられないから
	10．将来的に社会の不安が増大・増加する見込みがあるから
	11．妊娠することや子育てをすることに関係した不安があるから
	12．健康上の理由から
	13．欲しいけれどもできないから
	14．高齢で産むのはいやだから
	15．配偶者（パートナー）が望まないから
	16．その他（　　）

問32 港区の子育て環境への満足度についてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

1．満足　2．やや満足　3．どちらでもない　4．やや不満　5．不満

問33 これからも港区に住み続けたいと思いますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．子どもの小学校卒業まで住み続けたい
2．子どもの中学校卒業まで住み続けたい
3．子どもの高等学校卒業まで住み続けたい
4．子どもの大学卒業まで住み続けたい
5．ずっと住み続けたい
6．その他（　　）

保護者ご自身の状況についてうかがいます

【問34から問40は、あなた（宛名のお子さんの保護者）自身のことについてお答えください】

問34 あなたの年齢を（　　）内に数字でご記入ください。（令和5年4月1日現在）

（　　）歳

問35 あなたが普段自宅にいるときによくしていることは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．テレビを見る
2．本・雑誌・マンガを読む
3．新聞を読む
4．音楽を聞く
5．ゲームをする
6．勉強をする
7．仕事をする
8．家事をする
9．育児をする
10．ウェブサイト（掲示板、ブログ含む）を見る・書き込みをする
11．YouTubeなどの動画サイトを見る
12．LINEやメールをする
13．X（旧Twitter）やInstagramなどのSNSを見る・書き込みをする
14．その他（　　）

問36 あなたが、普段の生活で居心地がよいと感じる場所はどこですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．自分の部屋
2．自宅のリビング、居間など
3．友人の家
4．公園
5．ファーストフード店、ファミレス、コンビニ、カフェ
6．ゲームセンター、カラオケボックス、ネットカフェ、マンガ喫茶
7．本屋、CD・DVDショップ
8．ショッピングモール
9．地域のスポーツクラブや民間のスポーツジム
10．区立図書館
11．港区スポーツセンター
12．その他区立の公共施設（　　）
13．インターネット上のオンライン空間（SNSやオンラインゲームなど）
14．オンラインコミュニティ（オンラインサロンなど）
15．その他（　　）
16．居心地がよいと感じる場所はない

問37 次の項目について、あなたはどのように感じますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

	そう思う	どちらかというそう思う	どちらかというそう思わない	そう思わない
（1）今の自分が好きだ	1	2	3	4
（2）今、自分は幸せだ	1	2	3	4
（3）今の自分に満足している	1	2	3	4
（4）自分は他人に劣っていると感じる	1	2	3	4
（5）自分は孤立していると感じる	1	2	3	4

問38　あなたは、現在、子育て以外の悩みはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．家事	8．親、親戚との関係
2．お金のこと（衣食住を含む）	9．介護
3．自分の身体のこと	10．友人関係
4．自分の将来	11．職場の人間関係
5．仕事・就職	12．インターネット上の人間関係
6．地域活動（町内会・自治会等）	13．その他（　　）
7．配偶者（パートナー）との関係	14．悩んでいることはない

問39　あなたは、普段子育て以外の悩みごとがあるとき、誰（どこ）に相談しますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．配偶者（パートナー）
2．父母
3．その他の親族
4．知人・友人
5．職場の上司・同僚
6．カウンセラー、かかりつけの医師
7．区役所や公共施設の窓口・職員
8．民間の相談機関
9．インターネットの掲示板や相談サイト
10．インターネット上の知人・友人
11．その他（　　）

→ 問40へ

12．相談しない

→ 問39-1へ

問39-1　問39で「12．相談しない」に○をつけた方にうかがいます。
相談しない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．相談するほどのことではないから	6．相談していることを知られたくないから
2．悩みを知られたくないから	7．相談しても解決しないと思うから
3．相談するのが面倒だから	8．相談する相手がいないから
4．何を聞かれるか不安だから	9．その他（　　）
5．うまく伝えられないから	

問40　区役所や公共施設に相談するとしたら、どのようなことを望みますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．親身に聞いてくれる
2．自分のペースでゆっくりと段階的な支援をしてくれる
3．医学的な助言をもらえる
4．精神科医・心理学の専門家がいる
5．同じ悩みを持つ人と出会える
6．匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる
7．無料で相談できる
8．自宅から近い
9．夜間も相談できる
10．電話で相談できる
11．スマートフォンやパソコン等のメールで相談できる
12．LINE や X（旧 Twitter）などの SNS で相談できる
13．その他（　　）

問41　最後に、港区の教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援、子ども・若者の施策に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。

調査票を同封の返信用封筒に入れて、**11月9日（木）まで**に郵送（投函）してください（切手は不要です）。

また、個人情報保護の観点から、調査票の封筒に、お名前やご住所等をお書きにならないでください。

－悩みや不安を抱えている方へ－

各種相談窓口については、右の二次元コード（QRコード）からご覧いただけます。
相談機関一覧（港区ホームページ）

港区子ども・若者・子育て支援のアンケート

（中学生用）

※別紙「－回答方法－」に記載されているIDを右の枠内にご記入ください。

ID記入欄

あなたご自身やご家族について質問します

問1　お住まいの地域はどこですか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．芝	7．麻布台町	13．麻布永坂町	19．麻布十番	25．高輪
2．海岸	8．芝大門	14．南麻布	20．東麻布	26．白金
3．東新橋	9．芝公園	15．元麻布	21．元赤坂	27．白金台
4．新橋	10．虎ノ門	16．西麻布	22．赤坂	28．芝浦
5．西新橋	11．愛宕	17．六本木	23．南青山	29．港南
6．三田	12．麻布狸穴町	18．麻布谷	24．北青山	30．台場

問1-1　お住まいの町丁目を（　　）の中に数字でご記入ください。

（　　）丁目

問2　あなたは中学校何年生ですか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．1年生　　2．2年生　　3．3年生

問3　あなたはどの学校に通っていますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．港区内の公立中学校
2．港区外の公立中学校
3．私立・国立・都立の中学校
4．インターナショナルスクール
5．その他（　　）

問4　あなたの性別を教えてください。（あてはまる番号ひとつに○）

1．男　　2．女　　3．その他・答えたくない

問5　あなたが一緒に住んでいる人は誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．父親　　3．祖父　　5．きょうだい
2．母親　　4．祖母　　6．その他（　　）

問6　あなたが学校から帰ったとき、家族が家にいますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．ほとんどいる
2．ときどきいる　→ 問6-1へ
3．ほとんどいない　→ 問7へ

問6-1　問6で「1．ほとんどいる」「2．ときどきいる」に○をつけた人に質問します。
あなたが学校から帰ったとき、誰が家にいますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．父親　　3．祖父　　5．きょうだい
2．母親　　4．祖母　　6．その他（　　）

問7　あなたと家族の関係について教えてください。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
（1）家族とよく話をする	1	2	3	4
（2）家族に自分の意見を言えている	1	2	3	4
（3）家族はあなたの考えや気持ちを理解してくれる	1	2	3	4
（4）あなたが困ったときに、家族は助けてくれる	1	2	3	4

問8　家族の中に、あなたが日常的にお世話をしている人はいますか。
（ここで「お世話」とは、大人に代わって家事や家族のお世話などをすることです）
（あてはまる番号ひとつに○）

1．いる → 問8-1へ　　2．いない → 問9へ

問8-1　問8で「1．いる」に○をつけた人に質問します。
あなたがお世話をしている人は誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．父親　　3．祖父　　5．弟・妹　　7．その他（　　）
2．母親　　4．祖母　　6．兄・姉

問8-2 問8で「1．いる」に○をつけた人に質問します。
あなたは日常的にどのようなお世話をしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．家族の食事を作っている
2．きょうだいを保育園などに迎えに行っている
3．きょうだいの身のまわりのお世話をしている
4．きょうだいをお風呂に入れている
5．家の掃除をしている
6．家族の洗濯をしている
7．一人暮らしの家族のために，通院，買物，手続きなどに付き添い，通訳をしている
8．聴覚障害者の家族のために，通院，買物，手続きなどに付き添い，通訳をしている
9．疾病がある家族の通院に付き添っている
10．疾病がある家族の薬の管理をしている
11．高齢の家族の見守りをしている
12．疾病がある家族の見守りをしている
13．障害や高齢の家族の介護や入浴の手伝いをしている
14．家族の精神面のサポート（話相手を聞く、話し相手になる）をしている
15．その他（　　）

問8-3 問8で「1．いる」に○をつけた人に質問します。
あなたが誰に聞けてほしいことや、困っている支援にありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．自分の今の状況について話を聞いてほしい
2．自分と同じ環境の人と話をしたい
3．家族のお世話を経験したことのある人に話を聞いてほしい
→問8-4へ

4．家族の病気や障害、ケアについてわからないことを教えてほしい
5．自分が行っている家族のお世話を代わりにやってくれるサービスがほしい
→具体的にどのようなお世話ですか（　　）
6．家族から離れて過ごせる場所がほしい
7．勉強を教えてほしい
8．進路や将来のことについて相談にのってほしい
9．その他（　　）
10．困っている支援はない
→問9へ

問8-4 問8-3で「1」～「3」に○をつけた人に質問します。
どのような方法で話をしたり、話を聞いたりしてほしいですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1．対面で面談　2．電話　3．メール　4．LINE　5．その他のSNS

学校での生活について質問します

問9 学校は楽しいですか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．とても楽しい
2．まあまあ楽しい
3．どちらともいえない
4．あまり楽しくない
5．まったく楽しくない

問10 あなたは、これまで学校に行きたくないと思ったことはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．よくあった
2．ときどきあった
→問10-1へ

3．ほとんどない
4．一度もない
→問11へ

問10-1 問10で「1．よくあった」または「2．ときどきあった」に○をつけた人に質問します。
学校に行きたくないと思った理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．授業とうまくいかない
2．先生とうまくいかない
3．授業についていけない
4．部活動でうまくいかない
5．クラスになじめない
6．いじめや嫌がらせがある
7．自分の容貌や性格のため
8．家族や家庭の事情があるため
9．その他（　　）
10．特に理由はない、わからない

問10-2 問10で「1．よくあった」または「2．ときどきあった」に○をつけた人に質問します。
学校に行きたくないと思ったのは、いつ頃ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．小学1・2年生のころ
2．小学3・4年生のころ
3．小学5・6年生のころ
4．中学1年生のころ
5．中学2年生のころ
6．中学3年生のころ
7．わからない

問11 あなたは、家族との関わりの中で、どのように感じていますか。
（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

	そう思う	どちらかというそう思う	どちらかというそう思わない	そう思わない
(1) 親しい家族がいる	1	2	3	4
(2) 家族と年齢くらなるまで年齢がかかる	1	2	3	4
(3) 家族とうまく話せないことがある	1	2	3	4
(4) 家族から自分がどう見られているのか気になる	1	2	3	4
(5) 家族と一緒にいるよりも、一人でいる方が気が楽だ	1	2	3	4

放課後や休日の過ごし方について質問します

問12　あなたが、普段家にいるときによくしていることは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．テレビを見る
2．マンガを読む
3．新聞を読む
4．音楽を聴く
5．ゲームをする
6．勉強をする
7．家事（食事の準備、掃除、洗濯など）をする
8．ウェブサイトを見る・書き込みをする
9．YouTube などの動画サイトを見る
10．LINE やメールをする
11．エックス（旧ツイッター）、インスタグラムなどの SNS を見る・書き込みをする
12．その他（　　）

問13　あなたが、普段の生活で居心地がよいと感じる場所はどこですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．自分の部屋
2．家のリビング、居間など
3．家族の家
4．学校
5．部活動
6．塾・習い事の教室
7．公園
8．ファーストフード店、ファミレス、コンビニ、カフェ
9．ゲームセンター、カラオケボックス、ネットカフェ、マンガ喫茶
10．書店、CD・DVD ショップ
11．ショッピングモール
12．地域のスポーツクラブや民間のスポーツジム
13．図書館
14．区立スポーツセンター
15．その他区立の公共施設（　　）
16．インターネット上のオンライン空間（SNS やオンラインゲームなど）
17．オンラインコミュニティ（オンラインサロンなど）
18．その他（　　）
19．居心地がよいと感じる場所はない

問14　あなたは、普段どのようなものから情報を得ていますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．テレビ
2．ラジオ
3．新聞・雑誌
4．ニュースアプリ
5．ウェブサイトで検索する
6．エックス（旧ツイッター）、インスタグラムなどの SNS
7．YouTube などの動画サイト
8．近隣のひと
9．駅前などにあるチラシ
10．電車やバスなどの広告
11．その他（　　）

問15　あなたは現在、次のような地域の活動に参加していますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．お祭りやイベントなどの地域活動
2．地域のサークル活動
3．地域のスポーツ活動
4．町会・自治会などの地域活動
5．地域の子どもの学び相手をする活動
6．高齢者や障害者の手助けをする活動　→ 問16へ
7．外国人の手助けをする活動
8．公園やまちの清掃活動
9．地域の防犯・防災活動
10．募金活動
11．その他の活動（　　）
12．参加していない　→ 問15-1へ

問15-1　問15 で「12．参加していない」に○をつけた人に質問します。
参加していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．時間が合わないから
2．忙しいから
3．友達が参加しないから
4．どのような地域の活動があるか分からないから
5．参加する方法がわからないから
6．地域の活動に興味がないから
7．地域の活動が楽しくないから
8．その他（　　）

施設の利用状況について質問します

問16　あなたは、児童館や子ども中高生プラザ・児童館児童交流プラザによく行きますか。
（あてはまる番号ひとつに○）

1．よく利用する（週に2回以上）
2．たまに利用する（週に1回程度）
→ 問16-1へ

3．以前利用していたが、今は利用していない
4．知っているが行ったことがない
→ 問16-2へ

5．どこにあるか知らない
→ 問17へ

問16-1　問16で「1．よく利用する（週に2回以上）」「2．たまに利用する（週に1回程度）」に○をつけた人に質問します。
児童館や子ども中高生プラザなどに行く目的は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．ゲームやマンガがあるから
2．スタジオ（音楽やダンス）を利用するため
3．図書館を利用するため
4．勉強（宿題）のため
5．友達に会うため
6．施設のイベントが楽しいから
7．ひまだから、時間つぶし
8．その他（　　）

問16-2　問16で「3．以前利用していたが、今は利用していない」「4．知っているが行ったことがない」に○をつけた人に質問します。
児童館や子ども中高生プラザなどを利用しない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．場所が遠いから
2．開館日や時間帯が合わないから
3．塾や習い事、部活動などで行く時間がないから
4．知っている人がいないと行きにくいから
5．興味がないから
6．その他（　　）
7．特に理由はない

問17　あなたは、どのような場所であれば行ってみたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．いつでも行きたいときに行ける
2．一人で過ごせる
3．何もせずのんびりできる
4．ありのままでいられる、自分を否定されない
5．好きなことを自由にして過ごせる
6．新しいことややりたいことに挑戦できる
7．悩みごとの相談ができる
8．違う世代の人と出会える
9．その他（　　）
10．特にない

悩みごとや相談先について質問します

問18　次の項目について、あなたはどのように感じますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

	そう思う	どちらかというそう思う	どちらかというそう思わない	そう思わない
（1）今の自分が好きだ	1	2	3	4
（2）今、自分は幸せだ	1	2	3	4
（3）今の自分に満足している	1	2	3	4
（4）自分は役に立たないと感じる	1	2	3	4
（5）自分は自立していると感じる	1	2	3	4

問19　あなたは、今、不安や悩みごとはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．勉強や成績のこと
2．進路や将来のこと
3．友達関係のこと
4．いじめのこと
5．部活のこと
6．学校の先生のこと
7．家族との関係・親子関係のこと
8．病気や健康のこと
9．体や性のこと
10．性格のこと
11．外見のこと
12．その他（　　）
13．悩んでいることはない

問20　あなたは、悩みごとがあるとき、誰に相談しますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．父親
2．母親
3．兄弟姉妹
4．きょうだい
5．その他親戚
6．友達
7．恋人
8．学校の先生
9．スクールカウンセラー
10．部活動や習い事の指導者
11．塾の先生
12．民間団体や公共施設の窓口・職員
13．「みなと子ども相談ぷっと」
14．インターネットの掲示板や相談サイト
15．インターネットでその友達・知人
16．その他（　　）
→ 問21へ

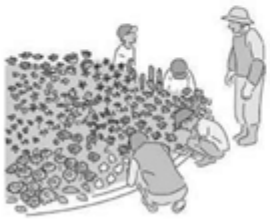
17．相談しない
→ 問20-1へ

問20-1　問20で「17. 相談しない」に○をつけた人に質問します。
相談しない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 相談するほどのことではないから
2. 悩みを知られたくないから
3. 相談するのが面倒だから
4. 何を聞かれるか不安だから
5. うまく伝えられないから
6. 相談していることを知られたくないから
7. 相談しても解決しないと思うから
8. 相談する相手がいないから
9. その他（　　）

問21　どのような方法であれば、もっと相談しやすいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 対面で面接
2. 電話
3. スマートフォンやパソコンのメール
4. LINEやエックス（旧ツイッター）などのSNS
5. インターネットの掲示板やチャット
6. その他（　　）



将来のイメージについて質問します

問22　あなたは、将来の進路について、どのように考えていますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1. 大学、短期大学、またはそれ以上の学校まで進学したい
2. 高校、高等専門学校、専門学校まで進学したい
3. 中学校を卒業したら働きたい
4. その他（　　）

→ 問22-1へ

5. わからない

→ 問23へ

問22-1　問22で「1」～「4」に○をつけた人に質問します。
その理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 希望する学校や職業があるから
2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから
4. 兄・姉がそうしているから
5. まわりの先輩や友達がそうしているから
6. 家にお金がないと思うから
7. 早く働く必要があるから
8. その他（　　）
9. 特に理由はない

問23　あなたは、将来の仕事について、どう思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 自分のやりたい仕事をしたい
2. 自分の能力を生かせる仕事をしたい
3. 社会に役立つ仕事をしたい
4. 収入の良い仕事をしたい
5. 安定している会社で働きたい
6. 働ければ、会社や仕事の内容にはこだわらない
7. 自分の能力から考えて働くことは難しいと思う
8. 職場になじめると思えない
9. 働きたいと思わない
10. わからない
11. その他（　　）

問24　あなたは、今後、進学や就職をすることについて、どう思いますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1. とても楽しみだ
2. なんとなく楽しみだ
3. なんとなく不安だ
4. とても不安だ
5. その他（　　）

問25　あなたは、将来、結婚したいですか。今の考えに最も近いものをお答えください。
（あてはまる番号ひとつに○）

1．結婚したい	4．どちらかというと結婚したくない
2．どちらかというと結婚したい	5．結婚したくない
3．どちらでもいい	6．わからない

問25-1　問25の回答について、なぜそう思いますか。その理由をご記入ください。

問26　あなたは、将来、子どもがほしいですか。今の考えに最も近いものをお答えください。
（あてはまる番号ひとつに○）
「1．子どもがほしい」に○をつけた人は、子どもの人数を（　　）の中に数字でご記入ください。

1．子どもがほしい ➡子どもの人数（　　）人	4．どちらかというと子どもはほしくない
2．どちらかというと子どもがほしい	5．子どもはほしくない
3．どちらでもいい	6．わからない

問26-1　問26の回答について、なぜそう思いますか。その理由をご記入ください。

問27　これからも葛飾区に住み続けたいと思いますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1．住み続けたいと思う
2．どちらかというと住み続けたいと思う
3．どちらかというと住み続けたいと思わない
4．住み続けたいと思わない
5．わからない

問28　最後に、葛飾区に求めることや期待することがありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。
アンケートを返信用封筒に入れて、のりやテープで封を閉じたら、
郵便ポストに、**11月9日（木）まで**に入れてください。

－悩みや不安を抱えている方へ－

各種相談窓口については、右の二次元コード（QRコード）からご覧いただけます。
相談機関一覧（葛飾区ホームページ）

港区子ども・若者・子育て支援に関する実態調査（高校生世代から39歳用）

下記のフォームにご入力をお願いします。

Q1. お住まいの地域はどこですか。 必須

地域 必須

○ 芝 ○ 海岸 ○ 東新橋 ○ 新橋 ○ 西新橋 ○ 三田 ○ 浜松町
○ 芝大門 ○ 芝公園 ○ 虎ノ門 ○ 愛宕 ○ 麻布狸穴町 ○ 麻布永坂町
○ 南麻布 ○ 元麻布 ○ 西麻布 ○ 六本木 ○ 麻布台 ○ 麻布十番
○ 東麻布 ○ 元赤坂 ○ 赤坂 ○ 南青山 ○ 北青山 ○ 高輪 ○ 白金
○ 白金台 ○ 芝浦 ○ 港南 ○ 台場

丁目 必須

○ 1丁目 ○ 2丁目 ○ 3丁目 ○ 4丁目 ○ 5丁目 ○ 6丁目
○ 7丁目 ○ 8丁目 ○ 9丁目 ○ 丁目なし

Q2. あなたは何歳ですか。（令和５年４月１日現在） 必須

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 歳

Q3. あなたの性別をお答えください。 必須

○ 男
○ 女
○ その他・答えたくない

Q4. あなたが最後に卒業（中途退学を含む）した、または現在在学している学校はどれですか。 必須

学校 必須

○ 中学校
○ 高等学校（全日制）
○ 高等学校（定時制・通信制・サポート校）
○ 専門学校
○ ４年生大学・大学院
○ 高等専門学校・短期大学
○ その他

状況 必須

○ 在学中
○ 中途退学
○ 卒業

Q5. あなたのお住まいをお答えください。 必須

○ 自分の持家（一戸建て）
○ 自分以外（親・その他）の持ち家（一戸建て）
○ 自分の持家（マンション）
○ 自分以外（親・その他）の持ち家（マンション）
○ 借家（一戸建て）
○ 民間の賃貸マンション・アパート
○ 都営・区営・区立住宅
○ ＵＲ（旧公団）・公社の賃貸住宅
○ 社宅・公務員宿舎
○ 学生寮
○ その他

Q6. あなたは、港区に住んで何年になりますか。 必須

○ １年未満
○ １～３年未満

○ 3～5年未満
○ 5～10年未満
○ 10～20年未満
○ 20年以上
○ 生まれてからずっと港区に住んでいる

Q7. 現在、あなたが一緒に住んでいる人数は、あなたを含めて何人ですか。 必須

人

Q8. Q7で「2人」以上と回答した方に伺います。
現在、あなたが一緒に住んでいる人は誰ですか。（複数回答可） 必須

□ 父親
□ 母親
□ 配偶者（パートナー）
□ きょうだい
□ 祖父母
□ その他の親戚
□ 恋人
□ 自身のお子さん
□ その他

Q9. 18歳以下の方に伺います。
家族の中に、あなたが日常的にお世話をしている人はいますか 。
（ここで「お世話」とは、大人に代わって家事や家族のお世話などをすることです） 必須

○ いる
○ いない

Q10. Q9で「（お世話をしている人が）いる」と回答した方に伺います。
あなたがお世話をしている人は誰ですか。（複数回答可） 必須

□ 父親
□ 母親
□ 祖父
□ 祖母
□ 弟・妹
□ 兄・姉
□ その他

Q11. Q9で「（お世話をしている人が）いる」と回答した方に伺います。
あなたは日常的にどのようなお世話をしていますか。（複数回答可） 必須

□ 家族の食事を作っている
□ きょうだいを保育園などに迎えに行っている
□ きょうだいの身のまわりのお世話をしている
□ きょうだいをお風呂に入れている

- ☐ 家の掃除をしている
- ☐ 家族の洗濯をしている
- ☐ 日本語が苦手な家族のために、通院、買物、手続きなどに付き添い、通訳をしている
- ☐ 聴覚障害者の家族のために、通院、買物、手続きなどに付き添い、通訳をしている
- ☐ 疾病がある家族の通院に付き添っている
- ☐ 疾病がある家族の薬の管理をしている
- ☐ 高齢の家族の見守りをしている
- ☐ 疾病がある家族の見守りをしている
- ☐ 障害や高齢の家族の排せつや入浴の手伝いをしている
- ☐ 家族の感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になる）をしている
- ☐ その他

Q12. Q9で「（お世話をしている人が）いる」と回答した方に伺います。
あなたが港区に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。（複数回答可） 必須

- ☐ 自分の今の状況について話を聞いてほしい
- ☐ 自分と同じ環境の人と話をしたい
- ☐ 家族のお世話を経験したことのある人に話を聞いてほしい
- ☐ 家族の病気や障害、ケアについてわからないことを教えてほしい
- ☐ 自分が行っている家族のお世話を代わりにやってくれるサービスがほしい
- ☐ 家族から離れて過ごせる場所がほしい
- ☐ 勉強を教えてほしい
- ☐ 進路や将来のことについて相談にのってほしい
- ☐ 必要としている支援はない
- ☐ その他

Q13. Q12で「話をしたい」「話を聞いてほしい」と回答した方に伺います。
どのような方法で話をしたり、話を聞いたりしてほしいですか。 必須

- ☐ 対面で直接
- ☐ 電話
- ☐ メール
- ☐ LINE
- ☐ その他のSNS

Q14. Q12で「お世話を代わりにやってくれるサービスがほしい」と回答した方に伺います。
具体的にどのようなサービスがほしいですか。 必須

0 / 100

Q15. あなたの家の生計を立てている方は主にどなたですか。
※主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。 必須

- ○ あなた自身
- ○ 父親
- ○ 母親
- ○ 配偶者（パートナー）
- ○ きょうだい

- ○ 自身のお子さん
- ○ その他の親戚
- ○ 生活保護を受けている

Q16. 現在の家計について、最も近いものをお答えください。 必須

- ○ 黒字であり、毎月貯蓄をしている
- ○ 黒字であるが、貯蓄はしていない
- ○ 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである
- ○ 赤字であり、貯蓄を取り崩している
- ○ 赤字であり、借金をして生活している
- ○ わからない

Q17. 現在の家計について、新型コロナウイルス感染拡大前の2020 年 1 月頃と比べて、どう感じていますか。 必須

- ○ 今の方が大変ゆとりがある
- ○ 今の方がややゆとりがある
- ○ 変わらない
- ○ 今の方がやや苦しい
- ○ 今の方が大変苦しい
- ○ わからない

Q18. あなたの現在の職業をお答えください。 必須

- ○ 学生（予備校生などを含む）
- ○ 正社員・正職員
- ○ 契約社員
- ○ 派遣社員
- ○ パート・アルバイト（学生のアルバイトは除く）
- ○ 自営業
- ○ 自由業（個人で専門知識や技術を生かした職業）
- ○ 専業主婦・主夫
- ○ 働いておらず、現在、求職活動をしている
- ○ 働いておらず、現在、求職活動をしていない
- ○ その他

Q19. Q18で「専業主婦・主夫」「働いておらず、現在、求職活動をしている」「働いておらず、現在、求職活動をしていない」と回答した方に伺います。
現在、働いていない理由は何ですか。（複数回答可） 必須

- □ 病気・ケガ、障害があるため
- □ メンタル的な問題や不安があるため
- □ 人間関係に不安があるため
- □ 希望する職種に求人がないため
- □ 労働条件・環境に関する不安があるため
- □ 就職活動の方法がわからないため
- □ どんな仕事につけばいいのかわからないため
- □ 知識・能力に自信がないため
- □ 資格試験などの準備のため
- □ やりたいことを目指して勉強中・修行中であるため
- □ ボランティアや社会貢献活動に従事しているため
- □ 独立・開業に向けた準備のため
- □ 家族の育児や介護のため
- □ 家族からの経済的支援があるため
- □ 働く意欲がわかないため

- ☐ 特に理由はない
- ☐ その他

Q20. Q18で「専業主婦・主夫」「働いておらず、現在、求職活動をしている」「働いておらず、現在、求職活動をしていない」と回答した方に伺います。
あなたは、これまで働いたことはありますか。（複数回答可） 必須

- ☐ 正社員・正職員として働いていた
- ☐ 契約社員として働いていた
- ☐ 派遣社員として働いていた
- ☐ パート・アルバイトとして働いていた（学生のアルバイトは除く）
- ☐ 自営業をしていた
- ☐ 自由業をしていた（個人で専門知識や技術を生かした職業）
- ☐ 働いたことはない
- ☐ その他

Q21. 学生以外の方に伺います。
あなたと生計をともにする世帯全体の年収（税込）は、おおよそどれくらいですか。
仕事による収入と仕事外の収入を合わせてお答えください。 必須

- ○ 収入なし
- ○ 200 万円未満
- ○ 200～300 万円未満
- ○ 300～400 万円未満
- ○ 400～500 万円未満
- ○ 500～700 万円未満
- ○ 700～1,000 万円未満
- ○ 1,000～1,500 万円未満
- ○ 1,500～2,000 万円未満
- ○ 2,000～3,000 万円未満
- ○ 3,000～5,000 万円未満
- ○ 5,000～１億円未満
- ○ １億円以上
- ○ わからない

Q22. 学生の方に伺います。
あなたは、将来の就職について、どのようにお考えですか。（複数回答可） 必須

- ☐ 自分のやりたい仕事をしたい
- ☐ 自分の能力を生かせる仕事をしたい
- ☐ 社会に役立つ仕事をしたい
- ☐ 収入の良い仕事をしたい
- ☐ 安定している企業で仕事をしたい
- ☐ 就職できれば、労働条件や企業・職種にはこだわらない
- ☐ スキルや知識の面で就職することが難しいと思う
- ☐ 職場に適応できると思えない
- ☐ 就職したいと思わない
- ☐ その他

Q23. あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。（複数回答可） 必須

- ☐ 正社員・正規職員で働くこと
- ☐ 仕事にやりがいを感じられること
- ☐ 専門的な知識や技能が身につく・能力を生かせること
- ☐ 給料が高いこと
- ☐ 労働時間が短いこと
- ☐ 残業や休日出勤が少ないこと
- ☐ 実力を適正に評価してくれること
- ☐ 職場の雰囲気や人間関係が良いこと
- ☐ 長い年数働き続けられること
- ☐ 子育てや親の介護などが必要になっても働きやすいこと
- ☐ 通勤の便など、地理的条件が良いこと
- ☐ その他

Q24. あなたが普段自宅にいるときによくしていることは何ですか。（複数回答可） 必須

- ☐ テレビを見る
- ☐ 本・雑誌・マンガを読む
- ☐ 新聞を読む
- ☐ 音楽を聴く
- ☐ ゲームをする
- ☐ 勉強をする
- ☐ 仕事をする
- ☐ 家事をする
- ☐ 育児をする
- ☐ ウェブサイト（電子掲示板、ブログ含む）を見る・書き込みをする
- ☐ YouTube等の動画サイトを見る
- ☐ LINEやメールをする
- ☐ X（旧Twitter）、Instagram等のSNSを見る・書き込みをする
- ☐ その他

Q25. あなたが、普段の生活で居心地がよいと感じる場所はどこですか。（複数回答可） 必須

- ☐ 自分の部屋
- ☐ 自宅のリビング、居間など
- ☐ 友人の家
- ☐ 学校
- ☐ 部活動
- ☐ 塾や習い事の場所
- ☐ 公園
- ☐ ファーストフード店、ファミレス、コンビニ、カフェ
- ☐ ゲームセンター、カラオケボックス、ネットカフェ、マンガ喫茶
- ☐ 本屋、CD・DVD ショップ
- ☐ ショッピングモール
- ☐ 地域のスポーツクラブや民間のスポーツジム
- ☐ 区立図書館
- ☐ 港区スポーツセンター

- ☐ その他区立の公共施設
- ☐ インターネット上のオンライン空間（SNSやオンラインゲームなど）
- ☐ オンラインコミュニティ（オンラインサロンなど）
- ☐ 居心地がよいと感じる場所はない
- ☐ その他

その他区立の公共施設と回答した方は、具体的な施設名をご記入ください。 必須

0 / 500

Q26. あなたは、普段どのようなものから情報を得ていますか。（複数回答可） 必須

- ☐ テレビ
- ☐ ラジオ
- ☐ 新聞・雑誌
- ☐ ニュースアプリ
- ☐ ウェブサイト
- ☐ X（旧Twitter）、Instagram等のSNS
- ☐ YouTube等の動画サイト
- ☐ 広報誌（広報みなと等）
- ☐ 区役所等にあるチラシ
- ☐ 電車やバス等の広告
- ☐ その他

Q27. 家族・親族と、あなたの関わりは、どのようなものですか。 必須

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
会話やメール等をよくしている	☐	☐	☐	☐
楽しく話せる時がある	☐	☐	☐	☐
困ったときは助けてくれる	☐	☐	☐	☐

Q28. 学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同級生など）と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか。 必須

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
会話やメール等をよくしている	☐	☐	☐	☐
楽しく話せる時がある	☐	☐	☐	☐
困ったときは助けてくれる	☐	☐	☐	☐

Q29. 該当する方のみお答えください。
職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
会話やメール等をよくしている	☐	☐	☐	☐
楽しく話せる時がある	☐	☐	☐	☐

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
困ったときは助けてくれる	☐	☐	☐	☐

Q30. 地域の人（近所の人、町内会などの知人、習い事での知人など）と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
会話やメール等をよくしている	☐	☐	☐	☐
楽しく話せる時がある	☐	☐	☐	☐
困ったときは助けてくれる	☐	☐	☐	☐

Q31. あなたは現在、次のような地域活動に参加していますか。（複数回答可） 必須

- ☐ お祭りやイベントなどの地域活動
- ☐ 地域のサークル活動
- ☐ 地域のスポーツ活動
- ☐ 町会・自治会等の地域活動
- ☐ 地域の子どものお世話をする活動
- ☐ 高齢者や障害者をサポートする活動
- ☐ 外国人をサポートする活動
- ☐ 公園やまちの清掃活動
- ☐ 地域の防犯・防災活動
- ☐ 募金活動
- ☐ 参加していない
- ☐ その他

Q32. Q31で「参加していない」と回答した方に伺います。参加していない理由は何ですか。（複数回答可） 必須

- ☐ 時間や日程が合わないから
- ☐ 時間的余裕がないから
- ☐ 一緒に参加する知人・友人がいないから
- ☐ 地域でどのような活動が行われているか知らないから
- ☐ 参加方法がわからないから
- ☐ 地域の活動に興味がないから
- ☐ 地域の活動が盛んではないから
- ☐ その他

Q33. 次の項目について、あなたはどのように感じますか。 必須

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
今の自分が好きだ	☐	☐	☐	☐
今、自分は幸せだ	☐	☐	☐	☐
今の自分に満足している	☐	☐	☐	☐
自分は役に立たない	☐	☐	☐	☐

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
自分は孤立している	☐	☐	☐	☐

Q34. あなたは現在、不安や悩みはありますか。（複数回答可） 必須

- ☐ 家事
- ☐ お金のこと（衣食住を含む）
- ☐ 自分の身体のこと
- ☐ 自分の将来
- ☐ 受験・進路
- ☐ 仕事・就職
- ☐ 地域活動（町内会・自治会等）
- ☐ 配偶者（パートナー）との関係
- ☐ 親、親戚との関係
- ☐ 介護
- ☐ 子育て
- ☐ 友人関係
- ☐ 恋愛関係
- ☐ 職場の人間関係
- ☐ インターネット上の人間関係
- ☐ 悩んでいることはない
- ☐ その他

不安や悩みの内容を可能な範囲でご記入ください。（任意）

0 / 500

Q35. あなたは普段、悩みごとがあるとき、誰（どこ）に相談しますか。（複数回答可） 必須

- ☐ 配偶者（パートナー）
- ☐ 父母
- ☐ その他親族
- ☐ 知人・友人
- ☐ 恋人
- ☐ 学校の先生
- ☐ 職場の上司・同僚
- ☐ カウンセラー・かかりつけの医師
- ☐ 区役所や公共施設の窓口・職員
- ☐ 民間の相談機関
- ☐ インターネットの掲示板や相談サイト
- ☐ インターネット上の知人・友人
- ☐ 相談しない
- ☐ その他

Q36. Q35で「相談しない」と回答した方に伺います。
相談しない理由は何ですか。（複数回答可） 必須

- ☐ 相談するほどのことではないから
- ☐ 悩みを知られたくないから
- ☐ 相談するのが面倒だから
- ☐ 何を聞かれるか不安だから
- ☐ うまく伝えられないから
- ☐ 相談していることを知られたくないから
- ☐ 相談しても解決しないと思うから
- ☐ 相談する相手がいないから
- ☐ その他

Q37. 区役所や公共施設に相談するとしたら、どのようなことを望みますか。（複数回答可） 必須

- ☐ 親身に聞いてくれる
- ☐ 自分のペースでゆっくりと段階的な支援をしてくれる
- ☐ 医学的な助言をもらえる
- ☐ 精神科医・心理学の専門家がいる
- ☐ 同じ悩みを持つ人と出会える
- ☐ 匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる
- ☐ 無料で相談できる
- ☐ 自宅から近い
- ☐ 夜間も相談できる
- ☐ 電話で相談できる
- ☐ スマートフォンやパソコン等のメールで相談できる
- ☐ LINE やX（旧Twitter）等のSNSで相談できる
- ☐ その他

Q38. 現在、あなたは結婚していますか。 必須

- ○ 結婚している（事実婚を含む）
- ○ 結婚したことはない
- ○ 結婚したことはあるが、今はしていない

Q39. Q38で「結婚したことはない」「結婚したことはあるが、今はしていない」と回答した方に伺います。
現在、結婚していない理由は何ですか。（複数回答可） 必須

- ☐ 結婚するにはまだ若いから
- ☐ 適当な相手にめぐりあわないから
- ☐ 結婚資金が足りないから、収入が不安定だから
- ☐ 学業や仕事に打ち込みたいから
- ☐ 趣味や娯楽を楽しみたいから
- ☐ 家族を持つ責任がなく、気楽だから
- ☐ 結婚する必要性を感じないから
- ☐ 独身で生活できるだけの経済力があるから
- ☐ 他者とうまく付き合えないから
- ☐ 同性のパートナーと結婚する国の制度がないから
- ☐ 夫婦別姓に関する国の制度がないから
- ☐ 交際相手・パートナーに結婚する気がないから

- ☐ 離婚や死別の経験の傷がまだ癒えていないから
- ☐ その他

Q40. Q39で「結婚するにはまだ若いから」と回答した方に伺います。何歳頃までに結婚したいですか。 必須

歳頃まで

Q41. Q38で「結婚したことはない」「結婚したことはあるが、今はしていない」と回答した方に伺います。今後、結婚することに対してどのようにお考えですか。 必須

- ○ 結婚したい
- ○ どちらかというと結婚したい
- ○ どちらでもいい
- ○ どちらかというと結婚したくない
- ○ 結婚したくない
- ○ わからない

Q42. 現在、あなたには子どもがいますか。現在妊娠中のお子さんは含めずお答えください。 必須

- ○ いる
- ○ いない

Q43. Q42で「（子どもが）いる」と回答した方に伺います。お子さんは何人いますか。 必須

人

Q44. Q42で「（子どもが）いる」と回答した方に伺います。お子さんの生まれた年と月をお答えください。 必須

年（西暦）	月	削除

＋ 行を追加

Q45. Q42で「（子どもは）いない」と回答した方に伺います。現在、子どもをお持ちでない理由は何ですか。（複数回答可） 必須

- ☐ 結婚していないから、交際相手がいないから
- ☐ 子どもを持つにはまだ若いから
- ☐ 出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから
- ☐ 将来的に子育てや教育にお金がかかるから
- ☐ 家が狭いから
- ☐ 幼稚園・保育園などの子どもの預け先がないから
- ☐ 家庭内の人間関係が良好ではないから
- ☐ 自分や配偶者（パートナー）の仕事に支障が出るから
- ☐ 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- ☐ 配偶者（パートナー)の家事・育児への協力が得られないから
- ☐ 育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから
- ☐ 将来的に家族の介護の負担が発生・増加する見込みがあるから

- ☐ 妊娠することや子育てをすることに漠然とした不安があるから
- ☐ 健康上の理由から
- ☐ ほしいけれどもできないから
- ☐ 高齢で産むのはいやだから
- ☐ 配偶者（パートナー)が望まないから
- ☐ その他

Q46. Q45で「子どもを持つにはまだ若いから」と回答した方に伺います。
何歳頃までに子どもを持ちたいですか。 必須

歳頃まで

Q47. Q42で「（子どもは）いない」と回答した方に伺います。
今後、子どもを持つことに対してどのようにお考えですか。 必須

- ○ 子どもを持ちたい
- ○ どちらかというと子どもを持ちたい
- ○ どちらでもいい
- ○ どちらかというと子どもを持ちたくない
- ○ 子どもを持ちたくない
- ○ わからない

Q48. あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。 必須

人

Q49. 実際に持つつもりの子どもの数は何人ですか。現在いらっしゃるお子さんを含めてお答えください。 必須

人

Q50. 実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない方に伺います。該当しない方は次の質問へお進みください。
実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはなぜですか。（複数回答可）

- ☐ 結婚できるかわからないから
- ☐ 出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから
- ☐ 将来的に子育てや教育にお金がかかるから
- ☐ 家が狭いから
- ☐ 幼稚園・保育園などの子どもの預け先がないから
- ☐ 家庭内の人間関係が良好ではないから
- ☐ 自分や配偶者（パートナー）の仕事に支障が出るから
- ☐ 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- ☐ 配偶者（パートナー)の家事・育児への協力が得られないから
- ☐ 育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから
- ☐ 将来的に家族の介護の負担が発生・増加する見込みがあるから
- ☐ 妊娠することや子育てをすることに漠然とした不安があるから
- ☐ 健康上の理由から
- ☐ ほしいけれどもできないから
- ☐ 高齢で産むのはいやだから

- ☐ 配偶者（パートナー)が望まないから
- ☐ その他

Q51. あなたは、港区が取り組む子ども・若者の施策に、どのようなことを望みますか。（複数回答可） 必須

- ☐ 子ども・若者に関するイベントなどの情報を提供する
- ☐ 悩み等を相談できる窓口を充実する
- ☐ 居心地のよい場所を提供する
- ☐ 就職に向けた相談やサポート体制を充実する
- ☐ 若者が結婚しやすい環境をつくる
- ☐ 安心して出産・子育てできる環境づくりを進める
- ☐ 経済的な困難を抱えている家庭を支援する
- ☐ 社会に出られない人が自立できるよう支援する
- ☐ 青少年の非行や犯罪防止などの取組や環境づくりを進める
- ☐ その他

Q52. これからも港区に住み続けたいと思いますか。 必須

- ○ 住み続けたい
- ○ どちらかというと住み続けたい
- ○ どちらかというと住み続けたいと思わない
- ○ 住み続けたいと思わない
- ○ わからない

Q53. 最後に、港区の子ども・若者の施策や子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。（任意）

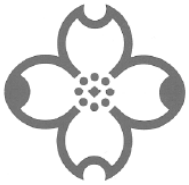
0 / 5000

→ 確認画面へ進む　入力内容を一時保存する

digicert EV SECURE Click to Verify

Powered by LoGoフォーム - © TRUSTBANK, Inc. 利用規約 プライバシーポリシー

区　の　木



ハナミズキ

区　の　花

アジサイ

バラ

港区のマークは、昭和２４年７月３０日に制定しました。旧芝・麻布・赤坂の３区を一丸とし、その象徴として港区の頭文字である「み」を力強く、図案化したものです。

刊行物発行番号　２０２３３２３－４８１４

港区子ども・若者・子育て支援に関する実態調査報告書

令和６(2024)年３月発行

発行・編集　　港区子ども家庭支援部子ども政策課
港区芝公園一丁目５番２５号
０３－３５７８－２１１１（代表）